



高崎健康福祉大学

Takasaki University of Health and Welfare

2019 年度

シラバス

健康福祉学部 健康栄養学科



2019 年度 健康栄養学科 シラバス目次

基礎教養ゼミ(教養基礎)	3	Integrated English II (リテラシー)	92
日本語表現法(教養基礎)	5	ドイツ語(リテラシー)	94
日本国憲法(教養基礎)	7	フランス語(リテラシー)	96
法学(教養基礎)	9	ポルトガル語(リテラシー)	98
経済学(教養基礎)	11	中国語(リテラシー)	100
社会学(教養基礎)	13	ハングル語(リテラシー)	102
生涯健康論(教養基礎)	15	コンピュータ実習 I (リテラシー)	108
生涯学習概論(教養基礎)	19	コンピュータ実習 II (リテラシー)	110
生命と環境の科学(教養基礎)	21	世界の社会福祉発達史(専門教養科目)	112
国際関係論(教養基礎)	25	国際保健医療論(専門教養科目)	114
体育理論(教養基礎)	28	世界の歴史と日本(専門教養科目)	117
体育実技(教養基礎)	30	人間行動学(専門教養科目)	119
キャリア形成論(教養基礎)	32	健康運動実技(専門教養科目)	121
哲学(人間理解)	35	宗教と倫理(専門教養科目)	123
倫理学(人間理解)	37	レクリエーション論(専門教養科目)	125
心理学(人間理解)	39	生物学(専門導入科目)	127
文学と人間(人間理解)	41	化学(専門導入科目)	129
芸術論(共通教養科目、人間理解)	43	有機化学 I (専門導入科目)	131
ボランティア・市民活動論(人間理解)	45	有機化学 II (専門導入科目)	133
人権論(人間理解)	48	管理栄養士実践入門(専門導入科目)	135
人間関係論(人間理解)	50	管理栄養士基礎実習(専門導入科目)	139
ジェンダー論(人間理解)	52	栄養情報処理論(専門基幹科目)	141
共生の倫理(人間理解)	54	栄養情報処理実習(専門基幹科目)	143
チーム医療アプローチ論(人間理解)	56	公衆衛生学 I (専門基幹科目)	145
国際医療事情(人間理解)	58	公衆衛生学 II (専門基幹科目)	147
Introduction to Healthcare Sciences(人間理解)	61	解剖生理学 I (専門基幹科目)	149
囲碁の世界(人間理解)	64	解剖生理学 II (専門基幹科目)	151
英語 I A(リテラシー)	66	解剖生理学実習(専門基幹科目)	153
英語 I B(リテラシー)	68	生化学 I (専門基幹科目)	155
英語 I C(リテラシー)	70	生化学 II (専門基幹科目)	157
英語 II A(リテラシー)	72	生化学実験 I (専門基幹科目)	160
英語 II B(リテラシー)	74	生化学実験 II (専門基幹科目)	162
英語 II C(リテラシー)	76	疾病の成り立ち I (専門基幹科目)	164
英語 III A(リテラシー)	78	疾病の成り立ち II (専門基幹科目)	166
英語 III B(リテラシー)	80	疾病の成り立ち III (専門基幹科目)	168
英語 III C(リテラシー)	82	疾病の成り立ち実習(専門基幹科目)	171
英語 IV A(リテラシー)	84	調理学(専門基幹科目)	174
英語 IV B(リテラシー)	86	調理学実習 I (専門基幹科目)	176
英語 IV C(リテラシー)	88	調理学実習 II (専門基幹科目)	178
Integrated English I (リテラシー)	90	調理科学(専門基幹科目)	180

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

食品学Ⅰ(専門基幹科目).....	182	特別講座(食品科学コース)(専門科目).....	293
食品学Ⅱ(専門基幹科目).....	184	特別講座(栄養科学・スポーツ栄養学コース)(専門科目).....	295
食べ物と健康基礎実験(専門基幹科目).....	186	特別講座(臨床栄養学コース)(専門科目).....	298
食品学実験(専門基幹科目).....	189	卒業研究(専門科目).....	300
食品衛生学(専門基幹科目).....	192	栄養教諭論(教職科目).....	302
食品衛生学実験(専門基幹科目).....	194	学校食指導各論(教職科目).....	304
食品加工学(専門基幹科目).....	197	教職論(教職科目).....	307
食品加工学実習(専門基幹科目).....	199	教育基礎論(教職科目).....	310
基礎栄養学(専門科目).....	202	教育心理学(教職科目).....	312
基礎栄養学実験(専門科目).....	205	教育制度論(教職科目).....	315
応用栄養学Ⅰ(専門科目).....	208	教育課程論(教職科目).....	317
応用栄養学Ⅱ(専門科目).....	211	特別な教育的ニーズの理解とその支援(教職科目).....	319
スポーツ栄養学(専門科目).....	214	道德教育・特別活動論(教職科目).....	321
応用栄養学実習(専門科目).....	217	総合的な学習の時間論(教職科目).....	324
栄養教育論Ⅰ(専門科目).....	220	教育方法論(教職科目).....	326
栄養教育論Ⅱ(専門科目).....	223	生徒指導論(教職科目).....	328
栄養教育論Ⅲ(専門科目).....	226	教育相談(教職科目).....	330
栄養教育論実習(専門科目).....	229	事前・事後指導(教職科目).....	333
臨床栄養学Ⅰ(専門科目).....	232	栄養教育実習(教職科目).....	335
臨床栄養学Ⅱ(専門科目).....	235	教職実践演習(栄養教諭)(教職科目).....	336
臨床栄養活動論(専門科目).....	238		
臨床栄養管理論(専門科目).....	240		
臨床栄養学実習Ⅰ(食事療法実習)(専門科目).....	242		
臨床栄養学実習Ⅱ(臨床栄養ケアマネジメント実習)(専門科目).....	245		
公衆栄養学Ⅰ(専門科目).....	247		
公衆栄養学Ⅱ(専門科目).....	250		
公衆栄養学実習(専門科目).....	253		
給食経営管理Ⅰ(専門科目).....	256		
給食経営管理Ⅱ(専門科目).....	259		
給食経営管理実習Ⅰ(専門科目).....	262		
給食経営管理実習Ⅱ(専門科目).....	264		
総合演習Ⅰ(臨地実習前後教育)(専門科目).....	267		
総合演習Ⅱ(専門科目).....	270		
総合演習Ⅲ(専門科目).....	272		
臨地実習Ⅰ(給食運営)(専門科目).....	274		
臨地実習Ⅱ(給食経営管理論)(専門科目).....	276		
臨地実習Ⅲ(臨床栄養学)(専門科目).....	278		
臨地実習(公衆栄養学)Ⅳ(専門科目).....	280		
食物学特別講座Ⅰ(応用専門科目).....	282		
食物学特別講座Ⅱ(応用専門科目).....	284		
NR・サプリメントアドバイザー(応用専門科目).....	286		
チーム医療アプローチ演習(応用専門科目).....	289		
特別講座(食育・公衆栄養学コース)(専門科目).....	291		

科目名	基礎教養ゼミ(教養基礎)			LAB001	講義
英文名	Freshman Seminar (FYE)				
担当教員	町田 修三、根岸 恵子、小泉 英明、武藤 洋一				
科目に関連する実務経験	小泉: 人事、社員教育担当として企業にて勤務(経験) 武藤: 記者、編集者として新聞社にて勤務(経験)				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	充実して実り多い大学生活を送るには、どうしたらいいのだろうか? 大学で失敗しないためには、初年時に学生生活の送り方を修得しておくことが極めて大切である。本講義では大学生活のキーとなる、学習方法やレポート執筆等にかかる「学習スキル」、コミュニケーション能力をはじめとした「ソーシャルスキル」、読み書きや数的能力などの「アカデミックスキル」。学生にとって必要なこうしたスキルをしっかりと身につけていくことを、講義の目標としている。受講学生には、積極的に講義に参加する受講態度が求められる。				
到達目標	1.大学での学習生活を確立する。 2.基礎学力を確認し、自己学習の方向性をつかむ。 3.社会人に必要とされる言葉使い・文章表現を習得する。■ 4.総合適性検査(SPI)を意識し、対応するための基礎力を養成する。 5.キャリアデザインの構築を図るために、社会常識・マナー等を学び、自ら考え、自ら問える力を養う。■				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	参加度 50%、提出物 50%で総合的に評価する。総合評価 60%を合格とする。				
課題に対するフィードバック	提出物・レポート・小テストを返却し、解説をする。基礎力テストや実力テスト後に解説や結果を知らせる。				
使用教材	資料、プリント				
	講義内容	学で何を学ぶか(意義と目的)			
1	該当する到達目標	予習	事前にシラバスを読み、目標を確認し、大学生活をプランニングする。		1 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法等を確認する。		1 時間
	講義内容	書くためのスキル(ノート、レポート・論文の書き方)			
2	該当する到達目標	予習	事前配布した資料に目を通しておく。		1 時間
	1,2,3	復習	ノートテ—キング、レポートの書き方をマスターする。		1 時間
	講義内容	基礎力テスト(計算/言葉)			
3	該当する到達目標	予習	言語・作文・計算や数式など基礎力を確認しておく。		1 時間
	1,2,3,4	復習	今までの学習を振り返り、復習する。		1 時間
	講義内容	解くためのワーク I (計算)			
4	該当する到達目標	予習	計算方法や文章題の復習をしておく。		1 時間
	1,2,4	復習	配布した問題の残りを解く。		1 時間
	講義内容	考えるためのワーク I (言葉の多様性①GW) ■			
5	該当する到達目標	予習	事前配布した教材に目を通しておく。		1 時間
	1,2,3	復習	添削を受けた作文を書き直す。		1 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

6	講義内容	コミュニケーションスキルⅠ（アクティブラーニング GW）		
	該当する到達目標	予習	事前配布した資料に目を通しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	レポートを書く。	1 時間
7	講義内容	考えるためのワークⅡ（言葉の多様性②）■		
	該当する到達目標	予習	事前配布した教材に目を通しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	添削を受けた作文を書き直す。	1 時間
8	講義内容	解くためのワークⅡ（数的処理①）		
	該当する到達目標	予習	前回の問題を解いておく。	1 時間
	1,2,4	復習	配布した問題の残りを解く。	1 時間
9	講義内容	キャリアデザイン■		
	該当する到達目標	予習	自らの人生設計について考えておく。	1 時間
	1,2,5	復習	レポート書き方を確認しておく。	1 時間
10	講義内容	考えるためのスキルⅠ（新聞を読み説く）■		
	該当する到達目標	予習	事前配布した教材に目を通しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	添削を受けた作文を書き直す。	1 時間
11	講義内容	解くためのワークⅢ（数的処理②）		
	該当する到達目標	予習	前回の問題を解いておく。	1 時間
	1,2,4	復習	配布した問題の残りを解く。	1 時間
12	講義内容	考えるためのワークⅢ（自己紹介・他者紹介）■		
	該当する到達目標	予習	事前配布した教材に目を通しておく。	1 時間
	1,2,3,5	復習	添削を受けた作文を書き直す。	1 時間
13	講義内容	コミュニケーションスキルⅡ（プレゼンテーション GW）		
	該当する到達目標	予習	事前配布した資料に目を通しておく。	1 時間
	1,2,5	復習	興味あるトピックについて発表できるようにする。	1 時間
14	講義内容	実力テスト		
	該当する到達目標	予習	今まで学習した内容を復習しておく。	2 時間
	1,2,3,4	復習	試験の内容を振り返り、学習する。	1 時間
15	講義内容	考えるためのスキルⅡ（社会を正しく理解する）		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を振り返り、どう活用するかを考えておく。	1 時間
	1,2,3,5	復習	大学生活を有意義に過ごすための方策を考える。	1 時間
備考	授業では、ジェネリックスキルをつけるため、できる限りアクティブラーニングを取り入れる。日本語作文能力と数学基礎力は、学習支援センターとのコラボレーションで提出と添削を繰り返して涵養を目指す。 予習復習については、試験前の学習で補完すること。 オフィスアワー：学習支援センター（2 号館 2 階）は月～金開室。数的処理は常時、言語関係・レポート等は、木曜 3 時限より質問を受け付ける。 メールアドレス「machida@takasaki-u.ac.jp」 研究室：1 号館 6 階 603 号室 ■：実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	日本語表現法(教養基礎)			LAB002	講義
英文名	Japanese Expression Method				
担当教員	武藤 洋一				
科目に関連した実務経験	記者として上毛新聞社に勤務。記事全般、コラムを執筆。(経験)				
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	日本人の極端な日本語能力低下が問題視されている中で、「書きことば」における表現力を向上させるために、まず自分の「考え」をまとめ「書く」に至るプロセスを理解する。次に日本語の基礎知識の把握と生じやすい表現上のミスを具体的に認識し、「考え」をいかに「文章化」するかを修得する。同時に他者の「考え」を発言や文面から把握、その内容に対する自分の意見を構築、交換、指摘する機会を設け、学士力向上を図る。				
到達目標	1.自分の「考え」をまとめ、意思表示できる。 2.日本語の基礎知識を表現・文法・語彙の三側面から確認し、理解できる。 3.日本語表現の基本的ミスを確認し、理解できる。■ 4.文章の組み立て方を理解し、習得できる。 5.日本語表現的に正確な文章が書けるようにする。■				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験(80%)・授業参加度(20%)によって、総合的に評価する。評価方法の基準は講義時に通達する。				
課題に対するフィードバック	提出した文章の欠点・修正点を謙虚に捉え、新たな文章作成の場に生かし、文章力向上に挑戦する。				
使用教材	『文章表現テクニック』(教育弘報研究所)				
1	講義内容	「考え」をまとめるための 5 段階■			
	該当する到達目標 1,4	予習	テキストの該当箇所を読み、自分なりの 5 段階法を考察しておく。		1.5 時間
		復習	実際に 5 段階法で文章を書き、文章構成の手法を振り返ってみる。		1.5 時間
2	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅰ 「公的」と「私的」■			
	該当する到達目標 1,5	予習	「公的」「私的」の違いを把握し、教科書のテスト 1 を解いておく。		1.5 時間
		復習	作文と小論文の違いをノートにまとめ、理解してみる。		1.5 時間
3	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅱ 慣用句■			
	該当する到達目標 2,3,5	予習	テキストの該当部分を読み、テスト 2 を解いておく。		1.5 時間
		復習	「慣用句」についての理解を深めてみる。		1.5 時間
4	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅲ ことわざ・故事成語■			
	該当する到達目標 2,3,5	予習	テキストの該当部分を読み、テスト 3 を解いておく。		1.5 時間
		復習	「慣用句」～「故事成語」をノートにまとめ、自分でも調べてみる。		1.5 時間
5	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅳ 四字熟語■			
	該当する到達目標 2,3,5	予習	テキストの該当部分を読み、テスト 4 を解いておく。		1.5 時間
		復習	「四字熟語」の見識を深めるため日常的に使われている熟語を調べてみる。		1.5 時間
6	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅴ 比喩法■			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	比喩法の違いを把握しておく。	1.5 時間
	2,3,5	復習	比喩法を正確に識別できるか、試してみる。	1.5 時間
7	講義内容	日本語表現のミスⅠ 主述関係■		
	該当する到達目標	予習	主述関係のミスによる例文を考えておく。	1.5 時間
	2,3,5	復習	主述関係が正確に伝わる文章の条件を、ノートにまとめてみる。	1.5 時間
8	講義内容	日本語表現のミスⅡ 修飾語・被修飾語■		
	該当する到達目標	予習	修飾語・被修飾語の基本的知識を学んでおく。	1.5 時間
	2,3,5	復習	修飾関係の乱れを生じさせない条件を、例文を使ってノートにまとめてみる。	1.5 時間
9	講義内容	日本語表現のミスⅢ 重複表現■		
	該当する到達目標	予習	重複表現の例を調べておく。	1.5 時間
	2,3,5	復習	重複表現を故意に使った駄洒落文を作ってみる。	1.5 時間
10	講義内容	日本語表現のミスⅣ 副詞の誤用■		
	該当する到達目標	予習	陳述の副詞の誤用例を調べておく。	1.5 時間
	2,3,5	復習	社会の流れによって変わる「誤用」の要因を考えてみる。	1.5 時間
11	講義内容	日本語表現のミスⅤ 日本語表現の誤用■		
	該当する到達目標	予習	日常的に使われている誤用を調べておく。	1.5 時間
	2,3,5	復習	オリジナルの誤用を作り出してみる。	1.5 時間
12	講義内容	文章の組み立て方Ⅰ 起承転結■		
	該当する到達目標	予習	「起承転結」の意味を調べておく。	1.5 時間
	1,4,5	復習	「起承転結」に従って 400 字程度の小論文を書いてみる。	1.5 時間
13	講義内容	文章の組み立て方Ⅱ 5W1H■		
	該当する到達目標	予習	テキストを基に、5W1H の基本知識を習得しておく。	1.5 時間
	1,4,5	復習	5W1H に従いながら文章構成を考え、100 字以内の文章を作ってみる。	1.5 時間
14	講義内容	文章の組み立て方Ⅲ キーワード・キーセンテンス■		
	該当する到達目標	予習	新聞の社説を利用し、キーワード・キーセンテンスを見つけておく。	1.5 時間
	1,4,5	復習	キーワード・キーセンテンスを選択する際の必要事項をノートにまとめてみる。	1.5 時間
15	講義内容	文章の組み立て方Ⅳ 字数制限■		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で配布された課題文の要旨を字数制限に従ってまとめておく。	1.5 時間
	1,4,5	復習	800 字の文章を 200 字に、200 字の文章を 400 字にする訓練を試みる。	1.5 時間
備考	受講に必要な資格はなし。 毎回、現代人がよく間違える慣用句や文章表現について、その都度実例を示しながら説明する。また、高校までに学ぶ機会が少なかったと思われる四字熟語・ことわざなどを、講義時間の一部を使って説明する。小論文を「書く→添削→返却」を 3 回程度実施する。 オフィスアワーは授業実施時間の前後 1～2 時間。 ■：実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	日本国憲法(教養基礎)			LAB003	講義
英文名	Japanese Constitution				
担当教員	金井 洋行				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	憲法の基本理念と日本国憲法に関する基礎的知識を習得することを第一義的な学習目標とする。第二に、社会人として要求される価値規範意識を、憲法学習を通して醸成することを目標とする。終局的に、身近な生活関係の中から人々の権利の保護や社会への参加の問題を探り出し、憲法上の課題の理解を深めることを目標とする。				
到達目標	1.日本国憲法を貫いている思考や仕組みと日本国憲法の歴史的背景を理解することができる。 2.憲法が解決すべき紛争について、その歴史的、社会的背景を認識することができる。 3.市民相互間の法的関係や公的部門のそれに対する機能の関連性を考察することができる。 4.政治の世界で起きている出来事について、具体的な憲法規定と結びつけることができる。 5.主要な学説について、その対立の背景と主張のねらいを認識することができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	・平常の授業に対する姿勢(15%)、中間テスト(25%)、期末の定期試験(60%) ・中間テストは概ね 3 回の知識テスト又はレポート、定期試験は知識と思考力のテスト				
課題に対するフィードバック	重要テーマについてのレポートに対してコメントを配布する(テーマについては適宜指示)				
使用教材	テーマ別レジュメ、概要・事例資料(テキスト:有斐閣新書『注釈憲法』) * テーマによっては DVD の視聴あり。				
1	講義内容	憲法とは何か?－憲法学習の意義と憲法の本質－			
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 233-243 頁	2 時間	
	1	復習	予備知識アンケート	0.5 時間	
2	講義内容	国家・国民・政府－憲法を構成する基本要素の内容－			
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 5-6 頁、138-140 頁	1 時間	
	1	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間	
3	講義内容	日本国憲法の制定過程			
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 2-4 頁、資料;「日本国憲法の有効性」	1 時間	
	1,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間	
4	講義内容	日本国憲法の基本構造と特色			
	該当する到達目標	予習	資料;「日本国憲法の体系」熟読と疑問点の究明	1 時間	
	1,2	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間	
5	講義内容	国民主権と天皇制			
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 5-26 頁	1 時間	

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
6	講義内容	平和主義と 9 条解釈の変遷		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 27-33 頁	1 時間
	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
7	講義内容	基本的人権の沿革と観念		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 40-44 頁、232-234 頁	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
8	講義内容	基本的人権規定の適用問題(範囲と限界)		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 35-36 頁、40-45 頁	1 時間
	2,3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
9	講義内容	個人主義・自由主義・平等主義		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 42-67 頁	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
10	講義内容	日本国憲法上の諸権利の性格(消極的権利と積極的権利)		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 68-87 頁	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
11	講義内容	国会の地位と選挙の構造と機能		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 109-121 頁、133-136 頁、145-149 頁	1 時間
	4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
12	講義内容	行政権の意義と内閣の組織・権限の特徴		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 154-168 頁	1 時間
	4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
13	講義内容	司法権の意義と裁判のルール		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 179-184 頁	1 時間
	4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
14	講義内容	権力分立と地方自治・分権		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 111-120 頁、214-226 頁	1 時間
	1,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
15	講義内容	憲法改正と憲法保障		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 227-243 頁	1 時間
	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
備考	講義内容はできうるかぎり予定通り進行させるが、期間内に国内あるいは国際的に大きな政治の動きがあった場合には、その話題を飛び入りの割込ませることはある。日々の社会や政治の動きに興味をもって様々なニュースソースに接し、自分なりに考えておくことを期待する。 出講日の放課後等において、質問及び学習相談を受ける。 最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	法学(教養基礎)			LAB004	講義
英文名	Law				
担当教員	金井 洋行				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	法の存在意義を人生の節目で生じる法律問題を通して理解することを基幹的目標とする。生活上生じる法律問題や法的処理事項の背景にある法社会学的意味を考える。法律関係は権利義務の変動の関係であるので、それぞれ権利義務とその変動要因にどのような種類があるかを知ることを目指す。法律関係の基本的システムを習得することによって、社会的生活者に要求される法規範意識を身につける。				
到達目標	1.法の存在意義や社会的機能の全体的な姿を理解することができる。 2.法制度の社会学的意義を理解することができる。 3.契約関係のシステムの意義と特色を理解することができる 4.家族関係の法的処理の方法を理解することができる。 5.法的紛争処理の限界を知り円滑な生活関係を維持する手法を考察することができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	・平常の授業に対する姿勢(15%)、中間テスト(25%)、期末の定期試験(60%) ・中間テストは概ね 3 回の知識テスト又はレポート、定期試験は知識と思考力のテストを実施する。				
課題に対するフィードバック	重要テーマについてのレポートに対してコメントを配布する(テーマについては適宜指示)				
使用教材	テーマ別レジュメ、概要・事例資料(テキストに代替するプリント) *テーマによっては DVD の視聴あり。				
1	講義内容	法の意義と機能			
	該当する到達目標	予習	高校時の社会の教科書「法分野」の箇所を読んでおくこと	2 時間	
	1,5	復習	予備知識アンケート	0.5 時間	
2	講義内容	成人と法—一人の年齢と能力の法的意味			
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み	1 時間	
	1,2,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間	
3	講義内容	就職と法—採用の法的意味と選別の法的問題			
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み	1 時間	
	2,3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間	
4	講義内容	労働と法—労働契約の内容と労働条件の保護			
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み	1 時間	
	2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間	
5	講義内容	結婚と法—婚姻の要件と夫婦の法律関係			
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み	1 時間	
	2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間	
6	講義内容	親子と法その 1—出生をめぐる法律問題と親子関係の形成			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
7	講義内容	親子と法その 2—親権関係と扶養関係		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
8	講義内容	教育と法—義務教育の意義と就学過程の法律問題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
9	講義内容	社会活動と法—団体の法律関係と団体生活の法律問題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
10	講義内容	社会負担と法—租税等の国民負担と公共生活上の法律問題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
11	講義内容	国際化と法—出入国管理の法律関係と涉外事件の処理		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
12	講義内容	財産関係と法—取引の法律関係と契約締結上の法律問題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
13	講義内容	犯罪と法—犯罪・刑罰の法的意味と科罰手続の法律問題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
14	講義内容	争い事と法—紛争の法的処理方法と裁判の仕組み		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
15	講義内容	老年期と法—介護・医療の法律問題と人の死の法的意味		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
備考	講義内容はできうるかぎり予定通り進行させるが、期間内に大きな社会問題が発生した場合には、その話題あるいは関連する事項を飛び入りの的に割り込ませることはある。日々の社会の動きに興味をもって様々なニュースソースに接し、自分なりにその背景や解決策を考えておくことを期待する。 出講日の放課後等において、質問及び学習相談を受ける。 最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	経済学(教養基礎)			LAB005	講義
英文名	Economics				
担当教員	町田 修三				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	経済に関する知識は一般社会や国際社会において極めて重要であるものの、多くの学生は十分な知識を持っていない。選挙権が与えられても経済知識なしで投票に行くのは危険である。この講義では身近なトピックを通して基礎的経済の知識を習得し、国内外の社会のメカニズムや流れを理解できるようになることを目的とする。レベルとしては、新聞やテレビのニュースがしっかりと理解できるようになることを想定している。また、医療分野を専攻する学生にとっては、医療の経済面からの考察も講義に取り入れるので参考にして理解を深めてほしい。				
到達目標	1.日本の経済の現状を説明できる 2.需要と供給、市場メカニズムについて理解を深め、概説できる 3.景気や GDP について理解を深め、概説できる 4.国の予算や税金制度について説明できる 5.お金の流れや物価変動について説明できる 6.経済政策について理解を深め、他者に説明できる 7.為替レートの変動と貿易の実態について概説できる 8.新聞やテレビのニュースが理解でき、他者に解説できる				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	学期末試験 80%、毎回の授業の最後に提出するコメントカード、その他の提出物(クイズ、小レポートなど) 20%				
課題に対するフィードバック	コメントカードに記載された質問事項、疑問点等に関しては、次回の講義で回答する。クイズについても次回の講義で解説する。小レポートにはコメントを付して返却する				
使用教材	必修テキストはない。推薦テキストは多数あるので、講義の中で必要に応じて紹介する。講義では毎回資料、データを配布する				
1	講義内容	イントロダクション(一部AL[アクティブラーニング]実施)			
	該当する到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく		1 時間
	8	復習	ニュースに触れる習慣(新聞、テレビ、ネット)を開始する		1 時間
2	講義内容	日本経済の流れ(世界との比較のなかで)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく		1 時間
	1,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習		1.5 時間
3	講義内容	経済政策の 2 大潮流—マーケット or ケインズ(一部 AL 実施)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく		1 時間
	1,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習		1.5 時間
4	講義内容	需要と供給(需要曲線の意味)			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 2,8	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
5	該当する到達目標 2,8	講義内容	市場メカニズムと価格(どうして水よりもダイヤモンドのほうが高いんだろう?)	
		予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
6	該当する到達目標 2,8	講義内容	価格の変動(どうして缶コーヒーやペットボトルのお茶は、どれも同じ値段なんだろう?)	
		予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
7	該当する到達目標 1,3,8	講義内容	国民所得 I (国の経済力はどのくらい測るんだろう? GDP って何?)	
		予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
8	該当する到達目標 1,3,8	講義内容	国民所得 II (あなたが 1 万円使ったと GDP はいくら増える?)(一部 AL 実施)	
		予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
9	該当する到達目標 1,4,8	講義内容	財政(日本の借金は大丈夫? 消費税は何%に?)	
		予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
10	該当する到達目標 1,3,8	講義内容	景気と失業(不景気で学生の就職はどうなる?)(一部 AL 実施)	
		予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
11	該当する到達目標 1,5,8	講義内容	金融(日本銀行は何をしたらいい?)(一部 AL 実施)	
		予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
12	該当する到達目標 1,6,8	講義内容	経済政策のしくみ(アベノミクスは何をした?)	
		予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
13	該当する到達目標 1,7,8	講義内容	為替レートのメカニズム(円高、円安ってどうして起こるの?)	
		予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
14	該当する到達目標 1,7,8	講義内容	世界と日本(日本の貿易は黒字? 赤字?)(一部 AL 実施)	
		予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
15	該当する到達目標 1~8	講義内容	まとめと確認のためのテスト	
		予習	これまで学習した事項について目を通し、理解を深めておく	3 時間
		復習	期末試験の出題意図、講義の理解度の再確認と今後の学習の方向性を考える	1.5 時間
備考	授業開始時に学生から出された質問・疑問に答えながら、前回の復習をする。授業中はクイズをはじめとした問いかけを多く出し、可能な限りアクティブラーニングの導入を試みる。 AL(アクティブラーニング)は、クローズドクエスチョン、オープンクエスチョン、ペアワーク、グループワークなど 予習・復習については、期末試験前の学習で補完すること オフィスアワー: 月曜日 4 限目、金曜日 2 限目 研究室: 1 号館 6 階 603 メールアドレス: machida@takasaki-u.ac.jp			

科目名	社会学(教養基礎)			LAB006	講義
英文名	Sociology				
担当教員	安達 正嗣				
科目に関連した実務経験	兵庫県庁の家庭問題研究所において 3 年間、研究員および主任研究員として兵庫県の各市町村で家族・高齢者・福祉調査を実施して調査資料を作成することによって、各課への政策提言をおこなった。				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	社会学的なものの見方とは、どういうものか、社会学的にものを考えるときに使用する専門的概念には、どのようなものがあるのかなどといった社会学の基本的理解を目指す。使用教材を中心にしながら、日常の具体的な事例から解説することによって、基本的な社会学の考え方を身につける。				
到達目標	1.大学生として社会学の基本的な考え方を身につけることができる。 2.社会学を通じて、豊かな人間性と倫理観を身につけることができる。 3.日常の人間関係を理解することによって、コミュニケーション能力を身につけることができる。 4.社会の仕組みを理解して、現代社会における自分自身の立ち位置を知ることができる。 5.現代社会の社会問題を認識して、その解決を探る能力を身につけることができる。■				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	平常点(毎回提出してもらうアクションペーパーについては、第 1 回目の講義で説明します)50%、学期末試験 50%です。				
課題に対するフィードバック	各受講生の提出したアクションペーパーに書かれた質問、意見、要望などに対して、つぎの講義の前にリプライを実施する。場合によって、担当教員と受講生、あるいは受講生同士のディスカッションをおこなうことを通じて、社会学の理解を深める。				
使用教材	篠原清夫・栗田真樹編著『大学生のための社会学入門』晃洋書房。				
1	講義内容	オリエンテーション、第 1 章社会学とは何か(1～12 頁)について解説する。			
	該当する到達目標	予習	第 1 章を読んでおくこと。1 頁の予習課題をしておくこと。		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第 1 章の内容を理解しておくこと。9 頁の課題をしておくこと。		1.5 時間
2	講義内容	第 2 章 社会を観察する方法(13～24 頁)を解説する。			
	該当する到達目標	予習	第 2 章読んでおくこと。13 頁の予習課題をしておくこと。		1.5 時間
	1,2,3	復習	第 2 章の内容を理解すること。22 頁の課題をしておくこと。		1.5 時間
3	講義内容	第 3 章 社会で生きる「私」(25～35 頁)を解説する。			
	該当する到達目標	予習	第 3 章を読んでおくこと。25 頁の予習課題をしておくこと。		1.5 時間
	1,2,3	復習	第 3 章の内容を理解すること。34 頁の課題をしておくこと。		1.5 時間
4	講義内容	第 4 章 変容する家族のかたち(36～47 頁)を解説する。実務で得た調査結果を提示する。■			
	該当する到達目標	予習	第 4 章を読んでおくこと。36 頁の予習課題をしておくこと。		1.5 時間
	1,2,3	復習	第 4 章の内容を理解すること。47 頁の課題をしておくこと。		1.5 時間
5	講義内容	第 5 章 性の多様なあり方を考える(48～59 頁)を解説する。			
	該当する到達目標	予習	第 5 章を読んでおくこと。48 頁の予習課題をしておくこと。		1.5 時間
	1,2,3	復習	第 5 章の内容を理解すること。57 頁の課題をしておくこと。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

6	講義内容	第 6 章 「現実を生きる」ための社会学—労働・産業・消費—(60～72 頁)を解説する。		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	第 6 章を読んでおくこと。60 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
		復習	第 6 章の内容を理解すること。70 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
7	講義内容	第 7 章 日本で進展する環境・災害社会学(73～86 頁)を解説する。		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	第 7 章を読んでおくこと。73 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
		復習	第 7 章の内容を理解すること。84 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
8	講義内容	第 8 章 社会学から医療を見つめる(87～97 頁)を解説する。		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	第 8 章を読んでおくこと。87 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
		復習	第 8 章の内容を理解すること。96 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
9	講義内容	第 9 章 社会学は教育とどう向き合うのか(98～109 頁)を解説する。		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	第 9 章を読んでおくこと。98 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
		復習	第 9 章の内容を理解すること。108 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
10	講義内容	第 10 章 逸脱行動と社会問題(110～121 頁)を解説する。		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	第 10 章を読んでおくこと。110 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
		復習	第 10 章の内容を理解すること。119 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
11	講義内容	第 11 章 「格差」の社会学(122～134 頁)を解説する。		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	第 11 章を読んでおくこと。122 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
		復習	第 11 章の内容を理解すること。132 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
12	講義内容	第 12 章 生活空間としての地域社会(135～149 頁)を解説する。		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	第 12 章を読んでおくこと。135 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
		復習	第 12 章の内容を理解すること。144 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
13	講義内容	第 13 章 グローバル社会とエスニシティ(150～162 頁)を解説する。		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	第 13 章を読んでおくこと。150 頁の予習課題を読んでおくこと。	1.5 時間
		復習	第 13 章の内容を理解すること。162 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
14	講義内容	第 14 章 宗教から社会を捉える(163～176 頁)を解説する。		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	第 14 章を読んでおくこと。163 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
		復習	第 14 章の内容を理解すること。173 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
15	講義内容	全講義を振り返り、社会学の考え方についてまとめる。		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	教科書とノートを読み直して、全講義の理解の確認をしておくこと。	3 時間
		復習	全講義の内容と概念について、再確認をしておくこと。	3 時間
備考	講義の進め方としては、毎回、講義後にリプライカードを受講生に配布して、その回の講義内容と質問・意見を記入してもらい、次回には質問・意見に応えながら前回の講義を振り返り理解を定着化させてから、講義をおこなっている。 各受講生が、毎回の講義内容を自分自身の身近な具体的な状況のなかで理解することによって、社会学の考え方を深めることができるので、そうした観点から意欲的に講義に臨んでほしい。 オフィスアワー：火曜日 5 限・水曜日 3 限 ■：実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	生涯健康論(教養基礎)			LAB007	講義
英文名	Lifelong Health Theory				
担当教員	鈴木 忠				
科目に関連した実務経験	非常勤医師(循環器内科)として病院に勤務				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	生涯を幸せで豊かに過ごすための基本は健康である。日本人は世界有数の長寿を誇っているが、自立して生活を送る健康寿命は、平均寿命より約 10 年も短い。本講義では、健康寿命の延伸に向けて生涯にわたる健康維持・管理について理解し、人々の健康寿命延伸に健康支援チームの一員として参加できる基礎知識を身に着けることを目的としている。				
到達目標	1.健康の定義と集団の健康評価指標を理解する。■ 2.個体の健康を維持するため生体の調節機構について理解する。■ 3.環境・生活習慣の変容と疾病発症の関連について理解する。■ 4.健康寿命延伸にむけた取り組みについて理解する。■				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業参加度(課題に対する回答等)およびレポート:60 点、期末試験:40 点で総合 60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	レポートに対しコメントする。				
使用教材	テキストは使用せず、配布資料及び視聴覚資料を使用する。 参考書として、厚生統計協会刊の「国民衛生の動向」を利用する				
1	講義内容	健康の定義と健康評価指標 WHO の提唱した健康の定義を知る。集団の健康評価の指標として最もよく使われるのが平均寿命であるが、寿命には、＜平均寿命＞、＜平均余命＞、＜健康寿命＞、＜最長寿命＞などの呼び方があり、現在の日本で重要なのは、健康寿命であることを理解する。			
	該当する到達目標	予習	「国民衛生の動向」より健康評価諸指標の年代推移を把握する。		1.5 時間
	1	復習	健康の定義と健康評価指標の理解を深める。		1.0 時間
2	講義内容	健康を維持するための構造と働き 健康を維持するための主たる生理機構は、＜物質代謝＞である。物質代謝に関わる体の構造とその働きについて理解する。■			
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書で該当部分を学習する。		1.5 時間
	2	復習	物質代謝を理解し関わる体の構造とその働きについて理解を深める。		1.0 時間
3	講義内容	恒常性維持システムの役割と相互作用 物質代謝に関連する構造がバランスよく正常に機能するように統括する恒常性維持(＜ホメオスタシス＞)システムは、脳神経系、内分泌系及び免疫系で構成される。その働きと相互作用について理解する。■			
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書で該当部分を学習する。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	2	復習	生体の恒常性(<ホメオスタシス>)維持機構について理解する。	1.0 時間
4	講義内容	食物と健康 物質代謝のスタートは食物からの栄養摂取である。食物には健康に欠かすことのできないエネルギー源<栄養素>だけでなく、生体調節機能を有する成分が含まれることを理解し、食生活が健康維持に密接に関連することを学習する。		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	2,3,4	復習	食物の代謝過程を理解するとともに、食生活と健康との関連を学習する。	1.0 時間
5	講義内容	運動と健康 運動には、健康維持のための恒常性維持システムを正常に働かせるための運動と筋力を鍛えるための運動がある。ここでは、恒常性維持のための運動とその役割及び自立生活を支え、健康寿命を延ばすための筋力を鍛える運動について理解する。		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	2,3,4	復習	健康維持における運動の生理学的意義と健康寿命延伸に向けた運動について理解する。	1.0 時間
6	講義内容	ストレスと生活環境 現代の社会・生活環境は個体にとって多くのストレスを生む。ストレスが、恒常性維持システムのバランスに悪影響を及ぼし、健康を害するメカニズムを理解し、ストレスを解消するための心のケア・休養が健康維持にいかに重要であるかを理解する。		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	2,3	復習	ストレスが、健康を害するメカニズムを理解し、その対策について理解する。	1.0 時間
7	講義内容	喫煙による健康障害 たばこが、発がん性だけでなく、血液循環障害や一酸化炭素中毒などの<喫煙と健康障害>のメカニズムについて理解する。<受動喫煙の影響>についても考える。		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	2,3,4	復習	喫煙とその健康障害及び健康障害の機序を理解する。	1.0 時間
8	講義内容	21 世紀における国民健康づくり運動(健康日本 21) 2000 年より、健康寿命の延伸を目指す健康づくり運動がスタートした。①食物・栄養、②運動及び③心の安静を<健康維持の 3 本柱>とし、これまでの早期発見・早期治療による二次予防及び確実な診断と治療・リハビリによる三次予防に対して、病気の発生そのものを防ぐ一次予防を重視する<予防医学>がスタートした。		
	該当する到達目標	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	1,3,4	復習	21 世紀における国民健康づくりと取り組みを理解する。	1.0 時間
9	講義内容	メタボリックシンドロームおよび特定健診 肥満<内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)>の病態を理解し、動脈硬化性疾患発症の高リスクとなることを理解する。メタボリックシンドローム対策として特定健診の結果を基に包括的生活指導・介入により、肥満(内臓脂肪肥満)改善により発病を予防できることを理解する。■		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	3,4	復習	メタボリックシンドロームの病態・対策を理解する。	1.0 時間
10	講義内容	生活習慣病の危険因子としての糖尿病 生活習慣が発症に関連する<糖尿病>Ⅱ型は、冠状動脈や脳動脈の動脈硬化の危険因子となるのみならず、微小血管障害による腎障害、視力障害及び神経障害の<三大合併症>を引き起こす。人工透析が必要となる腎不全及び失明の原因の第 1 位は糖尿病である。危険因子としての糖尿病とその予防法について理解する。■		

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	生活習慣病の危険因子としての糖尿病 を理解する。	1.0 時間
11	講義内容	生活習慣病(心疾患・脳卒中)と生活習慣 死亡原因の 2 位及び 3 位の<心疾患(狭心症・心筋梗塞症)>及び<脳卒中>は、動脈硬化<血液循環障害>による。これらの疾患の本態を知り、生活習慣との関係を理解し、その予防のための生活習慣を考える。■		
	該当する到達目標 3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	生活習慣病(心疾患・脳卒中)の病態と発症と生活習慣との関連を理解する。	1.0 時間
12	講義内容	ロコモティブシンドローム 脳卒中と運動器障害は介護の主要原因となっている。骨粗鬆症・サルコペニア・運動器不安定を特徴とするロコモティブシンドローム対策が健康寿命の延伸に重要である。 ロコモティブシンドロームの早期診断と予防の重要性について理解する。■		
	該当する到達目標 3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	加齢に伴う運動器障害を理解し、早期診断と予防の重要性について理解する	1.0 時間
13	講義内容	生活習慣病(がん)と生活習慣 日本人の死亡原因の 1 位はがん、2 位は心疾患、3 位は脳卒中であり、いずれも生活習慣に起因する。ここでは、がんという疾患を理解し、がんを発症する生活習慣<(がん発症危険因子)>を知る。また、<がん予防のための生活習慣>及び早期発見・早期治療のための<がん検診>の重要性について理解する。■		
	該当する到達目標 3,4	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	生活習慣と発がんとの関係を理解し、がん対策基本計画などその対策について学習する。	1.0 時間
14	講義内容	最近の微生物・ウイルス感染症 感染症は死因として必ずしも上位ではないが、感染症の流行は社会生活に大きな影響をもたらす。新興・再興感染症が問題となっている。日本人の死亡原因の第 4 位は肺炎と呼ばれる微生物感染症である。各種保健医療施設においては、入所(入院)者の<院内感染症>発症予防は、最重要課題である。輸血などの医療行為が微生物感染症の発生要因<(医原性感染症)>となる場合があること、感染症発生の予防法について理解する。■		
	該当する到達目標 3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	最近の感染症の動向を理解しその対策について学習する。	1.0 時間
15	講義内容	地域における健康支援チーム構成員とその役割(チーム医療) これまでは、健康管理は個人が自分自身の責任で行うとされてきたが、地域における集団での支えあいに重点を置くとされた。地域における健康支援には、本人、家族を中心に、医療専門職者、診療情報管理士、管理栄養士、福祉専門職者、その他多数の職種者からなる<健康支援チームによるチーム医療>が必要である。どのような職種がどのような役割を果たしてチームを構成して健康を支えようとしているのかを理解する。■		
	該当する到達目標 4	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	地域包括ケアシステムを理解し、地域における健康づくりチームの構成員としての各人の役割を理解する。	1.0 時間
備考	講義においては、前半はテーマについて概要を説明し、後半は質疑応答する形式ですすめる。 レポートについても発表する時間を持ちたい。講義内容全てが教員の実務経験と関連する。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 オフィスアワー:月曜日 12:30~13:30 15:30~16:30 研究室 4 号館 2 階学部長室			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

メールアドレス:suzuki-t@takasaki-u.ac.jp

■:実務経験に基づく内容を示す。

科目名	生涯学習概論(教養基礎)			LAB008	講義
英文名	Introduction to Lifelong Learning				
担当教員	小西 尚之				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	我々の多くは「学校教育」を中心に「教育」を受けてきたが、人間が学ぶ場は学校だけではない。本授業では、「教育」ではなく「学習」の視点から、公民館・博物館・図書館等の社会教育施設における学習など、「生涯学習」について学ぶ。授業の進め方としては、各テーマについての説明を聞くだけではなく、話し合い活動を通じて課題に取り組むことによって理解を深めていく。				
到達目標	1.「生涯学習」や「生涯学習社会」の理念について理解している。 2.社会教育施設等における学びの概要・特徴について理解している。 3.他者と協力しながら課題に積極的に取り組むことができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	小テストに約 20%、レポート・発表に約 50%、日常点(授業への参加、授業態度、課題への取り組み、討論、授業に対する貢献度等)に約 30%を配分して総合評価する。				
課題に対するフィードバック	試験前後に出題の意図等を説明する。				
使用教材	授業担当者の作成資料による。				
1	講義内容	オリエンテーション			
	該当する到達目標 1	予習	シラバスを読んでおく。	1.5 時間	
		復習	資料を読んで、授業の概要を確認し、生涯学習を学ぶ意味を理解する。	1.5 時間	
2	講義内容	「学習」とは何か			
	該当する到達目標 1,3	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間	
		復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間	
3	講義内容	今なぜ「生涯学習」がクローズアップされるのか			
	該当する到達目標 1,3	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間	
		復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間	
4	講義内容	人は発達段階に応じて何を学ぶか			
	該当する到達目標 1,3	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間	
		復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間	
5	講義内容	就職すると人はどのような学習をするのか			
	該当する到達目標 2,3	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間	
		復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間	
6	講義内容	公民館とは何か			
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間	

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	図書館とは何か		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	博物館とは何か		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	美術館とは何か		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	青年の家・少年自然の家とは何か		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	グループ発表①		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	グループ発表②		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	グループ発表③		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	グループ発表④		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	グループ発表⑤		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
備考	授業の進め方: 少人数や全体での話し合い活動に加え、フィールドワーク(生涯学習施設への訪問)、その成果の発表など多様な学習活動を行います。 学校教育の最終段階である大学で学ぶ皆さんにとって、今後の人生で重要となる「生涯学習」について学ぶ意義は大きいと思います。ただし、上記のような活動を重視するため、他者と協力しながら積極的に「学ぼう」という意欲が無い人には不向きです。 予習・復習については、小テストの学習等で補完してください。 オフィスアワー: 火曜 5 限、金曜 2 限 メールアドレス: konishi@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 4 階 409 研究室			

科目名	生命と環境の科学(教養基礎)			LAB009	講義
英文名	Science of Environment and Life				
担当教員	奥 浩之				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	毎回、生命科学と環境科学の一つのトピックスについて、現状と問題・将来の課題など、高校までに学んだ知識をもとに、わかりやすく順を追って説明してゆく。具体的な事項を取り上げることで、漠然とした生命と環境についてのイメージを一新してもらうことを目的としている。生命分子の構造学習を行うことがあるので、各自で利用できるパソコンのあることが望ましい。(パソコンは持参する必要はなく、自宅で使用できればよい。)				
到達目標	1.地球環境について元素、物質循環、気候変動の観点から説明できる。 2.生命を構成する分子(核酸、タンパク質)について、分子構造、反応機構、応用の観点から説明できる。 3.私たちの生活に関連して、食品、バイオマス、医薬品や医療機器、のトピックスについて説明できる。 4.グローバルな視点から、新しい感染症、ワクチン開発、などのトピックスについて説明できる。 5.様々な文献や資料を参照し、レポート形式または要約・箇条書きの形式でまとめられるようになる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	レポート課題 50%、授業参加度 50%				
課題に対するフィードバック	提出されたレポート課題に対しては、コメントを付けて返却または講義時間内に課題の解説を行うことで受講学生へフィードバックする。				
使用教材	使用しない(講義にて用いるスライドを配布予定)				
1	講義内容	生命と環境－地球における化学進化と生命における元素の役割			
	該当する到達目標 1,5	予習	元素周期表(http://stw.mext.go.jp/series.html)を読んでみよう。		1 時間
		復習	(1)人体を構成する元素の存在比 (2)主要元素・微量・超微量元素の具体的な元素名 (3)様々な元素の生体または医薬品における役割		1.5 時間
2	講義内容	生命と環境－地球における元素の循環			
	該当する到達目標 1,5	予習	ヒトの活動による、水需要の増大、化石燃料の大量燃焼、窒素肥料の大量使用と地球環境への影響について調べてみよう。		1 時間
		復習	(1)大気・土壌における物質循環 (2)水循環、窒素循環、炭素循環、硫黄循環、リン循環の特徴 (3)人類の活動による物質循環への影響		1.5 時間
3	講義内容	生命と環境－温室効果ガスによる地球温暖化			
	該当する到達目標 1,5	予習	温室効果ガスとは？温室効果は何故起こるか？調べてみよう。		1 時間
		復習	(1)地球上での物質循環は気候変動と密接に関連する (大気を暖める要因と冷やす要因) (物質循環の詳細な研究による、地球環境変化の予測)		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

			(2)IPCC 第 5 次報告書(2014 年)における RCP シナリオ (気候モデルによって予測された 21 世紀末の世界の気温) (世界全体のCO ₂ 累積排出量と気温上昇量は比例する) (3)国連気候変動枠組条約 (日本における温室効果ガス削減目標)	
4	講義内容	生命と生体分子…DNA 二重らせんと X 線構造解析		
	該当する到達目標 2,5	予習	ワトソンとクリックによる DNA 二重らせんモデル (1)当時用いられた分子モデル(ロンドン・サイエンスミュージアム) http://www.sciencemuseum.org.uk/broughttolife/objects/display?id=6145 (2)1953 年の論文 http://www.nature.com/nature/dna50/watsoncrick.pdf (3)DNA 構造について(英文なので、最初は図を見るのがよい) 特に Figure 5 を見て、3 種類の二重らせん構造があることに注目しよう http://www.nature.com/scitable/topicpage/discovery-of-dna-structure-and-function-watson-397	1 時間
		復習	(1)DNA の分子構造は X 線回折法によって求められる (2)ブラッグの回折条件式 (3)DNA 繊維写真の X 型パターン	1.5 時間
5	講義内容	生命と生体分子…タンパク質の構造解析における 2 つの方法		
	該当する到達目標 2,5	予習	(1)タンパク質を構成する 20 種類のアミノ酸とは？ (2)アミノ酸の“光学活性”とは？	1 時間
		復習	(1)アミノ酸 20 種類の分子構造 (2)X 線回折測定によるタンパク質の 3 次元構造解析 (3)NMR 測定によるタンパク質の 3 次元構造解析	1.5 時間
6	講義内容	生命と生体分子…タンパク質の構造と機能		
	該当する到達目標 2,5	予習	(1)膜タンパク質とは？ (2)アイスクリームの成分について。 (3)低脂肪アイスクリームの成分がわかったら調べてみよう。	1 時間
		復習	(1)swiss-pdb によってカリウムチャンネルの分子構造を見てみよう (2)低脂肪アイスクリームにおける不凍タンパク質の機能について	1.5 時間
7	講義内容	生命と生体分子…さまざまなタンパク質		
	該当する到達目標 2,5	予習	(1)70S リボソームにおけるタンパク質合成 (2)電子伝達系における ATP 合成 (3)ビタミン B12 の役割 (4)マメ科植物における根粒菌とは？	1 時間
		復習	(1)70S リボソームと tRNA の分子構造(PDB ID: 4v4j) (PDB ID: 2tra) (2)F1-ATPase プロトン濃度勾配による ATP 合成 (3)カルモデュリンの分子構造変化(PDB ID: 3cln) (PDB entry 2bbm)	1.5 時間
8	講義内容	生命と生体分子…酵素・タンパク質の反応機構		
	該当する到達目標 2,5	予習	(1)セリンプロテアーゼによるタンパク質の加水分解機構 (2)加水分解酵素の活性中心における触媒反応を行うアミノ酸残基について (3)光合成における二酸化炭素固定反応について	1 時間
		復習	(1)酵素の活性中心におけるさまざまな金属イオンとその役割について	1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

			(2)光合成における RuBisCO(二酸化炭素と水とリブローズ 1,5 ビスリン酸から二分子の 3-ホスホグリセリン酸を得る反応を触媒する)の反応機構について。	
9	講義内容	生命と生体分子…ヘム蛋白(Mb、Hb、Cyt c、CYP450)		
	該当する到達目標 2,5	予習	(1)ヘムタンパク質とは？ (2)ミオグロビンとヘモグロビンの違いは？ (3)CYP3A4 とは？	1 時間
		復習	(1)ミオグロビン (PDB ID, 1A6M) (2)チトクローム c (PDB ID, 2B4Z) (3)チトクローム P450 (PDB ID, 1W0E) (4)医薬品の代謝における CYP3A4 の影響について	1.5 時間
10	講義内容	ヒトの活動と環境: 食品の安全確保(加工食品の成分)		
	該当する到達目標 3,5	予習	(1)アクリルアミドの分子構造、用途、注意点	1 時間
		復習	(1)行政(農水省)では加工食品の安全確保についてどのような活動をおこなわれているか？	1.5 時間
11	講義内容	ヒトの活動と環境: バイオマスとバイオリファイナリー		
	該当する到達目標 3,5	予習	(1)バイオマスとは？ (2)バイオエタノールとは？	1 時間
		復習	(1)バイオリファイナリーとは？ (2)バイオガソリンの成分は？ (3)バイオマスプラスチックの具体的な事例は？	1.5 時間
12	講義内容	ヒトの活動と環境: 外科手術用の接着剤		
	該当する到達目標 3,5	予習	(1)ポリウレタンの分子構造とは？ (2)ポリウレタンはどのような原料から作られるか？	1 時間
		復習	(1)ウレタンプレポリマーによる血管の吻合メカニズム (2)血管の吻合における瞬間接着剤の欠点は？ (3)血管の吻合におけるウレタンプレポリマーの優れている点は？	1.5 時間
13	講義内容	生命と環境…インフルエンザワクチンの成分		
	該当する到達目標 4,5	予習	(1)ワクチンによる予防免疫のしくみ	1 時間
		復習	(1)様々なインフルエンザワクチンについて	1.5 時間
14	講義内容	生命と環境…グローバル化と感染症(ジカ熱、デング熱など)		
	該当する到達目標 4,5	予習	(1)蚊によって媒介される感染症とは？ (2)グローバル化におけるヒトの移動や経済活動の活発化について	1 時間
		復習	(1)グローバル化と感染症の拡大はどのように関係するか？ (2)ワクチンの開発例について	1.5 時間
15	講義内容	生命と環境…食べると甘い香りが発散するお菓子について		
	該当する到達目標 4,5	予習	(1)ワインやコーヒーの香りを分析する装置について調べてみよう(ヘッドスペース装置の付いたガスクログラフィ/質量分析計) (2)ヒトにおける薬物代謝のしくみ	1 時間
		復習	(1)ヒトの体の匂いに関与する成分はどのようにして分析されたか？ (2)お菓子を食べてから、体表面から香気成分が発散するまでの経路は？ (ヒトにおける薬物代謝から説明してみよう。)	1.5 時間
備考	毎回、生命科学と環境科学の一つのトピックスについて、現状と問題・将来の課題などを説明してゆく。生命分子の			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	構造学習を行うことがある。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。

科目名	国際関係論(教養基礎)			LAB010	講義
英文名	International Relations				
担当教員	片桐 庸夫				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	新聞やテレビ等のニュースを見て、世界の動きや日本の外交について理解出来るようになること。				
到達目標	1.現代世界の理解 2.第 2 次世界大戦後の世界の基本構造の理解 3.国家間の対立要因の理解 4.国家間の相互理解の理解 5.自由主義イデオロギーと社会主義イデオロギーの理解 6.現代の戦争の特徴についての理解 7.国家の安全保障の理解 8.核の下での平和の理解 9.国際秩序概念の理解 10.国際秩序の喪失と国際テロ、難民、民族や宗教の違いに基づく紛争発生要因の理解 11.戦後日本の原型についての理解 12.戦後日本外交の歩み、「戦後」克服の意味の理解 13.日本の課題である国際貢献問題の理解				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	講義中に行う 3 回程度の試験(60%)、講義に臨む態度(20%)、講義参加度(20%)等により総合評価を行う。				
課題に対するフィードバック	原則として試験を行った翌週の講義の際に答案を返却する予定である。その際には、一人一人に論文やレポートの文体、文の構成、意味の曖昧な表現、誤字脱字等について指導する。				
使用教材	配布するプリントを教材として用いる。				
1	講義内容	講義概要(講義の展開、出席の取り方、試験の方法、成績評価等)についての説明を行う。			
	該当する到達目標	予習	必要ナシ		時間
		復習	必要ナシ		時間
2	講義内容	世界の混迷した状況や米国トランプ政権の一国主義、中国の影響力の拡大等について理解する。			
	該当する到達目標 1,3,7,8,10	予習	1 週間分の新聞の 1,2 面の記事に目を通しておくこと。		1.5 時間
		復習	ノートテイキングした部分の加筆、整理、それに新聞記事の内容を付加すること。		1.5 時間
3	講義内容	「冷戦の特異性」の意味と大規模な戦争の後に起こりやすい戦勝同盟国間の対立を理解する。			
	該当する到達目標 1,2,3,9	予習	プリントのウィーン会議の部分をよく読んでおくこと。		1.5 時間
		復習	細谷雄一『国際秩序』中公新書の p.115-120,282 を読み、内容をノートにまとめること。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

4	講義内容	戦勝同盟国間の対立の典型的例であるウィーン会議について理解する。		
	該当する到達目標 2,4,7	予習	ウィーン会議参加国の価値観の共有についてプリントを利用して予習すること。	1.5 時間
		復習	『国際秩序』の p.121-124 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
5	講義内容	国際コミュニケーションにとって重要な価値観の共有の意味について理解する。		
	該当する到達目標 3,4,5	予習	プリントの価値観の共有の項を読んでおくこと。	1.5 時間
		復習	『国際秩序』の p.128-130 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
6	講義内容	ウィーン会議とは正反対に共通の価値観の欠如していた米ソ間の体制間対立について理解する。		
	該当する到達目標 2,3,4,5,8	予習	プリントの体制間対立の項を読んでおくこと。	1.5 時間
		復習	『国際秩序』の p.237-241 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
7	講義内容	米ソ間のイデオロギー対立について理解する。		
	該当する到達目標 3,5,7	予習	プリントのイデオロギー対立の項を読んでおくこと。	1.5 時間
		復習	『国際秩序』の p.237-241 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
8	講義内容	米ソ両国間の安全保障観の相違と戦争の性格の変化(DVD 画像による)について理解する。		
	該当する到達目標 6,7,8	予習	プリントの安全保障観の相違と戦争の性格の変化の項を読んでおくこと。	1.5 時間
		復習	DVD 画像を観ながらノートテイキングしたメモを参考にノートにまとめること。	1.5 時間
9	講義内容	冷戦の定義、それに基づく冷戦の起源と終焉について理解する。		
	該当する到達目標 2,6,7,8	予習	プリントの冷戦の定義とそれに基づく冷戦の起源と終焉についての項を読んでおくこと。	1.5 時間
		復習	永井陽之介『冷戦の起源』中央公論社の p.6-10 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
10	講義内容	世界を滅ぼすことも可能な究極の兵器である核の下の平和について理解する。		
	該当する到達目標 1,6,7,8	予習	究極の兵器がもたらした核の下の平和についての項を読んでおくこと。	1.5 時間
		復習	『国際秩序』の p.253-255 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
11	講義内容	冷戦の逆説である戦後の長い平和について理解する。		
	該当する到達目標 1,7,8,9	予習	プリントのガディスの逆説論についての項を読んでおくこと。	1.5 時間
		復習	『国際秩序』の p.256-260 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
12	講義内容	冷戦の終焉と終焉後の世界の不安定化の理由・要因について理解する。		
	該当する到達目標 2,7,9	予習	プリントの国際秩序維持勢力の喪失と国際秩序の喪失の項を読んでおくこと。	1.5 時間
		復習	『国際秩序』の p.281-285 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
13	講義内容	冷戦後初の戦争「湾岸戦争」の意義、テロ・民族対立・宗教対立、難民の大量発生を理解する。		
	該当する到達目標 6,7,10	予習	プリントの湾岸戦争、国際秩序なき時代についての項を読んでおくこと。	1.5 時間
		復習	『文明の衝突と 21 世紀の日本』集英社新書の P.21-36 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
14	講義内容	終戦、米国の対日占領政策、天皇制存置、SF 講和、憲法第 9 条、日米安保について理解する。		
	該当する到達目標 7,11,12	予習	プリントの終戦から SF 講和に至る項を読んでおくこと。	1.5 時間
		復習	小此木・赤木共編『冷戦期の国際政治』慶應義塾大学出版会の p.288-306 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
15	講義内容	「戦後」の克服の意味、今日の日本外交の課題について理解する。		
	該当する到達目標 1,10,13	予習	プリントの「戦後」の克服、国際貢献問題の項を読んでおく。	1.5 時間
		復習	講義中に配布する新聞の切り抜き記事を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
備考	配布プリントを中心に、教員の実体験を交えつつ講義を行います。また、試験を 3 回程度実施します。返却の際には、一人一人に文体、文の構成、意味の曖昧な表現、誤字脱字等について指導します。			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

「復習」に挙げられている本は、参考文献も兼ねています。随時利用して下さい。予習・復習の結果、不明な点、わからない点などありましたら質問して下さい。最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完して下さい。

オフィスパワーは、前期木曜日の昼休み、場所は非常勤講師控室です。随時来てください。講義の後に直接訊ねることも可です。

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	体育理論(教養基礎)			LAB011	講義
英文名	Physical Education : Theory				
担当教員	大家 千枝子				
科目に関連した実務経験	「元気に“動こう・歩こう”」実践リーダー養成講座の講師として、リーダー養成事業に従事している。 (群馬県保健予防課・2018 年度～)				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	現代社会における運動・スポーツの意義を理解し、生涯にわたり健康・体力づくりを実践するために必要な基礎知識を学ぶ。自らの健康・体力の現状を把握し、健康・体力づくりに適した身体活動について、その効果や実践方法を知り、実際の生活に活用する能力を養う。				
到達目標	1.現代社会における運動・スポーツの意義を理解し、具体的に述べることができる。 2.自身の健康・体力の状況とともにわが国の健康・体力の現状を把握し、問題点をあげることができる。■ 3.自主的・継続的に健康の保持増進を図るためのアイデアを探り、方法を創造することができる。■ 4.教養を広げるための課題に積極的に取り組み、履修者同士でコミュニケーションをとることができる。 5.人間が創造した運動(文化)の意味を考え、運動への認識を深めることができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業への取り組み実践点 30%、毎回のコメントシート 30%、レポート 40%				
課題に対するフィードバック	自分以外の履修者による課題(体力テストの結果など)や感想、評価を知ることが学生相互の刺激になるため、C-learning を使ってフィードバックする。				
使用教材	プリント適宜配布。参考文献適宜紹介。				
1	講義内容	ガイダンス、大学での学び・健康とは・上達の秘訣を考える			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。		0.5 時間
	1,2,5	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。		0.5 時間
2	講義内容	A 組:体力を知る(新体力テスト)・B 組:図書館利用術(図書館コラボ企画)			
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。配布された資料に目をとおす。		0.5 時間
	2,4	復習	C-learning に測定結果と必要事項を入力する。		0.5 時間
3	講義内容	A 組:図書館利用術(図書館コラボ企画)・B 組:体力を知る(新体力テスト)			
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。配布された資料に目をとおす。		0.5 時間
	2,4	復習	C-learning に測定結果と必要事項を入力する。		0.5 時間
4	講義内容	体力を評価する(体力とは)			
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。課題を仕上げる。		0.5 時間
	2,4	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。		0.5 時間
5	講義内容	運動・スポーツの実施状況、体力、体格、継続の仕組みづくり、問題解決のための作戦を立てる■			
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。		0.5 時間
	2,4	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。		0.5 時間
6	講義内容	健康づくり運動の基礎知識■			
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。		0.5 時間
	1,2	復習	今後どのように運動・スポーツを取り入れるか検討する。		0.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

7	講義内容	トレーニングの原理・原則		
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。	0.5 時間
	1,2	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
8	講義内容	体組成、体脂肪の測定方法、エネルギー消費量の算出方法、内臓脂肪について、まとめ		
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。フィットネスルームで体組成を測定しておく。	0.5 時間
	1,2	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
備考	【授業期間全体を通じた授業の進め方】講義中心だが、途中、自身の「体力を知る」ために体育館にて新体カテストを実施する。また新聞を活用した課題を設定しているため、図書館利用も予定している。最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 【オフィスアワー】火曜日 12:00～14:30、1 号館(健康福祉学部)、3 階 302 研究室、3 階エレベータ前にポスト有。 【担当教員メールアドレス】初回ガイダンスにて「メールの書き方」とともに伝える。 【受講上の注意】積極的に C-learning を活用するため、スマホ所有やネット環境が整っていることが望ましい。(※整っていない場合は大学 PC 室などを利用してください) ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	体育実技(教養基礎)			LAB012	演習
英文名	Physical Education : Sports & Physical Activities				
担当教員	大家 千枝子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	さまざまな運動・スポーツの実践をととして、体力の維持・向上をめざすとともに、運動・スポーツを楽しむ能力を身につける。また、運動・スポーツに関わる基礎知識を学び、健康的な生活を送るための自己管理能力を身につける。さらに、仲間や教員とのコミュニケーションを深める。				
到達目標	1.運動・スポーツの基礎知識、各スポーツ種目の歴史、ルール、マナーを理解し、説明することができる。 2.授業の性質やグループ内の個人の役割を意識し、自らコミュニケーションをとって意欲的に活発に動ける。 3.知識を実践に生かす健康保持増進のための自己管理能力を身につける。 4.技術の高低や得意・不得意にとらわれず、運動・スポーツそのものを楽しむ能力を身につける。 5.種目特性によって異なる身体感覚、健康・体力に興味・関心をもち、簡潔に記録できる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業ごとの取り組みの評価 65%、テスト 15%、毎回のコメント記録 20%				
課題に対するフィードバック	毎回の授業後に授業記録カードの提出を求める。また最終日には、授業で学んだことの整理・確認テスト・目標到達度の確認(ルーブリックにて自己評価)を行う。				
使用教材	プリント適宜配布。参考文献適宜紹介。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標 1,3	予習	シラバスを読んで講義目標などを理解する。要配慮の場合は事前に申し出る。		0.5 時間
		復習	到達目標、学位記授与方針、成績評価方法などを確認する。		0.5 時間
2	講義内容	筋トレ、ストレッチ			
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	体調を整えて授業に備える。		0.5 時間
		復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。		0.5 時間
3	講義内容	バレーボール（特有の体さばきの理解と気づき）			
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	体調を整えて授業に備える。バレーボールのルールを事前に理解しておく。		0.5 時間
		復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。		0.5 時間
4	講義内容	バレーボール（基本スキル習得とコミュニケーションスキルをあげる。ゲーム。）			
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	体調を整えて授業に備える。バレーボールのルールを事前に理解しておく。		0.5 時間
		復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。		0.5 時間
5	講義内容	テニス（基本スキルの習得・フォアとバックのフォームづくり）			
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	体調を整えて授業に備える。テニスのルールを事前に理解しておく。		0.5 時間
		復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。		0.5 時間
6	講義内容	テニス（基本スキルの習得・フォアハンドストロークとバックハンドストローク）			
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。テニスのルールを事前に理解しておく。		0.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。	0.5 時間
7	講義内容	テニス（ローカルルール採用のゲーム）		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。テニスのルールを事前に理解しておく。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。	0.5 時間
8	講義内容	フットサル（基本スキルの習得とコミュニケーションスキルをあげる・ゲーム）		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。フットサルのルールを事前に理解しておく。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。	0.5 時間
9	講義内容	フットサル（基本スキルの習得とコミュニケーションスキルをあげる・ゲーム）		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。冬の始まりで屋外の寒さに慣れる。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。	0.5 時間
10	講義内容	バスケットボール（基本スキルの習得・ボールハンドリング・ドリブル・シュート）		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。バスケットボールのルールを事前に理解しておく。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。	0.5 時間
11	講義内容	バスケットボール（基本スキルの習得・パス・シュート・オフェンス・ディフェンス）		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。バスケットボールのルールを事前に理解しておく。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。	0.5 時間
12	講義内容	バスケットボール（基本スキルの習得とコミュニケーションスキルをあげる・ゲーム）		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。バスケットボールのルールを事前に理解しておく。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。	0.5 時間
13	講義内容	バドミントン（基本スキルの習得・簡易ゲーム）		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。バドミントンのルールを事前に理解しておく。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。	0.5 時間
14	講義内容	バドミントン（簡易ゲーム）とフィットネス活動（フィットネスルーム体験）		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返る。体調を整えるように心がける。	0.5 時間
15	講義内容	まとめ、授業で学んだことの整理・確認テスト・目標到達度の確認。		
	該当する到達目標	予習	これまで授業で学んだこと、自身の授業態度を振り返る。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	目標達成度の確認。今後どのように運動・スポーツを継続できるか検討する。	0.5 時間
備考	【授業期間全体を通じた授業の進め方】授業開始時には整列し、出席をとる。準備・後片付けなどの授業運営は受講生の積極的な姿勢を期待する。技術の高低や得意不得意、好き嫌い、勝ち負けにとらわれず、自分の持っている技術力をいかして、スポーツそのものを楽しむ能力や積極的に体を動かすことが求められる。授業終了時には、振り返りとして授業記録カードの提出がある。 【オフィスアワー】火曜日 12:00～14:30、1 号館 3 階 302 研究室、3 階エレベータ前にポスト有。 【担当教員メールアドレス】初回ガイダンスにて「メールの書き方」とともに伝える。 【受講上の注意】 1 運動に適した服装（ジャージ、T シャツなど）とシューズ（屋内外別）を着用すること。 （※ジーンズ・普段着での受講は不可。スマホや時計、指輪、ブレスレット、ネックレス、ピアスなどは外しておく。） 2 原則として見学は認めない。配慮を必要とする学生は初回ガイダンス終了までに申し出るように。 3 貴重品は各自で管理すること。 4 授業で使用する用具は基本的に大学側で用意するが、個人所有のラケットなどがあれば持参を推奨する。 5 天候による施設変更がある。教務課掲示板やポータルサイトで確認すること。 6 フットサルコートの人造芝がとれやすく、靴下やウエアに付着することがある。			

科目名	キャリア形成論(教養基礎)			LAB013	講義
英文名	Career Development				
担当教員	小泉 英明				
科目に関連した実務経験	社員研修・人材育成・能力開発・キャリア開発のコンサルタント、トレーナーとして各企業・自治体で指導				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	社会の仕組みはもとより、経済、雇用など私たちを取り巻く環境は目まぐるしく変わり、仕事の質や内容が大きく変化しています。本講座では、大学生が社会(企業・組織)から求められている「能力」について理解を深め、社会ですぐに役立つ人材となることを目指します。授業では SGD(スモール・グループ・ディスカッション)を通じてお互いを高め合い、コミュニケーション能力・思考力・問題解決能力を醸成するとともに、様々なケーススタディによって社会・職場適応力を習得します。さらに、本学卒業後、社会人として適切なスタートを切ることができるよう、“自身”の強化プラン策定と目標管理を行いながら、将来のキャリア形成につながる基礎を固めます。				
到達目標	1.社会の出来事を理解し、社会に通用する就業観、勤労観を学ぶ。■ 2.自己の成長に向けて、自己を正しく理解するとともに、自己効力感を養う。 3.社会人基礎力を理解し、社会適応力を身につける。■ 4.読む・聞く・書く・話す力の基本を身につけ、コミュニケーション能力を高める。■ 5.論理を組み合わせる手法を学び、論理的思考力を高める。 6.アイデアの出し方を学び、創造的思考力を高める。 7.気づく力を身につけ、問題発見能力を高める。 8.問題解決のスキルと手法を学び、問題解決能力を高める。■ 9.自己変革のために必要な自身の問題点を探る。■ 10.自律型人材に向けての目標管理ができる。■ 11.社会における人間関係を学び、社会適応力を高める。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	最終レポート 60%、授業後の提出課題 30%、授業参加度・授業態度 10% それぞれの評価基準については初回授業で説明します。総合評価 60%以上を合格とします。				
課題に対するフィードバック	授業後の提出課題については、随時コメントをつけてフィードバックします。 最終レポートの後に、出題テーマの意図を掲示によって示します。				
使用教材	講義内容を随時プリントして配布します。				
1	講義内容	ガイダンス／キャリア形成に必要なこと			
	該当する到達目標	予習	新聞、テレビなどのニュースから、社会の出来事を理解して臨む		1.5 時間
	1	復習	社会が求めていること、キャリア形成に必要なコアコンピタンスを理解する。		1.5 時間
2	講義内容	先行きの予測が困難な時代／社会が求める人材■			
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 2 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。		1.5 時間
	1,3	復習	キャリア形成に必要な「社会人基礎力」について理解を深める。■		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

3	講義内容	自己の理解		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 3 回講義プリントを読む。自己理解シートに記入する。	1.5 時間
	2	復習	自己理解と、自己効力感を理解する。自分のパーソナリティを確認する。	1.5 時間
4	講義内容	コミュニケーション力■		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 4 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,4	復習	チェックシートによって自身のコミュニケーション力を客観的につかむ。	1.5 時間
5	講義内容	実践コミュニケーション力■		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 5 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,4	復習	ディスカッションを振り返り、自身のストロング・ウィークポイントを知る。	1.5 時間
6	講義内容	気づく力		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 6 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,7	復習	事例研究課題に取り組む。気づく力が問題解決の入り口であることを理解する。	1.5 時間
7	講義内容	考える力Ⅰ（ロジカルシンキング・クリティカルシンキング）		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 7 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,5	復習	事例研究によって論理的思考を理解する。（課題→第 9 回の BS で使用）	1.5 時間
8	講義内容	考える力Ⅱ（クリエイティブシンキング）		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 8 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,6,7,8	復習	事例研究によって創造的思考の重要性を理解する。アイデア発想演習。	1.5 時間
9	講義内容	創造力を伸ばす（BS 演習ほか）		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 9 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,6,7,8,9	復習	ブレインストーミングをはじめ、創造力を伸ばす技法の理解を深める。	1.5 時間
10	講義内容	問題解決能力Ⅰ（問題点を探る・WHY ツリー）■		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 10 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,7,8,9	復習	自身が抱える問題の「問題点」を WHY ツリーで探る。（課題→提出）	1.5 時間
11	講義内容	働く意味／「仕事力」と「就業力」		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 11 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	1,3	復習	「仕事観」「就業観」を理解し、レポートを書く。（課題→提出）	1.5 時間
12	講義内容	問題解決能力Ⅱ（問題解決の手法・HOW ツリー／目標設定・キャリアマニフェスト）■		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 12 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,8,9,10	復習	自身の課題を解決するため、目標設定と計画立案を行う。（課題→提出）	1.5 時間
13	講義内容	社会における人間関係		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 13 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,11	復習	人との接し方と、よりよい人間関係を築く方法を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	自己の確立（バリュープロポジション）■		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 14 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,10	復習	将来のキャリア形成に向けて、自己を確立することの重要性を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	ストレスマネジメント		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 15 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,11	復習	ストレス対処法を理解し、ストレスに対する耐性力に高める。	1.5 時間
備考	オフィスアワー：木曜日（12～17 時） 事前に配布するプリントをもとに予習して授業に臨んでください。配布プリントはファイリングし、毎回持参してくだ			

さい。授業は積み上げ方式で進めていくので、授業後は必ず復習してください。新聞やテレビなどのニュースには常に興味を持ち、社会の出来事を理解し授業に臨んでください。

〔健康福祉学部の学生に求められる基本的な資質〕

- ①人の役に立つという心構え
- ②生活者本位の視点
- ③コミュニケーション能力
- ④チームワーキングへの参画
- ⑤自己研鑽

■:実務経験に基づく内容を示す。

科目名	哲学(人間理解)				LAH001	講義
英文名	Philosophy					
担当教員	大石 桂子					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 前期		必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	「他者とどう関わっていけばよいか」「絶対に正しいことはあるのか」、「病気や“弱さ”にどう向き合うか」。普段は漠然と理解しているように感じることに、改めて疑問を持ち考えるのが哲学である。本講義では身近な題材をもとに医療・福祉・健康分野に関わる者として考えておきたいトピックを取り上げる。哲学者たちの議論や、統計からみえる社会情勢などを手引きとして、論理的に考えていくための基礎力を身につける。					
到達目標	1.人と人、人と社会の関係、平等性、自由と責任などについて、多様な視点から説明できる。 2.共生の意義や、弱者の排除が社会にもたらす影響を説明できる。 3.各テーマについて、自分の意見をもつことができる。 4.課題やグループワークを通して、自分の考えを他者に伝わりやすく表現できる。 5.自分と異なる他者の考えを受け止め、そこから新たな発見ができる。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理				
		専門的知識				
		問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力				
		コミュニケーション能力				
		自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法	定期試験(60%)，講義中に作成する課題(40%)に、参加態度を加えて総合的に評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。					
課題に対するフィードバック	提出された課題の内容にコメントを付けて、授業中に紹介する。					
使用教材	講義中にプリントを配布する。					
	講義内容	ガイダンス				
1	該当する到達目標 1	予習	シラバスの内容をよく読み、講義の目標や取り扱う内容を理解する。			1 時間
		復習	「哲学」の目標、学ぶ意義について理解する。			1 時間
	講義内容	自分と他者(1)「人に認められたい」のは本能?——ヘーゲル				
2	該当する到達目標 1,3	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間
		復習	ヘーゲルのいう「承認への欲求」を理解する。			1.5 時間
	講義内容	自分と他者(2)「本当の自分」とは何か——キルケゴール				
3	該当する到達目標 1,3	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間
		復習	キルケゴールの「大衆と実存」の違いを理解する。			1.5 時間
	講義内容	自分と他者(3) 人と人の関係性——ブーバー、サルトル				
4	該当する到達目標 1,3	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間
		復習	第 2 回から第 4 回までの内容を整理する。			1.5 時間
	講義内容	ディスカッション——これからの自分に大切なこと				
5	該当する到達目標 1,3,4,5	予習	第 2 回から第 4 回までの内容について、自分の考えをまとめる。			1 時間
		復習	自分にとって大切なことを改めて熟考し、課題を仕上げる。			1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

6	講義内容	平等と共生(1) 誰もが信じられる正しさはあるか——ロールズ		
	該当する到達目標 2,3	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	「機会の平等」と「結果の平等」を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	平等と共生(2) 環境は人の心にどう影響するのか		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	「無知のヴェール」について理解する。平等について課題を仕上げる。	2 時間
8	講義内容	自由・正しい自己決定のために——カント		
	該当する到達目標 1,3	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	「自律」の意義について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	心と身体(1) 「私」を形づくるのは心か身体か——ニーチェ		
	該当する到達目標 2,3	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	身体がものの見方や価値観に影響する例を考える。	1.5 時間
10	講義内容	心と身体(2) 人間の中心は脳なのか		
	該当する到達目標 2,3	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	脳死の問題について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	エンハンスメント(1) 変化する「病」の定義		
	該当する到達目標 2,3	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	エンハンスメントや「医療化」について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	エンハンスメント(2) 「弱さ」を否定する社会——ハーバーマス、サンデル		
	該当する到達目標 2,3	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	弱さを排除した場合の社会的影響について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	ディスカッション——医療技術と自己決定		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	個人の欲求でどこまで医療技術を利用してよいか、自分の考えをまとめる。	1 時間
		復習	エンハンスメントについての自分の考えをまとめる。	1.5 時間
14	講義内容	責任(1) 責任の範囲はどこまで？——アリストテレスほか		
	該当する到達目標 1,3	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	責任が問われる基準について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	責任(2) 「何もしなかった」ことに責任はあるのか——ヤスパース		
	該当する到達目標 1,3,4	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	講義中にあげた事例について、自分の考えを課題にまとめる。	1.5 時間
備考	配布プリントを中心に講義を行い、定期的に課題を提示し、学生同士が意見を交換する場を設けます。 本講義では知識の修得だけでなく、みずから考えることを重視するので、課題など積極的に取り組んで下さい。 予習・復習については試験前の学習で補完して下さい。 オフィスアワー:水曜日の 2 時限、金曜日の 2 時限。質問はメールでも受け付けます。 メールアドレス: oishi@takasaki-u.ac.jp 研究室: 1 号館 6 階 601			

科目名	倫理学(人間理解)				LAH002	講義
英文名	Ethics					
担当教員	出雲 春明					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位			
講義目標	現代の医療をめぐる問題をとりあげ、それぞれのトピックを通じて、倫理学の諸理論、人々の多様な価値観について学ぶ。					
到達目標	1.医療に関連する倫理的諸問題について正確な知識を習得し、 2.自分の考えを表現することができる。 3.また、自分と対立する考えについても理解を深める。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理				
		専門的知識				
		問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力				
		コミュニケーション能力				
		自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法	授業への参加とその態度(20%)、小テスト・期末レポート(80%)から評価する。					
課題に対するフィードバック	講義中、課題を出し、自分の考えをまとめて提出してもらう場合がある。有意義な意見に関しては講義中に紹介する。					
使用教材	講義中に資料を配布する。					
1	講義内容	ガイダンスー生命倫理学について				
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み講義の目的を理解する。			1 時間
	1	復習	生命倫理学の成立事情について、技術の発展と人間観の変化から理解する。			1.5 時間
2	講義内容	不妊治療(1)人工授精、体外受精				
	該当する到達目標	予習	人工授精の定義を確認し、書籍、報道から関連情報を取得しておく。			1 時間
	1,2,3	復習	人工授精の特徴とそこで生じる倫理的問題について理解する。			1.5 時間
3	講義内容	不妊治療(2)代理母出産をめぐる議論				
	該当する到達目標	予習	体外受精と人工授精の違い、代理母がなぜ求められるかを確認しておく。			1 時間
	1,2,3	復習	人工授精、体外受精、代理母の特徴とその倫理的問題について理解する。			1.5 時間
4	講義内容	遺伝子操作(1)ヒトゲノム計画がもたらす未来				
	該当する到達目標	予習	ヒトゲノム計画とは何かを調べておく。			1 時間
	1,2,3	復習	遺伝情報が現在社会においてどのように利用されようとしているか理解する。			1.5 時間
5	講義内容	遺伝子操作(2)遺伝子診断技術がもたらす未来				
	該当する到達目標	予習	遺伝子診断技術について調べておく。			1 時間
	1,2,3	復習	遺伝子診断技術がこれから社会に及ぼす変化を考えてみる。			1.5 時間
6	講義内容	人工妊娠中絶をめぐる問題				
	該当する到達目標	予習	日本における人工妊娠中絶の法的規定について調べておく。			1 時間
	1,2,3	復習	人工妊娠中絶をめぐる現在の状況、議論について理解する。			1.5 時間
7	講義内容	優生思想をめぐる問題				
	該当する到達目標	予習	優生思想とは何かを調べておく。			1 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3	復習	これまでの議論を優生思想の問題と関連させて振り返っておく。	1.5 時間
8	講義内容	インフォームド・コンセントと患者の権利		
	該当する到達目標	予習	インフォームド・コンセントが求められた歴史的なきっかけを調べておく。	1 時間
	1, 2	復習	患者を主役とする医療という考え方について確認しておく。	1.5 時間
9	講義内容	QOL の追求		
	該当する到達目標	予習	QOL とは何かを調べておく。	1 時間
	1,2,3	復習	様々な QOL のあり方について考えてみる。	1.5 時間
10	講義内容	告知をめぐる問題		
	該当する到達目標	予習	告知をめぐる現状について調べてみる。	1 時間
	1,2	復習	告知について自分ならどのような選択をするか考えてみる。	1.5 時間
11	講義内容	延命医療について		
	該当する到達目標	予習	延命医療について自分の考えをまとめてみる。	1 時間
	1,2,3	復習	延命と QOL を関連させて考えてみる。	1.5 時間
12	講義内容	安楽死について		
	該当する到達目標	予習	安楽死の区分について調べてみる。	1 時間
	1,2	復習	安楽死の区分について理解し、自分の意見をまとめてみる。	1.5 時間
13	講義内容	臓器移植(1) 生体臓器移植		
	該当する到達目標	予習	日本での生体臓器移植の位置づけについて調べてみる。	1 時間
	1,2,3	復習	生体臓器移植の特徴とその倫理的問題について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	臓器移植(2) 死後移植と臓器移植法改正		
	該当する到達目標	予習	日本における昨今の死後移植の位置づけについて調べてみる。	1 時間
	1,2,3	復習	改正臓器移植法について理解し、自分の意見をまとめてみる。	1.5 時間
15	講義内容	総括—福祉に携わる者として		
	該当する到達目標	予習	企業による不祥事の隠蔽事件について調べ、自分の考えをまとめてみる。	1 時間
	1,2,3	復習	資料に提示されたケースをもとに自らがいかに行動すべきか考える。	1.5 時間
備考	なるべく平易な表現を用いて講義を行う。講義前にシラバスを確認し、当該テーマについて自分がどのようなイメージを持っているのかについて、講義後はそれがどのように変わったのかについて確認しておくこと。配付された資料に基づいて必ず復習しておくこと。講義中、一つの問題をめぐる様々な、そしてしばしば対立する見解が示される。自分ならどの立場をとるか、対立する相手に対してどのように反論するか、常に考えながら講義に臨んでほしい。最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 参考文献: 加藤尚武『脳死・クローン・遺伝子治療—バイオ・エシックスの練習問題』、PHP 新書、1999 年。 小林亜津子『はじめて学ぶ生命倫理—「いのち」は誰が決めるのか』、筑摩書房、2011 年。 オフィスアワー: 質問などがある者は、授業の前後に教室および非常勤講師控え室で対応する。			

科目名	心理学(人間理解)			LAH003	講義
英文名	Psychology				
担当教員	角野 善司				
科目に関連した実務経験	カウンセラーとして臨床心理センターに勤務(経験)				
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	人間の心理的諸機能に関する理論・研究について学び、支援に必要な基礎的知識の習得を目指す。こころのしくみに関して心理的諸機能を概観し、心の発達や健康について理解したうえで、心理的支援の方法と実際を学ぶ。				
到達目標	1.心理学理論による人の理解とその技法の基礎について説明できる。 2.人の成長・発達と心理との関係について説明できる。■ 3.日常生活と心の健康との関係について説明できる。■ 4.心理的支援の方法と実際について説明できる。■				
学位授与方針	✓	豊かな人間性と職業倫理			
との対応		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	毎回の宿題 30%(復習課題 15%、予習課題 15%)、学期末テスト 70%(知識問題 50%、論述問題 20%)。宿題の得点が一定水準に達しなければ、学期末テストの得点に関わらず、単位を付与しない。				
課題に対するフィードバック	宿題は毎回授業時に、学期末テストは事後に講評解説の機会を設ける。				
使用教材	加藤伸司ほか「心理学理論と心理的支援[第2版]」ミネルヴァ書房 2014 年 2,800 円+税				
1	講義内容	こころのしくみの理解(1):心理学における主要な理論			
	該当する到達目標 1	予習	シラバスを読んで講義の目標などを理解する。教科書の該当箇所を精読する。		1.5 時間
		復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。		1.5 時間
2	講義内容	こころのしくみの理解(2):心と脳／情動・情緒			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。		1.5 時間
		復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。		1.5 時間
3	講義内容	こころのしくみの理解(3):欲求・動機づけと行動			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。		1.5 時間
		復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。		1.5 時間
4	講義内容	こころのしくみの理解(4):感覚・知覚・認知			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。		1.5 時間
		復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。		1.5 時間
5	講義内容	こころのしくみの理解(5):学習・記憶・思考／知能・創造性			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。		1.5 時間
		復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。		1.5 時間
6	講義内容	こころのしくみの理解(6):人格・性格／自己概念・自己実現			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
7	講義内容	こころのしくみの理解(7):集団		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
8	講義内容	こころのしくみの理解(8):適応／人と環境		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
9	講義内容	人の成長・発達と心理:発達の概念■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
10	講義内容	日常生活と心の健康:ストレスとストレッサ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	3	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
11	講義内容	心理的支援の方法と実際(1):心理検査の概要■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
12	講義内容	心理的支援の方法と実際(2):カウンセリングの概念と範囲■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
13	講義内容	心理的支援の方法と実際(3):カウンセリングとソーシャルワーク等の関連活動との関係■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
14	講義内容	心理的支援の方法と実際(4):心理療法の概要と実際■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの学習内容を振り返る。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
備考	・授業期間全体を通じた授業の進め方: 授業外学習の促進を意図して、毎回宿題として予習復習課題を課す。教科書の該当箇所に関する講義は、予習してあることを前提とするので、簡潔に進める。積極的に質問することを期待する。復習課題の解答解説は丁寧さを心掛ける。 ・宿題の提出は、C-learning による。 ・オフィスアワー: 決まり次第連絡します。 研究室: 8 号館 4 階 405 室 ・メールアドレス: zsumino@takasaki-u.ac.jp ・■: 実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		文学と人間(人間理解)			LAH004	講義
英文名		Literature and Humanity				
担当教員		斎藤 順二				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		現代人の基礎教養として、日本の名作文学を朗読 CD で味わうことで、文章表現による心のコミュニケーションを図ることができる。				
到達目標		1.視聴覚教材を活用して「文学と人間」への洞察を深めることができる。 2.歴史の諸相における人間と人間生活の理解に役立てることができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理				
	✓	専門的知識				
		問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力				
	✓	コミュニケーション能力				
		自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法		まとめのレポートを 100 点満点で採点(90%)し、それに授業参加度を加味(10%)して総合評価する。				
課題に対するフィードバック		共通課題「授業で学んだ近代文学の名作の中から、人間と人間生活の理解に役立つと思われる 10 作品を選び、それぞれ 80～90 字で論評しなさい」を採点し、その結果を講評する。				
使用教材		小田切進『日本の名作』(中央公論新社)定価(本体 720+税)				
1	講義内容	二葉亭四迷『浮雲』・森鷗外『舞姫』				
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。			1.5 時間
		1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		
2	講義内容	森鷗外『高瀬舟』・『雁』				
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。			1.5 時間
		1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		
3	講義内容	幸田露伴『五重塔』・樋口一葉『たけくらべ』				
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。			1.5 時間
		1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		
4	講義内容	尾崎紅葉『金色夜叉』・徳富蘆花『不如帰』				
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。			1.5 時間
		1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		
5	講義内容	泉鏡花『高野聖』・島崎藤村『破戒』『夜明け前』				
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。			1.5 時間
		1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		
6	講義内容	夏目漱石『坊っちゃん』『こころ』				
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。			1.5 時間
		1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		
7	講義内容	伊藤左千夫『野菊の墓』・田山花袋『田舎教師』				
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。			1.5 時間
		1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

8	講義内容	芥川龍之介『羅生門』『鼻』『地獄変』		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
		復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
9	講義内容	有島武郎『或る女』・武者小路実篤『友情』		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
		復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
10	講義内容	川端康成『伊豆の踊子』・小林多喜二『蟹工船』		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
		復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
11	講義内容	林芙美子『放浪記』・尾崎士郎『人生劇場』		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
		復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
12	講義内容	谷崎潤一郎『春琴抄』『細雪』		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
		復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
13	講義内容	志賀直哉『暗夜行路』・太宰治『人間失格』		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
		復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
14	講義内容	壺井栄『二十四の瞳』・井上靖『天平の甍』		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
		復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
15	講義内容	学習の整理と展望(まとめのレポート)		
	該当する到達目標 2	予習	これまでに学んだ近代文学の名作の中から 10 作品に絞り込む。	1.5 時間
		復習	知的好奇心から問題意識を持ち、さらに読書の幅を広げる。	1.5 時間
備考	授業では、朗読 CD を活用して日本文学作品の梗概を理解しながら、人物相関図の板書とテキストの読解を行う。これをきっかけにして、さらに各自が近代文学に興味関心を抱いて原作を読み、発展させた読書につなげることが望ましい。なお、質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。			

科目名	芸術論(共通教養科目、人間理解)			LAH005	講義
英文名	Theory of Art				
担当教員	石原 綱成、志尾 睦子				
科目に関連した実務経験	映画上映・宣伝・企画・製作、イベントプロデュース(志尾)				
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	芸術を学ぶことで、豊かな人間性と教養を身につける。また、あらゆるジャンルの芸術(絵画、等)を深く理解する。				
到達目標	1.視覚芸術の歴史を理解できる 2.芸術を人間の営為の総体として理解できる。 3.映像芸術を通して、映画の文化史的意義を理解できる。■ 4.様々な文化を理解することで、グローバルな教養が身につく				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	中間テストの筆記試験(50%)と期末試験のレポート提出(50%)を総合評価する。				
課題に対するフィードバック	講義形式をとるが、一方的な講義にならぬよう、受講生の意見、学習状況は逐一確かめる。				
使用教材	教科書は使用せず、逐次プリントを配布する。また、授業においてはパワーポイントを使用する。				
1	講義内容	ガイダンス(石原・志尾)			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を理解し授業の目標を理解する。		1.5 時間
	2	復習	授業内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法を確認する。		1.5 時間
2	講義内容	芸術とは何かー芸術のイメージの調査ー			
	該当する到達目標	予習	芸術における各自のイメージを箇条書きできるようにしておく。		1.5 時間
	1,2,4	復習	配布したプリントをもとに芸術のジャンルを理解する。		1.5 時間
3	講義内容	芸術史概説			
	該当する到達目標	予習	芸術史の流れを体系的に理解しておく。		1.5 時間
	1,2,4	復習	配布した資料を基に芸術史の歴史を理解する。		1.5 時間
4	講義内容	宗教芸術とは何か			
	該当する到達目標	予習	世界の主要な宗教の特色を理解する。		1.5 時間
	1,2,4	復習	配布した資料を基にキリスト教の教義を理解する。		1.5 時間
5	講義内容	キリスト教美術とシンボル			
	該当する到達目標	予習	シンボルの本質について理解する。		1.5 時間
	1,2,4	復習	キリスト教のシンボルの法則性を理解する。		1.5 時間
6	講義内容	ルネサンス美術ー古典古代の芸術ー			
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとに遠近法とは何かを理解する。		1.5 時間
	1,2,4	復習	遠近法と人間の「主体」への意識を考える。		1.5 時間
7	講義内容	ルネサンス美術ー図像解釈学と美術ー			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとにプラトンとアリストテレスの相違を理解する。	1.5 時間
	1,2,4	復習	アイデア論の違いが視覚芸術にいかに関与するかを理解する。	1.5 時間
8	講義内容	中間テスト		
	該当する到達目標	予習	今まで学んだ内容を理解しておく	1.5 時間
	1,2,4	復習	試験内容を自分なりに再考する	1.5 時間
9	講義内容	メディア芸術とは何か 映画芸術の入り口に立つ■		
	該当する到達目標	予習	メディア と称されるもののイメージを箇条書きできるようにしておく	1.5 時間
	2,3,4	復習	配布した資料をもとに映画の成り立ちを理解する	1.5 時間
10	講義内容	映画の誕生と変遷を辿る■		
	該当する到達目標	予習	映画の仕組みを理解する	1.5 時間
	2,3,4	復習	配布した資料をもとに映画史を体系的に理解する	1.5 時間
11	講義内容	映画の表現方法について学ぶ■		
	該当する到達目標	予習	様々な映像ジャンルを箇条書きできるようにしておく	1.5 時間
	2,3,4	復習	配布した資料をもとに表現方法の多様性を理解する	1.5 時間
12	講義内容	映画の構造を知る■		
	該当する到達目標	予習	映画を組み立てているものの役割を理解する	1.5 時間
	2,3,4	復習	映画が総合芸術であるという本質を理解する	1.5 時間
13	講義内容	演習 1: 見えるもの 見えないもの 映画が伝えることを意識する■		
	該当する到達目標	予習	映画を観てみる	1.5 時間
	2,3,4	復習	感想を自分なりの言葉にしてみる	1.5 時間
14	講義内容	演習 2: 演出とは何か■		
	該当する到達目標	予習	課題のシナリオを読み、イメージを組み立ててみる	1.5 時間
	2,3,4	復習	映像表現の可能性と奥深さを楽しむ	1.5 時間
15	講義内容	総論: 映画は時代を映す鏡である 映画で世界を知る■		
	該当する到達目標	予習	興味のある国について調べる	1.5 時間
	2,3,4	復習	映画が語る文化、時代性を考える	1.5 時間
備考	パワーポイントを使用した講義形式をとるが、一方的な講義にならぬよう、受講生の意見、学習状況を確認しながら進める。 石原オフィスアワー: 月曜日の 3 限、木曜日の 4 限、質問はメールで受け付ける。 石原メールアドレス: ishihara@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 5 階 501 志尾メールアドレス: m-shio@takasaki-cc.jp ■: 実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	ボランティア・市民活動論(人間理解)			LAH006	講義
英文名	Civil and Voluntary Activities				
担当教員	金井 敏				
科目に関連した実務経験	前職においてボランティア・市民活動支援センターの支援業務に従事していました。また、様々なボランティア活動実践者と交流があります。 現在、大学ボランティア・市民活動支援センター(VSC)でセンター長として VSC を運営しています。				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	ボランティア・市民活動は、手助けを求めている個人や団体に対して自主的に貢献する活動です。身近な地域や福祉、環境、情報、国際協力まで幅広く取り組まれ、今日の社会に不可欠な存在です。この講義では、具体的なボランティア・市民活動の考え方や実践方法を学び、学生が自ら実践する力を養成します。				
到達目標	1.ボランティア・市民活動の対象者のニーズを学び、ボランティア・市民活動の意義を説明できる。■ 2.ボランティア・市民活動の多様な実践例を学ぶことにより、活動の実際の展開を説明できる。■ 3.ボランティア・市民活動支援センターを活用して、自身の関心に即した活動に参加する。■ 4.参加したボランティア・市民活動の実践を振り返り、成果や課題、次のチャレンジについて考察できる。■				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	成績評価 ①学期末レポートによる評価(60%)。なお、追再試は実施しません。 ②ボランティア活動に参加して作成する実践レポートによる評価(20%)。 ③授業のリアクションペーパー(主にゲストスピーカーの 5 回)による評価(20%)。 その他の評価 ①授業開講数の 2/3 以上を出席することにより、成績の評価対象とします。 ②忌引きや実習、就職活動などによる欠席は、届け出(要添付書類)を提出すれば出席扱いとします。なお、15 分以上の遅刻は欠席とみなします。 ③ボランティア実践の時間(1 回当たり 4 時間×4 回＝16 時間相当)も本時の講義時間に含めます。				
課題に対するフィードバック	実践や授業内容などに関する質問や意見については、授業のなかで取りあげるなど随時、学生にフィードバックします。				
使用教材	各講義に即したオリジナル・レジメや関係資料は授業にて配布します。テキストは使用しません。参考文献は随時、紹介します。				
1	講義内容	ボランティア・市民活動～新しい世界への誘い■ ボランティア・市民活動支援センター(VSC)の活用方法、授業の進め方を確認する。			
	該当する到達目標 1,3	予習	シラバスの内容をよく読んで、現時点でのボランティアの理解を把握する。		1.5 時間
		復習	講義内容、学位授与方針、成績評価方法、VSC 利用方法などを確認する。		1.5 時間
2	講義内容	ボランティアの力を活かす仕組み～ボランティアセンターの役割■			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	自分の地元市町村のボランティアセンターの組織や活動内容を調べる。		1.5 時間
		復習	ボランティアセンターの活用方法を理解する。		1.5 時間
3	講義内容	子どもの明日と子育てをサポートするボランティア活動■			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	児童を対象としたボランティア活動を調べる。	1.5 時間
		復習	児童を対象としたボランティアの意義や活動上の注意事項などを理解する。	1.5 時間
4	該当する到達目標 1,2,3,4	被災地に届け、災害支援ボランティア活動■		
		予習	我が国における災害ボランティア活動について調べる。	1.5 時間
		復習	被災地におけるボランティア活動の内容や活動上の注意事項などを理解する。	1.5 時間
5	該当する到達目標 1,2,3,4	人々はどのようにボランティアに取り組んできたか～欧米と日本の歴史		
		予習	世界の国々でボランティア活動がどのように取り組まれているか調べる。	1.5 時間
		復習	欧米と日本のボランティア活動の歴史の違いや長所を理解する。	1.5 時間
6	該当する到達目標 1,2,3,4	障害者スポーツ・レクリエーションをサポートするボランティア活動■		
		予習	障害者を対象としたスポーツやレクリエーションについて調べる。	1.5 時間
		復習	障害者との接し方や支援の内容や方法を理解する。	1.5 時間
7	該当する到達目標 1,2,3,4	ボランティアと NPO～学生でも創れる NPO 法人■		
		予習	NPO 法人の概要について調べる。	1.5 時間
		復習	NPO 法人の活動内容や設立の要件、ボランティアとの違いなどを理解する。	1.5 時間
8	該当する到達目標 1,2,3,4	地域ささえあいのボランティア ～ふれあい・いきいきサロン～■		
		予習	地域で取り組まれているふれあい・いきいきサロンについて調べる。	1.5 時間
		復習	高齢者の介護予防や健康、子育て家庭を住民で支える活動について理解する。	1.5 時間
9	該当する到達目標 1,2,3,4	身近な動物とボランティアの良い関係		
		予習	動物を対象としたボランティア活動について調べる。	1.5 時間
		復習	動物に対するボランティア活動の実際や人間との共生について理解する。	1.5 時間
10	該当する到達目標 1,2,3,4	小中高校の福祉教育・ボランティア学習はこれでいいか■		
		予習	小中高校で取り組まれている福祉実践について調べる。	1.5 時間
		復習	小中高校における福祉教育のあり方や自身の関わり方について理解する。	1.5 時間
11	該当する到達目標 1,2,3,4	心と命をつなぐボランティア活動～いのちの電話の実践から考える■		
		予習	心の悩みや自殺予防に取り組むボランティア活動を調べる。	1.5 時間
		復習	いのちの電話の役割と学生でもできる活動について考察する。	1.5 時間
12	該当する到達目標 1,2,3,4	国際貢献・多文化共生とボランティア活動■		
		予習	海外で活躍するボランティア活動について調べる。	1.5 時間
		復習	国際貢献や多文化共生のボランティア活動のあり方を理解する。	1.5 時間
13	該当する到達目標 1,2,3,4	分かちあう寄付の文化で花咲く貢献社会～赤い羽根共同募金■		
		予習	赤い羽根共同募金の概要や寄付の実際について調べる。	1.5 時間
		復習	赤い羽根共同募金のあり方や寄付の文化とは何かを理解する。	1.5 時間
14	該当する到達目標 1,2,3,4	行政に協力するボランティア ～民生委員・児童委員の活躍～■		
		予習	行政に協力するボランティアについて調べる。	1.5 時間
		復習	民生委員・児童委員の活動を理解し、自分の地域の民生委員を確認する。	1.5 時間
15	該当する到達目標 1,3,4	まとめ～新しい支え合いと 20 年後の自分の生き方■		
		予習	さまざまなボランティア活動を通じて理解した人々の生活のしづらさや今後の課題について考える。	1.5 時間
		復習	ボランティア活動の講義と実際の実践活動を踏まえて、ボランティア活動のあり方や自身の将来の役割について考察する。	1.5 時間
備考	毎回の授業は、ボランティアに関する映像視聴、テーマに基づく講義、ゲストスピーカー講義(6 回予定)、ディスカッション、振り返り、次週の予定、という流れで進めます。			

オフィスアワー: 月曜日 12 時 15 分～13 時・水曜日 12 時 15 分～13 時で相談に応じます。

研究室: 1 号館 3 階 310 研究室。

質問・意見はメールでも対応します。

ボランティア・市民活動支援センター(VSC, 9 号館 1 階)を活用してください。活動を始める前には必ず, ボランティア活動保険に加入すること。そのほかボランティアの相談に何でも応じます。

VSC直通TEL: 027-352-1108, VSCメールアドレス: vsc@takasaki-u.ac.jp

■: 実務経験に基づく内容を示す。

科目名	人権論(人間理解)			LAH007	講義
英文名	Theory of Human Right				
担当教員	金井 洋行				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	人権の観念について、他の観念－人道、倫理、文化規範、宗教的信念、条理原則等－との比較を通して分析し、人間の本性(human nature)との関係を理解する。日本国憲法に規定する「国民の権利」の内容を知り、その効力にどのような制約や限界があるかについて認識する。身近な生活体験から感得した権利侵害や不条理の発生について、人権の観点から考察する姿勢を身につける。				
到達目標	1.人権について特にヨーロッパの歴史的発展を背景に人道等の他の価値観との比較で観念できる。 2.人権の様々な観念から憲法の人権規定の適用関係を認識できる。 3.個々の人権の性格を、内面的と外面的、精神的と経済的、消極的と積極的、等の区分で理解できる。 4.人権の擁護がどのような考え方と仕組みによって行われるのかについて、憲法規定を通して認識できる。 5.人権に関する主要な争点について裁判所、特に最高裁判所の考え方を整理できる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	・平常の授業に対する姿勢(15%)、中間テスト(25%)、期末の定期試験(60%) ・中間テストは概ね 3 回の知識テスト又は、定期試験は知識と思考力のテスト				
課題に対するフィードバック	重要テーマについてのレポートに対してコメントを配布する(テーマについては適宜指示)				
使用教材	テーマ別レジюме、基礎知識資料(テキストに代替するプリント) * テーマによって DVD の視聴あり				
1	講義内容	人権の観念と内容			
	該当する到達目標	予習	日本国憲法における基本的人権の項目の教科書等による再チェック		2 時間
	1	復習	予備知識アンケート		0.5 時間
2	講義内容	人権の享有主体と人権規定の適用関係			
	該当する到達目標	予習	配布レジюмеの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み		1 時間
	1,2	復習	レジюмеの考察項目の内容チェックとノート編集		1.5 時間
3	講義内容	人権の制約と限界			
	該当する到達目標	予習	配布レジюмеの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み		1 時間
	1,2,4	復習	レジюмеの考察項目の内容チェックとノート編集		1.5 時間
4	講義内容	幸福追求権の意義と具体化			
	該当する到達目標	予習	配布レジюмеの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み		1 時間
	1,2,4	復習	レジюмеの考察項目の内容チェックとノート編集		1.5 時間
5	講義内容	法の下での平等－平等権と平等原則－			
	該当する到達目標	予習	配布レジюмеの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み		1 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
6	講義内容	人間の内心の価値と保護		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	1,3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
7	講義内容	自由と自由主義		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	1,3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
8	講義内容	表現の自由とその抑制		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
9	講義内容	経済活動の自由と財産権		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
10	講義内容	人身の自由と刑事手続の保障		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
11	講義内容	政治活動の自由と参政権		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
12	講義内容	生存権の意義と福祉国家の諸権利		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
13	講義内容	教育を受ける権利と学習権		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
14	講義内容	人権の国際化		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
15	講義内容	人権の現状と今後の課題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	1,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
備考	講義内容はできうるかぎり予定通り進行させるが、期間内に国内的にあるいは国際的に大きな人権をめぐる事象があった場合には、その話題を飛び入りの割に割り込ませることはある。日常の身の回りに起こる権利侵害や条約違反に目を向け、人権擁護の観点から自分なりに考えておくことを期待する。最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 出講日の放課後等において、質問及び学習相談を受ける。			

科目名		人間関係論(人間理解)			LAH008	講義
英文名		Theory of Human Relations				
担当教員		富田 純喜				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		人間関係論といえば、ホーソン実験を基盤として体系化された理論を指すことが多い。また、社会科学における研究アプローチを指すこともある。本講義では、広く生活上の諸現象を人と人との関係から理解することを目的とする。				
到達目標		1.人間関係論の基礎的内容を理解している。 2.人間関係を多角的な視点から説明できる。 3.人間関係の構築に関する基礎的なアプローチを説明できる。				
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と職業倫理			
			専門的知識			
			問題発見・解決力			
			多様な社会・背景を理解し対応する能力			
			コミュニケーション能力			
			自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法		定期試験(70%)、授業参画度(30%)				
課題に対するフィードバック		試験前後に出題の意図等を説明する。				
使用教材		必要に応じて資料を配布する。				
1	講義内容	ガイダンス				
	該当する到達目標	予習	各回の授業内容を確認し、人間関係について考えてみる。			1 時間
	1	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。			1.5 時間
2	講義内容	ホーソン実験と人間関係論				
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1 時間
	1	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。			1.5 時間
3	講義内容	自己と他者				
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1 時間
	2	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。			1.5 時間
4	講義内容	身体の個別性と共同性				
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1 時間
	2	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。			1.5 時間
5	講義内容	発達と人間関係(1) 対人関係のはじまり				
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1 時間
	2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。			1.5 時間
6	講義内容	発達と人間関係(2) 親子関係				
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1 時間
	2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。			1.5 時間
7	講義内容	発達と人間関係(3) 甘えと自律(自立)				

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1 時間
	2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	個体能力論としての人間関係		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1 時間
	2	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	関係論としての人間関係(1) 個と個の関係		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1 時間
	2	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	関係論としての人間関係(2) 社会的関係		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1 時間
	2	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	人間関係におけるコミュニケーション能力		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1 時間
	2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	人とのかかわり方(1) 一人称アプローチ		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1 時間
	2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	人とのかかわり方(2) 二人称アプローチ		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1 時間
	2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	人とのかかわり方(3) 三人称アプローチ		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1 時間
	2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	現代社会における人間関係		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	2 時間
	2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
備考	授業は、主に講義形式でテーマの概要の説明を中心に進めるが、ワークやグループディスカッションを随時取り入れる。なお、授業内で扱える内容は限られているため、紹介する参考文献などを使って理解を深めること。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 質問等は授業中に行うことが望ましいが、授業開始前もしくは終了後にも教室で応じる。 オフィスアワー: (8 号館 4 階 406 研究室) メールアドレス: tomita-t@takasaki-u.ac.jp			

科目名	ジェンダー論(人間理解)			LAH009	講義
英文名	Gender Theory				
担当教員	前田 由美子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	人間の性とはどういう意味をもつのか。それによって形成されている秩序と、それゆえに起こるさまざまな葛藤を真摯にみつめ、性を制度設計に組み込む社会の問題を解き明かす。その上で、それらをどのように解決して行ったら良いのかを深く思索する。そうすることによってより豊かで包容力のある社会を創造する力を備え、行動する人になり、新しい自分や社会を発見することになるであろう。				
到達目標	1.自分自身の内部にある「性」のとらえ方を見つめ直す。 2.内面化している固定的な性のイメージや制度に対する固定観念に気づく。 3.他者や社会への豊かなまなざしを持てる。 4.豊かな社会創造への力を身につける。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	レポートを 4 日間それぞれに提出(1 日につき 25%相当)。合計で評価する。 総合評価 60%以上で合格とする。				
課題に対するフィードバック	レポートを返却し、コメント解説を行う。				
使用教材	授業用プリント、文献資料等を随時配布する。必要に応じてメディア教材を使用する。				
1	講義内容	講義全体の説明			
	該当する到達目標	予習	性別についての自分の考え方を見つめておく。	1 時間	
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価法などを確認する。	1.5 時間	
2	講義内容	ジェンダーと言う概念			
	該当する到達目標	予習	文献資料に目を通す。	1 時間	
		1	復習	ジェンダー概念について理解する。	1.5 時間
3	講義内容	生き物としての性とその多様性			
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間	
		1,2	復習	性の多様性を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	セクシュアリティ・性的指向			
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間	
		1,2,3	復習	セクシュアリティの多様性について理解する。	1.5 時間
5	講義内容	性役割と性規範			
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間	
		1,2	復習	身の回りの性役割や性規範について気づく。	1.5 時間
6	講義内容	ジェンダー・アイデンティティ			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 1,2,3	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
		復習	ジェンダー・アイデンティティについて理解する。	1.5 時間
7	講義内容 性別と経済			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
		復習	経済と性別のつながりを理解する。	1.5 時間
8	講義内容 女性と子ども			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
		復習	女性と子どものつながりへの偏重を理解する。	1.5 時間
9	講義内容 男性と子ども			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
		復習	男性と子どものつながりの困難を理解する。	1.5 時間
10	講義内容 労働と性別			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
		復習	労働と性別のつながりの問題を理解する。	1.5 時間
11	講義内容 労働と性別とそれぞれの暮らし			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
		復習	ワーク・ライフ・バランスを理解し、問題解決法を考える。	1.5 時間
12	講義内容 男性のかかえる問題			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
		復習	男性をとりまく問題を理解し、女性の問題との関連を考える。	1.5 時間
13	講義内容 セクシュアル・ハラスメント			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
		復習	問題の本質を理解する。	1.5 時間
14	講義内容 ドメスティック・バイオレンス			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
		復習	社会問題として理解する。	1.5 時間
15	講義内容 性別と社会の問題			
	該当する到達目標 3,4	予習	全ての文献のつながりを理解する。	1 時間
		復習	問題の確認と解決法を考える。	1.5 時間
備考	レジュメに基づき解説を行う。時にグループワークも行い、課題について考察を深める。集中講義なので、日ごとに短いレポートを作成提出してもらう。予習・復習については、予め配布される資料を読み込んで行い、最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 仕事の選択、恋愛、卒業後の人生設計において、この授業で学ぶ知識は大きな影響をもたらすはずである。自身のために、社会を創るために是非学んでほしい。 質問等は、授業中もしくは終了後に応じ解説する。			

科目名	共生の倫理(人間理解)			LAH010	講義
英文名	Ethics of Symbiosis				
担当教員	大石 桂子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	現代では多様な価値観・文化をもった人々が、性別や年齢、職業や病気・障がいの有無などを超えて「共生」することが求められている。差別や排除をのりこえ、共生を実現するためどのような取り組みができるのか、基礎的な理論と方法の知識を習得することを目指す。				
到達目標	1.現代社会での共生の意義について理解し、説明できる。 2.共生の歴史について理解し、説明できる。 3.共生を支える社会学、倫理学また教育や臨床的なアプローチを理解し、説明できる。 4.共生の具体的なあり方や事例について理解し、説明できる。 5.各テーマについて自分の考えをもつことができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験(60%)、講義中に作成する課題(40%)に、参加態度を加えて総合的に評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	提出課題の内容にコメントを添えて、講義中に紹介する。				
使用教材	講義中にプリントを配布する。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容に目を通し、到達目標などを確認する。		1 時間
		復習	講義の目的や学ぶ意義を理解する。		1.5 時間
2	講義内容	共生とは何か、共生に関わる社会意識			
	該当する到達目標	予習	共生の定義を調べる。		1.5 時間
		1	復習	なぜ共生が必要とされるのか理解する。	
3	講義内容	多文化社会と価値の多様化			
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。		1 時間
		1,5	復習	価値の多様化の社会的な影響について、事例を考え課題を作成する。	
4	講義内容	分断と隔離の歴史			
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。		1 時間
		2,5	復習	近代以降に障がい者などの隔離が進んだ背景を理解する。	
5	講義内容	優生思想			
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。		1 時間
		2,5	復習	20 世紀初頭～現在の優生思想について、問題点を理解する。	
6	講義内容	共生の歴史:ノーマライゼーションからエンパワーメントへ			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	ノーマライゼーションの定義を調べる。	1 時間
	2,4,5	復習	ノーマライゼーションの意義と、他の概念へ置き換わった背景を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	公共空間のユニバーサルデザイン		
	該当する到達目標	予習	ユニバーサルデザインの定義を調べる。	1 時間
	4,5	復習	ユニバーサルデザインの意義を理解し、身近な実例を考える。	1.5 時間
8	講義内容	共生をめざして(1) 社会学からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	世代間保障について理解し、課題を作成する。	2 時間
9	講義内容	共生をめざして(2) 倫理学からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	共感の道徳的な役割を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	共生をめざして(3) 教育学からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	学校教育での共生の取り組みを理解する。	1.5 時間
11	講義内容	共生をめざして(4) 非行臨床からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	矯正教育の意義と成果について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	共生をめざして(5) 認知症ケアの臨床からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	介護での QOL 向上やコミュニケーション改善の取り組みを理解する。	1.5 時間
13	講義内容	「排除型社会」がもたらすリスク		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,5	復習	価値多様化の時代の「自己」のあり方、共済、相互扶助の意義を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	事例研究: 多民族、多文化の共生		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	4,5	復習	講義の内容をふまえ、課題を作成する。	2 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでのノート・資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	共生の意義、方法について理解し、自分の考えをまとめる。	1.5 時間
備考	授業ではパワーポイントを用いる。定期的に資料に関する分析、考察する機会を設ける。 予習・復習については試験前の学習で補完すること。 オフィスアワー: 月曜日の 3 時限、金曜日の 2 時限。質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス: oishi@takasaki-u.ac.jp 研究室: 1 号館 6 階 601			

科目名	チーム医療アプローチ論(人間理解)				LAH011	講義
英文名	Team Approach to Health Care					
担当教員	大川 喜代美、原田 欣宏、竹内 真理、土井 信幸、小笠原 映子、鈴木 忠、篠原 智行、丸山 健一					
科目に関連した実務経験	竹内: 管理栄養士として国立病院機構に勤務(経験) 竹内: 管理栄養士(兼任)として高崎健康福祉大学附属クリニックに所属(現在)					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位			
講義目標	福祉・医療系の専門職育成を担う大学として、チーム医療を推進する上で各学科の学生が各専門職の役割活動を理解する。					
到達目標	1.チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性について理解できる。■ 2.各専門職の役割と活動について理解できる。■ 3.チーム医療における専門職の連携を促進するための課題について考察できる。■					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力				
	✓	コミュニケーション能力				
		自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法	授業参加への積極性 40%、レポート 60%					
課題に対するフィードバック	・他学科の学生が参加していることから講義中に双方向型講義を行い、学生の考えや意見を導入しながら講義を展開する。					
使用教材	講義のスライドを随時プリントして配布する。					
1	講義内容	チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性について				
	該当する到達目標	予習	チーム医療とはどのようなものなのか、学習する。			1.5 時間
	1	復習	21 世紀の医療では、なぜ多職種協働のチーム医療が必須であるか理解する。			1.5 時間
2	講義内容	チーム医療における看護師・保健師の役割と活動				
	該当する到達目標	予習	最近の多職種連携に関連する書籍、雑誌等を読んでおく			1.5 時間
	1,2,3	復習	看護師と多職種の役割との違い、連携について講義内容なら復習しておく。			1.5 時間
3	講義内容	チーム医療における理学療法士の役割と活動				
	該当する到達目標	予習	リハビリテーションチームを構成する各職種について調べる			1.5 時間
	1,2,3	復習	チームの中でその役割を果たすために、なすべきことを確認する			1.5 時間
4	講義内容	チーム医療における薬剤師の役割と活動				
	該当する到達目標	予習	チーム医療における薬剤師の役割と活動についてインターネット等の電子媒体を用いて調査する。			1 時間
	1,2,3	復習	講義受講後のレポート作成。チーム医療における薬剤師の役割について、地域包括ケアシステムの観点から整理すること			2 時間
5	講義内容	チーム医療における管理栄養士の役割と活動■				
	該当する到達目標	予習	事前に学習した他のコメディカルの役割と活動について復習し授業に臨む			1.5 時間
	1,2,3	復習	管理栄養士と他のコメディカルのチーム医療と、チーム内での役割や活動について考察する			1.5 時間
6	講義内容	チーム医療における社会福祉士の役割と活動				
	該当する到達目標	予習	①高齢化社会の現状を調べる ②地域医療の進展を調べる ③ 社会福祉専門			1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3		職の職場を調べる。	
		復習	疾患と障害の関連を理解し、地域で自立した生活支援に必要なチーム医療のあり方を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	チーム医療における保育士・幼稚園教諭・小学校教諭、特別支援学校教諭の役割と活動		
	該当する到達目標	予習	乳幼児期・学齢期に罹患しやすい病気の概要や主要な障害について予習をすること。	1.5 時間
	1,2,3	復習	保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・特別支援学校教諭と各種医療職との連携のあり方について復習をすること。	1.5 時間
8	講義内容	チーム医療における診療情報士の役割と活動		
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士と病院事務について調べてみる。	0.5 時間
	1,2,3	復習	診療情報管理士と病院事務について得た知識を整理する。	0.5 時間
備考	各講義では、テーマについて概要を説明する。授業はパワーポイントにより要点を提示する。 予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。 【キーワード】専門職、チーム医療、チームアプローチ、保育・教育機関・家庭・医療機関の連携 【オフィスアワー】 大川(情報): 月曜日 1-2 時限(1 号館 609 研究室)質問等 mail での受付可 okawa-ki@takasaki-u.ac.jp 原田(福祉): 火 2 限、金 3 限(1 号館 506 研究室) 竹内(栄養): 木 2-4 限(1 号館 308 研究室)質問等はメールでも受け付けます。mtakeuchi@takasaki-u.ac.jp 小笠原(看護): 月曜日 3 限(4 号館 505 研究室) 鈴木(理学): 月曜日 12:30~13:30、15:30~16:30(4 号館 2 階学部長室) 篠原(理学): 月曜日 5 限 . 随時メールで問い合わせを受けます。shinohara-t@takasaki-u.ac.jp 土井(薬学): 12:00~13:00(7 号館 319 研究室)doi-n@takasaki-u.ac.jp 丸山(子ども): 金曜 4 限(8 号館 408 研究室)k-maruyama@takasaki-u.ac.jp ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	国際医療事情(人間理解)			LAH012	講義
英文名	International Healthcare				
担当教員	クリストファー・ターン、町田 修三				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	学生の国際化促進とグローバル人材の養成を目的として設置された科目である。特に本学学生は医療系を専攻する者が多いため、海外の医療に関する様々な事項を経験的に学ぶことに重点を置いている。具体的な内容としては、海外諸国の健康・医療教育、健康・医療の実態、医療制度、病医院や医師・コメディカル等の供給体制、病医院や医療施設の世界比較等について学ぶ。国際化を促進するため、学生には英語で日本の文化や医療の説明をしたり、医療に関する基礎的なディスカッションをしたりすることを取り入れる。また本講義では、学生が実際に海外に赴き実体験として国際医療事情を見聞することを強く推奨する				
到達目標	1.諸外国の医療教育を理解し、日本との違いを説明できる 2.諸外国の医療の実態を理解し、日本との違いを説明できる 3.諸外国の医療制度を理解し、日本との違いを説明できる 4.諸外国の病医院について学び、日本との違いを説明できる 5.日本の医療教育や医療事情について、英語で解説ができる				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	最終レポート(50%)、提出物(20%)、発表、討論など授業参加度(30%) 海外研修参加者は、事前・事後研修および発表のパフォーマンス(30%)、研修レポート(30%)、研修中のパフォーマンス(40%)				
課題に対するフィードバック	レポートや提出物については、コメントを付して返却する。発表や討論等のパフォーマンスについては、その都度コメントやアドバイスを伝える				
使用教材	特に指定はない。各自自分のリサーチ目的に沿った文献、教材を探すこと				
1	講義内容	イントロダクション			
	該当する到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく		1 時間
		復習	自分の興味のある国の医療事情リサーチを開始する		1.5 時間
2	講義内容	医療の国際化とは			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく		1 時間
		復習	講義内容の復習、特に世界で進行中の医療の国際化についてしっかりと理解する		1.5 時間
3	講義内容	日本の医療教育、医療制度、医療事情（一部 AL 実施）			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく		1 時間
		復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ		1.5 時間
4	講義内容	日本の医療教育、医療制度、医療事情を英語で説明してみよう			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく		1 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	5	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
5	講義内容	先進国(アメリカ, イギリス, ドイツ)の医療教育		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
6	講義内容	先進国の医療事情 I (一部 AL 実施)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
7	講義内容	先進国の医療事情 II (一部 AL 実施)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
8	講義内容	先進国の病院		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
9	講義内容	その他の先進国(北欧, カナダ, オーストラリアなど)の医療事情 I (一部 AL 実施)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
10	講義内容	その他の先進国の医療事情 II (一部 AL 実施)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
11	講義内容	中進国(台湾, シンガポール, 中国など), 途上国(ベトナム, インドネシア, タイなど)の医療教育		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
12	講義内容	中進国, 途上国の医療事情 I (一部 AL 実施)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情発表準備	1.5 時間
13	講義内容	中進国, 途上国の医療事情 II (一部 AL 実施)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情発表準備	1.5 時間
14	講義内容	学生プレゼンテーション		
	該当する到達目標	予習	発表原稿とプレゼンテーションの準備	3 時間
	1,2,3,4,5	復習	学生プレゼンテーションの復習とコメント記入	1.5 時間
15	講義内容	学生プレゼンテーションとまとめ		
	該当する到達目標	予習	発表原稿とプレゼンテーションの準備	3 時間
	1,2,3,4,5	復習	学生プレゼンテーションの復習とコメント記入	1.5 時間
備考	海外研修に参加して、実際に海外の医療現場を経験することを強く勧める。その際、どのような視点を持ってリサーチするかを示唆と、見聞したことの要約法・分析法を教授する。リサーチ原稿の作成と発表までをもって 1 クールとする。 AL(アクティブラーニング)は、ペアワーク、グループワーク、ディスカッション、クローズドクエスチョン、オープンクエスチョンなど 最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 オフィスアワー: 月曜日 4 限目, 金曜日 2 限目 研究室: 1 号館 6 階 603 メールアドレス: machida@takasaki-u.ac.jp			

科目名	Introduction to Healthcare Sciences(人間理解)			LAH013	講義
英文名	Introduction to Healthcare Sciences				
担当教員	町田 修三、小澤 静司、クリストファー・ターン、長谷川 恵子、下川 哲昭、今井 純、大石 時子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	学生の国際化推進とグローバル人材の育成を目的に設置された講義科目であり、授業は原則英語で行う。日本では医療分野の国際化はまだ遅れているが、世界的には急速に拡大しつつある。本講義では、国際的な医療人養成のため、世界共通語である英語を用いて、医療に関する基礎的な事項を易しく解説していく。複数の教員がオムニバス形式で担当するが、学生の理解度を確認しながら平易な英語で解説するので、受講に際して特に高度な英語力は要求しない。英語による授業を学生がしっかりと理解し、医療コミュニケーション能力を高めることで、医療教育の国際化を先取りするような講義へと発展させることを目指す。				
到達目標	1.医療に関する基礎的な内容に関して、英語での説明を理解できる 2.理解した内容について、第三者に説明できる 3.医療に関するトピックに関して、英語での基礎的なプレゼンテーションやディスカッションができる 4.医療に関するトピックについて、外国の学生と話をすることができる				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	担当各教員による評価を総合して決定する。各教員は、毎回の授業参加度(20%程度)や講義終了時に課す提出物または小レポート(80%程度)により、それぞれの持ち点に応じて学生を評価する				
課題に対するフィードバック	提出物や小レポートには、コメントを付して返却する				
使用教材	各教員が作成した資料やデータを用いて講義する				
1	講義内容	Introduction of the course(町田)			
	該当する到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく		1 時間
	1	復習	講義内容の復習、特に専門用語(英語)を覚える		1 時間
2	講義内容	Medical globalization and Japan's healthcare system(町田)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通す。特に専門用語(英語)を予習しておく、授業に参加する準備をしておく		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解		1.5 時間
3	講義内容	Healthcare system of foreign countries(町田)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通す。特に専門用語(英語)を予習しておく、授業に参加する準備をしておく		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解		1.5 時間
4	講義内容	Introduction of social welfare system in Japan I(長谷川)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通す。特に専門用語(英語)を予習しておく、授業に参加する準備をしておく		1.5 時間
	1,2,3,4				

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
5	講義内容	Introduction of social welfare system in Japan II (長谷川)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
6	講義内容	Using Medline Plus to obtain medical information in English I (小澤)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
7	講義内容	Using Medline Plus to obtain medical information in English II (小澤)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
8	講義内容	Immunity and diseases I (今井)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
9	講義内容	Immunity and diseases II (今井)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
10	講義内容	Immunity and diseases III (今井)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
11	講義内容	Genes and cancer : basic understanding of the disease I (下川)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
12	講義内容	Genes and cancer : basic understanding of the disease II (下川)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
13	講義内容	Mental Health(ターン)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
14	講義内容	Mental health and social skills(ターン)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
15	講義内容	Summary and concluding remarks(ターン)		

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
備考	数人の教員がオムニバス形式で英語にて、学生の理解度を確認しながら講義を展開する。講義内容は学生の興味の持てそうな分野から、基礎的なものを選んでいる。学生の積極的な授業参加が求められる。 英語を使用する授業であるので、予習用に授業で用いる教材・資料・データ等をあらかじめ配布する。授業にはこれらの資料を十分に下調べしたうえで臨むことが特に重要である。最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 オフィスアワー(町田): 月曜日 4 限目、金曜日 2 限目 研究室: 1 号館 6 階 603			

科目名	囲碁の世界(人間理解)				LAH014	講義
英文名	Introduction to Igo					
担当教員	三谷 哲也					
科目に関連した実務経験	2002 年日本棋院に入段、現在七段として東京本院に所属。					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位			
講義目標	近年、囲碁は脳を活性化し考える力を養うということで注目されている。囲碁を学ぶことで「考える力」と「集中力」を磨き、「先を読む力」を身につける。また、日本の伝統文化である囲碁を体得することで、言葉と世代を超えたコミュニケーション力を身につけ、国際交流のコミュニケーション力を高める。					
到達目標	1.全く囲碁を知らない状態から囲碁の世界を知り、19 路盤で最後まで打てるようになる。■ 2.いくつかの パターンの 囲碁の心得を覚え、囲碁の考え方を身につける。■					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理				
		専門的知識				
		問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力				
	✓	コミュニケーション能力				
		自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法	毎回の授業貢献度、技術の習熟度を総合的に判断する(60%) 試験(20%)×2 回					
課題に対するフィードバック	試験後に解説を行う。					
使用教材	光文社新書「東大教養囲碁講座」					
1	講義内容	囲碁の歴史と基本ルール ■				
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 第 1 章 1～3 に目を通し講義の目的を理解する。			1.5 時間
		復習	囲碁の基本的なルールを理解する。			1.5 時間
2	講義内容	ルールの復習(1) ■				
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 第 2 章 1-1～1-3 に目を通し基本ルールを確認する。			1.5 時間
		復習	囲碁の 5 つの基本ルールを理解する。			1.5 時間
3	講義内容	ルールの復習(2) ■				
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 第 2 章 1-4～1-5 に目を通し基本ルールを確認する。			1.5 時間
		復習	打てない場所、打てる場所を理解する。			1.5 時間
4	講義内容	ルールの復習及び初歩技術(1) ■				
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 第 P97 に目を通し、囲碁の打ち方のポイントを確認する。			1.5 時間
		復習	基本的な 3 つの心得を理解する。			1.5 時間
5	講義内容	ルールの復習及び初歩技術(2) ■				
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 第 3 章 2 に目を通し、石の取り方を確認する。			1.5 時間
		復習	取れている石、シチョウを理解する。			1.5 時間
6	講義内容	問題演習 ■				
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第 2 章 1～2 に目を通し基本的な考え方を理解する。			1.5 時間
		復習	地の数え方、石のつながりを理解する。			1.5 時間
7	講義内容	技術の解説(1) ■				

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書 P188～199 に目を通し終盤の考え方を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	19 路盤の終盤の考え方を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	技術の解説(2) ■		
	該当する到達目標	予習	教科書 P173～188 に目を通し中盤の考え方を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	19 路盤の中盤の考え方を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	技術の解説(3) ■		
	該当する到達目標	予習	教科書 P158～172 に目を通し序盤の考え方を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	19 路盤の序盤の考え方を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	9 子局の解説・連基(対局) ■		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 5 章 1 に目を通し 9 子局の打ち方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	9 子局の打ち方を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	技術の解説(4) ■		
	該当する到達目標	予習	教科書 P207～220 に目を通し決め打ち碁のポイントを理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	隅の死活を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	技術の解説(5)とペア碁 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 4 章に目を通し、19 路盤の考え方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	19 路盤の中盤の打ち方を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	問題演習 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 2 章 4 に目を通し、石の追い方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	石の取り方、死活、終局の仕方を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	技術の解説(6) ■		
	該当する到達目標	予習	教科書 P259～267 に目を通し、総合的な石の取り方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	19 路盤の序盤～中盤の打ち方を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	連碁対局 まとめ ■		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 4 章～5 章に目を通し、これまで習ってきたことを確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	インターネットやスマートフォンで対局する。	1.5 時間
備考	授業内容全てが教員の実務経験と関連する。 授業は基本的に講義形式で打ち方の解説をした後、受講生同士で対局を行う。 囲碁の道具の片づけについても授業の一環である。スチューデントアシスタント(SA)の方がいても、積極的に片づけに関わること。 オフィスアワーは授業の前後 15 分ずつであるが、状況により次回の授業で対応となる場合がある。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	英語 I A(リテラシー)			LAL001	講義
英文名	English I A				
担当教員	柳澤 順一				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	大学生に必要とされる基礎的な英語運用能力のうち、とりわけリーディング・スキル獲得のための講義を行う。				
到達目標	1.大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2.一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3.リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業への参加度・平常点 50%(単語試験、提出物など)、定期試験 50%を総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	レポートは評価またはショートコメントを付した後返却する(学期末課題については返却しないことがある)。期末試験は採点后、得点を通知する(非常勤のため事務局経由での通知)。				
使用教材	Select Readings Pre-Intermediate, Linda Lee & Erik Gundersen, Oxford University Press (2011)				
1	講義内容	Introduction			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	特になし(語彙調べ)	1.5 時間	
		復習	基礎語彙力テストの復習、プリント問題の解法	1.5 時間	
2	講義内容	Chapter 1 Are You Getting Enough Sleep? (1)			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Pre-reading exercises	1.5 時間	
		復習	スラッシュ・リーディング練習 p.3	1.5 時間	
3	講義内容	Chapter 1 Are You Getting Enough Sleep? (2)			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	当該パラグラフの精読	1.5 時間	
		復習	スラッシュ・リーディング練習 p.4	1.5 時間	
4	講義内容	Chapter 1 Are You Getting Enough Sleep? (3)			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Post-reading exercises	1.5 時間	
		復習	Building vocabulary p.7	1.5 時間	
5	講義内容	Chapter 2 Mika's Homestay in London (1)			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Pre-reading exercises	1.5 時間	
		復習	スラッシュ・リーディング練習 p.13	1.5 時間	
6	講義内容	Chapter 2 Mika's Homestay in London (2)			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	当該パラグラフの精読	1.5 時間	
		復習	スラッシュ・リーディング練習 p.14	1.5 時間	
7	講義内容	Chapter 2 Mika's Homestay in London (3)			
	該当する到達目標	予習	Post-reading exercises	1.5 時間	

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3	復習	Building vocabulary p.17	1.5 時間
8	講義内容	Chapter 3 It's Not Always Black and White (1)		
	該当する到達目標	予習	Pre-reading exercises	1.5 時間
	1,2,3	復習	スラッシュ・リーディング練習 p.23	1.5 時間
9	講義内容	Chapter 3 It's Not Always Black and White (2)		
	該当する到達目標	予習	当該パラグラフの精読	1.5 時間
	1,2,3	復習	スラッシュ・リーディング練習 p.24	1.5 時間
10	講義内容	Chapter 3 It's Not Always Black and White (3)		
	該当する到達目標	予習	Post-reading exercises	1.5 時間
	1,2,3	復習	Building vocabulary p.27	1.5 時間
11	講義内容	Chapter 4 Helping Others (1)		
	該当する到達目標	予習	Pre-reading exercises	1.5 時間
	1,2,3	復習	スラッシュ・リーディング練習 p.33	1.5 時間
12	講義内容	Chapter 4 Helping Others (2)		
	該当する到達目標	予習	当該パラグラフの精読	1.5 時間
	1,2,3	復習	スラッシュ・リーディング練習 p.34	1.5 時間
13	講義内容	Chapter 4 Helping Others(3)		
	該当する到達目標	予習	Post-reading exercises	1.5 時間
	1,2,3	復習	Building vocabulary p.37	1.5 時間
14	講義内容	Chapter 5 Generation Z: Digital Natives(1)		
	該当する到達目標	予習	Pre-reading exercises	1.5 時間
	1,2,3	復習	スラッシュ・リーディング練習 p.43	1.5 時間
15	講義内容	Chapter 5 Generation Z: Digital Natives(2)		
	該当する到達目標	予習	当該パラグラフの精読	1.5 時間
	1,2,3	復習	スラッシュ・リーディング練習 p.44	1.5 時間
備考	授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。質問、疑問、意見等はその都度か講義後に発言すること。メールでも受け付ける。 メールアドレス：教室内にて提示する。			

科目名	英語 I B(リテラシー)				LAL001	講義
英文名	English I B					
担当教員	出雲 春明					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	必修・単位数	必修 1 単位			
講義目標	幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得するとともに、リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。					
到達目標	1.大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2.一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3.リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理				
		専門的知識				
		問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力				
		コミュニケーション能力				
		自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法	平常点 50%(授業への参加度、提出物、小テストなど)、定期試験 50%を総合的に評価する。					
課題に対するフィードバック	提出物や試験に関しては、添削・コメントを付した後返却する。					
使用教材	授業中に資料を配付する。					
1	講義内容	ガイダンス、料理に関する英語の表現				
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、予習復習の仕方や評価方法を確認しておくこと。			1.5 時間
	1	復習	配付された資料を読み、料理に関する英語表現を確認しておくこと。			1.5 時間
2	講義内容	Q1:What is “washoku”? 北米料理のレシピ				
	該当する到達目標	予習	配付された資料に目を通しておくこと。			1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。			1.5 時間
3	講義内容	Q2:What is a typical washoku meal like? 地中海料理のレシピ				
	該当する到達目標	予習	配付された資料に目を通しておくこと。			1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。			1.5 時間
4	講義内容	Q3:What is dashi stock? 中欧・東欧料理のレシピ				
	該当する到達目標	予習	配付された資料に目を通しておくこと。			1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。			1.5 時間
5	講義内容	Q4:What is “umami”? ラテンアメリカ・アジアのレシピ				
	該当する到達目標	予習	配付された資料に目を通しておくこと。			1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。			1.5 時間
6	講義内容	Q5:What is “shun”? ベジタリアン料理のレシピ				
	該当する到達目標	予習	配付された資料に目を通しておくこと。			1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。			1.5 時間
7	講義内容	Q6:What are the most frequently used Japanese seasoning? デザートのレシピ				

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 1,2,3	予習	配付された資料に目を通しておくこと。	1.5 時間
		復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。	1.5 時間
8	講義内容 Q7: What are “the five principles” of washoku? パーティ・スナックのレシピ			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	配付された資料に目を通しておくこと。	1.5 時間
		復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。	1.5 時間
9	講義内容 Q8: Tell me some basics about “kaiseki ryori”. 北米料理のレシピ			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	配付された資料に目を通しておくこと。	1.5 時間
		復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。	1.5 時間
10	講義内容 Q9: Any special meals for New Year’s Eve and New Year’s Day? 地中海料理のレシピ			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	配付された資料に目を通しておくこと。	1.5 時間
		復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。	1.5 時間
11	講義内容 Q10: What are “itadakimasu” and “gochisosama”? 中欧・東欧料理のレシピ			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	配付された資料に目を通しておくこと。	1.5 時間
		復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。	1.5 時間
12	講義内容 Q11: How should I use chopsticks? ラテンアメリカ・アジアのレシピ			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	配付された資料に目を通しておくこと。	1.5 時間
		復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。	1.5 時間
13	講義内容 Q12: Where should I put the lid of my soup bowl? ベジタリアン料理のレシピ			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	配付された資料に目を通しておくこと。	1.5 時間
		復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。	1.5 時間
14	講義内容 Q13: How should I sit in a “zashiki” room? デザートのレシピ			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	配付された資料に目を通しておくこと。	1.5 時間
		復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。	1.5 時間
15	講義内容 Q14: What is “oshibori”? パーティ・スナックのレシピ			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	配付された資料に目を通しておくこと。	1.5 時間
		復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。	1.5 時間
備考	「和食」に関するコラムと世界各国の料理レシピを見ていく。授業で用いる資料についてはあらかじめ複数の回数配布しておくので、最低限の予習として分からない単語の読みや意味を調べておくこと。辞書必携。 質問に関しては、授業の前後の時間、教室及び非常勤講師控え室で対応する。			

科目名	英語 I C(リテラシー)			LAL001	講義
英文名	English I C				
担当教員	松田 幸子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得するとともに、リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。				
到達目標	1.大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2.一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3.リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業参加度(10%)と小テスト／課題遂行度(30%)、試験(60%)から総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	試験・課題等は採点后返却する。				
使用教材	Anthony P. Newell, 山口高領, <i>Pleasure in Reading Aloud and Retelling</i> (金星堂)				
1	講義内容	イントロダクション			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んでくる	1.5 時間	
	1	復習	ワークシートに取り組む	1.5 時間	
2	講義内容	Unit1 There Is More than One Way to Be a Leader ①			
	該当する到達目標	予習	進出単語の確認と小テストの準備	1.5 時間	
	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む	1.5 時間	
3	講義内容	Unit1 There Is More than One Way to Be a Leader ②			
	該当する到達目標	予習	進出単語の確認と小テストの準備	1.5 時間	
	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む	1.5 時間	
4	講義内容	Unit2 A Cool Response to Food Waste ①			
	該当する到達目標	予習	進出単語の確認と小テストの準備	1.5 時間	
	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む	1.5 時間	
5	講義内容	Unit2 A Cool Response to Food Waste ①			
	該当する到達目標	予習	進出単語の確認と小テストの準備	1.5 時間	
	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む	1.5 時間	
6	講義内容	Unit3 Haiku—Having Fun with Words and Ideas ①			
	該当する到達目標	予習	進出単語の確認と小テストの準備	1.5 時間	
	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む	1.5 時間	
7	講義内容	Unit3 Haiku—Having Fun with Words and Ideas ②			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	進出単語の確認と小テストの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む	1.5 時間
8	講義内容	Unit4 Could Your Face Cost You Your Privacy? ①		
	該当する到達目標	予習	進出単語の確認と小テストの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む	1.5 時間
	講義内容	Unit4 Could Your Face Cost You Your Privacy? ②		
9	該当する到達目標	予習	進出単語の確認と小テストの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む	1.5 時間
	講義内容	Unit5 Russia's City of the East ①		
	該当する到達目標	予習	進出単語の確認と小テストの準備	1.5 時間
10	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む	1.5 時間
	講義内容	Unit5 Russia's City of the East ②		
	該当する到達目標	予習	進出単語の確認と小テストの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む	1.5 時間
11	講義内容	Unit6 The Healing Power of Music ①		
	該当する到達目標	予習	進出単語の確認と小テストの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む	1.5 時間
	講義内容	Unit6 The Healing Power of Music ②		
12	該当する到達目標	予習	進出単語の確認と小テストの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む	1.5 時間
	講義内容	Unit7 Looking at Life through the Eyes of a Cat ①		
	該当する到達目標	予習	進出単語の確認と小テストの準備	1.5 時間
13	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む	1.5 時間
	講義内容	Unit7 Looking at Life through the Eyes of a Cat ②		
	該当する到達目標	予習	進出単語の確認と小テストの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む	1.5 時間
14	講義内容	Unit7 Looking at Life through the Eyes of a Cat ③		
	該当する到達目標	予習	進出単語の確認と小テストの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む	1.5 時間
	講義内容	Unit7 Looking at Life through the Eyes of a Cat ④		
15	該当する到達目標	予習	進出単語の確認と小テストの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む	1.5 時間
	講義内容	Unit7 Looking at Life through the Eyes of a Cat ⑤		
	該当する到達目標	予習	進出単語の確認と小テストの準備	1.5 時間
16	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む	1.5 時間
	講義内容	Unit7 Looking at Life through the Eyes of a Cat ⑥		
	該当する到達目標	予習	進出単語の確認と小テストの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む	1.5 時間
備考	授業は、ワークシートを用いながら講義形式によって進め、映像資料等も用いることでよりよい英語学習につなげる。また毎回テキスト確認のための小テストを行う。 オフィスアワー: 水曜 3 限 研究室: 9 号館 304 号室 メールアドレス: matsuda-y@takasaki-u.ac.jp			

科目名	英語ⅡA(リテラシー)			LAL002	講義
英文名	EnglishⅡA				
担当教員	バートラム テリー(Terry Bertram)				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得するとともに、リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。				
到達目標	1.英語コミュニケーション能力と英文法 2.医療英単語を学ぶ 3.医療現場などにおいて活用できる、英語力を身に付ける。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業への参加態度 20%,小テスト 30%,定期試験 50%(中間テスト 20%,期末テスト 30%)				
課題に対するフィードバック	レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。				
使用教材	Oxford English for Careers – Nursing 1				
1	講義内容	Introductions, review course syllabus, general review & assessment			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで学習内容を確認しておく		1 時間
	1	復習	Role-playing scenarios の音読		0.5 時間
2	講義内容	Unit1 – Hospital Team			
	該当する到達目標	予習	Unit1 に目を通し、未知の単語の意味を調べる		1.5 時間
	1,2,3	復習	Unit1 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読		1.5 時間
3	講義内容	Unit1 – Hospital Team			
	該当する到達目標	予習	Unit1 に目を通し、未知の単語の意味を調べる		1.5 時間
	1,2,3	復習	Unit1 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読		1.5 時間
4	講義内容	Unit2 – In and Around the Hospital			
	該当する到達目標	予習	Unit2 に目を通し、未知の単語の意味を調べる		1.5 時間
	1,2,3	復習	Unit2 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読		1.5 時間
5	講義内容	Unit2 – In and Around the Hospital			
	該当する到達目標	予習	Unit2 に目を通し、未知の単語の意味を調べる		1.5 時間
	1,2,3	復習	Unit2 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読		1.5 時間
6	講義内容	Unit3 – Hospital Admissions			
	該当する到達目標	予習	Unit3 に目を通し、未知の単語の意味を調べる		1.5 時間
	1,2,3	復習	Unit3 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読		1.5 時間
7	講義内容	Unit3 – Hospital Admissions			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 1,2,3	予習	Unit3 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
		復習	試験対策 (Unit1-3)	1.5 時間
8	講義内容	MidTerm Exam		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	試験対策 (Unit1-3)	1.5 時間
		復習	テストで回答できなかったところを見直しておく。	0.5 時間
9	講義内容	Unit5 / 6 Pain & Symptoms		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Unit 5/6 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
		復習	Unit 5/6 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
10	講義内容	Unit5 / 6 – Pain & Symptoms		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Unit5 /6 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
		復習	Unit5 /6 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
11	講義内容	Unit5 / 6 – Pain & Symptoms		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Unit5 /6 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
		復習	Unit5 /6 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
12	講義内容	Unit7 – Caring for the Elderly		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Unit7 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
		復習	Unit7 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
13	講義内容	Unit8 – Nutrition		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Unit8 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
		復習	Unit8 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
14	講義内容	Unit8 – Nutrition		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Unit8 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
		復習	Unit8 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
15	講義内容	Final Exam Preparation		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	試験対策 (Unit1-8)	1 時間
		復習	テストで回答できなかったところを見直しておく。	0.5 時間
備考	授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。 質問はメールで受け付けます。 メールアドレス: tuhwbertram@gmail.com			

科目名	英語ⅡB(リテラシー)			LAL002	講義
英文名	EnglishⅡB				
担当教員	クリストファー・ターン				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	英語をコミュニケーションの道具としてとらえ、英語によるコミュニケーション能力基礎の確立を目指す。この目的のために、まずジェスチャーや one word English、one phrase English から始めて、便利かつ最低限必要な英語表現を繰り返し練習する。複雑な文法や語法を無視してこうした練習を繰り返すことで、気楽に感じたことをそのまま口に出すくせをつけさせたい。授業は主に教員が自ら用意した教材を用いて行うが、ゲーム、ペアワーク、写真、ビデオ、音楽等を多く利用して、学生が積極的に授業に参加できるような雰囲気をつくっていきたい。発表の機会が増えると思う。学生の習熟度に応じ、講義のレベルを調整していく。				
到達目標	1.英語によるコミュニケーション能力の基礎を確立する。 2.英語による口語表現に親しむ。 3.英語によるプレゼンテーションを行う。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	期末試験 50% 平常点 50%(授業への参加度、発言、発表課題など)の総合評価とする。				
課題に対するフィードバック	レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。				
使用教材	特に定めない。				
1	講義内容	イントロダクション:講義の解説・自己紹介			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで学習内容を確認しておく	1.5 時間	
		1,2	復習	口語表現の復習	1.5 時間
2	講義内容	自己紹介してみよう			
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間	
		1,2	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
3	講義内容	サバイバル・イングリッシュ① Where do I get the bus? 道案内等			
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間	
		1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
4	講義内容	サバイバル・イングリッシュ② Could you repeat that? 予約等			
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間	
		1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
5	講義内容	便利な one phrase English① How is your family?			
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間	
		1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
6	講義内容	便利な one phrase English② Where do you live?			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
7	講義内容	英語の話し方・意思の伝え方		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
8	講義内容	英語と日本語の違い		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
9	講義内容	外国について知ろう		
	該当する到達目標	予習	外国について調べてくる	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
10	講義内容	外国や日本について知ろう		
	該当する到達目標	予習	外国と日本の比較点をまとめる	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
11	講義内容	外国や日本について話そう		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
12	講義内容	英語だけで 1 時間過ごしてみよう(Q & A)		
	該当する到達目標	予習	質問内容を考えてくる	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
13	講義内容	英語だけで 1 時間過ごしてみよう(何かを説明する)		
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
14	講義内容	大学生活についてのスモール・トーク		
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
15	講義内容	英語でプレゼンテーションにチャレンジにしてみよう		
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションの準備	1.5 時間
	1,2,3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
備考	授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。 オフィスアワー：火曜日 3 限、金曜日 3 限 メールアドレス：tarn@takasaki-u.ac.jp 研究室：1 号館 3 階 315 研究室			

科目名	英語ⅡC(リテラシー)				LAL002	講義
英文名	EnglishⅡC					
担当教員	ジム・ヘイ					
科目に関連した実務経験英						
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位			
講義目標	大学生に必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキル獲得のための講義を行う。					
到達目標	1.英語の歌やゲームに親しみ、異文化に対する理解を深める。 2.基礎的な英語表現を理解する。 3.英語による日常的なコミュニケーション能力を獲得する。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理				
		専門的知識				
		問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力				
		コミュニケーション能力				
		自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法	授業参加度(10%)と小テスト／課題遂行度(30%)、試験(60%)から総合的に評価する。					
課題に対するフィードバック	レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。					
使用教材	特に定めない。					
1	講義内容	Introduction, rules, Greetings review				
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで学習内容を把握する			1.5 時間
	1,2	復習	新出単語・表現の復習			1.5 時間
2	講義内容	TV Reporter pair work unit1				
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備			1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			1.5 時間
3	講義内容	TV Reporter pair work unit2				
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備			1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			1.5 時間
4	講義内容	be 動詞				
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備			1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			1.5 時間
5	講義内容	Greetings unit1				
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備			1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			1.5 時間
6	講義内容	Greetings unit2				
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備			1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			1.5 時間
7	講義内容	He, She, It				
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備			1.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

8	講義内容	過去形		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
		復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
9	講義内容	Songs and Poems		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
		復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
10	講義内容	“My Town” Listening unit		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
		復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
11	講義内容	“ing” Form		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
		復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
12	講義内容	Body Parts Unit		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
		復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
13	講義内容	Body Parts Songs		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
		復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
14	講義内容	Opposite unit and Games		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
		復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
15	講義内容	“Words Game” Team Contest		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
		復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
備考	授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。質問、疑問、意見等はその都度か講義後に発言すること。			

科目名	英語ⅢA(リテラシー)			LAL003	講義
英文名	EnglishⅢA				
担当教員	嶋田 和成				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	平易な英語によって書かれた、厳選されたトピックを読むことで、現代社会についての議論を英文で理解するとともに、大学生に必須の語彙力を身につける。また、テキストにしたがって、簡単な問題を解きながら、自らの考えを英語で表現する方法についても学ぶ。				
到達目標	1.基本的な語彙を修得する。 2.大学生基礎レベル（CEFR Level B1）のリーディング・スキルを身につける。 3.基本的な英語表現力を身につける。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業への参加度、発表、課題（50%）、期末試験（50%）で総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	課題はコメントをつけて返却する。				
使用教材	J.C.Richards & S.Eckstut-Didier. (2012). <i>Strategic Reading 1</i> (2nd ed.). Cambridge University Press. 2,570 円				
1	講義内容	ガイダンス・Reading Strategies とは			
	該当する到達目標	予習	教科書のまえがき、シラバスの内容を読んで、授業の目標などを理解する。		1.5 時間
	1,2,3	復習	Warm-up 用の配布プリントの内容を理解する。		1.5 時間
2	講義内容	Culture (Thinking Beyond the Text)			
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。		1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。		1.5 時間
3	講義内容	Money (Identifying Main Ideas and Supporting Details)			
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。		1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。		1.5 時間
4	講義内容	Sports (Understanding the Order of Events)			
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。		1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。		1.5 時間
5	講義内容	Music (Distinguishing Fact from Opinion)			
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。		1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。		1.5 時間
6	講義内容	Animals (Recognizing Purpose)			
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。		1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

7	講義内容	Travel (Recognizing Point of View)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
		復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
8	講義内容	第 2 回～第 7 回のまとめ		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の指定された英文を再度読み、内容を要約する。	1.5 時間
		復習	教科書の英文の内容を使って、パラグラフ単位の英文を書く。	1.5 時間
9	講義内容	The Internet (Making Inferences)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
		復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
10	講義内容	Friends (Applying Information from the Text)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
		復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
11	講義内容	Gifts (Paraphrasing)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
		復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
12	講義内容	Emotions (Organizing Information into an Outline)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
		復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
13	講義内容	Food (Recognizing Cause and Effect)		
	該当する到達目標 1,2, 3	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
		復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
14	講義内容	Sleep and Dreams (Summarizing)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
		復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
15	講義内容	第 9 回～第 14 回のまとめ、復習		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の指定された英文を再度読み、内容を要約する。	1.5 時間
		復習	教科書の英文の内容を使って、パラグラフ単位の英文を書く。	1.5 時間
備考	オフィスアワー:木曜日 3 限、金曜日 5 限 メールアドレス:shimada-k@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 303 研究室 授業では、教科書を中心にして様々な教材を用いながら、英語によるコミュニケーション練習を行う。また、授業外学習においては、オンラインの授業支援システム CaLabo Bridge を使用する。			

科目名	英語ⅢB(リテラシー)			LAL003	講義
英文名	EnglishⅢB				
担当教員	高橋 栄作				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	本講義では、食事と食文化関連のテキストを読むことで、「現代の食をめぐる話題」と「英米の伝統的な食文化」に関する情報を英語で得る訓練を行う。また、テキスト中の英語表現や文法事項を習得することで、英文読解力と同時に、英語表現力の向上も目指す。				
到達目標	1.大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2.食・栄養学に関する英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3.リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	向上的変化 10%、平常点 40%(確認テスト、提出物、授業への参加度など)、定期試験 50%を総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	質問などはリアクションペーパーで確認する。 確認テスト・期末試験は採点后返却する。				
使用教材	須永紫乃生 (2010) <i>Food for Thought: Eating for Health and Happiness</i> 南雲堂, 1,700 円				
1	講義内容	Introduction、Warm-up Activity			
	該当する到達目標	予習	Unit1 の単語調べ	1.5 時間	
	1,2,3	復習	Warm-up Activity の内容理解	1.5 時間	
2	講義内容	Unit1 Counting Calories(1)			
	該当する到達目標	予習	Reading を読み質問に解答する。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間	
3	講義内容	Unit1 Counting Calories(2)			
	該当する到達目標	予習	指定された教材の単語と内容を確認する。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間	
4	講義内容	Recipe(1)			
	該当する到達目標	予習	指定された教材の単語と内容を確認する。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間	
5	講義内容	Recipe(2)			
	該当する到達目標	予習	Unit3 の単語調べ	1.5 時間	
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間	
6	講義内容	Unit3 As American as Apple Pie(1)			
	該当する到達目標	予習	Reading を読み質問に解答する。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間	

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

7	講義内容	Unit3 As American as Apple Pie(2)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Unit4 の単語調べ	1.5 時間
		復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
8	講義内容	Unit4 Use as Directed(1)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Reading を読み質問に解答する。	1.5 時間
		復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
9	講義内容	Unit4 Use as Directed(2)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	英語の音について疑問点を明らかにする。	1.5 時間
		復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
10	講義内容	英語の音について(1)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	指定された教材の内容を確認する。	1.5 時間
		復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
11	講義内容	英語の音について(2)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Unit5 の単語調べ	1.5 時間
		復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
12	講義内容	Unit5 The End of Home Cooking?(1)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Reading を読み質問に解答する。	1.5 時間
		復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
13	講義内容	Unit5 The End of Home Cooking?(2)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Unit7 の単語調べ	1.5 時間
		復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
14	講義内容	Unit7 Supplemental Health(1)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Reading を読み質問に解答する。	1.5 時間
		復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
15	講義内容	Unit7 Supplemental Health(2)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	期末試験のための学習	1.5 時間
		復習	15 回の授業を振り返る。	1.5 時間
備考	授業には辞書を必ず持参してください。授業は各回が連続しています。 授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れます。			

科目名	英語ⅢC(リテラシー)			LAL003	講義
英文名	EnglishⅢC				
担当教員	山田 HAY 美由紀				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	この講義では、本学の学生が社会に出て必要とされるコミュニケーション能力を英語のツールとして習得する。各自が自分の考えを持って英語で意見交換できる課題、コミュニケーションを必要とするグループ活動課題等を通し、日常英語の語彙、リスニング能力、英語表現力を身につける。				
到達目標	1.英語を使って自己の考えを表現することができる。 2.コミュニケーションに必要な英語表現を学び、日常的に実践できる。 3.協力して課題を解決していくことにより、互いの能力を認め合い、個人を尊重する姿勢を身につける。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	講義は実技中心のため、時間内のコミュニケーション状況(30%)、課題発表(50%)、講義への参加(20%)を評価する。個人課題は、内容を講義の始めに毎回評価する。ペア、グループ課題は講義内での実践中、各人の英語によるコミュニケーションの様子を評価する。コミュニケーションのためのキーフレーズを毎時紹介するので、記録して課題実践中に使うことが期待される。講義内外でのコミュニケーション(参加度)も評価の対象となる。自己評価用紙の記入は行うが、筆記試験による評価は行わない。講義に参加することが評価の対象になるので、欠席は 3 日を超えないよう留意すること。超える場合は要相談。				
課題に対するフィードバック	課題は、個人課題、ペア課題、グループ課題 1、グループ課題 2 の 4 種類。 講義内で個人、グループ、全体への口頭評価、課題発表後に口頭でフィードバックする。 また、グループ内で学生同士のフィードバックもある。				
使用教材	課題により印刷教材を配布する。				
1	講義内容	講義内容、出欠、評価の概要について理解する。個人活動。			
	該当する到達目標 1,2	予習	英語に触れる機会を増やすための個人課題を出すので、受講期間中続けること。		1.5 時間
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。		1.5 時間
2	講義内容	個人課題について発表し教員評価を受ける。簡単なグループ活動と発表。ペア活動の紹介と実践。			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	個人課題を続ける。		1.5 時間
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。		1.5 時間
3	講義内容	個人課題について発表し教員評価を受ける。ペア活動。グループ課題 1 の紹介。			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	評価を参考に個人課題を続ける。		1.5 時間
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。		1.5 時間
4	講義内容	個人課題についてペアで発表し合う。グループ課題 1 について理解する。			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	個人課題を修正しながら続けること。		1.5 時間
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

5	講義内容	個人課題についてペアで発表し合う。グループ課題 1 の実践。		
	該当する到達目標	予習	個人課題を修正しながら続ける。	1.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	1.5 時間
6	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 の実践。		
	該当する到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	1.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	1.5 時間
7	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 の実践。		
	該当する到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	1.5 時間
	1,2,3	復習	グループ課題 1 の発表に向けて個人練習すること。	1.5 時間
8	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 のリハーサル。		
	該当する到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	1.5 時間
	1,2,3	復習	グループ課題 1 の発表に向けて個人練習すること。	1.5 時間
9	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 の発表。		
	該当する到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	1.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	1.5 時間
10	講義内容	発表について教員から口頭評価。自己評価・講義に対する評価(印刷物配布)。グループ課題 2 の説明		
	該当する到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	1.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	1.5 時間
11	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 の内容構成。		
	該当する到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題の内容について必要事項を調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	1.5 時間
12	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 の内容構成。		
	該当する到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題の内容について必要事項を調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	1.5 時間
13	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 の練習。		
	該当する到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題 2 の練習をしておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	1.5 時間
14	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 のリハーサル。		
	該当する到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題 2 の練習をしておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	グループ課題 2 の練習をしておく。	1.5 時間
15	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題の発表。口頭で評価。自己評価・講義に対する評価の記入(印刷物配布)。		
	該当する到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題 2 の練習をしておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを機会に応じて使えるようにする。	1.5 時間
備考	・講義内で電子辞書またはスマートフォンによる辞書検索を行うので持参すること。それ以外の使用については学生として品位のある態度で取り扱うこと。 ・コミュニケーションのためのフレーズを毎回紹介するので、記録して講義中に使用すること。記録用媒体はノート、スマートフォンなど個人で選択する。 ・講義は学生の既習内容を考慮した上、英語で行う。質問、疑問、意見等はその都度か講義後に発言すること。質問や意見は、積極的な参加態度、自己表現として奨励する。グループ課題終了後、自己評価・講義に対する評価用紙に記入することもできる。			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	英語ⅣA(リテラシー)			LAL004	講義
英文名	EnglishⅣA				
担当教員	出雲 春明				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	本講義では、食事と食文化関連のテキストを読むことで、「現代の食をめぐる話題」と「英米の伝統的な食文化」に関する情報を英語で得る訓練を行う。また、テキスト中の英語表現や文法事項を習得することで、英文読解力と同時に、英語表現力の向上も目指す。				
到達目標	1.大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2.食・栄養学に関する英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3.リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	平常点 50%(授業への参加度、提出物、小テストなど)、定期試験 50%を総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	提出物や試験に関しては、添削・コメントを付した後返却する。				
使用教材	授業中に資料を配付する。				
	講義内容	ガイダンス、料理に関する英語の表現			
1	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、予習復習の仕方や評価方法を確認しておくこと。		1.5 時間
	1	復習	配付された資料を読み、料理に関する英語表現を確認しておくこと。		1.5 時間
	講義内容	Q1:What is “washoku”? 北米料理のレシピ			
2	該当する到達目標	予習	配付された資料に目を通しておくこと。		1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。		1.5 時間
	講義内容	Q2:What is a typical washoku meal like? 地中海料理のレシピ			
3	該当する到達目標	予習	配付された資料に目を通しておくこと。		1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。		1.5 時間
	講義内容	Q3:What is dashi stock? 中欧・東欧料理のレシピ			
4	該当する到達目標	予習	配付された資料に目を通しておくこと。		1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。		1.5 時間
	講義内容	Q4:What is “umami”? ラテンアメリカ・アジアのレシピ			
5	該当する到達目標	予習	配付された資料に目を通しておくこと。		1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。		1.5 時間
	講義内容	Q5:What is “shun”? ベジタリアン料理のレシピ			
6	該当する到達目標	予習	配付された資料に目を通しておくこと。		1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。		1.5 時間
	講義内容	Q6:What are the most frequently used Japanese seasoning? デザートのレシピ			
7	該当する到達目標	予習	配付された資料に目を通しておくこと。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3	復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。	1.5 時間
8	講義内容	Q7:What are “the five principles” of washoku? パーティ・スナックのレシピ		
	該当する到達目標	予習	配付された資料に目を通しておくこと。	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。	1.5 時間
9	講義内容	Q8:Tell me some basics about “kaiseki ryori”. 北米料理のレシピ		
	該当する到達目標	予習	配付された資料に目を通しておくこと。	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。	1.5 時間
10	講義内容	Q9:Any special meals for New Year’s Eve and New Year’s Day? 地中海料理のレシピ		
	該当する到達目標	予習	配付された資料に目を通しておくこと。	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。	1.5 時間
11	講義内容	Q10:What are “itadakimasu” and “gochisosama”? 中欧・東欧料理のレシピ		
	該当する到達目標	予習	配付された資料に目を通しておくこと。	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。	1.5 時間
12	講義内容	Q11:How should I use chopsticks?, ラテンアメリカ・アジアのレシピ		
	該当する到達目標	予習	配付された資料に目を通しておくこと。	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。	1.5 時間
13	講義内容	Q12:Where should I put the lid of my soup bowl? ベジタリアン料理のレシピ		
	該当する到達目標	予習	配付された資料に目を通しておくこと。	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。	1.5 時間
14	講義内容	Q13:How should I sit in a “zashiki” room? デザートのレシピ		
	該当する到達目標	予習	配付された資料に目を通しておくこと。	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。	1.5 時間
15	講義内容	Q14:What is “oshibori”? パーティ・スナックのレシピ		
	該当する到達目標	予習	配付された資料に目を通しておくこと。	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で触れた表現を確認し、実際に使ってみること。	1.5 時間
備考	「和食」に関するコラムと世界各国の料理レシピを見ていく。授業で用いる資料についてはあらかじめ複数の回数 配布しておくので、最低限の予習として分からない単語の読みや意味を調べておくこと。辞書必携。 質問に関しては、授業の前後の時間、教室及び非常勤講師控え室で対応する。			

科目名	英語ⅣB(リテラシー)				LAL004	講義
英文名	EnglishⅣB					
担当教員	飛田 ルミ					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位			
講義目標	本講義では、食事と食文化関連のテキストを読むことで、「現代の食をめぐる話題」と「英米の伝統的な食文化」に関する情報を英語で得る訓練を行う。また、テキスト中の英語表現や文法事項を習得することで、英文読解力と同時に、英語表現力の向上も目指す。					
到達目標	1.大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2.食・栄養学に関する英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3.リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理				
		専門的知識				
		問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力				
		コミュニケーション能力				
		自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法	平常点 50%(授業への参加度、単語試験、提出物など)、定期試験 50%を総合的に評価する。					
課題に対するフィードバック	プレゼンテーションなどの課題に対して評価シートを返却しフィードバックをする。 レポート、小テスト、期末試験は採点の後返却する。					
使用教材	Living Well, Eating Well ヘルシーライフをめざして Josh Norman ジョシュ・ノーマン他 朝日出版社、2016 年、1,700 円					
1	講義内容	講義概要の説明 Unit1 Why do people love sweets?				
	該当する到達目標	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする			1.5 時間
	1,2,3	復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す			1.5 時間
2	講義内容	Unit1 Why do people love sweets?				
	該当する到達目標	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする			1.5 時間
	1,2,3	復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す			1.5 時間
3	講義内容	Unit2 Do you have a “dessert stomach”?				
	該当する到達目標	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする			1.5 時間
	1,2,3	復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す			1.5 時間
4	講義内容	Unit3 Why is Japanese cuisine so popular				
	該当する到達目標	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする			1.5 時間
	1,2,3	復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す			1.5 時間
5	講義内容	Unit4 Did you enjoy your school meals?				
	該当する到達目標	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする			1.5 時間
	1,2,3	復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す			1.5 時間
6	講義内容	Unit5 Why do children dislike vegetables so much?				
	該当する到達目標	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする			1.5 時間
	1,2,3	復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す			1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

7	講義内容	Unit6 How do you wash your dishes and vegetables?		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする	1.5 時間
		復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す	1.5 時間
8	講義内容	Unit7 What a long way frozen food has come!		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする	1.5 時間
		復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す	1.5 時間
9	講義内容	Unit8 Where do you get your food?		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする	1.5 時間
		復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す	1.5 時間
10	講義内容	Unit9 Do you know the power of fermentation?		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする	1.5 時間
		復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す	1.5 時間
11	講義内容	Unit10 Do you take your medicine correctly?		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする	1.5 時間
		復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す	1.5 時間
12	講義内容	Unit11 Are you dieting the right way?		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする	1.5 時間
		復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す	1.5 時間
13	講義内容	Unit12 Is collagen really effective?		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする	1.5 時間
		復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す	1.5 時間
14	講義内容	Unit13 What is the water content?		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする	1.5 時間
		復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す	1.5 時間
15	講義内容	Unit14 What kind of tea would like?		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	Vocabulary を調べ Reading の解釈をする	1.5 時間
		復習	Reading の内容理解を深め練習問題を見直す	1.5 時間
備考	授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。質問、疑問、意見等はその都度か講義後に発言すること。			

科目名	英語IVC(リテラシー)			LAL004	講義
英文名	EnglishIVC				
担当教員	高橋 栄作				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	大学生に必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキル獲得のための講義を行う。				
到達目標	1.グローバル化する社会で必要とされる異文化理解を深め、国際感覚を身につける。 2.基礎的な日常実用英語表現を習得する。 3.これからの国際社会において必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキルを向上させる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	向外的変化 10%、平常点 40%(確認テスト、提出物、授業への参加度など)、定期試験 50%を総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	質問などはリアクションペーパーで確認する。 確認テスト・期末試験は採点后返却する。				
使用教材	津久井良充・高橋栄作・高木亜希子編著, <i>Internet English</i> 三訂版 (2012) Yumi Press, 2,052 円				
1	講義内容	Introduction、Warm-up Activity			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間	
		復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間	
2	講義内容	Unit1 Search Engine			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間	
		復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間	
3	講義内容	Unit3 Online English			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間	
		復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間	
4	講義内容	Unit3 Online English			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間	
		復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間	
5	講義内容	Unit4 Cooking			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間	
		復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間	
6	講義内容	Unit4 Cooking			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間	
		復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間	
7	講義内容	Unit6 Weather			
	該当する到達目標	予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間	

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
8	講義内容	Unit6 Weather		
	該当する到達目標	予習	英語の音について疑問点を明らかにする。	1.5 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
9	講義内容	英語の音について		
	該当する到達目標	予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
10	講義内容	Unit7 Music		
	該当する到達目標	予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
11	講義内容	Unit8 Art		
	該当する到達目標	予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
12	講義内容	Unit9 Famous People		
	該当する到達目標	予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
13	講義内容	Unit10 Movies		
	該当する到達目標	予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
14	講義内容	Unit11 News		
	該当する到達目標	予習	指定された Web サイトへアクセスし課題を行う。e-Learning 教材で学修する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1.5 時間
15	講義内容	Unit12 Science		
	該当する到達目標	予習	期末試験のための学習	1.5 時間
	1,2,3	復習	15 回の授業を振り返る。	1.5 時間
備考	授業には辞書を必ず持参してください。授業は各回が連続しています。e-Learning 教材を積極的に使用してください。授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れます。質問、疑問、意見等はその都度か講義後に発言すること。			

科目名	Integrated English I (リテラシー)			LAL005	演習
英文名	Integrated English I				
担当教員	クリストファー・ターン				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	本講義では、海外英語研修参加希望者を対象とする。英語による日常英会話レベルのコミュニケーション能力を獲得することを講義目標とする。				
到達目標	1.コミュニケーションの基礎知識を学ぶ 2.海外での様々な場面を想定した英会話の練習をする 3.プレゼンテーションの実践練習を行う また、海外英語研修にむけた事前準備や説明も行う。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業内パフォーマンス 90%、提出物 10%				
課題に対するフィードバック	レポートにコメントをつけて返却する。個人面接を行う。				
使用教材	開講時に指示する。				
1	講義内容	What is communication?			
	該当する到達目標	予習	なし	0 時間	
	1	復習	授業内容についての要約を書く。		1.5 時間
2	講義内容	Cognitive Psychology: Get to know yourself			
	該当する到達目標	予習	自分自身について書く。	1.5 時間	
	1	復習	自分のインターナルコミュニケーションスキルについて書く。		1.5 時間
3	講義内容	Social skills.			
	該当する到達目標	予習	社会心理学について事前調べを行う。	1.5 時間	
	1	復習	改善すべき自分の社会的スキルについて書く。		1.5 時間
4	講義内容	The power of imagination and innovation			
	該当する到達目標	予習	行きたい国、行きたい理由をあげる。	1.5 時間	
	2	復習	その国について調べる。		1.5 時間
5	講義内容	learning to control a conversation			
	該当する到達目標	予習	言葉が理解できない状況でどのようなコミュニケーションが有効かを考える。	1.5 時間	
	2	復習	ホストファミリーとの会話例を考える。		1.5 時間
6	講義内容	Listening strategies			
	該当する到達目標	予習	訪問国の英語発音について調べる。	1.5 時間	
	2	復習	訪問国の短編映画やアニメを見る。		1.5 時間
7	講義内容	Basic English: Self introduction and first steps for communication in English			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 3	予習	自己紹介文を書く。	1.5 時間
		復習	自己紹介文を仕上げる。	1.5 時間
8	講義内容	Create your own English database		
	該当する到達目標 3	予習	ノートの準備をする。	1.5 時間
		復習	English Database を作成する。	1.5 時間
9	講義内容	Meet a foreigner		
	該当する到達目標 2	予習	外国人ゲストとの会話を考える。	1.5 時間
		復習	外国人ゲストとの会話から、スピーキングの課題を見つける。	1.5 時間
10	講義内容	Speech basics: Talking to an audience		
	該当する到達目標 3	予習	相手に伝わるプレゼンテーションについて調べる。	1.5 時間
		復習	大学紹介についてのパワーポイントプレゼンテーションを作成する。	1.5 時間
11	講義内容	Presentation 1(power point)		
	該当する到達目標 3	予習	自分の学科(専門)についてのプレゼンテーションを準備する。	1.5 時間
		復習	プレゼンテーションの直しと仕上げをする。	1.5 時間
12	講義内容	Presentation 2(power point)		
	該当する到達目標 3	予習	テーマーについてプレゼンテーションの準備をする。	1.5 時間
		復習	プレゼンテーションの直しと仕上げをする。	1.5 時間
13	講義内容	Make your own textbook 1		
	該当する到達目標 2	予習	海外研修・ホームステイを想定し自分自身のテキストブックを作成する。	1.5 時間
		復習	海外研修・ホームステイを想定し自分自身のテキストブックを作成する。	1.5 時間
14	講義内容	Do group work to improve your textbook		
	該当する到達目標 2	予習	グループ毎に各自のテキストブックについて話し合い改善する	1.5 時間
		復習	想定した研修やホームステイについてレポートを書く。	1.5 時間
15	講義内容	Conclusion		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	1～14 回の授業の復習をする	1.5 時間
		復習	全講義を通して学んだことについてレポートを書く。	1.5 時間
備考	本講義は、海外英語研修参加希望者を対象とする。 教員より、コミュニケーションを取る必要がある様々な場面設定が提示される。受講生はその対応を考え、実践演習を行う。その後課題を分析し、再度実践演習を行う。また、学生生活で学んだ英語をまとめてノートを作成する。 予習復習時間については各自補完すること。 オフィスアワー: 火曜日 3 限、金曜日 3 限			

科目名	Integrated English II (リテラシー)			LAL006	講義
英文名	Integrated English II				
担当教員	嶋田 和成				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	選択 1 単位		
講義目標	基本文法事項を整理しながら、TOEIC テスト受験に必要なとされる基礎的な英語力養成を主眼とする。そのため授業では、TOEIC テスト形式の問題演習を中心に据えて、英語の基礎力を主にリスニングとリーディングの面から強化する。また、語彙を増やすことにも重点を置く。				
到達目標	1.TOEIC テストの形式と内容を理解できる。 2.語彙力が身につく。 3.文法事項を理解できる。 4.リスニング力が身につく。 5.リーディング力が身につく。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業への参加度、発表、課題(40%)、期末試験(60%)で評価する。				
課題に対するフィードバック	課題の解説をする。				
使用教材	妻鳥千鶴子他.(2016). <i>First Time Trainer for the TOEIC® Test</i> . 東京:センゲージラーニング.2,000 円				
1	講義内容	ガイダンス・TOEIC テストとは			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する。		1 時間
		復習	講義内容を理解し、TOEIC テストの概要と学習法を確認する。		1.5 時間
2	講義内容	Unit1:Shopping			
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	Unit1 の語彙の意味を調べる。		1 時間
		復習	Unit1 の練習問題の内容を理解する。		1.5 時間
3	講義内容	Unit2:Daily Life			
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	Unit 2 の語彙の意味を調べる。		1 時間
		復習	Unit 2 の練習問題の内容を理解する。		1.5 時間
4	講義内容	Unit3:Transportation			
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	Unit3 の語彙の意味を調べる。		1 時間
		復習	Unit3 の練習問題の内容を理解する。		1.5 時間
5	講義内容	Unit4:Jobs			
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	Unit4 の語彙の意味を調べる。		1 時間
		復習	Unit4 の練習問題の内容を理解する。		1.5 時間
6	講義内容	Unit5:Meals			
	該当する到達目標	予習	Unit 5 の語彙の意味を調べる。		1 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	2,3,4,5	復習	Unit 5 の練習問題の内容を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	Unit6:Communication		
	該当する到達目標	予習	Unit6 の語彙の意味を調べる。	1 時間
	2,3,4,5	復習	Unit6 の練習問題の内容を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	Units1-6 のまとめ		
	該当する到達目標	予習	指定されたリスニング・リーディングの問題を解く。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	解説を聞いて理解し、間違えたところを確認する。	1.5 時間
9	講義内容	Unit7:Fun		
	該当する到達目標	予習	Unit 7 の語彙の意味を調べる。	1 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 7 の練習問題の内容を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	Unit8:Office Work		
	該当する到達目標	予習	Unit8 の語彙の意味を調べる。	1 時間
	2,3,4,5	復習	Unit8 の練習問題の内容を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	Unit9:Meeting		
	該当する到達目標	予習	Unit9 の語彙の意味を調べる。	1 時間
	2,3,4,5	復習	Unit9 の練習問題の内容を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	Unit10:Travel		
	該当する到達目標	予習	Unit10 の語彙の意味を調べる。	1 時間
	2,3,4,5	復習	Unit10 の練習問題の内容を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	Unit11:Finance		
	該当する到達目標	予習	Unit11 の語彙の意味を調べる。	1 時間
	2,3,4,5	復習	Unit11 の練習問題の内容を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	Unit12:Business		
	該当する到達目標	予習	Unit12 の語彙の意味を調べる。	1 時間
	2,3,4,5	復習	Unit12 の練習問題の内容を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	Units7-12 のまとめ		
	該当する到達目標	予習	指定されたリスニング・リーディングの問題を解く。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	解説を聞いて理解し、間違えたところを確認する。	1.5 時間
備考	授業は、教科書を使って TOEIC テスト形式の模擬問題演習と受講生同士によるコミュニケーション活動の形で進める。最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 オフィスアワー:木曜日 3 限、金曜日 5 限 メールアドレス:shimada-k@takasaki-u.ac.jp 研究室:9 号館 303 研究室			

科目名	ドイツ語(リテラシー)			LAL007	講義
英文名	German				
担当教員	出雲 春明				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	初習者がドイツ語に親しみ、講義終了後も学習を持続していくための足がかりを築く。				
到達目標	1.ドイツ語を正確に発音し、聞き取ることができる。 2.初級文法を用いて基本的な会話をを行い、読み書きすることができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業への参加とその態度(20%)、小テスト・期末テスト(80%)で評価する。				
課題に対するフィードバック	授業の進行に応じて、練習問題を課し、採点して返却する。				
使用教材	羽根田知子・熊谷知実『ネコと学ぶドイツ語』、三修社(¥2,400)。なお、必要に応じて別途資料を配付する。				
1	講義内容	ガイダンス―日常のなかのドイツ語と、ドイツ語のアルファベット―			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み講義内容を理解する。テキスト Lektion1 に目を通しておく。		1 時間
	1	復習	アルファベットの読みを声に出して練習する。		1.5 時間
2	講義内容	Lektion1 母音の発音、ドイツ語の挨拶(1)			
	該当する到達目標	予習	テキスト(p.1,8)を読み、付属の CD の対応する箇所を聞いておくこと。		1 時間
	1	復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。		1.5 時間
3	講義内容	Lektion1 子音の発音(1)、ドイツ語の挨拶(2)			
	該当する到達目標	予習	テキスト(p.1-2, 8)を読み、付属の CD を聞いておくこと。		1 時間
	1	復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。		1.5 時間
4	講義内容	Lektion1 子音の発音(2)、ドイツ語の数字(1)			
	該当する到達目標	予習	テキスト(p.2,14)を読み、付属の CD を聞いておくこと。		1 時間
	1	復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。		1.5 時間
5	講義内容	Lektion1 特殊な発音、ドイツ語の数字(2)			
	該当する到達目標	予習	テキスト(p.1-2,8)の対応箇所、配付資料を読み、付属の CD を聞いておくこと。		1 時間
	1	復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。		1.5 時間
6	講義内容	Lektion2 一般動詞の特徴とその人称変化(1)、ドイツ語の時刻表現			
	該当する到達目標	予習	テキスト(p.4-5,14)を読み、付属の CD を聞いておくこと。		1 時間
	1,2	復習	テキスト(p.4) を用いて人称変化の練習をしておくこと。		1.5 時間
7	講義内容	Lektion2 ドイツ語の一般動詞の特徴とその人称変化(2)			
	該当する到達目標	予習	テキスト(p.5-6)を読み、付属の CD を聞いておくこと。		1 時間
	1,2	復習	テキストに出てくる動詞を用いて人称変化の練習をしておくこと。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

8	講義内容	Lektion2 ドイツ語の平叙文、疑問文、否定文、命令文(1)		
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト(p.4-6)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
		復習	テキストに出てくる語句を用いて、ドイツ語での作文を練習しておくこと。	1.5 時間
9	講義内容	Lektion2 ドイツ語の平叙文、疑問文、否定文、命令文(2)、ドイツ語での自己紹介		
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト(p.7)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
		復習	作文の練習だけでなく、CD の音声を参照しながら、正しい発音が確認しておく。	1.5 時間
10	講義内容	Lektion3 sein 動詞の特徴とその人称変化(1)		
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト(p.9-10,12)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
		復習	sein 動詞の変化を確認しておくこと。	1.5 時間
11	講義内容	Lektion3 sein 動詞の特徴とその人称変化(2)		
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト(p.9,13)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
		復習	sein 動詞の使い方をテキストの語句を用いて練習しておくこと。	1.5 時間
12	講義内容	Lektion3 haben の特徴とその人称変化(1)		
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト(p.9,11)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
		復習	haben の変化を確認、練習しておくこと。	1.5 時間
13	講義内容	Lektion3 haben の特徴とその人称変化(2)		
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト(p.9,13)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
		復習	haben の使い方をテキストの語句を用いて練習しておくこと。	1.5 時間
14	講義内容	Lektion4 ドイツ語の名詞には性別がある(1)		
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト(p.15-16)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
		復習	ドイツ語の名詞には男性、女性、中性名詞の区別があることを理解すること。	1.5 時間
15	講義内容	Lektion4 ドイツ語の名詞には性別がある(2)		
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト(p.16-17)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
		復習	それぞれの名詞の性別について確認しておく。	1.5 時間
備考	ドイツ語でのコミュニケーションに最低限必要な文法や挨拶などの定型表現と一緒に練習していく。記述よりも実際に口に出して発音することを重視する。予習としてはシラバスを参考にテキストの該当部分に目を通しておくこと。余裕があれば単語の意味を調べておくこと。語学は積み重ねが大切なので一つ一つの事項をきちんと復習しておくこと。特に、発音に関してはテキスト付属の CD を用いて確認し、おろそかにしないこと。最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 オフィスアワー: 質問などがある者は、授業の前後、非常勤講師控え室で対応する。			

科目名		フランス語(リテラシー)			LAL008	講義
英文名		French				
担当教員		ロワイエ・アンヌ＝ソフィー				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		フランス語に興味を持ってもらう				
到達目標		1.基本の読み書きができる 2.級文法を用いて基本的な会話を行い、フランス語検定 5 級合格レベルに到達する				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理				
		専門的知識				
		問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力				
		コミュニケーション能力				
		自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法		筆記試験 80%、宿題 20%				
課題に対するフィードバック		宿題を返却する。				
使用教材		「ゼロからは始める書き込み式フランス語 BOOK」成美堂出版				
1	講義内容	アルファベットとつづり字記号、発音				
	該当する到達目標	予習	テキストやシラバスを読んでおく			1.5 時間
	1	復習	テキストを読んできく			1.5 時間
2	講義内容	リエゾンとアンシュヌマン				
	該当する到達目標	予習	テキストの単語を辞書で女性名詞か男性名詞か調べてくる			1.5 時間
	1	復習	テキストを読んできく、宿題を出すのでやってくる			1.5 時間
3	講義内容	名詞(性)と冠詞、数字				
	該当する到達目標	予習	テキスト上のそれぞれの名詞に対して、冠詞を書いてくる			1.5 時間
	1	復習	宿題を出すのでやってくる			1.5 時間
4	講義内容	母音の発音				
	該当する到達目標	予習	テキストを読んできく、テキスト付属の CD を聴いてくる			1.5 時間
	1	復習	発音練習をしきく			1.5 時間
5	講義内容	子音の発音				
	該当する到達目標	予習	テキストを読んできく、テキスト付属の CD を聴いてくる			1.5 時間
	1	復習	発音練習をしきく			1.5 時間
6	講義内容	あいさつ表現				
	該当する到達目標	予習	テキストを読んできく、テキスト付属の CD を聴いてくる			1.5 時間
	2	復習	発音練習をしきく			1.5 時間
7	講義内容	依頼の表現				
	該当する到達目標	予習	自分の依頼表現を使う場面を考えてくる			1.5 時間
	2	復習	発音練習をしきく			1.5 時間
8	講義内容	Be 動詞(être)				

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる	1.5 時間
	2	復習	宿題を出すのでやってくる	1.5 時間
9	講義内容	Have(avoir)動詞		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる	1.5 時間
	2	復習	全員の自己紹介文を覚えてくる。練習をしてくる	1.5 時間
10	講義内容	第 1 群規則動詞(-er 動詞)		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる	1.5 時間
	2	復習	自分の好きなものと嫌いなものをフランス語で書いてくる	1.5 時間
11	講義内容	否定文		
	該当する到達目標	予習	第 8～10 回授業の復習をしてくる	1.5 時間
	2	復習	自分で否定文を作成し、書いてくる。発音練習をする	1.5 時間
12	講義内容	時刻・年齢の表現		
	該当する到達目標	予習	第 3 回授業の復習をしてくる	1.5 時間
	2	復習	時刻をフランス語で書いてくる	1.5 時間
13	講義内容	第 2 群規則動詞(-ir 動詞)		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる	1.5 時間
	2	復習	自分のスケジュールをフランス語でかいてくる	1.5 時間
14	講義内容	形容詞①		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる	1.5 時間
	2	復習	宿題を出すのでやってくる	1.5 時間
15	講義内容	形容詞②		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる	1.5 時間
	2	復習	第 1～15 回授業の復習をする	1.5 時間
備考	教科書の内容を中心に進める。コミュニケーションを目的にした授業のため、フランス語を用いた会話を随時取り入れる。必ず復習すること。質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。			

科目名	ポルトガル語(リテラシー)			LAL009	講義
英文名	Portuguese				
担当教員	伊勢島 セリア明美				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	ポルトガル語の基礎文法を習得することを目標とします。 又、ポルトガル語圏文化を紹介したいと思います。				
到達目標	1.初歩レベルの日常会話 2.多文化に触れる				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	小テスト(50%) 及びミニ会話の発表(50%)で 100%評価。 総合評価 60%以上を合格とします。				
課題に対するフィードバック	会話の発表前に内容を確認し、必要に応じて補足の説明を行います。				
使用教材	Boa sorte! - Português para conversação -				
1	講義内容	ガイダンス、アルファベット、発音、挨拶の表現			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する。		1 時間
	1	復習	文字と発音を確認する。		1.5 時間
2	講義内容	自己紹介ができる			
	該当する到達目標	予習	動詞 ser の活用形を覚える。		1 時間
	1	復習	挨拶と自己紹介ができるようにする。		1.5 時間
3	講義内容	好きなものを伝える			
	該当する到達目標	予習	動詞 gostar の活用形を覚える。色の名前を覚える。		1.5 時間
	1,2	復習	自分の好みを表現できるようにする。		1 時間
4	講義内容	家族の紹介			
	該当する到達目標	予習	規則動詞の活用形を覚える。		1.5 時間
	1	復習	家族の紹介とそれぞれの職業が言えるようにする。		1 時間
5	講義内容	予定を伝える			
	該当する到達目標	予習	動詞 ir の活用形を覚える。		1 時間
	1,2	復習	週末などの予定を言えるようにする。		1.5 時間
6	講義内容	今おこなっていることを伝える			
	該当する到達目標	予習	天気の状態を確認する。		1 時間
	1,2	復習	動詞 estar の活用形を覚える。現在進行形を確認する。		1.5 時間
7	講義内容	過去の行動を伝える			
	該当する到達目標	予習	規則動詞の完了過去の活用形を覚える。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2	復習	過去の行動や出来事を言えるようにする。	1 時間
8	講義内容	過去の習慣の表現		
	該当する到達目標	予習	規則動詞の未完了過去の活用形を覚える。	1.5 時間
	1	復習	「どこ」、「誰と」などの疑問詞が使えるようにする。	1 時間
9	講義内容	条件や婉曲の表現		
	該当する到達目標	予習	接続法未来の活用形を覚える。	1.5 時間
	1,2	復習	「もし～」、「～時」などを用いた表現ができるようにする。	1 時間
10	講義内容	「～してください」など、指示の丁寧な表現		
	該当する到達目標	予習	接続法現在の活用形を覚える。	1.5 時間
	1,2	復習	接続法現在の不規則動詞の活用形を確認する。	1 時間
11	講義内容	願望や要求の表現		
	該当する到達目標	予習	動詞 querer の活用形、及び目的代名詞を覚える。	1.5 時間
	1	復習	願望を表現できるようにする。	1 時間
12	講義内容	許可を得るの表現		
	該当する到達目標	予習	動詞 poder 活用形、及び数字を覚える。	1.5 時間
	1	復習	「～できます」、「～してもいいですか？」などの表現ができるようにする。	1 時間
13	講義内容	依頼の表現		
	該当する到達目標	予習	過去未来の活用形を覚える。	1.5 時間
	1,2	復習	敬称、丁寧な表現を確認する。	1 時間
14	講義内容	比較の表現		
	該当する到達目標	予習	＜形容詞＞、＜動詞＞、＜名詞＞を使用した比較表現の語順を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	比較表現を通して、相手の好みを確認できるようにする。	1 時間
15	講義内容	別れの挨拶や感謝の表現、小テスト		
	該当する到達目標	予習	感謝の表現、及びお別れの挨拶を覚える。	1.5 時間
	1	復習	小テストの解答例を確認する。	1 時間
備考	【授業の進め方】 テキストに沿って、文法事項を確認しながら、練習問題に答えて頂きます。 授業の後半は口頭練習を行い、最後にモデル会話を発表して頂きます。 【メッセージ】 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 第 2 又は第 3 外国語を話す楽しさを味わって頂ければ嬉しく思います。 【オフィスアワー】 授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。 【参考文献】 初級 ブラジル ポルトガル語 深沢暁著 東洋書店			

科目名	中国語(リテラシー)			LAL010	講義
英文名	Chinese				
担当教員	渡邊 賢				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	中国語を学ぶ上で不可欠である発音とその表記と、また最も基礎的な語彙と構文とを身に付け、簡単なコミュニケーションができる語学力の養成を目指す。同時に中国文化の全般に関する興味を喚起したい。				
到達目標	1.中国の地理、風俗および言語とその多様性を理解する。 2.中国語音を表記する音声記号を習得する。 3.中国語音を表記する音声記号を正確に発音する能力を育成する。 4.中国語音を聞いて、弁別する聴力を育成する。 5.日常会話に不自由しない程度の語彙と語法とを習得する。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	毎回の小試験 20%、発音中間試験 30%、学期末筆記試験 50%により評価する。 総合評価 60%以上を合格とみなす。				
課題に対するフィードバック	毎回の小試験は採点の上、返却する。各自、未熟な点をよく自覚し克服されたい。				
使用教材	教科書『大学一年生のための合格中国語』小幡敏行著(朝日出版社) ISBN97-4-255-45224-1C1087				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標 1	予習	シラバス内容、教科書第 8 頁「中国語について」を読み、講義目標や中国語の特性などについて理解する。		1 時間
		復習	不要		0 時間
2	講義内容	発音の基礎Ⅰ:ピンイン字母、単母音、四声などを学習する。			
	該当する到達目標 2,3,4	予習	不要		0 時間
		復習	業で学習したことを、毎日、一日 10 分程度、発音する。		1 時間
3	講義内容	発音の基礎Ⅱ:複合母音、「声(子音)」の唇音・舌先音・舌根音などを学習する。			
	該当する到達目標 2,3,4	予習	不要		0 時間
		復習	授業で学習したことを、毎日、一日 10 分程度、発音する。		1 時間
4	講義内容	発音の基礎Ⅲ:鼻母音、「声(子音)」の舌面音・捲舌音・舌歯音などを学習する。			
	該当する到達目標 2,3,4	予習	不要		0 時間
		復習	授業で学習したことを、毎日、一日 10 分程度、発音する。		1 時間
5	講義内容	教科書第1課、名前の聞き方・答え方、人称代名詞などの学習。			
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第 1 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。		0.5 時間
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

6	講義内容	教科書第 2 課、指示代名詞、「是」を用いた判断文などの学習。		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第 2 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
7	講義内容	教科書第 3 課、形容詞述語文や数量表現などの学習。		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第 3 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
8	講義内容	教科書第 4 課、存在文や構造助詞「的」などの学習。		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第 4 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
9	講義内容	教科書第 5 課、介詞構造や方位詞などの学習。		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第 5 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
10	講義内容	教科書第 6 課、連動文や能願動詞などの学習。		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第 7 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
11	講義内容	教科書第 7 課、数量補語や動態助詞の「了」と語気詞の「了」などの学習。		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第 7 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
12	講義内容	教科書第 8 課、動態助詞「過」や程度補語などについての学習。		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第 8 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
13	講義内容	教科書第 9 課、能願動詞「会」「能」「可以」などについての学習。		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第 9 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
14	講義内容	教科書第 10 課、方向補語や結果補語などについての学習。		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第 10 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
15	講義内容	教科書第 11 課、主述述語文や比較表現などについての学習。		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第 11 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
備考	授業は全 15 回を通じて、音声および表記の反復学習を徹底する形で展開し、中国語基礎学力の定着を目指す。失敗を恐れず、積極的に楽しく学んでほしい。外国語学習には習慣性とある程度の忍耐が必要である。学生諸君には外国語の学習を通じて、習慣的学習や知的忍耐力を身に付けられたい。復習は机に向かうには及ばない。通学時などわずかな余暇を利用して、10 分程度で構わぬので、必ず毎日、口や舌を動かして毎回の授業の内容を消化することが望ましい。毎回の積み重ねが肝要。後刻、自力でマスターしようとしてもほとんど不可能と心得よ。最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 質問等は、授業開始前もしくは授業終了後に応じる。			

科目名	ハングル語(リテラシー)			LAL011	講義
英文名	Korean				
担当教員	徐 明煥				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	はじめて韓国語をまなぶ学生を対象とする。表音文字であるハングルの表記を覚え、単語や文章を正確に発音する練習をする。会話の練習を通して簡単な挨拶や自己紹介、身の回りのものについて覚える。				
到達目標	1.韓国語の文字であるハングルの正確な読み書きができる。 2.基本文型を身に付けさせて簡単な日常会話ができる。 3.基本的な韓国語の 4 技能の「聞く」「話す」「読む」「書く」能力を向上させる。 4.初級レベルの韓国語運用能力を身につける。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	宿題 30%、小テスト 20%、中間・期末試験 50%				
課題に対するフィードバック	宿題にはコメントを付けて返却する。 小テストを毎回返却し解説する。				
使用教材	李淑炫(2011)『チェミナ韓国語―自然に身につく会話と文法 韓国語初級テキスト』白帝社 ISBN-13:978-4891748593				
1	講義内容	授業概要、ハングルについて、第 1 課:母音			
	該当する到達目標	予習	テキストを用意し、12 頁～14 頁を読んでくる。韓国語のノートを用意する。		1.5 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。		1.5 時間
2	講義内容	第 2 課:子音(平音と有声音)			
	該当する到達目標	予習	22 頁～25 頁を読んでくる。		1.5 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。		1.5 時間
3	講義内容	第 2 課:子音(激音と濃音)			
	該当する到達目標	予習	26 頁～31 頁を読んでくる。		1.5 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。		1.5 時間
4	講義内容	第 3 課:パッチム、パッチム 7 つの代表音			
	該当する到達目標	予習	32 頁～37 頁を読んでくる。		1.5 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。		1.5 時間
5	講義内容	第 4 課:二重母音、名前を書く、まとめ			
	該当する到達目標	予習	38 頁～43 頁を読んでくる。		1.5 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。		1.5 時間
6	講義内容	第 5 課:発音の変化、発音の基本、パッチム音の変化			
	該当する到達目標	予習	46 頁～54 頁を読んでくる。		1.5 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

7	講義内容	第 6 課: 主題を表す助詞「～は」、体言について、指定詞の丁寧な表現 I		
	該当する到達目標	予習	56 頁～63 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
8	講義内容	第 7 課: 指示代名詞(これ・それ・あれ)、「～ではありません」		
	該当する到達目標	予習	64 頁～71 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
9	講義内容	第 8 課: 主語を表す助詞「～が」、「～と」、「いる/ある、ない/いない」について、まとめ		
	該当する到達目標	予習	72 頁～81 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
10	講義内容	第 9 課: 場所や位置を表す表現、数詞 I		
	該当する到達目標	予習	82 頁～91 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
11	講義内容	第 10 課: 用言の丁寧形 I (改まった表現)、用言の否定形		
	該当する到達目標	予習	92 頁～97 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
12	講義内容	第 10 課: 羅列の表現、場所を表す助詞、目的格を表す助詞、まとめ		
	該当する到達目標	予習	97 頁～101 頁を読んでくる。まとめ	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
13	講義内容	第 6 課～10 課、総合まとめ		
	該当する到達目標	予習	第 6 課から第 10 課まで読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	今まで勉強した内容をもう一度、確認して理解しておく。	1.5 時間
14	講義内容	第 11 課: 指定詞(丁寧な表現 II) 逆接を表す表現数詞 II や時間の言い方		
	該当する到達目標	予習	102 頁～105 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
15	講義内容	第 11 課: 数詞 II や時間の言い方		
	該当する到達目標	予習	106 頁～111 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	数詞 I と数詞 II の使い分けや読み方を理解する。	1.5 時間
備考	授業については、ハングルの文字及び単語、文章の発音練習、会話表現の練習を行う。 また、毎回小テストを行うため、必ず予習・復習を行うこと。予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 質問等がある場合は授業の前後に応じる。もしくは intgvseo21jp@gmail.com までに連絡すること。 メールを送る際は「件名」に「高崎健康福祉大学ハングル語: 名前」を必ず記入すること。			

科目名	コンピュータ入門Ⅰ（リテラシー）			LAL012	講義
英文名	Introduction to ComputersⅠ				
担当教員	高橋 大志、高橋 真悟				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	本講義では、J 検 情報活用試験の 1 級～3 級レベルの内容の理解を目指し、入門Ⅰではコンピュータ動作の本質、背景を理解するための基盤となる知識を習得する。				
到達目標	1.コンピュータにおける情報表現について説明できる。 2.問題解決技法について説明できる。 3.コンピュータの基本構成とその取り扱いについて説明できる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	学期末に課すレポートで評価し、未提出者は不合格とする。				
課題に対するフィードバック	不備がある場合には出題意図を説明し再提出とする。				
使用教材	「改訂 2 版 J 検情報活用 1 級・2 級完全対策公式テキスト」日本能率協会マネジメントセンター ISBN 978-4-8207-4921-9				
1	講義内容	導入			
	該当する到達目標	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。		1 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、成績評価法などを確認する。		1.5 時間
2	講義内容	データと情報			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 部 1-1 に目を通す。		1 時間
	1	復習	論理演算を理解する。		1.5 時間
3	講義内容	コンピュータにおける情報の表現			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 部 1-2～1-3 に目を通す。		1 時間
	1	復習	基数変換、コード体系を理解する。		1.5 時間
4	講義内容	問題を解決するための方法			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 部 2-1～2-2 に目を通す。		1 時間
	2	復習	問題発見の技法、問題分析の技法を理解する。		1.5 時間
5	講義内容	情報を処理するための基礎的な手順			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 部 2-3 に目を通す。		1 時間
	2	復習	アルゴリズムを理解する。		1.5 時間
6	講義内容	情報の収集と発信			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 部 3-1～3-3 に目を通す。		1 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	2	復習	図解による情報分析を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	コンピュータの種類と動作原理		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 部 1-1 に目を通す。	1 時間
	3	復習	コンピュータの種類と動作原理を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	ハードディスク		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 部 1-2～1-3 に目を通す。	1 時間
	3	復習	周辺機器の種類と役割を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	オペレーティングシステムの役割		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 部 2-1 に目を通す。	1 時間
	3	復習	オペレーティングシステムの基本的な機能を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	ファイルシステムの基礎知識		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 部 2-2 に目を通す。	1 時間
	3	復習	ファイルシステムについて理解する。	1.5 時間
11	講義内容	入力装置と出力装置		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 部 3-1 に目を通す。	1 時間
	3	復習	入出力装置の種類と役割について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	インタフェースとヒューマンインターフェース		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 部 3-2～3-3 に目を通す。	1 時間
	3	復習	入出力インタフェースの種類と役割、ヒューマンインターフェースの特徴について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	主記憶装置		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 部 3-4 に目を通す。	1 時間
	3	復習	主記憶装置を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	補助記憶装置		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 部 3-5～3-6 に目を通す。	1 時間
	3	復習	補助記憶装置の種類と役割について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	インターネットのサービス		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 部 1-1 に目を通す。	1 時間
	3	復習	インターネットでのサービスの種類とプロトコルを理解する。	1.5 時間
備考	資料を適宜使用して教科書を読み進め、章末問題等も授業内で実施する。 最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 オフィスアワー: 月曜日及び水曜日の 3 時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス「takahashi-d@takasaki-u.ac.jp」 研究室: 1 号館 3 階 314			

科目名	コンピュータ入門Ⅱ（リテラシー）			LAL013	講義
英文名	Introduction to ComputersⅡ				
担当教員	高橋 大志、高橋 真悟				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	本講義では、J 検 情報活用試験の 1 級～3 級レベルの内容の理解を目指し、入門Ⅱではコンピュータを活用していくために必要となる情報技術に関連した知識を習得する。				
到達目標	1.インターネットの利用や基礎的な仕組みについて説明できる。 2.情報ネットワーク社会で必要となるモラルやセキュリティについて説明できる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	学期末に課すレポートで評価し、未提出者は不合格とする。				
課題に対するフィードバック	不備がある場合には出題意図を説明し再提出とする。				
使用教材	「改訂 2 版 J 検情報活用 1 級・2 級完全対策公式テキスト」日本能率協会マネジメントセンター ISBN 978-4-8207-4921-9				
1	講義内容	インターネットの基礎			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 部 1-2 に目を通す。	1 時間	
	1	復習	インターネットへの接続を理解する。	1.5 時間	
2	講義内容	IP アドレス			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 部 1-3 に目を通す。	1 時間	
	1	復習	IP アドレスを理解する。	1.5 時間	
3	講義内容	WWW・電子メールの利用			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 部 1-4～1-5 に目を通す。	1 時間	
	1	復習	ホームページ閲覧の仕組み、メール送受信の仕組みを理解する。	1.5 時間	
4	講義内容	HTML			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 部 1-6～1-7 に目を通す。	1 時間	
	1	復習	マークアップ言語を理解する。	1.5 時間	
5	講義内容	インターネット技術の応用			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 部 1-8～2-1 に目を通す。	1 時間	
	1	復習	イントラネットを理解する。	1.5 時間	
6	講義内容	プロトコルと OSI 基本参照モデル			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 部 2-2 に目を通す。	1 時間	
	1	復習	プロトコルを理解する。	1.5 時間	

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

7	講義内容	LAN の基礎知識		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 部 2-3~2-6 に目を通す。	1 時間
	1	復習	LAN の接続形態, 種類を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	パソコンとネットワーク		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 部 2-7 に目を通す。	1 時間
	1	復習	LAN の種類とパソコンの役割を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	LAN の構築		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 部 2-8 に目を通す。	1 時間
	1	復習	小規模 LAN を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	無線 LAN の構築		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 部 2-9 に目を通す。	1 時間
	1	復習	無線 LAN の特徴を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	情報通信技術の進展		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 部 1-1~1-2 に目を通す。	1 時間
	2	復習	情報通信技術の現状を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	社会におけるコンピュータの利用		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 部 1-3~1-4 に目を通す。	1 時間
	2	復習	コンピュータの利用状況を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	情報社会の問題点		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 部 2-1~2-3 に目を通す。	1 時間
	2	復習	情報社会の問題点を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	情報モラルとネットワークセキュリティ		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 部 1-1~1-3 に目を通す。	1 時間
	2	復習	コンピュータウイルス, 暗号化の仕組みを理解する。	1.5 時間
15	講義内容	コンピュータセキュリティ		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 部 2-1~2-3 に目を通す。	1 時間
	2	復習	コンピュータの安全対策を理解する。	1.5 時間
備考	資料を適宜使用して教科書を読み進め、章末問題等も授業内で実施する。 最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 オフィスアワー: 月曜日及び水曜日の 3 時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス「takahashi-d@takasaki-u.ac.jp」 研究室: 1 号館 3 階 314			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	コンピュータ実習 I (リテラシー)			LAL014	演習
英文名	Computer Practice I				
担当教員	高橋 真悟、高橋 大志				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	パソコンはいまや文房具であり、それを使いこなすことはこれからの社会を生き抜く基礎力である。本実習は文書作成・表計算・プレゼンテーションの各ソフトウェアを使用する確かな基礎力を習得する。				
到達目標	1.PC を自己の目的に合わせて使用することができる。 2.文書作成ではマイクロソフトの Word を使用してレポート等の作成が、自力でできる。 3.表計算作成ではマイクロソフトの Excel を使用して、データの整理や集計、グラフ作成ができる。 4.プレゼンテーションでは PowerPoint を使用して、プレゼンテーションの作成と実施ができる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	課題の提出状況(40%)、提出された課題成果物の出来栄(50%)、発表の実施評価(10%)を総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	課題の出来によっては、問題点を指摘し再提出を求める。				
使用教材	30 時間でマスターOffice2010 実教出版				
1	講義内容	オリエンテーション、PC ログイン方法、eメールの使い方			
	該当する到達目標	予習			0 時間
		1	復習	授業時間外 PC の利用、eメールマナー	
2	講義内容	Windows 操作の基本、文字の入力、Word 文書作成の基本操作・文字の修飾			
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。		0 時間
		2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	
3	講義内容	Word 書式の設定、図表の挿入、Word 文書を用いたプレゼンテーション			
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。		0 時間
		2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	
4	講義内容	Word 課題文書の作成、編集、印刷			
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。		0 時間
		2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	
5	講義内容	Excel 基本操作 データ入力の基礎、基本操作、基本的なワークシート編集			
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。		0 時間
		2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	
6	講義内容	Excel 基本操作 関数、罫線、セル書式の指定			
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。		0 時間
		3	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	
7	講義内容	Excel 基本操作グラフ作成			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	3	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
8	講義内容	Excel 基本操作 関数(条件判定、順位づけ)		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	3	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
9	講義内容	Excel 基本操作 関数を利用した検索		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	3	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
10	講義内容	Excel 基本操作 Excel の便利な機能		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	3	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
11	講義内容	PowerPoint スライド作成の基本操作		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	4	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	0.5 時間
12	講義内容	PowerPoint 図形の描画		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	4	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
13	講義内容	PowerPoint プレゼンテーション効果の活用、アニメーション設定		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	4	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
14	講義内容	PowerPoint 課題プレゼンテーション資料作成		
	該当する到達目標	予習	発表予定の資料について準備しておくこと	1.5 時間
	1,3,4	復習	発表資料の作成を行うこと。	3 時間
15	講義内容	PowerPoint 課題プレゼンテーション実施		
	該当する到達目標	予習	発表練習をしておくこと。	0.5 時間
	1,4	復習		0 時間
備考	各講義で教材の当該箇所を解説し、演習を行う。また、該当箇所について適宜課題を出す。 毎回演習課題を出すため、授業時間外に PC 室を積極的に利用すること。自宅の PC を用いて仕上げて来ても良い。 オフィスアワー:水曜日 3 限 E-mail:takahashi-shin@takasaki-u.ac.jp 研究室:1 号館 6 階医療情報学科資料室			

科目名	コンピュータ実習Ⅱ（リテラシー）				LAL015	演習
英文名	Computer PracticeⅡ					
担当教員	高橋 真悟、高橋 大志					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位			
講義目標	パソコンはいまや文房具であり、それを使いこなすことはこれからの社会を生き抜く基礎力である。本実習は文書作成・表計算・プレゼンテーションの各ソフトウェアを使用する実社会での実践力を養う。					
到達目標	1.PC を自己の目的に合わせて使用することができる。 2.実社会において、データの整理や集計、グラフ作成ができる。 3.実社会において、プレゼンテーションの作成と実施ができる。					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理				
	✓	専門的知識				
		問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力				
		コミュニケーション能力				
		自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法	課題の提出状況（40%）、提出された課題成果物の出来栄え（50%）、発表の実施評価（10%）を総合的に評価する。					
課題に対するフィードバック	課題の出来によっては、問題点を指摘し再提出を求める。					
使用教材	30 時間でマスターOffice2010 実教出版					
1	講義内容	講義全体のガイダンス				
	該当する到達目標	予習				0 時間
		復習				0 時間
2	講義内容	Excel データ入力				
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。			0 時間
		1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。		
3	講義内容	Excel ユーザ定義				
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。			0 時間
		1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。		
4	講義内容	Excel テーブル				
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。			0 時間
		1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。		
5	講義内容	Excel グラフの応用				
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。			0 時間
		1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。		
6	講義内容	Excel 関数応用(データベース関数)				
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。			0 時間
		1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。		
7	講義内容	Excel マクロ作成				

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 1,2	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
		復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
8	講義内容	Excel 実践的表計算処理		
	該当する到達目標 1,2	予習	これまで学習した内容を復習しておくこと。	0 時間
		復習	課題を提出すること。	1 時間
9	講義内容	Excel Word との連携、差し込み印刷		
	該当する到達目標 1,2	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
		復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
10	講義内容	PowerPoint 発表企画		
	該当する到達目標 1,3	予習	発表課題の企画を行う。	1 時間
		復習		0 時間
11	講義内容	PowerPoint 全体構成		
	該当する到達目標 1,3	予習		0 時間
		復習	発表資料の作成を行うこと。	1 時間
12	講義内容	PowerPoint スライドの作成		
	該当する到達目標 1,3	予習		0 時間
		復習	発表資料の作成を行うこと。	1 時間
13	講義内容	PowerPoint プレゼンテーション効果の活用、アニメーション設定		
	該当する到達目標 1,3	予習		0 時間
		復習	発表資料の作成を行うこと。	1 時間
14	講義内容	PowerPoint 発表練習、修正		
	該当する到達目標 1,3	予習	発表予定の資料について準備をしておくこと	1.5 時間
		復習	発表資料の作成を行うこと。	3 時間
15	講義内容	PowerPoint 課題プレゼンテーション実施		
	該当する到達目標 3	予習	発表練習をしておくこと。	0.5 時間
		復習		0 時間
備考	各講義で教材の当該箇所を解説し、演習を行う。また、該当箇所について適宜課題を出す。 毎回演習課題を出すため、授業時間外に PC 室を積極的に利用すること。自宅の PC を用いて仕上げて来ても良い。 オフィスアワー: 水曜日 3 限 E-mail: takahashi-shin@takasaki-u.ac.jp 研究室: 1 号館 6 階医療情報学科資料室			

科目名		世界の社会福祉発達史(専門教養科目)			LSH001	講義
英文名		History of World Welfare				
担当教員		戸澤 由美恵				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標		今日、様々な人が社会福祉を必要としている。社会福祉が、その国の中でどのように発展してきたのか、各国の歴史的経緯をふまえて、現状を理解する。				
到達目標		1.視聴覚教材や配布資料等を参考に、その国の歴史や文化、人々の生活のイメージがもてる 2.歴史的文化的背景をふまえた、その国の社会福祉制度の発達を理解できる 3.各国の人々の生活と社会福祉の現状を知り、自国や自身の生活との共通点・相違点等を考えることができる				
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と職業倫理			
			専門的知識			
			問題発見・解決力			
			多様な社会・背景を理解し対応する能力			
			コミュニケーション能力			
			自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法		定期試験で 80%、提出物(ミニレポートやリアクションペーパー)等で 20%を評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック		ミニレポートやリアクションペーパーを記入し、授業内容の理解について確認する。必要に応じて、全体への追加説明やコメント等を行う。				
使用教材		教科書は指定しない。 授業時にレジュメ・資料等を配布する。 その他、参考文献等を随時紹介する。				
1	講義内容		オリエンテーション			
	該当する到達目標	1,2,3	予習	シラバスを読んで、授業内容や講義の目標などを理解する		0.5 時間
			復習	講義内容、到達目標、評価方法などを確認し、全体像を把握する		1 時間
2	講義内容		アジアの社会福祉-マレーシア① マレーシアの歴史や文化をイメージする			
	該当する到達目標	1	予習	世界史・地理(高校)の教科書・資料やインターネットを活用し、マレーシアを知る		1 時間
			復習	配布資料や映像等を元に、マレーシアの新たな側面を確認しノートを整理する		1 時間
3	講義内容		アジアの社会福祉-マレーシア② マレーシアの社会福祉の考え方を理解する			
	該当する到達目標	1,2	予習	前回作成のノートを元に、歴史的文化的背景を理解する		1 時間
			復習	配布資料等を読み、マレーシアの歴史的文化的背景をふまえた福祉観を知る		1 時間
4	講義内容		アジアの社会福祉-マレーシア③ マレーシアの社会福祉の現状を知る			
	該当する到達目標	2,3	予習	配布資料等をノートに整理し、マレーシアの福祉観を理解する		1 時間
			復習	マレーシアの社会福祉の現状を理解し、自分なりの意見や感想を持つ		1 時間
5	講義内容		西欧の社会福祉-英国① 英国の歴史や文化をイメージする			
	該当する到達目標	1	予習	世界史・地理(高校)の教科書・資料やインターネットを活用し、英国を知る		1 時間
			復習	配布資料や映像等を元に、英国の新たな側面を確認しノートを整理する		1 時間
6	講義内容		西欧の社会福祉-英国② 英国の社会福祉の考え方を理解する			
	該当する到達目標		予習	前回作成のノートを元に、歴史的文化的背景を理解する		1 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2	復習	配布資料等を読み、英国の歴史的文化的背景をふまえた福祉観を知る	1 時間
7	講義内容	西欧の社会福祉-英国③ 英国の社会福祉の現状を知る		
	該当する到達目標	予習	配布資料等をノートに整理し、英国の福祉観を理解する	1 時間
	2,3	復習	英国の社会福祉の現状を理解し、自分なりの意見や感想を持つ	1 時間
8	講義内容	前半のまとめ		
	該当する到達目標	予習	マレーシア・英国のノート作成を通し、不明な点を確認しておく	1.5 時間
	1,2,3	復習	二国の特徴を理解し、自分なりの感想や意見をもつ	1.5 時間
9	講義内容	北米の社会福祉-アメリカ合衆国① アメリカ合衆国の歴史や文化をイメージする		
	該当する到達目標	予習	世界史・地理(高校)の教科書・資料やインターネットを活用し、アメリカ合衆国を知る	1 時間
	1	復習	配布資料や映像等を元に、アメリカ合衆国の新たな側面を確認しノートを整理する	1 時間
10	講義内容	北米の社会福祉-アメリカ合衆国② アメリカ合衆国の社会福祉の考え方を理解する		
	該当する到達目標	予習	前回作成のノートを元に、歴史的文化的背景を理解する	1 時間
	1,2	復習	配布資料等を読み、アメリカ合衆国の歴史的文化的背景をふまえた福祉観を知る	1 時間
11	講義内容	北米の社会福祉-アメリカ合衆国③ アメリカ合衆国の社会福祉の現状を知る		
	該当する到達目標	予習	配布資料等をノートに整理し、アメリカ合衆国の社会福祉観を理解する	1 時間
	2,3	復習	アメリカ合衆国の社会福祉の現状を理解し、自分なりの意見や感想を持つ	1 時間
12	講義内容	北欧の社会福祉-スウェーデン① スウェーデンの歴史や文化をイメージする		
	該当する到達目標	予習	世界史・地理(高校)の教科書・資料やインターネットを活用し、スウェーデンを知る	1 時間
	1	復習	配布資料や映像等を元に、スウェーデンの新たな一面を確認しノートを整理する	1 時間
13	講義内容	北欧の社会福祉-スウェーデン② スウェーデンの社会福祉の考え方を理解する		
	該当する到達目標	予習	前回作成のノートを元に、歴史的文化的背景を理解する	1 時間
	1,2	復習	配布資料等を読み、スウェーデン・北欧の歴史的文化的背景をふまえた福祉観を知る	1 時間
14	講義内容	北欧の社会福祉-スウェーデン③ スウェーデンの社会福祉の現状を知る		
	該当する到達目標	予習	配布資料等をノートに整理し、スウェーデンの社会福祉観を理解する	1 時間
	2,3	復習	スウェーデンの社会福祉の現状を理解し、自分なりの意見や感想を持つ	1 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	アメリカ合衆国・スウェーデンのノート整理を通し、不明な点を確認しておく	1.5 時間
	1,2,3	復習	二国の特徴を理解し、自分なりの感想や意見をもつ。四カ国の学びを元に、日本の社会福祉について自分なりの意見をもつ	1.5 時間
備考	* 全体の流れとして、各国の 1・2 回目はイメージや理解を促すために視聴覚教材の視聴をするので、欠席に気をつけましょう。授業時に配布するレジュメ・資料等は、該当する国の学習回が終わるまで使用するので持参してください。 * 予習は、日頃から新聞を読み、ニュースや映画を見るなどして世界の情勢や文化などに興味を持つようにしましょう。 * 復習は、配布資料や紹介された文献・映画等を視聴し、試験前に不足時間を補うようにしましょう。 * 不明な点、疑問点等がある場合は、まずはメールで連絡してください。 メールアドレス: 初回授業時に配布する詳細シラバスに記載 オフィスアワー: 水曜 2 限			

科目名	国際保健医療論(専門教養科目)			LSH002	講義
英文名	Theory of International Health				
担当教員	李 孟蓉、望月 経子				
科目に関連した実務経験	在日外国人への健康支援(経験) 専門家として開発途上国に支援(経験) 青年海外協力隊として開発途上国に支援(経験)				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	世界における健康格差の実態を知り、医療従事者として世界平和・全人類の繁栄と福祉を願いつつグローバルヘルスの基本理念と戦略を学び、国際保健医療の活動の場を地球的視野で認識できる。また、地球規模の健康課題やその影響要因、国際保健医療の関連分野の活動の理念と実際を学びながら、国際協力に必要な知識や方法を習得できる。				
到達目標	1.国際保健医療学、国際保健医療協力の概念と変遷を理解できる。 2.保健医療分野での国際協力の必要性と意義を理解できる。 3.世界の健康問題、それに対する国際的戦略および課題を理解できる。 4.異文化を理解し、異文化適応のプロセスを理解できる。■ 5.国際保健医療協力の実践手法を理解できる。■ 6.在日外国人への健康支援を理解できる。■				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	レポート課題 70%、授業参加度 30%(グループワーク、プレゼンテーション等)を総合的に評価する				
課題に対するフィードバック	レポートの中でみられた疑問や課題を授業の中で再確認する。				
使用教材	配布資料、参考書 ①「世界で一番いのちの短い国 シェラレオネの国境なき医師団」 山本敏晴 小学館 ②「国際協力―その新しい潮流」 下村恭人 有斐閣 ③「国際保健医療学」第3版 国際保健医療学会編 杏林書院 ④「国民衛生の動向 2018/2019」 厚生労働統計協会 ⑤「世界の貧国 1日1ドルで暮らす人びと」 ジェレミーシーブルック 青土社、適宜参考書を紹介する				
1	講義内容	国際保健、国際保健医療学の定義、国際保健医療協力の概念			
	該当する到達目標 1,4	予習	国際保健医療協力に関する新聞・雑誌などの記事を読む。		1 時間
		復習	国際保健協力の定義、世界や国内の国際協力の概念が理解できる。		1.5 時間
2	講義内容	グローバルヘルスと国際保健医療協力の歴史			
	該当する到達目標 1,4	予習	世界で起きている健康問題に関する新聞・雑誌などの記事を読む。		1 時間
		復習	世界で起きている健康問題と支援の必要性を理解できる。		1.5 時間
3	講義内容	国際保健医療関連の国際機関、NGO の取り組みと日本の国際協力			
	該当する到達目標 1,4	予習	参考書①「世界で一番いのちの短い国 シェラレオネの国境なき医師団」、②国際協力―その新しい潮流に目を通す。		1 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

		復習	国際保健医療協力の仕組み、国際保健医療関連の国際機関や NGO 団体、ODA の活動を理解できる。	1.5 時間
4	講義内容	プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーション、ミレニアム開発目標の経緯と変遷		
	該当する到達目標	予習	参考書③「国際保健医療学」第 3 版の第 I 部 1～4、10～11 までを読む。	1 時間
	1,4	復習	世界の歴史の中でのプライマリーヘルスケアとヘルスプロモーション、ミレニアム開発目標の基本理念と変遷を理解できる。	1.5 時間
5	講義内容	世界における健康の格差		
	該当する到達目標	予習	世界で生じている健康格差について情報を集め、その原因を考える。	1 時間
	1,2,4	復習	健康格差の実態とその原因を理解できる。	1.5 時間
6	講義内容	開発途上国における疾病構造		
	該当する到達目標	予習	参考書④「国民衛生の動向 2018/2019」を参考し、日本における疾病構造(平均寿命、死亡統計など)について調べる。	1 時間
	4	復習	発展途上国の保健医療課題とその原因を理解できる。	1.5 時間
7	講義内容	異文化と異文化適応		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する講義資料に目を通す。	1 時間
	1,2,4	復習	文化が国際保健医療協力へ与える影響を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	国際保健医療協力と異文化理解 事例をもとに異文化の中での国際協力活動の内容について解説を加えて講義する。■		
	該当する到達目標	予習	世界で行われてる国際保健医療協力を調べる。	1 時間
	1,2,4	復習	国際協力として行われている支援について、目的、実際の活動内容、異文化適応が理解できる。	1.5 時間
9	講義内容	貧困と格差を考えるワークショップ① 国際協力の経験をもとに、国づくりを行うシミュレーションゲームをワークショップという形で取り入れて、各グループが協力しあえるように指導をしながら行う■		
	該当する到達目標	予習	参考書⑤「世界の貧国 1 日 1 ドルで暮らす人びと」に目を通す	1 時間
	1,2,4	復習	世界の不平等や格差に気付くことができ、国の豊かさについて考えることができる。	1.5 時間
10	講義内容	貧困と格差を考えるワークショップ② 国際協力の経験をもとに、国づくりを行うシミュレーションゲームをワークショップという形で取り入れて、各グループが協力しあえるように指導をしながら行う■		
	該当する到達目標	予習	参考書④「世界の貧国 1 日 1 ドルで暮らす人びと」に目を通す	1 時間
	1,2,4	復習	世界の不平等や格差に気付くことができ、国の豊かさについて考えることができる。	1.5 時間
11	講義内容	ディスカッション、まとめ		
	該当する到達目標	予習	第 9、10 回の授業内容を振り返り、自分の考えをまとめておく	1 時間
	1,2,4	復習	ディスカッションを通して、グローバルな課題や地域間の格差、SDGs の目標と関連付けて、地球・世界レベルで理解が深まる。	1.5 時間
12	講義内容	在日外国人の健康支援 在日外国人の背景や特性、健康問題、医療機関へのアクセス等について、事例をもとに解説を加えて講義する■		
	該当する到達目標	予習	日本、群馬県内の在日外国人(人口、国籍、在留資格、居住地域、生活など)について調べ、体験、新聞等の媒体から実情に関心を持ち把握しておく。	1 時間
	1,2,4			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

		復習	在日外国人が抱えている健康問題と支援が理解できる。	1.5 時間
13	講義内容	グローバルヘルス グループワーク①		
	該当する到達目標	予習	世界で行われている国際協力を調べる。(ODA)	1 時間
	2,3,4	復習	国際保健医療協力の活動を理解できる	1.5 時間
14	講義内容	グローバルヘルス グループワーク②		
	該当する到達目標	予習	世界で行われている国際協力を調べる。(NGO)	1 時間
	2,3,4	復習	国際保健医療協力の活動を理解できる	1.5 時間
15	講義内容	まとめ、プレゼンテーション		
	該当する到達目標	予習	1～14 回目の授業資料に目を通す	1 時間
	2,3,4,5	復習	地球規模の健康課題や国際協力に必要な知識、方法が理解できる	1.5 時間
備考	自作の授業資料や参考書をもとに解説を加えて講義する。講義の中でワークショップやグループワークを取り入れて、参加型、協議型の授業も行う。 オフィスアワー:水曜・金曜の 2 限、質問はメールでも対応する。 メールアドレス:ri@takasaki-u.ac.jp 研究室:3 号館 2 階 208 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	世界の歴史と日本(専門教養科目)			LSH003	講義
英文名	The World History and Japan				
担当教員	山本 麻子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	多様化し複雑になっている現代社会において就労し、よりよい人間関係を築いていくためには、異なる価値観の存在を認識し異文化への理解を深めることは重要だ。本講座では、イギリスの場合をケーススタディとし特定のテーマについて、どのような背景・要因があり、どのような過程をたどり、どのような結果に至り、どのように現代に影響しているかを考察する。イギリス以外の国々にも言及しつつ日本の諸側面と比較する。				
到達目標	1.テーマについての知識を深め、理解を深めることができる。 2.先人たちの努力や業績を認識することができる。 3.日本の該当する箇所と比較考察することができる。 4.毎回の授業を通して、物事を多角的に考え、日常生活に応用することのできる能力を発展させられる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	レポートが 50%、予習、復習の実践・授業中の態度等々が 50%。				
課題に対するフィードバック	予習復習を含め質問等には、できる限りフィードバックを与える。				
使用教材	決まった教材は使用しないが、必要に応じて資料を配布する。また参考資料を提示する				
1	講義内容	ガイダンス:授業の進め方のイントロ、「歴史とは何か」について			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	講座選択の理由、「歴史とは何か」について数項目を書いてくる		1 時間
		復習	授業で扱った例について質問、コメントを考えてくる		1.5 時間
2	講義内容	イギリスの最近の話題から			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる		1 時間
		復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く		1.5 時間
3	講義内容	イギリスの教育 1: 多文化環境での学校; 実践例			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる		1 時間
		復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く		1.5 時間
4	講義内容	イギリスの教育 2: 学習の方法、内容等での日英の比較を含める			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる		1 時間
		復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く		1.5 時間
5	講義内容	産業革命 1: 背景と経過			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる		1 時間
		復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く		1.5 時間
6	講義内容	産業革命 2: 影響と問題			
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる		1 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
7	講義内容	女性の地位 1: 婦人参政権運動の背景と経過		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
8	講義内容	女性の地位 2: 経過の続きと結果等々		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,3,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
9	講義内容	英語の歴史 1: 英語の歴史は英国の歴史(前半)		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
10	講義内容	英語の歴史 2: 英語の歴史は英国の歴史(続き)		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
11	講義内容	シェイクスピアの時代の前後 1: スペインの無敵艦隊(背景)		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
12	講義内容	これまでの復習等、レポートの書き方等		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,4	復習	レポートの題材、構成を書く	1.5 時間
13	講義内容	シェイクスピアの時代の前後 2: シェイクスピアについて、背景、グローブ座、その周辺等々		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
14	講義内容	マグナカルタ等について: 意義と背景、影響		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	2,3,4	復習		
備考	長期間滞在した英国での公的・私的体験を参考に、テーマに即して、症例を紹介する。 質問等は授業中に皆の前で行うことが望ましいが、授業開始前もしくは終了後に教室でも応じる。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	人間行動学(専門教養科目)			LSH004	講義
英文名	Theory of Human Behavior				
担当教員	上原 徹・服部 卓				
科目に関連した実務経験	精神科医として大学病院等で勤務経験 30 年以上、現在も非常勤医師として実務を行っている(上原) 臨床心理士として大学病院等で勤務経験は約 30 年、現在に至る(服部)				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	学生が、行動科学の基礎と応用を学ぶことで、臨床や対人支援の場面におけるクライアントの行動や、支援者である自らの行動との相互作用を理解することができる。				
到達目標	1.医療などの対人支援における基本的姿勢を身につける 2.ケアを受ける人の心理や行動を理解できる 3.適切な対人的交流のための知識と技術が説明できる 4.他職種と機能的に連携する視点を持てる■ 5.行動科学や心理学の初級知識を解説できる				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	レポートを 80%とし、授業中の態度を 20%程度参考にして総合評価する。授業態度(静肅さ、不必要な私語、真摯な姿勢など)に問題がある場合は、個別に厳しく減点する。				
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。				
使用教材	福村出版「行動科学への招待〔改訂版〕 現代心理学のアプローチ」を教科書として用いるので必携。DVD 教材を用いた授業も加える。				
1	講義内容	青年期の心理と性格			
	該当する到達目標 3,5	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	0.5 時間	
		復習	ノートを読むこと。	1 時間	
2	講義内容	対人行動			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間	
		復習	ノートを読むこと。	1 時間	
3	講義内容	集団■			
	該当する到達目標 2,3,4	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間	
		復習	ノートを読むこと。	1 時間	
4	講義内容	異文化と自己			
	該当する到達目標 3,5	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間	
		復習	ノートを読むこと。	1 時間	
5	講義内容	ヒューマンファクター ―労働の心理学			
	該当する到達目標 1,5	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間	
		復習	ノートを読むこと。	1 時間	
6	講義内容	きずなの発達			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	2,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
7	講義内容	自己の形成と発達		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	2,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
8	講義内容	医療における人間関係		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	1,2,3	復習	ノートを読むこと。	1 時間
9	講義内容	健 康		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	1,2,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
10	講義内容	学習と学習支援		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
11	講義内容	知 覚		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
12	講義内容	記 憶		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
13	講義内容	思 考		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
14	講義内容	疲労・メンタルヘルスと現代の職場■		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	4,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
15	講義内容	音楽と脳・まとめ■		
	該当する到達目標	予習	ノートを読むこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
備 考	授業では配布資料も使って要点をまとめ、一部DVDを視聴しつつ進める。複数の学科学生が多数で聴講し非常勤講師もお迎えするので、静粛に臨むこと。授業中の不必要な私語や不謹慎な態度は、厳に慎むこと(成績評価に影響する)。予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。 オフィスアワーや連絡先は、主任講師の上原がオリエンテーション時に案内する。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	健康運動実技(専門教養科目)			LSH005	演習
英文名	Health Exercise Skills				
担当教員	大家 千枝子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	健康保持増進のための運動実践力育成と体力の向上を図る。そして生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質と能力を身につけるための入り口・一助となることを目標とする。				
到達目標	1.運動に対する欲求や運動が好きであることを感じることができる。 2.運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる。 3.公正・協力・責任・参画・勇気などに対する意欲をもつことができる。 4.仲間や教員と積極的にコミュニケーションを図ることができる。 5.健康・安全を確保して、スポーツライフを継続するための工夫や仕組みを創造することができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業ごとの取り組みの評価点 65%、レポート 20%、記録(提出物・コメント)15%				
課題に対するフィードバック	毎回の授業後に授業記録カードの提出を求める。授業記録カードに付したコメントやスタンプは必ずチェックすること。また最終日には、授業で学んだことの整理・確認テスト・目標到達度の確認(ルーブリックにて自己評価)を行う。				
使用教材	プリント適宜配布。参考文献適宜紹介。				
1	講義内容	ガイダンス・履修者からの需要調査			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで講義目標などを理解する。要配慮の場合は事前に申し出る。		0.5 時間
	3,4,5	復習	到達目標、学位記授与方針、成績評価方法などを確認する。		0.5 時間
2	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施			
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。		0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。		0.5 時間
3	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施			
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。		0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。		0.5 時間
4	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施			
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。		0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。		0.5 時間
5	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施			
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。		0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。		0.5 時間
6	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施			
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。		0.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
7	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
8	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
9	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
10	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
11	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
12	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
13	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
14	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまで授業で学んだこと、自身の授業態度を振り返る。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	目標達成度の確認。今後どのように運動・スポーツを継続できるか検討する。	0.5 時間
備考	【授業期間全体を通じた授業の進め方】 授業開始時には整列し、出席をとる。準備・後片付けなどの授業運営は受講生の積極的な姿勢を期待する。技術の高低や得意不得意、好き嫌い、勝ち負けにとらわれず、自分の持っている技術力をいかして、スポーツそのものを楽しむ能力や積極的に体を動かすことが求められる。授業終了時には、振り返りとして授業記録カードの提出がある。 【オフィスアワー】火曜日 12:00～14:30、1 号館 3 階 302 研究室、3 階エレベータ前にポスト有。 【担当教員メールアドレス】初回ガイダンスにて「メールの書き方」とともに伝える。 【受講上の注意】 ～履修者数によって選択種目変動する。到達目標の達成に向けて柔軟に対応できることを履修条件とする。～ 1 運動に適したスポーツウエア(ジャージ、T シャツなど)とシューズ(屋内外別)を着用すること(ジーンズや普段着での受講は不可)。また怪我防止の観点から、スマホ、時計、指輪、ブレスレット、ネックレス、ピアスなどの貴金属類は身につけていないこと。2 原則として見学は認めない。また実技授業をすすめるうえで配慮を必要とする学生は初回のガイダンス当日までに担当教員へ申し出ること。3 貴重品の管理は各自で行うこと。4 授業で使用する用具は基本的に大学側で用意しますが、個人所有の用具は積極的に持参すること。5 施設変更することがある。教務課掲示板やポータルサイトで確認すること。			

科目名	宗教と倫理(専門教養科目)				LSH006	講義
英文名	Religion and Ethics					
担当教員	出雲 春明					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位			
講義目標	東西の代表的な宗教・倫理思想に触れることで、世の多様な価値観への理解を養うことを目的とする。また、それによって自己の在り方に対する客観的・批判的な視座を養う。					
到達目標	1.講義で取り扱った諸宗教・倫理思想の基本について説明することができる。 2.そして、それを自己理解、他者理解に役立てることができる。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理				
		専門的知識				
		問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力				
		コミュニケーション能力				
		自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法	授業への参加と小レポート(30%)、期末レポート(70%)から評価する。					
課題に対するフィードバック	毎回、授業終了時に意見や質問などを提出してもらう(小レポート)。質問に関しては次回授業時に解説の時間を設ける。有意義な意見に関しても紹介の時間を設ける。					
使用教材	講義中に資料を配布する。					
1	講義内容	ガイダンス				
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義目標、到達目標、評価方法などについて確認しておく。			1 時間
	1	復習	これからの講義内容の大枠について確認しておく。			1.5 時間
2	講義内容	『聖書』の思想:一神教の系譜				
	該当する到達目標	予習	一神教(ユダヤ教、キリスト教、イスラム教)それぞれの関係について調べておく。			1 時間
	1,2	復習	ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、それぞれの特徴について確認しておく。			1.5 時間
3	講義内容	善人とは何か―『旧約聖書』(『ヨブ記』)より(1)「契約」について				
	該当する到達目標	予習	『ヨブ記』の概略について調べておく。			1 時間
	1,2	復習	「旧約」、「新約」とは何か、「応報主義」とは何か理解する。			1.5 時間
4	講義内容	善人とは何か―『ヨブ記』より(2)生誕の災い				
	該当する到達目標	予習	『ヨブ記』のプロローグを読んでおく。			1 時間
	1,2	復習	ヨブ記、ギリシア神話、仏教などにおけるペシミスティックな人間観を理解する。			1.5 時間
5	講義内容	善人とは何か―『ヨブ記』より(3)自己の在り方を省みる				
	該当する到達目標	予習	『ヨブ記』の登場人物の関係性について考えておく。			1 時間
	1,2	復習	自己と他者の間にある鏡像的な相互関係について理解する。			1.5 時間
6	講義内容	善人とは何か―『ヨブ記』より(4)現代の事例から考える				
	該当する到達目標	予習	ヨブと彼の友人たちの議論を確認しておく。			1 時間
	1,2	復習	自己批判の欠如がもたらす事態について歴史的的事件を通じて理解する。			1.5 時間
7	講義内容	善人とは何か―『ヨブ記』より(5)「懺悔」ということ				
	該当する到達目標	予習	『ヨブ記』エピローグを読んでおく。			1 時間
	1,2	復習	聖書の思想における「懺悔」の位置づけについて理解する。			1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

8	講義内容	旧約から新約へ：イエスの教え		
	該当する到達目標 1,2	予習	『ヨブ記』をめぐる議論について確認しておく。	1 時間
		復習	イエスの教えが登場してくる背景とその意義について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(1)『歎異抄』について		
	該当する到達目標 1	予習	『歎異抄』とはどんな書か調べておく。	1 時間
		復習	『歎異抄』第三条の特異性について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(2)罪の意識		
	該当する到達目標 1	予習	『歎異抄』第三条に関する様々な見解を確認しておく。	1 時間
		復習	親鸞の内面を支配していた深い罪の意識を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(3)浄土思想の展開(1)		
	該当する到達目標 1,2	予習	親鸞の師である法然が登場してきた時代背景について調べておく。	1 時間
		復習	当時の人々の心に去来していた思いについて理解する。	1.5 時間
12	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(4)浄土思想の展開(2)		
	該当する到達目標 1,2	予習	親鸞の生涯について調べておく。	1 時間
		復習	親鸞の罪の意識の由来について理解し、自らに引きつけて考える。	1.5 時間
13	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(5)「悪人正機説」		
	該当する到達目標 1,2	予習	これまでの議論について確認しておく。	1 時間
		復習	『歎異抄』第三条の悪人正機説の意味を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(6)悪の不可避性とそれゆえの無力		
	該当する到達目標 1,2	予習	親鸞における悪について自らに引きつけて考えておく。	1 時間
		復習	我々が気づかず捕らわれている自己中心的な考え方について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	総括—東西の宗教		
	該当する到達目標 1,2	予習	聖書思想と浄土思想の核心部分について確認しておく。	1 時間
		復習	東西の宗教、倫理思想の共通点について理解する。	1.5 時間
備考	なるべく平易な表現を用いて講義を行う。シラバスを参考にして、講義中に取り扱う書物や人物についてあらかじめ調べておくことが望ましい。また、配付された資料を読むなど復習は必ず行うこと。「宗教」は「非日常的なもの」として敬遠されることも多い。しかし、だからこそ、そこで語られる教えや物語は、しばしば漠然と過ごされている私たちの日常を省みる絶好の機会を提供してくれる。自分が普段、どのような判断や行動をしているか常に考えつつ、講義に臨んでほしい。なお、最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 参考図書: 関根正雄(訳)『旧約聖書 ヨブ記』、岩波文庫、1971 年。 金子大栄『歎異抄』、岩波文庫、改版、1981 年。 オフィスアワー: 質問などがある者は、授業の前後、非常勤講師控え室で対応する。			

科目名	レクリエーション論(専門教養科目)			LSH007	演習
英文名	Recreation Theory				
担当教員	大家 千枝子				
科目に関連した実務経験	レクリエーション・インストラクター養成講習会講師として、公認指導者養成に従事(現在)。 (公益財団法人日本レクリエーション協会公認・群馬県レクリエーション協会主催、2015 年度～)				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	人びとの「心を元気にする」ための手助けができるレクリエーション支援の強み(専門性)を理解する。支援の目的とそれを達成するための方法の裏付けとなる人の心の仕組みを学ぶ。 (※履修者が教員から一方的にレクリエーション支援を受けて楽しむ授業ではありません。)				
到達目標	1.レクリエーション支援の目的と手段を理解している。■ 2.レクリエーション活動の楽しさが心を元気にすることを理解している。■ 3.コミュニケーションの促進がレクリエーション支援の基盤であると理解している。■ 4.授業の性質やグループ内での個人の役割を理解し、行動することができる。 5.必要な資料や情報を収集して意見をまとめ、期日を守って提出できる(C-learning での回答を含む)。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	グループワークでの活発な議論・活動への貢献度 30%、授業での課題 35%、レポート 35% (※履修期間中、学内外のレク支援に自ら関わった場合は所定用紙提出で「課題」点に加点。)				
課題に対するフィードバック	自分以外の履修者による課題や感想、評価を知ることが学生相互の刺激になるため、C-learning やコメントシートを使ってフィードバックする。また授業期間中における紙媒体の提出課題は、適宜返却を予定している。ただし最終課題は返却する予定はないので、開示を希望するものは本人が直接申し出ること。				
使用教材	「楽しさをとおした心の元気づくり レクリエーション支援の理論と方法」、公益財団法人日本レクリエーション協会、1,800 円+税 ISBN978-4-931180-95-6				
1	講義内容	ガイダンス、さまざまな現場でのレク支援について理解を深める(視聴覚教材使用) ■			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。		1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。		1.5 時間
2	講義内容	レクリエーション概論(レクリエーションの主旨と手段を理解する) ■			
	該当する到達目標	予習	テキスト第 1 章に目をとおす。		1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	楽しさをとおした心の元気づくりについて授業を振り返って、イメージをもつ。		1.5 時間
3	講義内容	楽しさと心の元気づくりの理論(楽しさをとおした心の元気づくりを理解する)			
	該当する到達目標	予習	テキスト第 2 章に目をとおす。		1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	楽しさをとおした心の元気づくりについて授業を振り返って、イメージをもつ。		1.5 時間
4	講義内容	楽しさと心の元気づくりの理論(楽しさをとおした心の元気づくりを理解する)			
	該当する到達目標	予習	テキスト第 2 章に目をとおす。		1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	楽しさをとおした心の元気づくりについて授業を振り返って、イメージをもつ。		1.5 時間
5	講義内容	レクリエーション支援の理論 (コミュニケーションと信頼関係づくりの理論)			
	該当する到達目標	予習	テキスト第 3 章に目をとおす。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
6	講義内容	レクリエーション支援の理論（良好な集団づくりの理論）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 3 章に目をとす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
7	講義内容	レクリエーション支援の理論（自主的、主体的に楽しむ力を高める理論）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 3 章に目をとす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
8	講義内容	レクリエーション支援の方法（ホスピタリティの体験的理解 その1）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 4 章に目をとす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
9	講義内容	レクリエーション支援の方法（ホスピタリティの体験的理解 その2）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 4 章に目をとす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
10	講義内容	レクリエーション支援の方法（アイスブレーキング・モデルの体験）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 4 章に目をとす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
11	講義内容	レクリエーション支援の方法（アイスブレーキングのプログラムを体験する）■		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 4 章に目をとす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
12	講義内容	レクリエーション支援の方法（ハードル設定の習得）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 4 章に目をとす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
13	講義内容	レクリエーション支援の方法（アレンジ方法の習得）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 4 章に目をとす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
14	講義内容	レクリエーション支援の方法（CSS プロセスの習得）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 4 章に目をとす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
15	講義内容	安全管理の方法■		
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
備考	【授業期間全体を通じた授業の進め方】教員による講義がベースとなるが、グループワークによるテーマに沿った共同作業も予定している。「心を元気にする」ための理論をその実践へと結び付けるため、各グループによるレクリエーション活動を用いた短時間のレクリエーション支援を行い、「集団をリードする」「コミュニケーションを促進する」「楽しい空間をつくる」という感覚を養う。授業ごとの意見や感想を C-learning で求めることがある。 【オフィスアワー】火曜日 12:00～14:30、1 号館 3F302 研究室、3Fエレベータ前ポスト有。 【担当教員メールアドレス】初回ガイダンスで「メールの書き方」とともに伝える。 【受講上の注意】①積極的に C-learning を活用する。スマホ所有やネット環境が整っていることが望ましい。（※整っていない場合は、大学 PC 室などを利用すること。） ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		生物学(専門導入科目)			HNI111	講義
英文名		Biology				
担当教員		下川 哲昭				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標		現代生物学の基礎的事項について専門教育を受ける前に必要な生物学的知識を解説する。ただしヒトにおける食品・栄養学を履修する事を前提にヒトの生物学につながる事項を中心に講義を行う。生命現象の基本原則である「発生」「遺伝」「細胞」「筋収縮機構」「骨代謝」等の理解を深めることを目標とする。				
到達目標		1.ヒトにおける生物としての普遍的なシステムと特徴について正確に理解することができる。 2.資料を基に各々の生命現象の物質的・機能的側面を統合し他人に説明することができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理				
	✓	専門的知識				
		問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力				
		コミュニケーション能力				
		自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法		定期(筆記)試験 100%で評価する。60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック		定期試験後に出題の意図と試験結果を掲示する。				
使用教材		教科書:解剖生理学テキスト(第 1 版)、多久和典子著、南山堂、3,200 円+税。講義のスライドをて適宜プリントとして配布する。				
1	講義内容	ガイダンス、イントロダクション、生物学とは？				
	該当する到達目標 1	予習	教科書の前書き、講義の構成を理解する。			1.5 時間
		復習	講義内容、到達目標、成績評価法などを確認する。			1.5 時間
2	講義内容	人体の基本構造 1: 人体外観				
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 P1-P9 に目を通し不明な単語を調べておく。			1.5 時間
		復習	ヒトの体の概要について覚える。			1.5 時間
3	講義内容	人体の基本構造 2: 細胞				
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 P10-P17 に目を通し不明な単語を調べておく。			1.5 時間
		復習	細胞の基本構造と細胞分裂について覚える			1.5 時間
4	講義内容	人体の基本構造 3: 組織				
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 P18-P20 に目を通し不明な単語を調べておく。			1.5 時間
		復習	組織: 上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織を覚える。			1.5 時間
5	講義内容	人体の基本構造 4: 体液とホメオスタシス				
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 P21-P23 に目を通し不明な単語を調べておく。			1.5 時間
		復習	細胞外液と内液、ホメオスタシスについて覚える。			1.5 時間
6	講義内容	運動器系 1: 骨格				
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 P229-P235 に目を通し不明な単語を調べておく。			1.5 時間
		復習	骨の構造と代謝を覚える。			1.5 時間
7	講義内容	運動器系 2: 骨格筋				

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書 P238-P242 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1,2	復習	骨格筋の概要と収縮の仕組みについて覚える。	1.5 時間
8	講義内容	運動器系 3: 体幹の骨格		
	該当する到達目標	予習	教科書 P243-P244 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1,2	復習	脊柱、胸郭の骨について覚える。	1.5 時間
9	講義内容	運動器系 4: 体幹の筋		
	該当する到達目標	予習	教科書 P245-P248 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1,2	復習	体幹の筋について部位別に覚える。	1.5 時間
10	講義内容	運動器系 5: 上肢の骨格		
	該当する到達目標	予習	教科書 P249 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1,2	復習	上肢の骨格と関節を覚える。	1.5 時間
11	講義内容	運動器系 6: 上肢の筋		
	該当する到達目標	予習	教科書 P250-P252 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1,2	復習	上肢の筋とその運動について覚える。	1.5 時間
12	講義内容	運動器系 7: 下肢の骨格		
	該当する到達目標	予習	教科書 P252-P254 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1,2	復習	下肢の骨格と関節を覚える。	1.5 時間
13	講義内容	運動器系 8: 下肢の筋		
	該当する到達目標	予習	教科書 P255-P257 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1,2	復習	下肢の筋とその運動について覚える。	1.5 時間
14	講義内容	運動器系 9: 頭部の骨格		
	該当する到達目標	予習	教科書 P257-P259 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1,2	復習	脳頭蓋と顔面頭蓋について覚える。	1.5 時間
15	講義内容	運動器系 10: 頭部の筋		
	該当する到達目標	予習	教科書 P260-P261 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1,2	復習	頭部・顔面の筋(特に咀嚼筋)と頸部の筋について覚える。	1.5 時間
備考	授業の進め方: 双方向性を重視した活発な議論による授業になるように進める。 オフィスアワー: 月曜日 研究室: 1 号館 3 階・311、6 号館 1 階・栄養生理学研究室 メールアドレス: shimokawa-n@takasaki-u.ac.jp			

科目名	化学(専門導入科目)			HNI112	講義
英文名	Chemistry				
担当教員	永井 俊匡				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	生命現象の多くは化学的な知識で説明できる。本科目では化学の基礎(物理化学・無機化学)を学び、食品学・栄養学を理解するために必要な化学的知識を修得することを目指す。				
到達目標	1.原子と分子の構造について、化学的に説明できる。 2.物質量の概念を用いて、量的計算ができる。 3.中和反応、酸化還元反応について、説明できる。 4.発熱反応と吸熱反応について、説明できる。 5.各種反応について、反応物の名称から反応式を記述できる。 6.濃度計算ができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 80%、平常点 20%				
課題に対するフィードバック	期末試験は、解説と合わせて答案を返却するので、復習すること。				
使用教材	「化学の視点―健康へのアプローチ」山倉文幸・大森大二郎・馬場猛・著、東京教学社 2016 年、2,300 円。 基本的にテキストに沿って授業を進める。補足の必要な内容については、適宜プリントを配布する。				
1	講義内容	ガイダンス、問題演習			
	該当する到達目標 1	予習	高校の化学の教科書・参考書をおさらいしておく。	1.5 時間	
		復習	演習した問題を復習する。	1 時間	
2	講義内容	原子・分子・イオン			
	該当する到達目標 1	予習	教科書 1-1～1-7 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間	
		復習	教科書 1-1～1-7 の発展問題を解く。	1 時間	
3	講義内容	原子量・分子量、物質量			
	該当する到達目標 2	予習	教科書 1-8～1-9 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間	
		復習	教科書 1-8～1-9 の発展問題を解く。	1 時間	
4	講義内容	原子量・分子量、物質量(演習)			
	該当する到達目標 2	予習	配布した演習問題を解く。	1.5 時間	
		復習	配布した演習問題を復習する。	1 時間	
5	講義内容	気体			
	該当する到達目標 1	予習	教科書 3-1～3-4 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間	
		復習	教科書 3-1～3-4 の発展問題を解く。	1 時間	
6	講義内容	溶液			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書 3-5, 3-7～3-9 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
	1	復習	教科書 3-5, 3-7～3-9 の発展問題を解く。	1 時間
7	講義内容	溶液の濃度		
	該当する到達目標	予習	教科書 3-6 の図表を書き写し、確認問題を解く。 配布した演習問題を解く。	1.5 時間
	2,6	復習	配布した演習問題を復習する。	1 時間
8	講義内容	酸と塩基、pH		
	該当する到達目標	予習	教科書 4-1～4-3 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
	3,5	復習	教科書 4-1～4-3 の発展問題を解く。	1 時間
9	講義内容	中和反応		
	該当する到達目標	予習	教科書 4-4～4-6 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
	3,5	復習	教科書 4-4～4-6 の発展問題を解く。	1 時間
10	講義内容	酸と塩基、pH、中和反応(演習)		
	該当する到達目標	予習	配布した演習問題を解く。	1.5 時間
	2,3,5,6	復習	配布した演習問題を復習する。	1 時間
11	講義内容	反応速度		
	該当する到達目標	予習	教科書 5-1, 5-2 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
	4	復習	教科書 5-1, 5-2 の発展問題を解く。	1 時間
12	講義内容	化学平衡		
	該当する到達目標	予習	教科書 5-3, 5-4 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
	4	復習	教科書 5-3, 5-4 の発展問題を解く。	1 時間
13	講義内容	化学反応とエネルギー		
	該当する到達目標	予習	教科書 6-1～6-4 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
	4,5	復習	教科書 6-1～6-4 の発展問題を解く。	1 時間
14	講義内容	酸化還元反応		
	該当する到達目標	予習	教科書 7-1～7-4 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
	3,5	復習	教科書 7-1～7-4 の発展問題を解く。	1 時間
15	講義内容	酸化還元反応(演習)		
	該当する到達目標	予習	配布した演習問題を解く。	1.5 時間
	2,3,5,6	復習	配布した演習問題を復習する。	1 時間
備考	授業期間全体を通じた授業の進め方:教科書等をベースに板書等を行う。ノートをとる機会が多い。予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 キーワード:原子と分子、物質質量、中和、酸化還元、濃度。 オフィスアワー:前期・木曜 1 限、火曜 5 限。メールで連絡をもらえれば、それ以外の時間も柔軟に対応する。 メールアドレス:tnagai@takasaki-u.ac.jp			

科目名		有機化学 I（専門導入科目）			HNI113	講義
英文名		Organic Chemistry I				
担当教員		永井 俊匡				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標		食品学・栄養学の基礎となる有機化学について、基礎知識を修得することを目標とする。				
到達目標		1.基本的な有機化合物について、構造式から IUPAC 名または慣用名を導ける。 2.基本的な有機化合物について、IUPAC 名または慣用名から構造式を描ける。 3.簡単な分子式から、考えられる異性体をすべて導ける。 4.各種の有機化合物について、化学的な性質を説明できる。 5.各種の有機化合物について、主要な反応の反応式を書ける				
学位授与方針		✓	豊かな人間性と職業倫理			
との対応		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
			多様な社会・背景を理解し対応する能力			
			コミュニケーション能力			
			自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法		筆記試験 80%、平常点 20%				
課題に対するフィードバック		期末試験は、解説と合わせて答案を返却するので、復習すること。				
使用教材		「化学の視点―健康へのアプローチ」山倉文幸・大森大二郎・馬場猛・著、東京化学社 2016 年、2,300 円。 基本的にテキストに沿って授業を進める。補足の必要な内容については、適宜プリントを配布する。				
1	講義内容		化学結合			
	該当する到達目標	予習	教科書 2-1, 2-2, 2-4 の図表を書き写し、確認問題を解く。			1.5 時間
	4	復習	配布した演習問題を解く。			1 時間
2	講義内容		極性、分子間力			
	該当する到達目標	予習	教科書 2-5, 2-6 の図表を書き写し、確認問題を解く。			1.5 時間
	4	復習	教科書 2-5, 2-6 の発展問題を解く。			1 時間
3	講義内容		アルカン			
	該当する到達目標	予習	教科書 8-1, 8-2 の図表を書き写し、確認問題を解く。			1.5 時間
	1,2,4,5	復習	教科書 8-1, 8-2 の発展問題を解く。			1 時間
4	講義内容		アルケン・アルキン、環式化合物			
	該当する到達目標	予習	教科書 8-3, 8-4 の図表を書き写し、確認問題を解く。			1.5 時間
	1,2,4,5	復習	教科書 8-3, 8-4 の発展問題を解く。			1 時間
5	講義内容		化合物の命名法(演習)			
	該当する到達目標	予習	配布した演習問題を解く。			1.5 時間
	1,2	復習	配布した演習問題を復習する。			1 時間
6	講義内容		芳香族化合物			
	該当する到達目標	予習	教科書 8-5 の図表を書き写す。			1.5 時間
	1,2,4 5	復習	配布した演習問題を解く。			1 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

7	講義内容	アルコール		
	該当する到達目標 1,2,4,5	予習	教科書 9-1 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
		復習	教科書 9-1 の発展問題を解く。	1 時間
8	講義内容	アルデヒド・ケトン		
	該当する到達目標 1,2,4,5	予習	教科書 9-2 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
		復習	配布した演習問題を解く。	1 時間
9	講義内容	カルボン酸		
	該当する到達目標 1,2,4,5	予習	教科書 9-3 (1)～(3)の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
		復習	配布した演習問題を解く。	1 時間
10	講義内容	エステル・エーテル		
	該当する到達目標 1,2,4,5	予習	教科書 9-4, 9-5 の図表を書き写す。	1.5 時間
		復習	教科書 9-4, 9-5 の発展問題を解く。	1 時間
11	講義内容	アミン・アミド		
	該当する到達目標 1,2,4,5	予習	教科書 10-1～10-3 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
		復習	教科書 10-1～10-3 の発展問題を解く。	1 時間
12	講義内容	構造異性体		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	配布した演習問題を解く。	1.5 時間
		復習	配布した演習問題を復習する。	1 時間
13	講義内容	立体異性体		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 9-3 (4), (5)の図表を書き写す。	1.5 時間
		復習	配布した演習問題を解く。	1 時間
14	講義内容	異性体(演習)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	配布した演習問題を解く。	1.5 時間
		復習	配布した演習問題を復習する。	1 時間
15	講義内容	まとめ講義・問題演習		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	配布した演習問題を解く。	1.5 時間
		復習	配布した演習問題を復習する。	1 時間
備考	授業期間全体を通じた授業の進め方:教科書等をベースに板書等を行う。ノートをとる機会が多い。予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 キーワード:炭化水素、アルコール、アルデヒド、ケトン、カルボン酸、エステル、アミン、アミド。 オフィスアワー:前期・木曜 1 限、火曜 5 限。メールで連絡をもらえれば、それ以外の時間も柔軟に対応する。 メールアドレス:tnagai@takasaki-u.ac.jp			

科目名	有機化学Ⅱ（専門導入科目）			HNI114	講義
英文名	Organic Chemistry II				
担当教員	永井 俊匡				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	1.生命を構成する化合物の性質・役割を、有機化学の知識を用いて理解することを目指す。 2.有機化学と生化学の中間領域を学ぶことで、より専門的な栄養学を学ぶ準備をすることを目指す。				
到達目標	1.糖質の構造的特徴を説明できる。 2.二糖類・多糖類の結合様式を説明できる。 3.単純脂質の性質を説明できる。 4.タンパク質の構造を説明できる。 5.タンパク質合成に使われる 20 種類のアミノ酸の構造式が描ける。 6.DNA・RNA の構造を説明できる				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 100%				
課題に対するフィードバック	期末試験は、解説と合わせて答案を返却するので、復習すること。				
使用教材	「化学の視点―健康へのアプローチ」山倉文幸・大森大二郎・馬場猛・著、東京教学社 2016 年、2,300 円。 基本的にテキストに沿って授業を進める。補足の必要な内容については、適宜プリントを配布する。				
1	講義内容	単糖類			
	該当する到達目標 1	予習	教科書 11-1, 11-2 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間	
		復習	教科書 11-1, 11-2 の発展問題を解く。	1 時間	
2	講義内容	二糖類			
	該当する到達目標 2	予習	教科書 11-3 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間	
		復習	教科書 11-3 の発展問題を解く。	1 時間	
3	講義内容	多糖類			
	該当する到達目標 2	予習	教科書 11-4 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間	
		復習	教科書 11-4 の発展問題を解く。	1 時間	
4	講義内容	単純脂質			
	該当する到達目標 3	予習	教科書 12-1, 12-2 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間	
		復習	教科書 12-1, 12-2 の発展問題を解く。	1 時間	
5	講義内容	複合脂質			
	該当する到達目標 3	予習	教科書 12-3 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間	
		復習	配布した演習問題を解く。	1 時間	
6	講義内容	誘導脂質			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 3	予習	教科書 12-4 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
		復習	配布した演習問題を解く。	1 時間
7	講義内容 該当する到達目標 5	アミノ酸		
		予習	教科書 13-1 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
		復習	教科書 13-1 の発展問題を解く。	1 時間
8	講義内容 該当する到達目標 4	ペプチド		
		予習	教科書 13-2 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
		復習	配布した演習問題を解く。	1 時間
9	講義内容 該当する到達目標 4	タンパク質		
		予習	教科書 13-3 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
		復習	教科書 13-3 の発展問題を解く。	1 時間
10	講義内容 該当する到達目標 6	DNA		
		予習	教科書 14-1, 14-2, 14-4 (1)の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
		復習	教科書 14-1, 14-2, 14-4 (1)の発展問題を解く。	1 時間
11	講義内容 該当する到達目標 6	RNA		
		予習	教科書 14-3, 14-4 (2)の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
		復習	配布した演習問題を解く。	1 時間
12	講義内容 該当する到達目標 6	遺伝情報の発現		
		予習	教科書 14-4 (3), (4)の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
		復習	配布した演習問題を復習する。	1 時間
13	講義内容 該当する到達目標 3, 4	ビタミン		
		予習	配布した図表を書き写す。	1.5 時間
		復習	配布した演習問題を解く。	1 時間
14	講義内容 該当する到達目標 1,2,3,4	代謝		
		予習	教科書 11-5, 11-6, 12-5 の図表を書き写し、確認問題を解く。	1.5 時間
		復習	配布した演習問題を復習する。	1 時間
15	講義内容 該当する到達目標 1,2,3,4,5,6	まとめ講義・問題演習		
		予習	配布した演習問題を解く。	1.5 時間
		復習	配布した演習問題を復習する。	1 時間
備考	受講資格:「有機化学Ⅰ」を履修済みであることが望ましい。 授業期間全体を通じた授業の進め方:教科書等をベースに板書等を行う。ノートをとる機会が多い。予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 キーワード:炭化水素、アルコール、アルデヒド、ケトン、カルボン酸、エステル、アミン、アミド。 オフィスアワー:前期・木曜 1 限、火曜 5 限。メールで連絡をもらえれば、それ以外の時間も柔軟に対応する。 メールアドレス:tnagai@takasaki-u.ac.jp			

科目名		管理栄養士実践入門(専門導入科目)			HNI115	講義
英文名		Introduction for Registered Dietitians				
担当教員		木村 典代、村松 芳多子、五十嵐 美絵、竹内 真理、高梨 美穂、内田 薫				
科目に関連した実務経験		竹内: 管理栄養士として病院に勤務(経験) 五十嵐: 管理栄養士として保健所等に勤務(経験) 木村: 管理栄養士(スポーツ栄養士)として、スポーツ選手の栄養管理を行う(現在)				
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標		栄養学、管理栄養士の歴史を学び、社会における管理栄養士の使命や役割および活動分野の理解を通して管理栄養士を目指す気持ちを育むことを目的とする。 専門科目を学ぶ前の管理栄養士を目指す動機づけとした学修を行う。 関連する教員がオムニバスで行う。				
到達目標		1. 日常の生活の中で、食べ物、人間のからだの働きへの関心を深める。 2. 自分の食生活を振り返り、より良い食生活を実践する力を身につける。 3. 栄養学、栄養士活動の歴史を理解する。 4. 管理栄養士の使命、役割を医療、行政、学校などの分野別に説明できる。■ 5. 管理栄養士養成の方法を理解する。				
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と職業倫理			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		✓	コミュニケーション能力			
		✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法		授業態度 30%、各担当教員が行う確認テスト・レポートなどの課題 70%				
課題に対するフィードバック		実習中の課題は、授業中に解説を行う。 確認テストは解答を掲示する。				
使用教材		担当教員作成のプリント、参考図書 「日本人の食事摂取基準 2015 年版」 菱田明、佐々木敏監修(第一出版) ISBN978-4-8041-1312-8 日本食品標準成分表 2015 年版(七訂) 文部科学省科学技術・学術審議会資源調査分科会報告 ISBN978-4-86458-118-9				
1	講義内容	オリエンテーション、グループ分け				
	該当する到達目標 3・5	予習	シラバスを読んで講義の目標などを確認しておく			1.5 時間
		復習	管理栄養士が働いている場所、内容を調べておく			0.5 時間
2	講義内容	栄養学、栄養士の歴史				
	該当する到達目標 3	予習	栄養士のルーツを調べておく			1 時間
		復習	栄養士・管理栄養士の歴史をまとめる			1 時間
3	講義内容	自分の生活(身体活動)を知る。(身体活動量計の使用)				
	該当する到達目標 2	予習	運動不足が原因となる疾病には何があるかを考えてくる			0.5 時間
		復習	自分の身体活動状況を調査する			1 時間
4	講義内容	食事記録の書き方				
	該当する到達目標	予習	日本人の食事摂取基準 2015 年版「総論(p.1～44)」を読む。			0.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	2	復習	【課題】2 日間の食事を秤量及び目視による記録と、簡易自記式食事歴質問票の記入を行う。	2 時間
5	講義内容	食をめぐる最近の話題と生活の中の「食」を考える		
	該当する到達目標	予習	栄養・食生活の最近の話題をみつける	1 時間
	1	復習	重要な話題を掘り下げ、まとめる	1 時間
6	講義内容	自分の食事を知るⅠ（日本食品標準成分表・日本人の食事摂取基準）		
	該当する到達目標	予習	日本人の食事摂取基準 2015 年版総論(p.1～44)を読む。	0.5 時間
	2	復習	【課題】1 日目の食事調査記録の栄養計算を行う。	1.5 時間
7	講義内容	化学関連①単位の接頭語・有効数字		
	該当する到達目標	予習	SI 接頭語や有効数字の定義を調べておく。	0.5 時間
	1	復習	単位と接頭語の組み合わせや有効数字の使い方を理解する。	1 時間
8	講義内容	自分の食事を知るⅡ（日本食品標準成分表・日本人の食事摂取基準）		
	該当する到達目標	予習	食事調査法の違いを整理する。(p.22～25, オリジナル資料 p.24～25, 34～37)	0.5 時間
	2	復習	【課題】2 日目の食事調査記録の栄養計算を行う。	1.5 時間
9	講義内容	化学関連②物質質量		
	該当する到達目標	予習	物質質量とモル濃度の関係を確認する	1 時間
	1	復習	試薬調製の計算について理解する	1.5 時間
10	講義内容	グループワーク(自分の生活を振り返る)		
	該当する到達目標	予習	調査した身体活動状況からエネルギー消費量を求める。	2 時間
	1・2	復習	自分の身体活動の特徴をまとめ考察する。	1 時間
11	講義内容	化学関連③力価		
	該当する到達目標	予習	力価とは何か調べておく。	0.5 時間
	1	復習	真の濃度、実験器具の精度について理解する。	1 時間
12	講義内容	自分の食事を知るⅢ（日本食品標準成分表・日本人の食事摂取基準）		
	該当する到達目標	予習	「日本食品標準成分表 2015 年版」第 1 章説明(p.1～33)を読む。	0.5 時間
	1	復習	【課題】2 日目の食事調査記録の栄養計算と、集計を行う。	1.5 時間
13	講義内容	栄養士の使命と役割 1(医療施設・高齢者施設で働く管理栄養士)■		
	該当する到達目標	予習	医療施設、高齢者施設の概要、特徴を調べておく。	1 時間
	4	復習	施設で働く管理栄養士の声を聴き、使命、役割をまとめ提出する。	1.5 時間
14	講義内容	管理栄養士の職業倫理■		
	該当する到達目標	予習	職業倫理とは何か調べておく	1 時間
	3	復習	講義内容についての質問項目に答え、提出する。	1.5 時間
15	講義内容	化学関連④パーセント濃度		
	該当する到達目標	予習	百分率、密度について確認する。	1 時間
	1	復習	調味%について理解する。	1 時間
16	講義内容	栄養士の使命と役割 2(学校・保育所・事業所等で働く管理栄養士)		
	該当する到達目標	予習	学校、保育所、事業所施設の概要、特徴を調べておく。	1 時間
	4	復習	施設で働く管理栄養士の声を聴き、使命、役割をまとめ提出する。	1.5 時間
17	講義内容	栄養士の使命と役割 3(保健所・市町村等行政で働く管理栄養士)■		
	該当する到達目標	予習	保健所、市町村保健センター施設の概要、特徴を調べておく。	1 時間
	4	復習	施設で働く管理栄養士の声を聴き、使命、役割をまとめ提出する	1.5 時間
18	講義内容	管理栄養士養成に必要なカリキュラム／実験・実習の心得		

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 5	予習	履修ガイドを読んでおく。	1 時間
		復習	今後の自分の履修方針を考える。	1 時間
19	講義内容	栄養士の使命と役割 4(スポーツ栄養等新しい分野で働く管理栄養士) ■		
	該当する到達目標 4	予習	管理栄養士が働く新しい分野にはどんな仕事があるか調べておく。	1 時間
		復習	これからの管理栄養士どのような分野で働くことができるかを考えて提出する。	1.5 時間
20	講義内容	化学関連⑤含有率、含有量		
	該当する到達目標 1	予習	含有率、塩分濃度について調べておく。	0.5 時間
		復習	汁物中の塩分含有率や試薬中の特定物質の含有量について理解する。	1.5 時間
21	講義内容	グループワーク(自分の食生活を振り返る)テーマディスカッション		
	該当する到達目標 2	予習	【講義参加の条件課題】2 日間の食事調査の栄養計算と集計等が終了していること。	1.5 時間
		復習	【課題】「まとめ 自分の食生活を振り返る」の記載と提出	0.5 時間
22	講義内容	化学関連⑥溶液の希釈		
	該当する到達目標 1	予習	パーセント濃度やモル濃度について確認する。	1 時間
		復習	試薬調製における希釈について理解する。	1.5 時間
23	講義内容	グループワーク、確認テスト(実践入門振り返り)		
	該当する到達目標 1,2	予習	今までに配布されたプリントを読んで、学習しておく。	3 時間
		復習	レポートに備え準備する。	1 時間
24	講義内容	化学関連⑦確認テスト		
	該当する到達目標 1	予習	①～⑥の配布プリントをよく見直し、学習する。	4 時間
		復習	他教科で活用できるように、内容を整理する。	1.5 時間
25	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
26	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
27	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
28	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
29	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
30	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	教員が作成したプリントに沿ってパワーポイントを使用し授業を行う。自分の身体状況調査、食事調査を行い、それをもとにグループでディスカッションをして理解を深める。 化学関連については、教員作成のプリントによる説明の後、学生間で話し合っていていく。			

オフィスアワー:

五十嵐美絵:木曜日の 5 時限(1 号館 3 階 305 研究室) メールアドレス:igarashi@takasaki-u.ac.jp

《身体活動調査、身体活動について》

木村典代:水曜日の 5 時限(1 号館 3 階 301 研究室) 授業がある日は事前連絡をくれれば、17:00 まで対応

メールアドレス:kimura@takasaki-u.ac.jp

《食事調査、栄養管理等について》

村松芳多子:講義のある曜日の午後(3~5 時限)(1 号館 4 階 404 研究室) 相談・質問がある場合は予めアポイントメントを取る。 メールアドレス:muramatsu@takasaki-u.ac.jp

平日の予習・復習時間の不足分は、土日祝日等に必ず補うこと。課題は、記載の平日時間だけでは終了できません。

<化学関連について>

内田薫:水曜日 5, 6 限(1 号館 3 階 301 セミナー室) メールアドレス:uchida-k@takasaki-u.ac.jp

■実務経験に基づく内容を示す。

科目名	管理栄養士基礎実習(専門導入科目)			HNI116	実習
英文名	Practical Training in Registered Dietitians				
担当教員	河原田 律子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	1 年生前期の段階で、管理栄養士がどのような場(病院、福祉施設、学校など)でどのように活躍しているのかを見学・体験することを目的としている。3 年次以降の「臨地実習Ⅰ～Ⅳ」がスムーズに行えるようにする。				
到達目標	1.管理栄養士という専門職に求められるニーズ(どのような技術や知識)を説明できる。 2.現場体験を踏まえて、専門科目への学習意欲を高めることができる。 3.専門職に就くための意識を高めることができる。				
学位授与方針		豊かな人間性と職業倫理			
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	実習態度や取り組み等 50%、課題レポート 30%、実習ノート 20%、巡回指導教員からの報告なども含め総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	実習ノートを提出期限内に提出した学生には、授業担当者からのコメントを付して返却する。				
使用教材	実習ノート(実習前に配布)・配布資料				
講義内容	学内(実習前学修) (実習は夏季休業中に行うので、前期のあいている時間に事前学習を行う) 1)実習の目的(身につけたいことは何か) 2)実習先の選定(実習先の概要) 3)実習現場におけるマナー 4)実習計画書の作成 実習体験 5か所の実習先(5日間)において、1日あたり9時間(1時間を45分として換算))通い、上記の到達目標達成に向けて実習を受講する。 1)管理栄養士の役割 2)管理栄養士の業務内容 3)管理栄養士のニーズ 4)管理栄養士の資質 学内(実習後学修) 1)実習ノートの作成 2)実習の反省と改善				
	予習	実習先の特徴を調べ、どのような対象者に対する施設かを知り、何を学びたいか考える。			2 時間
	復習	実習内容の復習、実習ノートの作成・提出。			2 時間
	備考	オフィスアワー:木曜日 1-4 時限			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	夏休み期間に病院、福祉施設、障害者施設、保育園での実習を行う。事前学習のなかで、病院や福祉施設の管理栄養士の業務を理解することで、実習中に何を学びたいか目的をもって実習に臨む。 予習復習時間の不足分は、各自補完すること。 メールアドレス:nasu@takasaki-u.ac.jp 研究室: 406 研究室(4 階 臨床栄養研究室)

科目名	栄養情報処理論(専門基幹科目)				HNB211	講義
英文名	Nutrition Information Processing					
担当教員	渡辺由美					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	必修 2 単位			
講義目標	栄養学の専門領域および関連領域の情報を収集し、収集した情報を評価する能力を習得する。また調査・研究等で得られたデータを適切な統計学的手法を用いて分析し、正しい評価ができるような知識と技術を修得することを目標とする。					
到達目標	1.データの特性を考えた適切な集計方法や統計処理方法を選択できる。 2.課題解決に向けた目標を設定し、研究計画を立てることができる。					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理				
	✓	専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力				
	✓	コミュニケーション能力				
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法	期末試験(筆記試験)100%で評価する。 60%以上を合格とする。					
課題に対するフィードバック	課題提出物は、コメントをつけて返却し解説する。 期末試験については、問題の出題意図を説明する。					
使用教材	教科書はないが、講義に必要な資料は、毎回印刷し配布する。					
1	講義内容	栄養情報処理とは				
	該当する到達目標 1	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解しておくこと。			1.5 時間
		復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べること。			1.5 時間
2	講義内容	統計の基礎(1) データの種類				
	該当する到達目標 1	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。			1.5 時間
		復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。			1.5 時間
3	講義内容	統計の基礎(2) データの表示方法				
	該当する到達目標 1	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。			1.5 時間
		復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。			1.5 時間
4	講義内容	統計の基礎(3) 代表値				
	該当する到達目標 1	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。			1.5 時間
		復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。			1.5 時間
5	講義内容	統計の基礎(4) 散布度				
	該当する到達目標 1	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。			1.5 時間
		復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。			1.5 時間
6	講義内容	統計の基礎(5) データの分布				
	該当する到達目標 1	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。			1.5 時間
		復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。			1.5 時間
7	講義内容	統計の基礎(6) クロス集計				

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	事前を示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1.5 時間
	1	復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。	1.5 時間
8	講義内容	統計の基礎(7) 平均値の推定		
	該当する到達目標	予習	事前を示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1.5 時間
	1	復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。	1.5 時間
9	講義内容	統計の基礎(8) 比率の推定		
	該当する到達目標	予習	事前を示すキーワードや専門用語の意味を理解しておくこと。	1.5 時間
	1	復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。	1.5 時間
10	講義内容	統計の基礎(9) 仮説検定の考え方		
	該当する到達目標	予習	事前を示すキーワードや専門用語の意味を理解しておくこと。	1.5 時間
	1	復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。	1.5 時間
11	講義内容	調査の進め方		
	該当する到達目標	予習	事前を示すキーワードや専門用語の意味を理解しておくこと。	1.5 時間
	2	復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。	1.5 時間
12	講義内容	調査対象の選定		
	該当する到達目標	予習	事前を示すキーワードや専門用語の意味を理解しておくこと。	1.5 時間
	2	復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。	1.5 時間
13	講義内容	調査票の作成		
	該当する到達目標	予習	事前を示すキーワードや専門用語の意味を理解しておくこと。	1.5 時間
	2	復習	授業の内容について要点をまとめ、練習問題などは繰り返し解くこと。	1.5 時間
14	講義内容	食事調査		
	該当する到達目標	予習	事前を示すキーワードや専門用語の意味を理解しておくこと。	1.5 時間
	2	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べること。	1.5 時間
15	講義内容	健康情報の信頼性		
	該当する到達目標	予習	事前を示すキーワードや専門用語の意味を理解しておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べること。	1.5 時間
備考	授業の進め方: 板書と配布印刷物を用いて講義形式ですすめる。 予習・復習の不足分については、試験前の学習等で各自補完すること。 オフィスアワー: 月曜日の 5 時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス: wyumi@takasaki-u.ac.jp 研究室: 1 号館 3 階 304			

科目名	栄養情報処理実習(専門基幹科目)			HNB212	実習
英文名	Nutrition Information Processing [Practice]				
担当教員	渡辺由美				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	コンピュータを用いて、栄養学分野のデータの扱い方、集計方法、解析方法等について学び、データを客観的に比較・検討するための知識と技術を修得し、栄養情報を正しく有効に活用する能力を身につけることを目標とする。				
到達目標	1.授業で取り上げた専門用語の説明ができる。 2.コンピュータを用いて、データの整理、集計、グラフ化ができる。 3.コンピュータを用いて、基本的な統計処理、解析ができる。 4.コンピュータを用いて、プレゼンテーションのための資料を作成できる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	期末試験 90%、課題 10%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	授業中に提出した課題については、次回の授業で解説する。				
使用教材	教科書はないが、講義に必要な資料は、毎回印刷し配布する。				
1	講義内容	オリエンテーション			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する。		0.5 時間
		1	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。	
2	講義内容	データの種類と基礎統計量			
	該当する到達目標	予習	技術的な予習は必要ないが、事前に示したキーワードについて調べる。		0.5 時間
		1	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。	
3	講義内容	データの整理・集計(1) 論理関数			
	該当する到達目標	予習	技術的な予習は必要ないが、事前に示したキーワードについて調べる。		0.5 時間
		1,2	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。	
4	講義内容	データの整理・集計(2) ピボットテーブル			
	該当する到達目標	予習	技術的な予習は必要ないが、事前に示したキーワードについて調べる。		0.5 時間
		1,2	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。	
5	講義内容	統計グラフの作成			
	該当する到達目標	予習	技術的な予習は必要ないが、事前に示したキーワードについて調べる。		0.5 時間
		1,2	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。	
6	講義内容	統計分析(1) 母平均の差の検定、分散分析			
	該当する到達目標	予習	技術的な予習は必要ないが、事前に示したキーワードについて調べる。		0.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,3	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。	1 時間
7	講義内容	統計分析(2) 相関分析、回帰分析		
	該当する到達目標	予習	技術的な予習は必要ないが、事前に示したキーワードについて調べる。	0.5 時間
	1,3	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。	1 時間
8	講義内容	統計分析(3) 区間推定		
	該当する到達目標	予習	技術的な予習は必要ないが、事前に示したキーワードについて調べる。	0.5 時間
	1,3	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。	1 時間
9	講義内容	差し込み印刷の応用		
	該当する到達目標	予習	技術的な予習は必要ないが、事前に示したキーワードについて調べる。	0.5 時間
	1,2	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。	1 時間
10	講義内容	「栄養計算ソフト」の活用		
	該当する到達目標	予習	技術的な予習は必要ないが、事前に示したキーワードについて調べる。	0.5 時間
	1,2	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。	1 時間
11	講義内容	プレゼンテーション資料の作成(1)		
	該当する到達目標	予習	技術的な予習は必要ないが、事前に示したキーワードについて調べる。	0.5 時間
	1,4	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。	1 時間
12	講義内容	プレゼンテーション資料の作成(2)		
	該当する到達目標	予習	技術的な予習は必要ないが、事前に示したキーワードについて調べる。	0.5 時間
	1,4	復習	授業の内容を見直し、操作を確実に覚える。	1 時間
13	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	コンピュータ実習Ⅱ(1年生・後期)を履修していることが望ましい。 授業の進め方:ICT と配布印刷物を用いて方法を説明したのち、実技を行う。 予習・復習の不足分については、試験前の学習等で各自補完すること。 オフィスアワー:水曜日の 5 時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス: wyumi@takasaki-u.ac.jp 研究室:1 号館 3 階 304			

科目名	公衆衛生学Ⅰ（専門基幹科目）			HNB213	講義
英文名	Public HealthⅠ				
担当教員	渡辺 由美				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 前期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	公衆衛生学は人間集団を対象として、疾病の予防、健康の維持・増進、福祉の向上を図り、QOLの向上に寄与することを目的とした学問である。本講義では、社会的要因が健康に及ぼす影響を理解し、現代社会における健康問題と対策について学ぶ。また、健康状態とその規定要因を評価し、健康の維持・増進や疾病予防に役立てるための知識や考え方および方法論を学習することを目標とする。				
到達目標	1.健康の概念と社会との関わりについて説明できる。 2.健康の現状と問題について説明できる。 3.健康状態や疾病の測定と評価ができる。 4.生活習慣と主要疾患の現状と対策について説明できる。 5.健康に関わる社会制度と保健対策について説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	期末試験（筆記試験）100%で評価する。 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	期末試験については、問題の出題意図を説明する。				
使用教材	講義に必要な資料は、適宜印刷し配布する。				
1	講義内容	公衆衛生学概論			
	該当する到達目標 1	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解しておくこと。		1.5 時間
		復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。		1.5 時間
2	講義内容	人口動態・動態統計			
	該当する到達目標 2	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。		1.5 時間
		復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。		1.5 時間
3	講義内容	死亡統計と傷病統計			
	該当する到達目標 2	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。		1.5 時間
		復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。		1.5 時間
4	講義内容	疫学(1) 疫学の概念と歴史			
	該当する到達目標 3	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。		1.5 時間
		復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。		1.5 時間
5	講義内容	疫学(2) 疫学指標			
	該当する到達目標 3	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。		1.5 時間
		復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

6	講義内容	疫学(3) 研究デザイン		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1.5 時間
	3	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
7	講義内容	疫学(4) スクリーニング		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1.5 時間
	3	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
8	講義内容	生活習慣の現状と対策		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1.5 時間
	4	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
9	講義内容	主要疾病の疫学と予防対策		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1.5 時間
	4	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
10	講義内容	母子保健		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1.5 時間
	5	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
11	講義内容	学校保健		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1.5 時間
	5	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
12	講義内容	感染症の予防と対策		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1.5 時間
	5	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
13	講義内容	精神保健		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1.5 時間
	5	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
14	講義内容	歯科保健		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1.5 時間
	5	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
15	講義内容	国際保健		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語の意味を理解すること。	1.5 時間
	5	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
備考	授業の進め方: 板書と配布印刷物、視聴覚メディア(DVD)を用いて講義形式で進める。 日頃から、新聞やテレビが報じる公衆衛生に関する情報に関心を持つことにより、授業の理解が深まる。 予習・復習の不足分については、試験前の学習などで各自補完すること。 参考図書:「国民衛生の動向」 オフィスアワー: 月曜日の 5 時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス: wyumi@takasaki-u.ac.jp 研究室: 1 号館 3 階 304			

科目名	公衆衛生学Ⅱ(専門基幹科目)			HNB214	講義
英文名	Public HealthⅡ				
担当教員	渡辺 由美				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	公衆衛生学は人間集団を対象として、疾病の予防、健康の維持・増進、福祉の向上を図り、QOL の向上に寄与することを目的とした学問である。本講義では、人々の健康の維持・増進と環境の関わりを理解するために必要な知識を修得し、健康に関わる社会制度、労働者の保健対策について理解することを目標とする。				
到達目標	1.人間を取り巻く環境要因と健康障害について説明できる。 2.労働者の健康の現状と問題および産業保健対策について説明できる。 3.わが国における社会保障制度の仕組みについて説明ができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	期末試験(筆記試験)100%で評価する。 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	期末試験については、問題の出題意図を説明する。				
使用教材	教科書:「社会・環境と健康」古野純典、辻一郎、吉池信男編集(南江堂) 講義に必要な資料は、適宜印刷し配布する。				
1	講義内容	生態系と人々の生活			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章の関連分野に目を通す。		1.5 時間
	1	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。		1.5 時間
2	講義内容	環境汚染と健康影響			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章の関連分野に目を通す。		1.5 時間
	1	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。		1.5 時間
3	講義内容	環境衛生(1) 気候・大気・圧力・温度			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章の関連分野に目を通す。		1.5 時間
	1	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。		1.5 時間
4	講義内容	環境衛生(2) 騒音・放射線・住居環境			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章の関連分野に目を通す。		1.5 時間
	1	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。		1.5 時間
5	講義内容	産業保健(1) 産業保健の目的			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 12 章の関連分野に目を通す。		1.5 時間
	2	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。		1.5 時間
6	講義内容	産業保健(2) 労働衛生管理			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 12 章の関連分野に目を通す。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	2	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
7	講義内容	産業保健(3) 職業病		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 12 章の関連分野に目を通す。	1.5 時間
	2	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
8	講義内容	社会保障制度		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章の関連分野に目を通す。	1.5 時間
	3	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
9	講義内容	医療制度(1) 医療保険制度		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章の関連分野に目を通す。	1.5 時間
	3	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
10	講義内容	医療制度(2) 国民医療費		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章の関連分野に目を通す。	1.5 時間
	3	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
11	講義内容	介護保険制度(1) 介護保険制度の概要		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 11 章の関連分野に目を通す。	1.5 時間
	3	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
12	講義内容	介護保険制度(2) 介護保険サービス		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 11 章の関連分野に目を通す。	1.5 時間
	3	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
13	講義内容	高齢者福祉		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 11 章の関連分野に目を通す。	1.5 時間
	3	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
14	講義内容	高齢者保健		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 11 章の関連分野に目を通す。	1.5 時間
	3	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
15	講義内容	衛生関係法規のまとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書の関連分野に目を通す。	1.5 時間
	3	復習	授業の内容について要点をまとめ、関連事項について調べる。	1.5 時間
備考	授業の進め方:板書と配布印刷物を用いて講義形式で進める。 日頃から、新聞やテレビが報じる公衆衛生に関する情報に関心を持つことにより、授業の理解が深まる。 予習・復習の不足分については、試験前の学習などで各自補完すること。 参考図書:「国民衛生の動向」 オフィスアワー:火曜日の 5 時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス:wyumi@takasaki-u.ac.jp 研究室:1 号館 3 階 304			

科目名	解剖生理学 I (専門基幹科目)			HNB221	講義
英文名	Anatomy and Physiology I				
担当教員	下川 哲昭				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	正常な人体の仕組みについて、個体とその機能を構成する細胞レベルから組織・器官レベルまでの構造や機能を学修する。「解剖生理学 I」では、血液と免疫系の詳細、バイタルサインの基本である循環・呼吸器系、さらに生体調節の機能と維持に大きく関わる内分泌系を講義する。これら生命現象の基盤を系統的に理解することを目標とする。				
到達目標	1.人体の構成および構造の詳細を系統的に理解し説明できる。 2.ヒトにおける基本的活動(血圧や体液の恒常性の維持、呼吸、血流、等)を理解し他人に説明することができる。 3.生理機能破綻による疾患の基本的な発症メカニズムを理解し説明することができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期(筆記)試験 100%で評価する。60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	定期試験後に出題の意図と試験結果を掲示する。				
使用教材	教科書:解剖生理学テキスト(第 1 版)、多久和典子著、南山堂、3,200 円+税。講義のスライドをて適宜プリントとして配布する。				
1	講義内容	血液学(1)血漿			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 P122-P125 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間	
		復習	血漿と血清についてその構成と機能を理解する。	1.5 時間	
2	講義内容	血液学(2)血液細胞			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 P125-P132 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間	
		復習	血球の由来、機能を理解する。	1.5 時間	
3	講義内容	血液学(3)止血と線溶			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 P132-P134 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間	
		復習	造血機構と止血・血液凝固機構、線維素溶解現象を理解する。	1.5 時間	
4	講義内容	免疫学(1)			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 P135-P139 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間	
		復習	免疫細胞、免疫器官、免疫の種類について理解する。特に「食物アレルギー」について十分理解する。	1.5 時間	
5	講義内容	免疫学(2)			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 P139-P141 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間	
		復習	ABO 式血液型や Rh 式血液型、輸血とそれに伴う拒絶反応について理解する。	1.5 時間	

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

6	講義内容	循環器系(1)循環器総論		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 P26・P27 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
		復習	循環器系の構成について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	循環器系(2)心臓と血管		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 P28・P42 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
		復習	心臓の構造と機能を理解する。血管の機能的分類を覚える	1.5 時間
8	講義内容	循環器系(3)循環の調節機構		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 P43・P51 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
		復習	血圧の調節機構について理解する。循環器系の調節機構とリンパ循環機構について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	呼吸器系(1)呼吸器系の構成と仕組み		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 P54・P65 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
		復習	呼吸器系の構成を覚える。	1.5 時間
10	講義内容	呼吸器系(2)呼吸運動		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 P65・P68 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
		復習	呼吸筋、呼吸中枢、呼吸調節を理解する。肺気量分画を覚える。呼吸調節機構と呼吸の異常について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	呼吸器系(3)呼吸機能検査		
	該当する到達目標 2,3	予習	教科書 P70・P74 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
		復習	呼吸障害の種類を理解する。O ₂ 、CO ₂ の運搬と酸素解離曲線を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	内分泌系(1)内分泌総論		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 P148・P150 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
		復習	内分泌器官とホルモンの名称、標的器官、作用を覚える。ホルモンの過剰と欠乏による代表的な内分泌疾患を理解し覚える。	1.5 時間
13	講義内容	内分泌系(2)視床下部・下垂体		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 P152・P155 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
		復習	視床下部、下垂体のホルモンとその作用を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	内分泌系(3)甲状腺・副腎		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 P156・P159 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
		復習	甲状腺、副腎のホルモンとその作用を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	内分泌系(4)糖代謝ホルモン、Ca ²⁺ 代謝ホルモン、性腺のホルモン		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 P161・P168 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
		復習	糖代謝とCa ²⁺ 代謝、生殖腺に関わるホルモンを理解する。	1.5 時間
備考	授業の進め方: 双方向性を重視した活発な議論による授業になるように進める。 オフィスアワー: 月曜日 研究室: 1 号館 3 階・311、6 号館 1 階・栄養生理学研究室 メールアドレス: shimokawa.n@takasaki-u.ac.jp			

7 科目名	解剖生理学Ⅱ(専門基幹科目)			HNB222	講義
英文名	Anatomy and PhysiologyⅡ				
担当教員	下川 哲昭				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	正常な人体の仕組みについて、個体とその機能を構成する細胞レベルから組織・器官レベルまでの構造や機能を学修する。「解剖生理学Ⅱ」では、生殖器系、消化器系および泌尿器系、神経系と感覚系の詳細を講義する。これら生命現象の基盤を系統的に理解することを目標とする。				
到達目標	1.人体の構成および構造の詳細を系統的に理解し説明できる。 2.ヒトにおける基本的活動(生殖行動、栄養素の消化と吸収、尿の生成、神経活動等)を理解し他人に説明することができる。 3.生理機能破綻による疾患の基本的な発症メカニズムを理解し説明することができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期(筆記)試験 100%で評価する。60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	定期試験後に出題の意図と試験結果を掲示する。				
使用教材	教科書:教科書:解剖生理学テキスト(第1版)、多久和典子著、南山堂、3,200円+税。講義のスライドをて適宜プリントとして配布する。				
1	講義内容	生殖器系(1)			
	該当する到達目標	予習	教科書 P264・P276 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間	
	1,2	復習	男性/女性の生殖器の構成と機能を理解する。	1.5 時間	
2	講義内容	生殖器系(2)受精・妊娠・分娩・泌乳			
	該当する到達目標	予習	教科書 P277・P287 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間	
	2,3	復習	生殖における諸相(性周期、受精、着床、分娩、泌乳、閉経)を理解する。	1.5 時間	
3	講義内容	消化器系(1)総論			
	該当する到達目標	予習	教科書 P76・P79 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間	
	1,2	復習	消化器系の構成について覚える。	1.5 時間	
4	講義内容	消化器系(2)口腔から胃			
	該当する到達目標	予習	教科書 P79・P85 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間	
	1,2	復習	口腔、食道、胃の機能について理解する。	1.5 時間	
5	講義内容	消化器系(3)小腸から肛門			
	該当する到達目標	予習	教科書 P86・P96 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間	
	1,2	復習	小腸、大腸、について理解する。三大栄養素の消化・吸収過程を理解し覚える。	1.5 時間	
6	講義内容	消化器系(4)肝臓・胆嚢・膵臓			
	該当する到達目標	予習	教科書 P96・P103 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間	

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3	復習	肝臓、膵臓の機能。消化器系における内分泌的/神経的な機能調節とその破綻について理解する	1.5 時間
7	講義内容	泌尿器系(1)泌尿器系の構成		
	該当する到達目標	予習	教科書 P106-P107 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1	復習	泌尿器系の構成を覚える。	1.5 時間
8	講義内容	泌尿器系(2)腎臓		
	該当する到達目標	予習	教科書 P108-P116 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1,2	復習	腎臓の形態や働きおよび尿生成のメカニズムについて理解する。	1.5 時間
9	講義内容	泌尿器系(3)尿路		
	該当する到達目標	予習	教科書 P116-P118 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	蓄尿と排尿のメカニズム、および泌尿器疾患を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	神経系(1)神経系の概観		
	該当する到達目標	予習	教科書 P170-P173 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1	復習	神経細胞の構造と神経系の構成を覚える。	1.5 時間
11	講義内容	神経系(2)中枢神経系		
	該当する到達目標	予習	教科書 P173-P185 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1,2	復習	中枢神経の構成と機能を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	神経系(3)末梢神経系		
	該当する到達目標	予習	教科書 P186-P193、P144-148 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1,2	復習	脳神経と自律神経の機能と特性を覚える。	1.5 時間
13	講義内容	神経系(4)神経障害		
	該当する到達目標	予習	教科書 P194-P197 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	代表的な神経疾患(パーキンソン病、アルツハイマー病など)の発症原因を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	感覚器系(1)視覚・聴覚・平衡感覚		
	該当する到達目標	予習	教科書 P200-P215 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	視覚と聴覚の特性、および視覚障害、聴覚障害を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	感覚器系(2)味覚・嗅覚・皮膚感覚		
	該当する到達目標	予習	教科書 P216-P225 に目を通し不明な単語を調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	味覚・嗅覚・皮膚感覚、内臓感覚における特性とその破綻を理解する。	1.5 時間
備考	授業の進め方: 双方向性を重視した活発な議論による授業になるように進める。 オフィスアワー: 月曜日 研究室: 1 号館 3 階・311、6 号館 1 階・栄養生理学研究室 メールアドレス: shimokawa-n@takasaki-u.ac.jp			

科目名	解剖生理学実習(専門基幹科目)				HNB223	実習
英文名	Anatomy and Physiology [Experiment]					
担当教員	下川 哲昭					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	必修 1 単位			
講義目標	「解剖生理学Ⅰ・Ⅱ」の講義で学習した臓器構成や血液、呼吸器、消化器の基礎的事項について実際に実験で確認し系統的な理解を確立することを目標とする。					
到達目標	1.人体の基本的な構造と機能を知るための実験方法とその原理を理解することができる。 2.実験の結果得られたデータを適正に解釈し、その妥当性を他人と討論することができる。					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理				
	✓	専門的知識				
		問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力				
		コミュニケーション能力				
		自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法	実習への出席、取り組む姿勢、レポートの採点によって総合的に評価する。 評価方法の基準については実習開始時と終了時にアナウンスする。					
課題に対するフィードバック	提出されたすべてのレポートは、詳細に検討する。 レポートとして完成度の著しく低いものは再提出を指示する。					
使用教材	実習毎に実験目的、プロトコル、課題が示されたプリントを配布する。					
1	講義内容	オリエンテーション				
	該当する到達目標	予習	事前に配布される実験の基礎事項について目を通しておく。			1.5 時間
	1	復習	実習に使用する器具・装置の使用法、試薬の調整法を理解する。			1 時間
2	講義内容	呼吸器系の実習 1・スパイロメーターによる呼吸・肺機能の測定				
	該当する到達目標	予習	呼吸曲線と肺気量分画についてこれまでの講義内容を確認しておく。			1.5 時間
	1	復習	実験結果を整理する。			1 時間
3	講義内容	呼吸器系の実習 2・結果の解析とレポートの作成				
	該当する到達目標	予習	呼吸曲線により肺気量分画を計算できるように理解する。			1.5 時間
	2	復習	肺機能障害を分類し説明できるようにする。			1 時間
4	講義内容	血液学と臓器構成 1				
	該当する到達目標	予習	事前に配布される実験の基礎事項について目を通しておく。			1.5 時間
	1	復習	ラットの採血法、血球の計算、ヘマトクリット、溶血反応を理解する。			1 時間
5	講義内容	血液学と臓器構成 2				
	該当する到達目標	予習	事前に配布される実験の基礎事項について目を通しておく。			1.5 時間
	1	復習	ラットの解剖による主要臓器の構造と各器官系を確認しておく。			1 時間
6	講義内容	血液学と臓器構成 3				
	該当する到達目標	予習	事前に配布される実験の基礎事項について目を通しておく。			1.5 時間
	2	復習	1.血球の計算とヘマトクリット値の算出ができるようにする。 2.浸透圧の計算と溶血反応の説明ができるようにする。 3.ヒトとラットの臓器における位置関係の比較が説明できるようにする。			1 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

7	講義内容	消化器系(口腔) 1		
	該当する到達目標 1	予習	事前に配布される実験の基礎事項について目を通しておく。	1.5 時間
		復習	舌の各部位における四味の味覚閾値の測定について理解する。	1 時間
8	講義内容	消化器系(口腔) 2		
	該当する到達目標 2	予習	味蕾の構造と機能、味覚の神経伝達についてこれまでの講義内容を確認しておく。	1.5 時間
		復習	1.味覚における舌上での部位差を説明できるようにする。 2.味覚の受容と神経伝達機構を説明できるようにする。 3.唾液腺、唾液の成分、分泌機序(反射)、分泌調節(自律神経系)を説明できるようにする。	1 時間
9	講義内容	感覚器系(重量感覚) 1		
	該当する到達目標 1	予習	事前に配布される実験の基礎事項について目を通しておく。	1.5 時間
		復習	実験結果を整理する。	1 時間
10	講義内容	感覚器系(重量感覚) 2		
	該当する到達目標 2	予習	「スチーブンスのべき法則」について理解しておく。	1.5 時間
		復習	重量感覚について主観値と客観値の間の法則について理解する。	1 時間
11	講義内容	消化器系 3・(顕微鏡による細胞観察実習)		
	該当する到達目標 1,2	予習	ヒトの消化器系の細胞についてこれまでの講義内容を確認しておく。	1.5 時間
		復習	味蕾、食道、胃、小腸、大腸、膵臓ランゲルハンス島を構成する細胞の特性について理解する。	1 時間
12	講義内容	感覚器系(視覚:対光反射とマリオットの盲点)		
	該当する到達目標 1,2	予習	視覚の解剖生理についてこれまでの講義内容を確認しておく。	1.5 時間
		復習	対光反射による視覚刺激の伝達とマリオットの盲点から眼球内の構造について理解する。	1 時間
13	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	実習の進め方:自主性を重視し実践的な考え方・技術を習得できるように指導する。 予習・復習の時間数:不足分については試験前の学習で補完すること。 オフィスアワー:月曜日 研究室:1 号館 3 階・311、6 号館 1 階・栄養生理学研究室 メールアドレス:shimokawa-n@takasaki-u.ac.jp			

科目名	生化学Ⅰ（専門基幹科目）			HNB231	講義
英文名	BiochemistryⅠ				
担当教員	田中 進				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	人体の構造と機能および疾病の成り立ちを理解するための基盤として、生体分子（たんぱく質・アミノ酸、糖質、脂質、核酸、ビタミン、ホルモン）の化学構造や生体内機能に関する知識を修得することを目標とする。				
到達目標	1.生体膜と細胞小器官の種類と機能について説明できる。 2.生体分子（たんぱく質・アミノ酸、糖質、脂質、核酸、ビタミン、ホルモン）の種類、化学構造、生体内機能について説明できる。 3.酵素反応の特性と酵素反応調節機構を説明できる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験 90%、小テスト 10%（10 回）で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	小テストは毎回、解説を行う。 期末試験後に問題出題意図を説明する。				
使用教材	教科書：Visual 栄養学テキスト人体の構造と機能および疾病の成り立ちⅡ 生化学、編集：岡 純、田中 進（中山書店）、2016 年、2700+税、ISBN978-4-521-74285-4C3347 講義や小テスト解説に教科書を使用 講義内容の一部はプリントを配布				
1	講義内容	生体膜と細胞小器官			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の第 1 章 1-1～1-6 に目を通す。		1 時間
		復習	生体膜と細胞小器官の種類、機能を理解する。小テストの復習を行う。		1 時間
2	講義内容	アミノ酸・たんぱく質の構造と機能 1			
	該当する到達目標 2	予習	教科書の第 2 章 2-1～2-2 に目を通す。		1 時間
		復習	アミノ酸の基本構造と性質、アミノ酸同士の結合や相互作用を理解する。小テストの復習を行う。		1 時間
3	講義内容	アミノ酸・たんぱく質の構造と機能 2			
	該当する到達目標 2	予習	教科書の第 2 章 2-3 に目を通す。		1 時間
		復習	代表的なペプチドやたんぱく質について構造、分類、性質などを理解する。小テストの復習を行う。		1 時間
4	講義内容	糖質の構造と機能 1			
	該当する到達目標 2	予習	教科書の第 3 章 3-1～3-2 に目を通す。		1 時間
		復習	単糖、二糖の構造と機能を理解する。小テストの復習を行う。		1 時間
5	講義内容	糖質の構造と機能 2			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章 3-3～3-4 に目を通す。	1 時間
	2	復習	多糖、複合糖質の構造と機能を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
6	講義内容	脂質の構造と機能 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 4-1～4-2 に目を通す。	1 時間
	2	復習	脂質の基本構造と種類を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
7	講義内容	脂質の構造と機能 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 4-3～4-4 に目を通す。	1 時間
	2	復習	脂質の生体内の役割を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
8	講義内容	核酸の構造と機能 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 5-1 に目を通す。	1 時間
	2	復習	DNA と RNA の構造を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
9	講義内容	核酸の構造と機能 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 5-2 に目を通す。	1 時間
	2	復習	細胞内の核酸の分布と役割を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
10	講義内容	ビタミンの構造と機能 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章 6-1～6-2 に目を通す。	1 時間
	2	復習	脂溶性ビタミンの構造と機能を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
11	講義内容	ビタミンの構造と機能 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章 6-3～6-4 に目を通す。	1 時間
	2	復習	水溶性ビタミンの構造と機能を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
12	講義内容	酵素		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章 8-1～8-2 に目を通す。	1 時間
	3	復習	酵素の特徴と分類を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
13	講義内容	酵素反応の調節機構		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章 8-3～8-4 に目を通す。	1 時間
	3	復習	酵素反応の調節機構を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
14	講義内容	ホルモンの構造と機能 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 9 章 9-1～9-2 に目を通す。	1 時間
	2	復習	視床下部ホルモン、下垂体前葉ホルモン、その下流のホルモンの構造と機能を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
15	講義内容	ホルモンの構造と機能 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 9 章 9-3～9-4 に目を通す。	1 時間
	2	復習	ホルモンの作用機序について理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
備考	【オフィスアワー】前期(火 4 時限目)、後期(火 4 時限目)。 【授業の進め方】講義では、教科書、資料の解説を行い、確認テストを実施する。 ※2 単位を修得するためには、講義時間(30 時間(実質 90 分×15 回))+予習・復習時間(60 時間)が必要です。 不足分は各自で補完すること。			

科目名	生化学Ⅱ(専門基幹科目)			HNB232	講義
英文名	BiochemistryⅡ				
担当教員	田中 進				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	人体の構造と機能および疾病の成り立ちを理解するため、生体を構成する成分(たんぱく質・アミノ酸、糖質、脂質、核酸)の生体内における代謝について基本的な知識を修得し、代謝調節と代謝異常について理解を深める。また、遺伝情報の伝達(セントラルドグマ)について学習する。				
到達目標	1.三大栄養素であるたんぱく質・アミノ酸、糖質の代謝とエネルギー産生について説明できる。 2.核酸の合成と分解が説明できる 3.生体内の代謝調節と代謝異常について栄養疾患、代謝疾患と関連づけて説明できる。 4.遺伝情報の伝達(セントラルドグマ)が説明できる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験 90%、小テスト 10%(10 回)で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	小テストは毎回、解説を行う。 期末試験後に問題出題意図を説明する。				
使用教材	教科書: Visual 栄養学テキスト人体の構造と機能および疾病の成り立ちⅡ 生化学、編集:岡 純、田中 進(中山書店)、2016 年、2700+税、ISBN978-4-521-74285-4C3347 講義や小テスト解説に教科書を使用 講義内容の一部はプリントを配布				
1	講義内容	生体エネルギーと代謝 1			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の第 10 章 10-1～10-4 に目を通す。		1 時間
		復習	ATP の役割と ATP 産生におけるミトコンドリアの役割を理解する。小テストの復習を行う。		1 時間
2	講義内容	生体エネルギーと代謝 2			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の第 10 章 10-5～10-8 に目を通す。		1 時間
		復習	基質レベルのリン酸化、酸化的リン酸化、脱共役たんぱく質について理解する。小テストの復習を行う。		1 時間
3	講義内容	アミノ酸・たんぱく質の代謝 1			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の第 11 章 11-1～11-3 に目を通す。		1 時間
		復習	食餌性たんぱく質の消化と吸収の機序を理解する。小テストの復習を行う。		1 時間
4	講義内容	アミノ酸・たんぱく質の代謝 2			
	該当する到達目標 1,3	予習	教科書の第 11 章 11-4～11-6 に目を通す。		1 時間
		復習	アミノ酸の代謝、たんぱく質の修飾と分解経路を理解する。小テストの復習を行		1 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

			う。	
5	講義内容	糖質の代謝 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 12 章 12-1～12-2 に目を通す。	1 時間
	1	復習	解糖系、クエン酸回路を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
6	講義内容	糖質の代謝 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 12 章 12-3～12-5 に目を通す。	1 時間
	1	復習	ペントースリン酸回路、グルクロン酸経路、グリコーゲンの合成・分解、糖新生を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
7	講義内容	糖質の代謝 3		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 12 章 12-6～12-7 に目を通す。	1 時間
	1,3	復習	血糖の調節、糖質代謝の異常と疾病を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
8	講義内容	脂質の代謝 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 13 章 13-1～13-4 に目を通す。	1 時間
	1	復習	リポたんぱく質の代謝、脂肪酸の合成・分解、エイコサノイドの代謝を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
9	講義内容	脂質の代謝 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 13 章 13-5～13-8 に目を通す。	1 時間
	1,3	復習	アシルグリセロール、リン脂質、コレステロールの代謝と脂質代謝異常を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
10	講義内容	ヌクレオチドの代謝 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 14 章 14-1～14-2 に目を通す。	1 時間
	2	復習	プリン・ピリミジン代謝を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
11	講義内容	ヌクレオチドの代謝 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 14 章 14-2～14-3 に目を通す。	1 時間
	2,3	復習	痛風と代謝異常を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
12	講義内容	遺伝子発現とその制御 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 15 章 15-1～15-3 に目を通す。	1 時間
	4	復習	DNA の複製と修復、転写、翻訳を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
13	講義内容	遺伝子発現とその制御 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 15 章 15-4～15-7 に目を通す。	1 時間
	3,4	復習	遺伝子発現の調節、先天性代謝異常、遺伝子と栄養、遺伝子操作・解析方法を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
14	講義内容	情報伝達の機構 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 16 章 16-1～16-2 に目を通す。	1 時間
	2	復習	内分泌系と神経系による情報伝達を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
15	講義内容	情報伝達の機構 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 16 章 16-3～16-4 に目を通す。	1 時間
	2	復習	受容体による情報伝達、細胞内シグナル伝達を理解する。小テストの復習を行う。	1 時間
備考	【オフィスアワー】前期(火 4 時限目)、後期(火 4 時限目)。 【授業の進め方】講義では、教科書、資料の解説を行い、確認テストを実施する。 ※2 単位を修得するためには、講義時間(30 時間(実質 90 分×15 回))+予習・復習時間(60 時間)が必要です。			

	不足分は各自で補完すること。

科目名	生化学実験 I（専門基幹科目）			HNB233	実験
英文名	Biochemistry I [Experiment]				
担当教員	田中 進				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	人体の構造と機能および疾病の成り立ちを理解するための基礎として、生体を構成する成分(たんぱく質・アミノ酸、糖質、脂質、核酸)の化学的性質とそれらを取り扱うための基本的技能を修得し、更なる理解及び応用について学ぶ。				
到達目標	1.生体を構成する成分(たんぱく質・アミノ酸、糖質、脂質、核酸)の定性的試験方法を理解し、実験できる。 2.生体分子の機能と関連づけて、それぞれの実験原理が説明できる。 3.代表的な酵素の活性測定ができる。 4.他者が実験後その実験プロセスを追って再現性を確認できるような、正確な実験の記録を行うことができるようになる。 5.他者が納得できるような実験データの整理・解析を行うことができるようになる。 6.他者が理解しやすい実験レポート(論文)が作成できるようになる。 7.他者との議論を活かして、自分のレポートの問題点を改善することができるようになる				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験 60%、レポート 40%(8 回)で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	提出したレポートについては、ルーブリックで評価をし、フィードバックしていく。				
使用教材	教科書：N ブックス 実験シリーズ 生化学実験、編集：後藤 潔（建帛社）、2009 年、1900+税、ISBN978-4-7679-0380-4C3047 実験方法の説明に教科書を使用 実験ごとにプリントを配布				
	講義内容	ガイダンス			
1	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章 1-1～1-3 に目を通す。		1 時間
		復習	生化学実験の基礎を理解する。		1 時間
	講義内容	細胞の観察			
2	該当する到達目標 1,2,4,5,6,7	予習	事前に配布したプリントに目を通す。		1 時間
		復習	観察結果をまとめ、レポートを作成する。		1 時間
	講義内容	たんぱく質・アミノ酸の定性実験			
3	該当する到達目標 1,2,4,5,6,7	予習	事前に配布したプリントと講義用の教科書の第 2 章 2-1～2-3 に目を通す。		1 時間
		復習	観察結果をまとめ、レポートを作成する。		1 時間
4	講義内容	呈色反応を利用した未知の糖溶液の判定実験 1			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントと講義用の教科書の第 3 章 3-1～3-4 に目を通す。	1 時間
	1,2,4,5,6,7	復習	観察結果をまとめ、レポートを作成する。	1 時間
5	講義内容	呈色反応を利用した未知の糖溶液の判定実験 2		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントと講義用の教科書の第 3 章 3-1～3-4 に目を通す。	1 時間
	1,2,4,5,6,7	復習	観察結果をまとめ、レポートを作成する。	1 時間
6	講義内容	脂質実験 1 脂質の溶解度		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントと講義用の教科書の第 4 章 4-1～4-4 に目を通す。	1 時間
	1,2,4,5,6,7	復習	観察結果をまとめ、レポートを作成する。	1 時間
7	講義内容	脂質実験 2 脂質一重層の透過性に対する脂質組成の影響		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントと講義用の教科書の第 4 章 4-1～4-4 に目を通す。	1 時間
	1,2,4,5,6,7	復習	観察結果をまとめ、レポートを作成する。	1 時間
8	講義内容	酵素実験 1 検量線の作成と pH の影響		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリント、教科書の第 3 章 3-1～3-3、講義用の教科書の第 8 章 8-1～8-4 に目を通す。	1 時間
	2,3,4,5,6,7	復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
9	講義内容	酵素実験 2 基質濃度の影響と阻害作用の影響		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリント、教科書の第 3 章 3-1～3-3、講義用の教科書の第 8 章 8-1～8-4 に目を通す。	1 時間
	2,3,4,5,6,7	復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
10	講義内容	核酸実験 1 ニワトリ肝からの DNA 抽出		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリント、教科書の第 2 章 2-1、講義用の教科書の第 5 章 5-1～5-2 に目を通す。	1 時間
	1,2,4,5,6,7	復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
11	講義内容	核酸実験 2 DNA 溶液の紫外外部吸収曲線		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリント、講義用の教科書の第 5 章 5-1～5-2 に目を通す。	1 時間
	1,2,4,5,6,7	復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
12	講義内容	核酸実験 3 制限酵素による DNA の切断と電気泳動による解析		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリント、教科書の第 9 章 9-4、9-7、講義用の教科書の第 5 章 5-1～5-2 に目を通す。	1 時間
	1,2,4,5,6,7	復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
13	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	【オフィスアワー】前期(火 4 時限目)、後期(火 4 時限目)。 【授業の進め方】班ごとに実験結果・考察の発表を求め、各自にレポート作成を課す。			

科目名	生化学実験Ⅱ（専門基幹科目）			HNB234	実験
英文名	BiochemistryⅡ [Experiment]				
担当教員	田中 進				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	人体の構造と機能および疾病の成り立ちを理解するための基礎として、栄養素(たんぱく質・アミノ酸、糖質、脂質、ビタミン、ミネラル)の定量方法と遺伝子の増幅方法について基本的技能を修得する。				
到達目標	1.栄養素(たんぱく質・アミノ酸、糖質、脂質、ビタミン、ミネラル)の定量方法を理解し、生体内の機能と関連づけて、それぞれの実験原理が説明できる。 2. 栄養素(たんぱく質・アミノ酸、糖質、脂質、ビタミン、ミネラル)の定量ができる。 3.PCR の原理を理解し、PCR を使用し遺伝子の増幅ができる。 4.他者が実験後その実験プロセスを追って再現性を確認できるような、正確な実験の記録を行うことができるようになる。 5.他者が納得できるような実験データの整理・解析を行うことができるようになる。 6.他者が理解しやすい実験レポート(論文)が作成できるようになる。 7.他者との議論を活かして、自分のレポートの問題点を改善することができるようになる				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験 60%、レポート 40%(8 回)で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	提出したレポートについては、ルーブリックで評価をし、フィードバックしていく。				
使用教材	教科書：N ブックス 実験シリーズ 生化学実験、編集：後藤 潔（建帛社）、2009 年、1900+税、ISBN978-4-7679-0380-4C3047 実験方法の説明に教科書を使用 実験ごとにプリントを配布				
1	講義内容	たんぱく質・アミノ酸実験 紫外外部吸収によるタンパク質の定量			
	該当する到達目標 1,2,4,5,6,7	予習	事前に配布したプリント、教科書の第 2 章 2-2、講義用の第 2 章 2-1～2-3 に目を通す。		1 時間
		復習	データをまとめ、レポートを作成する。		1 時間
2	講義内容	たんぱく質・アミノ酸実験 ELISA 法によるタンパク質の定量			
	該当する到達目標 1,2,4,5,6,7	予習	事前に配布したプリント、講義用の第 2 章 2-1～2-3 に目を通す。		1 時間
		復習	データをまとめ、レポートを作成する。		1 時間
3	講義内容	糖質実験 グルコースの定量 1			
	該当する到達目標 1,2,4,5,6,7	予習	事前に配布したプリントと講義用の教科書の第 3 章 3-1～3-4 に目を通す。		1 時間
		復習	データをまとめ、レポートを作成する。		1 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

4	講義内容	糖質実験 グルコースの定量 2		
	該当する到達目標 1,2,4,5,6,7	予習	事前に配布したプリントと講義用の教科書の第 12 章 12-1～12-7 に目を通す。	1 時間
		復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
5	講義内容	脂質実験 遊離脂肪酸の定量 1		
	該当する到達目標 1,2,4,5,6,7	予習	事前に配布したプリントと講義用の教科書の第 4 章 4-1～4-4 に目を通す。	1 時間
		復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
6	講義内容	脂質実験 遊離脂肪酸の定量 2		
	該当する到達目標 1,2,4,5,6,7	予習	事前に配布したプリントと講義用の教科書の第 13 章 13-1～13-8 に目を通す。	1 時間
		復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
7	講義内容	無機質実験 リンの定量 1		
	該当する到達目標 1,2,4,5,6,7	予習	事前に配布したプリントと講義用の教科書の第 7 章 7-1～7-2 に目を通す。	1 時間
		復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
8	講義内容	無機質実験 リンの定量 2		
	該当する到達目標 1,2,4,5,6,7	予習	事前に配布したプリントと講義用の教科書の第 7 章 7-1～7-2 に目を通す。	1 時間
		復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
9	講義内容	ビタミン実験 ビタミンの定性実験 1		
	該当する到達目標 1,2,4,5,6,7	予習	事前に配布したプリント、講義用の教科書の第 6 章 6-1～6-4 に目を通す。	1 時間
		復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
10	講義内容	ビタミン実験 ビタミンの定性実験 2		
	該当する到達目標 1,2,4,5,6,7	予習	事前に配布したプリント、講義用の教科書の第 6 章 6-1～6-4 に目を通す。	1 時間
		復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
11	講義内容	遺伝子実験 PCR による遺伝子の増幅 1		
	該当する到達目標 3,4,5,6,7	予習	事前に配布したプリント、教科書の第 6 章 6-2、講義用の教科書の第 15 章 5-7 に目を通す。	1 時間
		復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
12	講義内容	遺伝子実験 PCR による遺伝子の増幅 2		
	該当する到達目標 3,4,5,6,7	予習	事前に配布したプリント、教科書の第 6 章 6-2、講義用の教科書の第 15 章 5-7 に目を通す。	1 時間
		復習	データをまとめ、レポートを作成する。	1 時間
13	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	【オフィスアワー】前期(火 4 時限目)、後期(火 4 時限目)。 【授業の進め方】班ごとに実験結果・考察の発表を求め、各自にレポート作成を課す。			

科目名	疾病の成り立ち I（専門基幹科目）			HNB241	講義
英文名	Understanding Human Diseases I				
担当教員	岡村 信一				
科目に関連した実務経験	常勤医師として病院に勤務（経験）、非常勤医師として病院に勤務（現在）				
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	管理栄養士として修得すべき疾病の成因・病態・診断・治療および栄養学との関わりについて学び、修得した知識を統合して臨床栄養管理に活用できるようにする。「疾病の成り立ち I」では、診断のための身体診察と検査、疾患の治療、栄養・代謝系疾患、内分泌系疾患について学ぶ。				
到達目標	1.代表的な疾病の成因について理解し説明できる。 2.代表的な疾病の病態について理解し説明できる。 3.代表的な疾病の診断について理解し説明できる。 4.代表的な疾病の治療について理解し説明できる。 5.代表的な疾病と栄養学との関わりについて理解し説明できる。 6.臨床現場で活用できるように、本講座で習得した思考方法・知識・技術の理解を深める。■				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	1.筆記試験 100% 2.評価方法の基準を講義初回時にアナウンスする。				
課題に対するフィードバック	定期試験は、正答の提示と適宜解説をする。				
使用教材	1.「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学疾病の成り立ち 改訂第 2 版」・田中明ほか・羊土社・ISBN978-4-7581-0881-2C3047 2.講義スライドをプリントして配布する。				
1	講義内容	ガイダンス■			
	該当する到達目標	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで講義目標などを理解する。		1 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する		1.5 時間
2	講義内容	診断のための身体診察と検査(1) 問診、全身状態、全身徴候■			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章 1～3 に目を通す。		1 時間
		1,2,3,4,5	復習	問診、全身状態、全身徴候について理解する。	
3	講義内容	診断のための身体診察と検査(2) 特徴的な病態と臨床検査の基本■			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章 4～6 に目を通す。		1 時間
		1,2,3,4,5	復習	特徴的な病態と臨床検査の基本を理解する。	
4	講義内容	診断のための身体診察と検査(3) 一般臨床検査■			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章 7～9 に目を通す。		1 時間
		1,2,3,4,5	復習	一般臨床検査について理解する。	
5	講義内容	診断のための身体診察と検査(4) 特殊検査、生理機能検査、画像検査■			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章 10～14 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	特殊検査、生理機能検査、画像検査について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	疾患の治療について■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	治療の種類と特徴について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	栄養・代謝系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) 栄養障害■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章 1 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	栄養障害の病態を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	栄養・代謝系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) 糖尿病■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章 2 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	糖尿病について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	栄養・代謝系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(3) 脂質異常症■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章 3 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	脂質異常症について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	栄養・代謝系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(4) 肥満、高尿酸血症■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章 4～5 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	肥満、高尿酸血症について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	栄養・代謝系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(5) 先天代謝異常ほか■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章 6～9 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	先天代謝異常、ビタミン・ミネラル異常症、酸塩基平衡について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	内分泌系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) ホルモン調節と脳下垂体異常■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 1～2 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	ホルモン調節と脳下垂体異常について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	内分泌系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) 甲状腺・副甲状腺異常■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 3～4 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	甲状腺・副甲状腺異常について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	内分泌系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(3) 副腎異常■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 5 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	副腎異常について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	疾病の成り立ち I のまとめ■		
	該当する到達目標	予習	疾病の成り立ち I の教科書該当部分や配付資料に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	理解不十分だったところを復習する。	1.5 時間
備考	教科書・配布資料に基づいたパワーポイントを映写しながら、授業を進める。 本講座で習得した思考方法・知識・技術を臨床現場で活用できるように、理解を深める。 予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。 オフィスアワー: 金曜日の 5 時限 メールアドレス: okamura@takasaki-u.ac.jp 研究室: 1 号館 4 階 403 号室 ■: 実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	疾病の成り立ちⅡ（専門基幹科目）			HNB242	講義
英文名	Understanding Human DiseasesⅡ				
担当教員	岡村 信一				
科目に関連した実務経験	常勤医師として病院に勤務（経験）、非常勤医師として病院に勤務（現在）				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	管理栄養士として修得すべき疾病の成因・病態・診断・治療および栄養学との関わりについて学び、修得した知識を統合して臨床栄養管理に活用できるようにする。「疾病の成り立ちⅡ」では、消化管疾患、肝・胆・膵疾患、循環器系疾患、腎・尿路系疾患、神経・精神系疾患について学ぶ。				
到達目標	1.代表的な疾病の成因について理解し説明できる。 2.代表的な疾病の病態について理解し説明できる。 3.代表的な疾病の診断について理解し説明できる。 4.代表的な疾病の治療について理解し説明できる。 5.代表的な疾病と栄養学との関わりについて理解し説明できる。 6.臨床現場で活用できるように、本講座で習得した思考方法・知識・技術の理解を深める。■				
学位授与方針		豊かな人間性と職業倫理			
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	1.筆記試験 100％ 2.評価方法の基準を講義初回時にアナウンスする。				
課題に対するフィードバック	定期試験は、正答の提示と出題意図の解説をする。				
使用教材	1.「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学疾病の成り立ち 改訂第 2 版」・田中明ほか・羊土社・ISBN978-4-7581-0881-2C3047 2.講義スライドをプリントして配布する。				
1	講義内容	消化管疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) 口腔疾患、食道疾患■			
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	教科書の第 5 章 1～2 に目を通す。		1 時間
		復習	口腔疾患、食道疾患について理解する。		1.5 時間
2	講義内容	消化管疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) 胃・十二指腸疾患■			
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	教科書の第 5 章 2 に目を通す。		1 時間
		復習	胃・十二指腸疾患について理解する。		1.5 時間
3	講義内容	消化管疾患の成因・病態・診断・治療の概要(3) 下部消化管疾患■			
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	教科書の第 5 章 3 に目を通す。		1 時間
		復習	下部消化管疾患について理解する。		1.5 時間
4	講義内容	肝・胆・膵疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) 急性肝疾患■			
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	教科書の第 6 章 1 に目を通す。		1 時間
		復習	急性肝疾患について理解する。		1.5 時間
5	講義内容	肝・胆・膵疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) 慢性肝疾患、肝がん■			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章 1 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	慢性肝疾患、肝がんについて理解する。	1.5 時間
6	講義内容	肝・胆・膵疾患の成因・病態・診断・治療の概要(3) 膵・胆疾患 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章 2 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	膵・胆疾患について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	循環器系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) 心不全、動脈硬化 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章 1～2 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	心不全、動脈硬化について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	循環器系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) 虚血性心疾患、高血圧 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章 3～4 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	虚血性心疾患、高血圧について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	循環器系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(3) 不整脈、肺塞栓、脳血管疾患 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章 5～7 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	不整脈、肺塞栓、脳血管疾患について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	腎・尿路系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) 急性・慢性腎炎症候群 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章 1～5 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	急性・慢性腎炎症候群について理解する。	1 時間
11	講義内容	腎・尿路系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) ネフローゼ症候群、腎不全、慢性腎臓病 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章 6～8 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	ネフローゼ症候群、腎不全、慢性腎臓病について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	腎・尿路系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(3) 末期腎不全の治療と尿路系疾患 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章 9～10 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	末期腎不全の治療と尿路系疾患について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	神経・精神系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) 摂食障害、認知症、アルコール依存症 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 9 章 1～3 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	摂食障害、認知症、アルコール依存症について理解する。	1 時間
14	講義内容	神経・精神系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) 神経変性疾患、精神疾患、脳腫瘍 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 9 章 4～6 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	神経変性疾患、精神疾患、脳腫瘍について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	疾病の成り立ち II のまとめ ■		
	該当する到達目標	予習	疾病の成り立ち II の教科書該当部分や配付資料に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	理解不十分だったところを復習する。	1.5 時間
備考	教科書・配布資料に基づいたパワーポイントを映写しながら、授業を進める。 本講座で習得した思考方法・知識・技術を臨床現場で活用できるように、理解を深める。 予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。 オフィスアワー: 金曜日の 5 時限 メールアドレス: okamura@takasaki-u.ac.jp 研究室: 1 号館 4 階 403 号室 ■: 実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	疾病の成り立ちⅢ(専門基幹科目)			HNB243	講義
英文名	Understanding Human DiseasesⅢ				
担当教員	岡村 信一				
科目に関連した実務経験	常勤医師として病院に勤務(経験)、非常勤医師として病院に勤務(現在)				
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	管理栄養士として修得すべき疾病の成因・病態・診断・治療および栄養学との関わりについて学び、修得した知識を統合して臨床栄養管理に活用できるようにする。「疾病の成り立ちⅢ」では、呼吸器系疾患、血液・造血器系疾患、運動器系疾患、皮膚系疾患、免疫・アレルギー系疾患、婦人科系疾患、加齢・疾患に伴う変化について学ぶ。				
到達目標	1.代表的な疾病の成因について理解し説明できる。 2.代表的な疾病の病態について理解し説明できる。 3.代表的な疾病の診断について理解し説明できる。 4.代表的な疾病の治療について理解し説明できる。 5.代表的な疾病と栄養学との関わりについて理解し説明できる。 6.臨床現場で活用できるように、本講座で習得した思考方法・知識・技術の理解を深める。■				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	1.筆記試験 100% 2.評価方法の基準を講義初回時にアナウンスする。				
課題に対するフィードバック	定期試験は、正答の提示と適宜解説をする。				
使用教材	1.「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学疾病の成り立ち 改訂第 2 版」・田中明ほか・羊土社・ISBN978-4-7581-0881-2C3047 2.講義スライドをプリントして配布する。				
1	講義内容	呼吸器系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) 呼吸器系の概要と上気道感染症■			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 10 章 1～2 に目を通す。		1 時間
	1,2,3,4,5	復習	呼吸器系の概要と上気道感染症について理解する。		1.5 時間
2	講義内容	呼吸器系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) 慢性閉塞性肺疾患■			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 10 章 3 に目を通す。		1 時間
	1,2,3,4,5	復習	慢性閉塞性肺疾患について理解する。		1.5 時間
3	講義内容	呼吸器系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(3) 気管支喘息、肺がん■			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 10 章 4～5 に目を通す。		1 時間
	1,2,3,4,5	復習	気管支喘息、肺がんについて理解する。		1.5 時間
4	講義内容	血液・造血器系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) 各種貧血■			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 11 章 1 に目を通す。		1 時間
	1,2,3,4,5	復習	各種貧血について理解する。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

5	講義内容	血液・造血器系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) 血液悪性疾患 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 11 章 2～4 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	血液悪性疾患について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	血液・造血器系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(3) 出血傾向を来す疾患 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 11 章 5 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	出血傾向を来す疾患について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	運動器疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) 骨粗鬆症、骨軟化症、変形性関節症 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 12 章 1～3 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	骨粗鬆症、骨軟化症、変形性関節症について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	運動器疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) フレイルティ、サルコペニア、ロコモティブシンドローム ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 12 章 4～6 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	フレイルティ、サルコペニア、ロコモティブシンドロームについて理解する。	1.5 時間
9	講義内容	皮膚系疾患の成因・病態・診断・治療の概要 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 13 章 1～4 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	創傷の治癒家庭、熱傷、褥瘡について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	免疫・アレルギー系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) アレルギー疾患、後天性免疫不全症候群 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 14 章 1～2 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	アレルギー疾患、後天性免疫不全症候群について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	免疫・アレルギー系疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) 代表的な膠原病 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 14 章 3 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	代表的な膠原病について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	婦人科疾患の成因・病態・診断・治療の概要(1) 婦人科腫瘍性疾患 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 15 章 1 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	婦人科腫瘍性疾患について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	婦人科疾患の成因・病態・診断・治療の概要(2) 子宮内膜症、月経異常、更年期障害 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 15 章 2～3 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	子宮内膜症、月経異常、更年期障害について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	加齢・疾患に伴う変化 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 16 章 1～3 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	加齢に伴う変化、疾患に伴う変化、個体の子について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	疾病の成り立ちⅢのまとめ ■		
	該当する到達目標	予習	疾病の成り立ちⅢの教科書該当部分や配付資料に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	理解不十分だったところを復習する。	1.5 時間
備考	教科書・配布資料に基づいたパワーポイントを映写しながら、授業を進める。 本講座で習得した思考方法・知識・技術を臨床現場で活用できるように、理解を深める。 予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。 オフィスアワー: 金曜日の 5 時限 メールアドレス: okamura@takasaki-u.ac.jp 研究室: 1 号館 4 階 403 号室 ■: 実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	疾病の成り立ち実習(専門基幹科目)			HNB244	実習
英文名	Understanding Human Diseases [Practice]				
担当教員	岡村 信一				
科目に関連した実務経験	常勤医師として病院に勤務(経験)、非常勤医師として病院に勤務(現在)				
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	「疾病の成り立ちⅠ、Ⅱ、Ⅲ」で取得した基礎知識について、実習を通してさらに理解を深め、臨床栄養管理に活用できるようにする。臨床診査や臨床検査(血圧測定、尿検査、血液検査、血糖検査、心電図検査、超音波検査など)を体験するとともに、各種疾患の症例問題作成と検討もおこない、理解を深める。				
到達目標	1.代表的な臨床診査や検査について意義を理解し、実施することができる。 2.検査データを解釈し、栄養管理へ結びつけることができる。 3.臨床現場で活用できるように、本実習で習得した思考方法・知識・技術の理解を深める。■				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	1.実習参加および実習態度を重視し、レポート・プレゼンテーション等も含めて総合的に評価する。 2.評価方法の詳細については初回講義でアナウンスする。				
課題に対するフィードバック	課題・レポートについて、適宜解説する。				
使用教材	1.実習資料を配布する。 2.「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学疾病の成り立ち 改訂第 2 版」・田中明ほか・羊土社・ISBN978-4-7581-0881-2C3047 3.「栄養アセスメントに役立つ臨床検査値の読み方・考え方・ケーススタディ 第 2 版」・奈良信雄・医歯薬出版・ISBN978-4-263-70626-8C3047 4.教科書は授業および予習・復習で使用する。				
1	講義内容	ガイダンス及び身体所見①バイタルサインの基本と診察方法■			
	該当する到達目標 1,2	予習	シラバスを確認する。	0.5 時間	
		復習	実習の予定と概略を把握する。バイタルサインの基本と診察方法について理解する。	0.5 時間	
2	講義内容	身体所見②頭頸部・胸部・腹部・神経系・脱水・浮腫の診察■			
	該当する到達目標 1,2	予習	授業で配布された実習予定表を参照して、実習内容を把握する。	0.5 時間	
		復習	頭頸部・胸部・腹部・神経系・脱水・浮腫の診察の基本と実施方法について理解する。	0.5 時間	
3	講義内容	呼吸機能検査■			
	該当する到達目標 1,2	予習	授業で配布された実習予定表を参照して、実習内容を把握する。	0.5 時間	
		復習	スパイロメトリーおよび経皮的酸素飽和度の基本と実施方法について理解する。	0.5 時間	
4	講義内容	食物アレルギー■			
	該当する到達目標	予習	授業で配布された実習予定表を参照して、実習内容を把握する。	0.5 時間	

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2	復習	食物アレルギーの基本と救急対応方法について理解する。	0.5 時間
5	講義内容	救急蘇生法■		
	該当する到達目標	予習	授業で配布された実習予定表を参照して、実習内容を把握する。	0.5 時間
	1,2	復習	心肺蘇生法および異物除去法の基本と実施方法について理解する。	0.5 時間
6	講義内容	尿検査■		
	該当する到達目標	予習	授業で配布された実習予定表を参照して、実習内容を把握する。	0.5 時間
	1,2	復習	尿検査の基本と実施方法について理解する。	0.5 時間
7	講義内容	血糖検査および末梢血液塗抹観察■		
	該当する到達目標	予習	授業で配布された実習予定表を参照して、実習内容を把握する。	0.5 時間
	1,2	復習	血糖の基本と測定法および末梢血液塗抹観察について理解する。	0.5 時間
8	講義内容	骨密度測定■		
	該当する到達目標	予習	授業で配布された実習予定表を参照して、実習内容を把握する。	0.5 時間
	1,2	復習	骨密度の基本と測定法について理解する。	0.5 時間
9	講義内容	心電図検査およびヘモグロビン測定		
	該当する到達目標	予習	授業で配布された実習予定表を参照して、実習内容を把握する。	0.5 時間
	1,2	復習	心電図の基本と測定法およびヘモグロビン測定について理解する。	0.5 時間
10	講義内容	超音波検査■		
	該当する到達目標	予習	授業で配布された実習予定表を参照して、実習内容を把握する。	0.5 時間
	1,2	復習	超音波検査の基本と実施方法について理解する。	0.5 時間
11	講義内容	各種疾患の症例問題の作成・検計・解説①■		
	該当する到達目標	予習	授業で配布された実習予定表を参照して、実習内容を把握する。	0.5 時間
	1,2	復習	各種疾患の病態や検査値異常などについて、例題を通じて理解する。	0.5 時間
12	講義内容	各種疾患の症例問題の作成・検計・解説②■		
	該当する到達目標	予習	授業で配布された実習予定表を参照して、実習内容を把握する。	0.5 時間
	1,2	復習	各種疾患の病態や検査値異常などについて、さらに例題を積み重ねて理解する。	0.5 時間
13	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	本講座は、各自の能動的学習に基づいて進められる。予習・復習も各自積極的に行う。次回の実習内容については、関連する教科書等により予習する。実習後には実習内容をまとめて、習得した点や不明点について明らかにするとともに、教科書・文献等を参照・引用しながら考察を加える。 本実習で習得した思考方法・知識・技術を臨床現場で活用できるように、理解を深める。 オフィスアワー: 金曜日の 5 時限 メールアドレス: okamura@takasaki-u.ac.jp 研究室: 1 号館 4 階 403 号室			

■:実務経験に基づく内容を示す。

科目名	調理学(専門基幹科目)				HNB251	講義
英文名	Cookery					
担当教員	綾部 園子					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位			
講義目標	調理とは、食品に手を加え、安全性・栄養性・嗜好性の高い食べ物にする過程である。「調理学」では、人間と食べ物の関わりについての歴史的変遷、食べ物の嗜好性を学び、さらに栄養面・安全面・嗜好面の各特性を高める調理の方法を理解して修得することを目的とする。					
到達目標	1.食べ物のおいしさとその知覚について説明できる。 2.種々の調理操作を理解し説明できる。 3.食生活・食文化・食事計画について説明できる。					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理				
	✓	専門的知識				
		問題発見・解決力				
		多様な社会・背景を理解し対応する能力				
		コミュニケーション能力				
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法	筆記試験 60%、小テスト 30%(15%×2)、課題 10%、授業中のコメントシートによる加点(10 点まで)あり					
課題に対するフィードバック	小テストを返却し解説する。コメントシートについて、概要を説明し回答する。提出課題にコメントをつけて返却する					
使用教材	栄養管理と生命科学シリーズ「調理の科学」、吉田恵子、綾部園子編、理工図書					
1	講義内容	調理学の概要:調理の意義・目的				
	該当する到達目標	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する。			1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針との対応、成績評価方法などを確認する。			1 時間
2	講義内容	食生活・食文化の変遷				
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す。			0.5 時間
	3	復習	食生活・食文化の変遷について理解する			1 時間
3	講義内容	食物の嗜好性(おいしさ)(1)おいしさとは・食べ物の化学的要因				
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章 p8～20 に目を通す。			0.5 時間
	1	復習	おいしさ、食べ物の化学的要因を理解する			1 時間
4	講義内容	食物の嗜好性(おいしさ)(2)食べ物の物理的要因と食べる人の要因				
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章 p20～25 に目を通す。			0.5 時間
	1	復習	食べ物の物理的要因、食べる側の要因を理解する			1 時間
5	講義内容	食物の嗜好性(おいしさ)(3)おいしさの評価				
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章 p25～31 に目を通す。			0.5 時間
	1	復習	官能評価について理解する。小テストをするので復習しておく			2 時間
6	講義内容	調理操作(1)非加熱調理操作				
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 p54～62 に目を通す。			0.5 時間
	2	復習	非加熱調理操作について理解する			1 時間
7	講義内容	調理操作(2)加熱調理操作(伝熱・湿式加熱)				

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 p62～67 に目を通す。	0.5 時間
	2	復習	伝熱、湿式加熱について理解する	1 時間
8	講義内容	調理操作(3)加熱調理操作(乾式加熱)		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 p68～71 に目を通す。	0.5 時間
	2	復習	乾式加熱について理解する	1 時間
9	講義内容	調理操作(4)加熱調理操作(誘電・誘導加熱)		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 p70～71 に目を通す。	0.5 時間
	2	復習	誘電・誘導加熱について理解する	1 時間
10	講義内容	調理操作(5)調味について		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 p72～79 に目を通す。	0.5 時間
	2	復習	調味について理解する	1 時間
11	講義内容	調理機器		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 p81～96 に目を通す。	0.5 時間
	2	復習	調理器具について理解する。小テストをするので試験範囲の復習しておく。	2 時間
12	講義内容	食事計画 (1)食事設計の基礎知識		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章 p34～37 に目を通す。	0.5 時間
	3	復習	食事設計の基礎を理解し、課題を完成する	1 時間
13	講義内容	食事計画 (2)献立作成①		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章 p37～42 に目を通す。	0.5 時間
	3	復習	献立作成の課題を完成する	1 時間
14	講義内容	食事計画 (3)献立作成② 相互評価		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章 p48～51 に目を通す。	0.5 時間
	3	復習	評価に基づき、課題を修正する。	1 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書 p229～236 を確認する	1 時間
	1,2,3	復習	学習事項について、確実に理解する	2 時間
備考	・授業の進め方:各講義は、教科書と教員が作成したプリントおよびパワーポイントを使用して、要点を説明していく。 食事計画は、各自が献立作成し、それを相互評価して、その結果をもとに修正する。 ・自宅学習:自習時間の不足分は、試験前の学習で補完すること。 ・メールアドレス:ayabe@takasaki-u.ac.jp、オフィスアワーは前期(火 5 時限目)、後期(金 1 時限目)			

科目名	調理学実習 I (専門基幹科目)			HNB252	実習
英文名	Cooking I [Practice]				
担当教員	綾部 園子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	食物摂取の最終段階である調理について、食品が人に摂取されるまでの過程であることを理解し、人々の健康をサポートする管理栄養士として必要な調理の知識と技術の基礎を、実習を通して確実に修得する。				
到達目標	1.衛生に留意し、安全に調理ができる 2.食材の洗浄、切裁、加熱が適切にできる 3.日常の基礎的な食事を作ることができる				
学位授与方針		豊かな人間性と職業倫理			
との対応	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 30%、実技テスト 20%、レポート(実習ノート)30%、実習への積極性 20%				
課題に対するフィードバック	実習レポートにコメントをつけて返却する				
使用教材	「流れと要点がわかる 調理学実習」、香西みどり・綾部園子編著、光生館				
1	講義内容	ガイダンス:調理実習の意義、調理実習室の使い方・実習心得)			
	該当する到達目標	予習	教科書の前書き、シラバスを読んで実習の目標を確認する		0.5 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針との対応、成績評価方法などを確認する。		1 時間
2	講義内容	白飯、みそ汁、豚肉のしょうが焼き、酢の物			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す。		0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をレポートにまとめ、関連事項を調べる		2 時間
3	講義内容	豆ごはん、かきたま汁、れんこんつくね、青菜のごま和え、まんじゅう			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す。		0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をレポートにまとめ、関連事項を調べる。テストの勉強をする		3 時間
4	講義内容	たけのこご飯、若竹汁、きんぴらごぼう、厚焼き卵、桜餅			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す。		1 時間
	1,2,3	復習	実習内容をレポートにまとめ、関連事項を調べる。テストの勉強をする		1 時間
5	講義内容	赤飯、あじの姿焼き、炊き合わせ、吉野鶏の吸い物、水羊羹			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す。		0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をレポートにまとめ、関連事項を調べる		2 時間
6	講義内容	西洋料理について、ハンバーグステーキ、コンソメスープ、ピラフ、ゼリー			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す。		0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をレポートにまとめ、関連事項を調べる		2 時間
7	講義内容	いわしの香草焼き、キャロットスープ、トマトサラダ、ドーナッツ			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す。		0.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3	復習	実習内容をレポートにまとめ、関連事項を調べる	2 時間
8	講義内容	カレー & サフランライス、ポテトサラダ、マドレーヌ、ラッシー		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す。	0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をレポートにまとめ、関連事項を調べる	2 時間
9	講義内容	スパゲッティミートソース、クラムチャウダー、カスタードプディング、コールスロー		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す。	0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をレポートにまとめ、関連事項を調べる	2 時間
10	講義内容	中華料理について、涼拌茄子、炒米粉、餛飩湯、青椒牛肉絲		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す。	0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をレポートにまとめ、関連事項を調べる	2 時間
11	講義内容	涼拌三絲、麻婆豆腐、蕃茄蛋花湯、杏仁豆腐、白飯		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す	0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をレポートにまとめ、関連事項を調べる	2 時間
12	講義内容	古嚙肉、芙蓉蟹、搾菜肉絲湯、玻璃青梗菜、水果西米露、白飯		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す	0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をレポートにまとめ、関連事項を調べる	2 時間
13	講義内容	手打ちうどん (p148)、てんぷら (p43)、みぞれあえ		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す	2 時間
	1,2,3	復習	実習内容をレポートにまとめ、関連事項を調べる	1.5 時間
14	講義内容	実技テスト 2・筆記試験		
	該当する到達目標	予習	試験課題の練習、基本事項の確認。	時間
		復習	試験内容を振り返る。夏季休業中の課題の計画をたてる	時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	・受講ルール: ユニホーム、クッキングシューズ着用、包丁、ノート必携 ・授業の進め方: 各回の実習は、はじめに教員がデモンストレーションを行い、その後班ごとに調理し、試食して片づけまでを授業とする。 ・実習レポート: 調理のポイントと実習内容に関連した事項を調べてまとめること ・自宅学習: 自習時間の不足分は、試験前の学習および夏季休暇中の課題で補完すること ・メールアドレス: ayabe@takasaki-u.ac.jp、オフィスアワーは前期(火 5 時限目)、後期(金時限目)			

科目名	調理学実習Ⅱ（専門基幹科目）			HNB253	実習
英文名	CookingⅡ [Practice]				
担当教員	綾部 園子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	前期の調理学実習Ⅰを基礎として、応用・発展的な実習を通して、調理の技術と知識を高め、栄養バランス、食品、食文化、経済等に配慮して、献立作成する力を修得する。				
到達目標	1.応用的な調理技術を修得する 2.安全で衛生的に調理を作ることができる 3.主な食品の調理性を説明できる 4.適切な調味、供卓方法ができる				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 30%、実技テスト 20%、レポート(実習ノート)30%、実習への積極性 20%				
課題に対するフィードバック	レポートにコメントをつけて返却する				
使用教材	「流れと要点がわかる 調理学実習」、香西みどり・綾部園子編著、光生館				
1	講義内容	テスト(きゅうり、キャベツ)、五目ごはん、かれいの煮つけ、即席漬け、×卵のすまし汁			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す		0.5 時間
	2,3,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる		2 時間
2	講義内容	栗ご飯、ぶりの照り焼き・菊花カブ、白和え、けんちん汁、なんきん白玉			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す		0.5 時間
	2,3,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる		2 時間
3	講義内容	白飯、茶碗蒸し、さばの竜田揚げ、炒り鶏、船場汁、じょうよまんじゅう			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す		0.5 時間
	1,2,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる		2 時間
4	講義内容	巻きずし、いなりずし、手まり寿司、菊花豆腐の吸い物、即席漬け			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す		0.5 時間
	2,3,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる		2 時間
5	講義内容	鍋貼餃子、干焼明蝦、辣白菜、西湖魚羹、拔絲地瓜、白飯			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す。		0.5 時間
	2,3,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる		2 時間
6	講義内容	八宝肉飯、きのこ鶏肉のオイスターソース炒め、酢辣湯、杏仁酥餅			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す		0.5 時間
	1,2,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる		2 時間
7	講義内容	珍珠丸子、糖醋魚、芒果布丁、玉米湯、白飯			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す	0.5 時間
	1,2,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる	2 時間
8	講義内容	マカロニグラタン、ラタトゥイユ、人参サラダ、シュークリーム		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す	0.5 時間
	2,3,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる	2 時間
9	講義内容	パン、鶏肉のクリーム煮、ミネストローネ、パイ生地(次回使用)		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる	2 時間
10	講義内容	ドイツ料理:ウィーンナーシュニッツェル、キッシュ、アプルスツウレーデル、チーズスープ		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる	2 時間
11	講義内容	正月料理: 田作り、松風焼き、伊達巻、栗きんとん、紅白なます、野菜の煮しめ、かまぼこ、えびのうま煮、黒豆、雑煮		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる	2 時間
12	講義内容	クリスマス料理: ブッシュドノエル、パンプキンスープ、ローストチキン、キャロットライス		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる	2 時間
13	講義内容	韓国料理: ビビンバ、あじの韓国風照り焼き、オイキムチ、スープ春雨		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当ページに目を通す	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	実習内容をレポートにまとめ、栄養計算し、関連事項を調べる	2 時間
14	講義内容	実習テスト(あじの三枚下ろし、大根せん切り、リンゴの皮むき)		
	該当する到達目標	予習	基本事項を確認し、練習する	1 時間
	2,3,4	復習	振り返り	0.5 時間
15	講義内容	テーブルマナー		
	該当する到達目標	予習	西洋料理のマナーについてテキストに目を通しておく	0.5 時間
	4	復習	マナーや料理についてレポートにまとめる	2 時間
備考	・受講ルール: ユニホーム、クッキングシューズ着用、包丁、ノート必携 ・授業の進め方: 各回の実習は、はじめに教員がデモンストレーションを行い、その後班ごとに調理し、試食して片づけまでを授業とする。 ・実習レポート: 調理のポイント、栄養計算と実習内容に関連した事項を調べてまとめること ・自宅学習: 自習時間の不足分は、試験前の学習および日常の調理で補完すること ・メールアドレス: ayabe@takasaki-u.ac.jp、オフィスアワーは前期(火 5 時限目)、後期(金 1 時限目)			

科目名	調理科学(専門基幹科目)			HNB254	演習
英文名	Cookery Science				
担当教員	綾部 園子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	食品が調理を経て人に摂取されるまでの過程を学ぶとともに、人体に対しての栄養面や安全面等への影響や評価を理解する。 「調理」の要点は、調理操作による食品の物理的、化学的、組織学的変化を望ましい状態に制御することであり、そのためには個々の食品の調理特性を熟知しておく必要がある。調理科学では食品の調理特性を学び、調理操作の諸条件と関連づけて理解する。食品の物性および嗜好性とその評価方法について修得する。				
到達目標	1.食品の調理性を理解し説明できる。 2.食べ物の嗜好性とテクスチャーの評価方法を、理解し説明できる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 60%、小テスト 20%(10%×2)、レポート 20%				
課題に対するフィードバック	レポートにコメントをつけて返却する				
使用教材	栄養管理と生命科学シリーズ「調理の科学」、吉田恵子、綾部園子編、理工図書、調理科学実験ノート(参考)「調理科学実験」、今井悦子、小西史子編、アイ・ケイ・コーポレーション				
1	講義内容	調理科学とは(調理学の復習を含む)			
	該当する到達目標	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する。		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針との対応、成績評価方法などを確認する。		1 時間
2	講義内容	炭水化物を主成分とする食品 ①米			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章 p100～110 に目を通す。		0.5 時間
	1	復習	炭水化物の特徴、米の調理性について理解する		1 時間
3	講義内容	炭水化物を主成分とする食品 ②小麦・いも・豆			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章 p111～132 に目を通す。		0.5 時間
	1	復習	小麦・いも・いも・豆の調理性を理解する。小テストをするので復習しておく。		1 時間
4	講義内容	たんぱく質を主成分とする食品① たんぱく質・肉			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章 p133～144 に目を通す。		0.5 時間
	1	復習	たんぱく質の特徴、肉の調理性について理解する。		1 時間
5	講義内容	【実験】1 米について ①米の吸水			
	該当する到達目標	予習	実験ノートの該当ページに目を通す。		0.5 時間
	1,2	復習	実験結果をまとめ、レポートを作成する。		2 時間
6	講義内容	【実験】2 米について ②米粉の調理			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	実験ノートの該当ページに目を通す。	0.5 時間
	1,2	復習	実験結果をまとめ、レポートを作成する。	2 時間
7	講義内容	【実験】3 小麦粉について ①ドウの実験		
	該当する到達目標	予習	実験ノートの該当ページに目を通す。	0.5 時間
	1,2	復習	実験結果をまとめ、レポートを作成する。	2 時間
8	講義内容	【実験】4 小麦粉について ②小麦粉の膨化		
	該当する到達目標	予習	実験ノートの該当ページに目を通す。	0.5 時間
	1,2	復習	実験結果をまとめ、レポートを作成する。	2 時間
9	講義内容	【実験】5 卵について		
	該当する到達目標	予習	実験ノートの該当ページに目を通す。	0.5 時間
	1,2	復習	実験結果をまとめ、レポートを作成する。	2 時間
10	講義内容	【実験】6 野菜の加熱		
	該当する到達目標	予習	実験ノートの該当ページに目を通す。	0.5 時間
	1,2	復習	実験結果をまとめ、レポートを作成する。	2 時間
11	講義内容	【実験】7 ゲル化剤について ①ゲル化剤の種類と特徴		
	該当する到達目標	予習	実験ノートの該当ページに目を通す。	0.5 時間
	1,2	復習	実験結果をまとめ、レポートを作成する。	2 時間
12	講義内容	【実験】8 ゲル化剤について ②たんぱく質分解酵素		
	該当する到達目標	予習	実験ノートの該当ページに目を通す。	0.5 時間
	1,2	復習	実験結果をまとめ、レポートを作成する。小テストをするので復習しておく。	2 時間
13	講義内容	たんぱく質を主成分とする食品② 魚・卵・乳		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章 p144～160 に目を通す。	0.5 時間
	1	復習	魚介類・卵・乳製品の調理性について、理解する	1 時間
14	講義内容	ビタミン・無機質の給源となる食品		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章 p160～178 に目を通す。	0.5 時間
	1	復習	野菜類の調理性について、理解する	3 時間
15	講義内容	成分抽出素材の調理性		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章 p184～217 に目を通す。	1 時間
	1	復習	成分抽出素材の調理性について、理解する	1 時間
備考	・授業の進め方:1～4 回と 13～15 回は、パワーポイントを使用した講義とし、食品の調理性について講義する。 5～12 回は実験とし、班に分かれて実験してその結果をレポートにまとめる。 ・実験後、1 週間以内にレポートを提出すること。 ・自宅学習: 自習時間の不足分は、試験前の学習で補完すること。 ・メールアドレス: ayabe@takasaki-u.ac.jp、オフィスアワーは前期(火 5 時限目)、後期(金 1 時限目)			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	食品学Ⅰ（専門基幹科目）			HNB261	講義
英文名	Food ChemistryⅠ				
担当教員	松岡 寛樹				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	今日、生活習慣病対策が国民の健康問題の大きな課題となっている。生活習慣病の発症と進行を防ぐためには、食生活改善が重要であるといわれている。本講座は食と健康について科学的に理解を深めることを目標とする。				
到達目標	1.食品成分表を理解し、その意味について説明できる。 2.食品の化学成分(栄養成分・嗜好成分)の特性について説明できる。 3.有機化学的な視点から食品を説明できる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	試験(100%)にて評価する。◎ 評価方法の基準については講義初回時と終了時に説明する。				
課題に対するフィードバック	試験問題出題の意図について解説する。				
使用教材	教科書:「食品学」久保田紀久枝、森光康次郎編、東京化学同人、ISBN978-4-8079-1665-8				
	講義内容	食品の分類と食品成分表について			
1	該当する到達目標	予習	教科書 p.3～22 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける		0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる		0.5 時間
	講義内容	水分について			
2	該当する到達目標	予習	教科書 p.25～29 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける		0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる		0.5 時間
	講義内容	アミノ酸について			
3	該当する到達目標	予習	教科書 p.43～45 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける		0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる		0.5 時間
	講義内容	ペプチド・タンパク質について			
4	該当する到達目標	予習	教科書 p.46～51 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける		0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる		0.5 時間
	講義内容	酵素について			
5	該当する到達目標	予習	教科書 p.51～55 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける		0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる		0.5 時間
	講義内容	糖質について			
6	該当する到達目標	予習	教科書 p.30～34 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける		0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる		0.5 時間
	講義内容	オリゴ糖・多糖類について			
7	該当する到達目標	予習	教科書 p.34～38 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける		0.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
8	講義内容	食物繊維について		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.39 ～42 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
9	講義内容	脂質について		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.56～64 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
10	講義内容	微量栄養素について(ビタミン)		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.65～73 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
11	講義内容	微量栄養素について(ミネラル)		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.74～78 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き、誤文を正文に修正、不理解用語を調べる	0.5 時間
12	講義内容	嗜好成分について(ポリフェノール系色素)		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.79～82 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
13	講義内容	嗜好成分について(カロテノイド系色素)		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.83～84 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
14	講義内容	嗜好成分について(フラボノイド系色素)		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.84～89 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	全体を見直し、これまでの学習で不十分と思われる事項を書き出す	0.5 時間
	1,2,3	復習	当日、配布される資料を復習する	0.5 時間
備考	授業の進め方: iPad を活用した電子黒板アプリを用い、デジタルとアナログを融合した授業を行います。 予習・復習の不足時間については、試験前の学習で補完すること。また、インターネットやニュース等での食品に関する情報は日頃からチェックしておいて下さい。 オフィスアワー: 授業終了後に質問等は受け付けます。 研究室: 1 号館 4 階 402			

科目名	食品学Ⅱ（専門基幹科目）			HNB262	講義
英文名	Food ChemistryⅡ				
担当教員	松岡 寛樹				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	今日、生活習慣病対策が国民の健康問題の大きな課題となっている。生活習慣病の発症と進行を防ぐためには、食生活改善が重要であるといわれている。本講座は食と健康について科学的に理解を深めることを目標とする。				
到達目標	1.食品の機能性成分について説明できる。 2.植物性食品、動物性食品などの特性と機能性について説明できる。 3.有機化学的な視点から食品を説明できる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	試験(100%)にて評価する。◎ 評価方法の基準については講義初回時と終了時に説明する。				
課題に対するフィードバック	試験問題出題の意図について解説する。				
使用教材	教科書:「食品学」久保田紀久枝、森光康次郎編、東京化学同人、ISBN978-4-8079-1665-8				
1	講義内容	食品の呈味成分について(甘味、酸味、苦味、)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.89～95 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける		0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる		0.5 時間
2	講義内容	食品の呈味成分について(塩味、旨味、その他)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.95～98 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける		0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる		0.5 時間
3	講義内容	食品の香り成分について(総論)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.99～101 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける		0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる		0.5 時間
4	講義内容	食品の香り成分について(植物性食品)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.102～105 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける		0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる		0.5 時間
5	講義内容	食品の香り成分について(その他の食品)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.105～109 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける		0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる		0.5 時間
6	講義内容	食品成分間反応(酸化と劣化)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.121～129 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける		0.5 時間
	1,2,3	復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる		0.5 時間
7	講義内容	食品成分間反応(食品の酸化抑制)			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 p.129～133 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
		復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
8	該当する到達目標 1,2,3	講義内容 食品成分の変化について(酵素による変化、非酵素的褐変)		
		予習	教科書 p.134 ～143 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
		復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
9	該当する到達目標 1,2,3	講義内容 食品成分の変化について(成分間反応による有害成分)		
		予習	教科書 p.144～146 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
		復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
10	該当する到達目標 1,2,3	講義内容 機能性食品について(保健機能食品)		
		予習	教科書 p.166～174 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
		復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
11	該当する到達目標 1,2,3	講義内容 機能性食品について(機能性表示食品など)		
		予習	教科書 p.158～165 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
		復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
12	該当する到達目標 1,2,3	講義内容 植物性食品について		
		予習	教科書 p.176～208 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
		復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
13	該当する到達目標 1,2,3	講義内容 動物性食品について		
		予習	教科書 p.209～235 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
		復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
14	該当する到達目標 1,2,3	講義内容 その他の食品について(嗜好飲料・発酵食品)		
		予習	教科書 p.236～262 を読み, 重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
		復習	国家試験・期末試験過去問題を参考に、講義内容についてまとめる	0.5 時間
15	該当する到達目標 1,2,3	講義内容 まとめ		
		予習	全体を見直し、これまでの学習で不十分と思われる事項を書き出す	0.5 時間
		復習	当日、配布される資料を復習する	0.5 時間
備考	授業の進め方:iPad を活用した電子黒板アプリを用い、デジタルとアナログを融合した授業を行います。 予習・復習の不足時間については、試験前の学習で補完すること。また、インターネットやニュース等での食品に関する情報は日頃からチェックしておいて下さい。 オフィスアワー:授業終了後に質問等は受け付けます。 研究室:1 号館 4 階 402			

科目名	食べ物と健康基礎実験(専門基幹科目)			HNB263	実験
英文名	Food Chemistry [Basic Experiment]				
担当教員	松岡 寛樹				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	本実験は 2～3 年生で学ぶ実験・実習等の基本となるため、実験のための基礎知識や考え方を習得することを目的とする。				
到達目標	1.ガラス器具の名称と用途及び操作を理解し、説明できる。 2.試料の適切な取り扱いができる。 3.食品分析法について理解し、化学的な実験方法の基礎を身につけることができる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	期末試験(100%) レポート提出、出席回数の要件を満たすことは期末試験を受けるために必須条件です。				
課題に対するフィードバック	実験レポートはコメントを付けて返却する。				
使用教材	教科書: わかりやすい食品の基礎と機能性分析法、宇田靖、大石祐一編アイ・ケイコーポレーション ISBN-13:978-4874923306				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み、実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。		0 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。		1 時間
2	講義内容	魅せる実験(人工いくら、物質の発光特性)			
	該当する到達目標 1,2,3	予習			0 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。		1 時間
3	講義内容	ガラス器具の取り扱いと測容			
	該当する到達目標 1,2,3	予習			0 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。		1 時間
4	講義内容	ガラス細工			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み、実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。		0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。		1 時間
5	講義内容	魅せる実験2(液体窒素、エステル合成、有機溶媒の取り扱い、食品色素による酸化還元反応)			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み、実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。		0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。		1 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

6	講義内容	食品の比重測定(ガラス製ピペット)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノート作成;【課題】について調べる。	1 時間
7	講義内容	食品の比重測定(マイクロピペット)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノート作成;【課題】について調べる。	1 時間
8	講義内容	緩衝液調製とアントシアニン色素および pH メーターによる pH 測定		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノート作成;【課題】について調べる。	1 時間
9	講義内容	水分・灰分の定量		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノート作成;【課題】について調べる。	1 時間
10	講義内容	粗脂肪の抽出と定量		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノート作成;【課題】について調べる。	1 時間
11	講義内容	油脂の薄相クロマトグラフィー分析		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノート作成;【課題】について調べる。	1 時間
12	講義内容	油脂の化学的試験(ケン化価の測定)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノート作成;【課題】について調べる。	1 時間
13	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	授業の進め方: 授業開始時に教科書・配布資料を用いながら, 実験の流れを説明します。実験中は, 考えながら行動し, 変更点・疑問点を常に記録してください。得られた結果はそのままにしないで, 必ず担当教員とディスカッションを行って下さい。予習・復習の不足時間については, 試験前の学習で補完すること。また, 他の科目とのつながりも考えて勉強して下さい。 オフィスアワー: 授業中に質問は受け付けます。試験 1 週間前までには疑問点は解決しておくこと。			

科目名		食品学実験(専門基幹科目)			HNB264	実験
英文名		Food Chemistry [Experiment]				
担当教員		松岡 寛樹、熊倉 慧 (共同)				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標		本実験は 2～3 年生で学ぶ実験・実習等の基本となるため、実験のための基礎知識や考え方を習得することを目的とする。				
到達目標		1.食品分析法について理解し、定性定量分析ができる。 2.高度な分析機器を用いた定量分析ができる。 3.実験をするための準備からまとめまで理解し、活用することができる。				
学位授与方針との対応			豊かな人間性と職業倫理			
		✓	専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
			多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		✓	コミュニケーション能力			
		✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法		期末試験(100%) レポート提出、出席回数の要件を満たすことは期末試験を受けるために必須条件です。				
課題に対するフィードバック		実験レポートはコメントを付けて返却する。				
使用教材		教科書: わかりやすい食品の基礎と機能性分析法、宇田靖、大石祐一編アイ・ケイコーポレーション ISBN-13: 978-4874923306 配布資料				
1	講義内容		ガイダンス			
	該当する到達目標 1,2,3		予習	なし		0 時間
			復習	なし		0 時間
2	講義内容		有機酸の中和滴定			
	該当する到達目標 1,2,3		予習	教科書、配布資料に記載されている原理および実験方法を読み、実験の流れをつかむ。		0.5 時間
			復習	レポートの作成		1 時間
3	講義内容		食塩の沈殿滴定			
	該当する到達目標 1,2,3		予習	教科書、配布資料に記載されている原理および実験方法を読み、実験の流れをつかむ。		0.5 時間
			復習	レポートの作成		1 時間
4	講義内容		食塩の定量(試料調製と簡易分析)			
	該当する到達目標 1,2,3		予習	教科書、配布資料に記載されている原理および実験方法を読み、実験の流れをつかむ。		0.5 時間
			復習	レポートの作成		1 時間
5	講義内容		食塩の定量(電量滴定法、原子吸光分析)			
	該当する到達目標	予習	教科書、配布資料に記載されている原理および実験方法を読み、実験の流れを			0.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3		つかむ。	
		復習	レポートの作成	2 時間
6	講義内容	ポリフェノールの定量(フォーリン・チオカルト法)		
	該当する到達目標	予習	教科書、配布資料に記載されている原理および実験方法を読み、実験の流れをつかむ。	0.5 時間
	1,2,3	復習	レポートの作成	2 時間
7	講義内容	ポリフェノールの定量(DPPH ラジカル消去試験)		
	該当する到達目標	予習	教科書、配布資料に記載されている原理および実験方法を読み、実験の流れをつかむ。	0.5 時間
	1,2,3	復習	レポートの作成	2 時間
8	講義内容	アミノ酸の分析(試料の調製)		
	該当する到達目標	予習	教科書、配布資料に記載されている原理および実験方法を読み、実験の流れをつかむ。	0.5 時間
	1,2,3	復習	レポートの作成	2 時間
9	講義内容	アミノ酸の分析(高速液体クロマトグラフィー分析)		
	該当する到達目標	予習	教科書、配布資料に記載されている原理および実験方法を読み、実験の流れをつかむ。	0.5 時間
	1,2,3	復習	レポートの作成	2 時間
10	講義内容	脂肪酸の定量(ケン化・メチルエステル化による試料調製)		
	該当する到達目標	予習	教科書、配布資料に記載されている原理および実験方法を読み、実験の流れをつかむ。	0.5 時間
	1,2,3	復習	レポートの作成	2 時間
11	講義内容	脂肪酸の定量(接触水素添加ならびにガスクロマトグラフィー分析)		
	該当する到達目標	予習	教科書、配布資料に記載されている原理および実験方法を読み、実験の流れをつかむ。	0.5 時間
	1,2,3	復習	レポートの作成	2 時間
12	講義内容	施設見学		
	該当する到達目標	予習	なし	0 時間
	1,2,3	復習	レポートの作成	0.5 時間
13	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	授業の進め方:授業開始時に教科書・配布資料を用いながら、実験の流れを説明します。実験中は、考えながら行動し、変更点・疑問点を常に記録してください。得られた結果はそのままにしないで、必ず担当教員とディスカッションを行って下さい。予習・復習の不足時間については、試験前の学習で補完すること。また、他の科目とのつながりも考えて勉強して下さい。			

	オフィスアワー:授業中に質問は受け付けます。試験 1 週間前までには疑問点は解決しておくこと。 研究室:1 号館 4 階 402

科目名	食品衛生学(専門基幹科目)			HNB271	講義
英文名	Food Hygiene				
担当教員	村松 芳多子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	食品の安全に関する基本的な知識と衛生的取扱いやその原理に関する知識を修得し、人体に対しての栄養面や安全面等への影響や評価について理解することを目標とする。				
到達目標	1.食品における理化学的、微生物学的劣化の原理を理解し説明できる。 2.食品の安全性を損なうウイルス、細菌、かびなどの微生物の特徴や有害化学物質について説明できる。 3.食品安全に関する基本的知識を説明できる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	試験(90%)、課題(10%)にて評価する。◎ 評価方法の基準については講義初回時と終了時に説明する。				
課題に対するフィードバック	課題レポートはコメントスタンプを付けて返却する。 講義時に解説する。				
使用教材	教科書:「新入門食品衛生学 改定第 3 版」、和泉喬・小田隆弘・貞包治夫・堀井正治・松岡麻男共著、南江堂、2016(ISBN978-4-524-25823-9)、定価 2,484 円(本体 2,300 円+税) その他:授業支援システム CaLabo Bridge を活用する。				
1	講義内容	食品衛生学の概念(概要、食品衛生管理、食品の安全性問題)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.1～4 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける		0.5 時間
	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き、誤文を正文に修正、不理解用語を調べる		0.5 時間
2	講義内容	食品衛生行政(食品等の検査、食品衛生監視、輸入食品監視)、 食品衛生関係法規(食品衛生法規、一般食品の規格、食品の規格基準、国際食品規格)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.1～38 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける		0.5 時間
	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き、誤文を正文に修正、不理解用語を調べる		0.5 時間
3	講義内容	食品と微生物 1(微生物の種類と特徴)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.39～51 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける		0.5 時間
	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き、誤文を正文に修正、不理解用語を調べる		0.5 時間
4	講義内容	食品と微生物 2(微生物の増殖と環境、食品と微生物の関係)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.51～56 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける		0.5 時間
	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き、誤文を正文に修正、不理解用語を調べる		0.5 時間
5	講義内容	食品の変質とその防止(変質・腐敗と防止・制御)			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.57～70 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける		0.5 時間
	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き、誤文を正文に修正、不理解用語を調べる		0.5 時間
6	講義内容	食中毒 1(食中毒の発生状況、細菌性食中毒(感染型))			
	該当する到達目標	予習	教科書 p.71～92 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける		0.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き、誤文を正文に修正、不理解用語を調べる	0.5 時間
7	講義内容	食中毒 2(細菌性食中毒(毒素型), ウイルス性食中毒,)		
	該当する到達目標	予習	教科書 p. 92～111 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き、誤文を正文に修正、不理解用語を調べる	0.5 時間
8	講義内容	食中毒 3(自然毒食中毒, 化学物質による食中毒, マスターテーブル法, その他の食中毒)		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.112 ～125 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き、誤文を正文に修正、不理解用語を調べる	0.5 時間
9	講義内容	食品の媒介による経口感染・寄生虫(赤痢, 腸チフス, コレラ, 伝染性下痢症, 人畜感染症, 寄生虫の種類, 有害昆虫, 経口感染対策)		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.127～156 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き、誤文を正文に修正、不理解用語を調べる	0.5 時間
10	講義内容	食品中の汚染物質(カビ毒, 農薬の食品汚染, 有害物質の生体内蓄積)		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.157～175 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き、誤文を正文に修正、不理解用語を調べる	0.5 時間
11	講義内容	食品添加物 1(種類と用途, 食品添加物の安全性)		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.177～188 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き、誤文を正文に修正、不理解用語を調べる	0.5 時間
12	講義内容	食品添加物 2(食品の表示制度と規格基準, 健康や栄養に関する表示制度と基準)		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.26～27, p.188～194 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き、誤文を正文に修正、不理解用語を調べる	0.5 時間
13	講義内容	集団給食における衛生管理 1(危害分析重要管理事項; HACCP, 食材料の仕入れから喫食までの汚染防止対策, 施設衛生とその取扱)		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.201～219 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き、誤文を正文に修正、不理解用語を調べる	0.5 時間
14	講義内容	集団給食における衛生管理 2(集団給食従事者の衛生管理, 検食・保存食, 事故発生時の対応)		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.219～220 及び「大量調理施設衛生管理マニュアル」を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き、誤文を正文に修正、不理解用語を調べる	0.5 時間
15	講義内容	食品用の器具と包装(素材と衛生, 素材の環境汚染), 食品の安全性問題		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.195～200, p.221～228 を読み、重要と思われる事項に下線や付箋をつける	0.5 時間
	1,2,3	復習	【課題】国家試験過去問題を解き、誤文を正文に修正、不理解用語を調べる	0.5 時間
備考	※平日の予習・復習時間では、学習時間が不足です。土日祝日及び長期休暇時等に不足の学習時間を補うこと(復習内容は、国家試験過去問題を解き、誤文を正文に修正、不理解用語を調べる内容です。課題は平日だけでは終了できません)。 オフィスアワー:講義のある曜日の午後(3～5 時限) 授業の進め方:講義中に予習課題の解答を求めることがある。また、試験前に復習課題の提出を必ず求める。 研究室:1 号館 4 階 404 ◎相談・質問がある場合は予めアポイントメントを取ること(メールアドレスは第 1 回目の講義日に連絡する)。			

科目名	食品衛生学実験(専門基幹科目)			HNB272	実験
英文名	Food Hygiene [Experiment]				
担当教員	村松 芳多子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	「食品衛生学」で修得した基礎知識について、実験を通してさらに理解を深めることを目的とする。「食品衛生学実験」では、化学物質の特性や検出方法、微生物の特性と取り扱い方、細菌やかびの検出、観察、取り扱い実験、保存料や発色剤などの食品添加物の検出実験を取り上げ、知識をより深める。				
到達目標	1.微生物の実験操作ができる。 2.飲料水の水質検査ができる。 3.食品の鮮度を測定できる。 4.調理器具を衛生に管理することができる。 5.食品の抗菌効果について理解できる。 6.食品添加物の検出ができる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	実験ノート(40%)、試験(33%)、共同の実験記録用紙(27%)等の総合評価。ただし、総合評価の条件は試験を6割超えた場合に限る。 ◎評価方法の基準については実験初回時と終了時に説明する。 実験ノートの評価方法は、実験書および実験ノートに記載した評価法による。 定期試験範囲は、初回に説明し試験前に提示する。				
課題に対するフィードバック	実験ノートはコメントスタンプを付けて返却する。 授業支援システム CaLabo Bridge に記載する。				
使用教材	教科書 1: 専用の食品衛生学実験書と実験ノートを配布する。 教科書 2: 「新入門食品衛生学 改定第 3 版」, 和泉喬・小田隆弘・貞包治夫・堀井正治・松岡麻男共著, 南江堂, 2016(ISBN978-4-524-25823-9), 定価 2,484 円(本体 2,300 円+税) その他: 授業支援システム CaLabo Bridge を活用する。				
1	講義内容	食品衛生学実験の基本 1 (実験の概要、微生物の取扱方等、パン酵母の観察と培養)			
	該当する到達目標 1	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み、実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。		0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。		1 時間
2	講義内容	食品衛生学実験の基本 2 (微生物の分離・培養方法;微生物の釣菌方法)			
	該当する到達目標 1	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み、実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。		0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。		1 時間
3	講義内容	食品衛生学実験の基本 3 (食品からの微生物の分離・培養;生菌数の測定および算定方法)			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 1	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
4	講義内容	飲料水の水質検査 (残留塩素の測定, pH の測定, 亜硝酸性窒素の測定他)		
	該当する到達目標 2	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
5	講義内容	食品の鮮度測定 1 (品質判定・鑑別: 食品の簡易鮮度試験)		
	該当する到達目標 1,3	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
6	講義内容	食品の鮮度測定 2 (揮発性塩基窒素の測定)		
	該当する到達目標 1,3	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
7	講義内容	食品の衛生検査 1 (食品からの環境衛生管理上の汚染指標菌の検査) 調理器具等の衛生検査 1 (食器等洗浄の簡易検査, 拭き取り検査法, 簡易微生物測定法)		
	該当する到達目標 1,4	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
8	講義内容	食品添加物の検査 1 (保存料の抗菌力測定(ペーパーディスク法), 防ばい剤の抗菌試験) 調理器具等の衛生検査 2 (簡易測定法の評価方法)		
	該当する到達目標 1,4,5,6	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
9	講義内容	食品添加物の検査 2 (食品中の発色剤の検出)		
	該当する到達目標 1,6	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
10	講義内容	食中毒菌の分離検査 1 (選択培地による分離法)		
	該当する到達目標 1	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
11	講義内容	食品衛生検査 2 (分離微生物のグラム染色), 食品添加物の検査 3 (食品からの漂白剤の検出)		
	該当する到達目標 1,6	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
12	講義内容	食中毒菌の分離検査 2 (食中毒菌の同定鑑別), 食品添加物の検査 4 (食品からの保存料の検出)		
	該当する到達目標 1,6	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
13	講義内容	食品添加物の検査 5 (食品からの着色料の検出)		
	該当する到達目標 6	予習	教科書 1 に記載されている原理および実験方法を読み, 実験のフローチャートまたはプロトコルを作成する。	0.5 時間
		復習	実験ノートの作成;【課題】について調べる。	1 時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	※微生物系の実験は結果を導くために期間を要する場合がある。そのため, 講義内容全てを記載することができません。実験ごとの詳細内容は, 授業支援システム CaLabo Bridge を活用し公開している。 オフィスアワー: 講義のある曜日の午後(5 時限) 授業の進め方: 予習課題を実施したかについて, 講義中に必ず確認する。 ・実験ノートおよび共同実験記録用紙等を, 実験大項目または中項目終了後に必ず提出する。 研究室: 1 号館 4 階 404 ◎相談・質問がある場合は予めアポイントメントを取ること(メールアドレスは第 1 回目の講義日に連絡する)。			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

科目名	食品加工学(専門基幹科目)			HNB281	講義
英文名	Food Processing and Preservation				
担当教員	村松 芳多子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	栄養面, 安全面, 嗜好面の各特性を高める各種食品の加工・貯蔵原理や方法, 容器包装食品等について理解することを目標とする。				
到達目標	1.食品加工法と加工食品(日本食品標準成分表に収載されている加工食品)を理解し説明できる。 2.食品の貯蔵法, 食品の包装を理解し説明できる。 3.加工食品の製造規格を理解し説明できる。				
学位授与方針		豊かな人間性と職業倫理			
との対応	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	試験(67%), 食品選択の理解(20%), 提出課題(13%)にて評価する。 ◎評価方法の基準については講義初回時と終了時に説明する。				
課題に対するフィードバック	課題レポートはコメントスタンプを付けて返却する。 講義時に解説する。				
使用教材	教科書 1:「日本食品標準成分表 2015 年版(七訂)」, 文部科学省 科学技術・学術審議会 資源調査分科報告, 全官報, 2015(ISBN978-4-86458-118-9), 定価 1,998 円(本体 1,850 円+税) 教科書 2:「改訂初版 食品加工学概説」, 國崎直道・川澄俊之編著, 同文書院, 2013(ISBN978-4-8103-1430-4), 定価 2,268 円(本体 2,100 円+税) その他: C-learning, 授業支援システム CaLabo Bridge を活用する。				
1	講義内容	食品加工貯蔵の原理(食品の変敗, 加工と貯蔵による食品の変化, 食品の保存法, 食品加工貯蔵の新技术等, 日本食品標準成分表に収載されている加工食品)			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	日本食品標準成分表の第 1 章説明 p.1~28 を読む		1.5 時間
		復習	国家試験過去問題を解く 1		0.5 時間
2	講義内容	農産食品加工貯蔵(穀類・いも類およびでん粉類の加工貯蔵)			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	【課題】加工食品と食品標準成分表を理解する 1		1.5 時間
		復習	国家試験過去問題を解く 2		0.5 時間
3	講義内容	農産食品・発酵食品加工貯蔵(砂糖及び甘味類・豆類・種実類の加工貯蔵)			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	【課題】加工食品と食品標準成分表を理解する 2		1.5 時間
		復習	国家試験過去問題を解く 3		0.5 時間
4	講義内容	農産食品加工貯蔵(野菜類・果物類・きのこ類の加工貯蔵)			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	【課題】加工食品と食品標準成分表を理解する 3, 4		1.5 時間
		復習	国家試験過去問題を解く 4		0.5 時間
5	講義内容	海産食品加工貯蔵(藻類・魚介類の加工貯蔵)			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	【課題】加工食品と食品標準成分表を理解する 5		1.5 時間
		復習	国家試験過去問題を解く 5		0.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

6	講義内容	畜産食品加工貯蔵(肉類・卵類・乳類の加工貯蔵)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	【課題】加工食品と食品標準成分表を理解する 6	1.5 時間
		復習	国家試験過去問題を解く 6	0.5 時間
7	講義内容	嗜好食品・その他の加工貯蔵(油脂類・菓子類・嗜好飲料類・調味料及び香辛料類・調理加工食品類加工貯蔵)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	【課題】加工食品と食品標準成分表を理解する 7	1.5 時間
		復習	国家試験過去問題を解く 7	0.5 時間
8	講義内容	器包装食品(食品と包装素材), 食品流通・保存と栄養		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	【課題】加工食品と食品標準成分表を理解する 8, 9	1.5 時間
		復習	国家試験過去問題を解く 8	0.5 時間
備考	※平日の復習時間 0.5 時間では学習時間が不足です。土日祝日等に不足の学習時間を補うこと(復習内容は, 国家試験過去問題を解き, 誤文を正文に修正, 不理解用語を調べる内容です。平日だけでは終了できません)。 オフィスアワー: 講義のある曜日の午後(3~5 時限) 授業の進め方: 予習課題を C-learning へ講義前までに入力する。講義中にその課題解答を求めることがある。 ・定期試験前に復習課題を必ず提出していただく。 研究室: 1 号館 4 階 404 ◎相談・質問がある場合は予めアポイントメントを取ること(メールアドレスは第 1 回目の講義日に連絡する)。			

科目名	食品加工学実習(専門基幹科目)			HNB282	実習
英文名	Food Processing and Preservation [Practice]				
担当教員	村松 芳多子・熊倉慧				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	食品の生育・生産から、加工を経て人に摂取されるまでの過程を学び、人体に対しての栄養面や安全面の影響や評価を理解・修得する。「食品学ⅠとⅡ」や「食品加工学」で学んだことを基礎として実習し、より実践的に食品のし好性・栄養性・機能性の変化および品質保持技術と安全性の確保についての知識を深めることを目的とする。				
到達目標	1.各食品原料の特性、特有成分の栄養的・し好的・化学的性質を理解し説明できる。 2.食品の安全な取扱の基本を修得する。 3.食品加工製造方法および原理を理解し、実際に製造できる。 4.食品の評価および選択の方法を理解する。 5.食品表示および食品添加物について説明できる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	実習ノート(57%)、試験(43%)等の総合評価。ただし、総合評価の条件は試験を 6 割超えた場合に限る。 ◎評価方法の基準については実習初回時と終了時に説明する。 実習ノートの評価方法は、実習書および実習ノートに記載した評価法による。 定期試験範囲は、初回に説明し試験前に提示する。				
課題に対するフィードバック	実習ノートはコメントスタンプを付けて返却する。 実習時に解説、またはメールにて説明連絡を行う。授業支援システム CaLabo Bridge に記載する。				
使用教材	教科書 1:専用の食品加工学実習書と実習ノートを配布する。 教科書 2:「改訂初版 食品加工学概説」, 國崎直道・川澄俊之編著, 同文書院, 2013(ISBN978-4-8103-1430-4), 定価 2,268 円(本体 2,100 円+税) その他:授業支援システム CaLabo Bridge を活用する。				
1	講義内容	畜産物の加工品 1 バター、カッテージチーズ(カゼインの実験)			
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み、加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。		0.5 時間
		復習	実習ノートの作成;【課題】学習ポイントについて調べる。		1 時間
2	講義内容	農産物の加工品 1 こんにゃく、こんにゃくゼリー			
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み、加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。		0.5 時間
		復習	実習ノートの作成;【課題】学習ポイントについて調べる。		1 時間
3	講義内容	農産物の加工品 2 豆腐			
	該当する到達目標	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み、加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。		0.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3,4,5		ヤートまたはプロトコールを作成する。	
		復習	実習ノートの作成;【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間
4	講義内容	発酵食品の加工品 1 ヨーグルト 1 発酵食品および乳製品の加工		
	該当する到達目標	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み, 加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	実習ノートの作成;【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間
5	講義内容	発酵食品の加工品 2 ヨーグルト 2 乳製品の種類とその保存		
	該当する到達目標	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み, 加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	実習ノートの作成;【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間
6	講義内容	発酵食品の加工品 3 納豆		
	該当する到達目標	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み, 加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	実習ノートの作成;【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間
7	講義内容	農産物の加工品 3 リンゴジャム		
	該当する到達目標	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み, 加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	実習ノートの作成;【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間
8	講義内容	水産物の加工品 1 かまぼこ		
	該当する到達目標	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み, 加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	実習ノートの作成;【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間
9	講義内容	畜産物の加工品 2 ポークソーセージ		
	該当する到達目標	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み, 加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	実習ノートの作成;【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間
10	講義内容	農産物の加工品 4 みかんの缶詰		
	該当する到達目標	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み, 加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	実習ノートの作成;【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間
11	講義内容	農産物の加工品 5 みかんの缶詰検査		
	該当する到達目標	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み, 加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	実習ノートの作成;【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間
12	講義内容	農産物の加工品 6 つぶしあん		
	該当する到達目標	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み, 加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	実習ノートの作成;【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間
13	講義内容	嗜好食品の加工品 1 キャラメル(砂糖の加熱実験)		
	該当する到達目標	予習	教科書 1・2 に記載されている原理および加工方法を読み, 加工工程のフローチャートまたはプロトコールを作成する。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	実習ノートの作成;【課題】学習ポイントについて調べる。	1 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	オフィスアワー: 講義のある曜日の午後(5 時限) 研究室: 1 号館 4 階 404(村松)、10 号館 3 階 306(熊倉) 授業の進め方: ・予習課題を実施したかについて, 講義中に必ず確認する。 ・実習ノートを各実習終了後に提出する。 ◎相談・質問がある場合は予めアポイントメントを取ること(メールアドレスは第 1 回目の講義日に連絡する)。			

科目名	基礎栄養学(専門科目)			HNA311	講義
英文名	Basic Nutrition				
担当教員	永井 俊匡				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	栄養とは何か、その意義について理解することを目指す。特に、健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割を理解し、エネルギー代謝と栄養素の代謝、およびそれらの生理学的意義を理解することを目指す。				
到達目標	1.栄養と栄養素の用語の違いを、説明できる。 2.栄養における各栄養素の役割を、説明できる。 3.エネルギー代謝の概要と意義を、説明できる。 4.各栄養素の消化・吸収の流れを、説明できる。 5.各栄養素がどう代謝されるかを、説明できる。 6.健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割を、説明できる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 100%				
課題に対するフィードバック	試験の正答は、試験実施後に公表するので、自己採点して復習すること。				
使用教材	「栄養科学イラストレイテッド基礎栄養学」田地陽一編、羊土社 2016 年、2,800 円。 基本的にテキストに沿って授業を進める。				
	講義内容	栄養の概念			
1	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章を精読し、疑問点をまとめておく。		1.5 時間
	1,2,6	復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。		1 時間
	講義内容	食物の摂取			
2	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章を精読し、疑問点をまとめておく。		1.5 時間
	4,6	復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。		1 時間
	講義内容	消化・吸収と栄養素の体内動態			
3	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章を精読し、疑問点をまとめておく。		1.5 時間
	4	復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。		1 時間
	講義内容	糖質の栄養(1)血糖とその調節			
4	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 [1]～[4] を精読し、疑問点をまとめておく。		1.5 時間
	2,5,6	復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。		1 時間
	講義内容	糖質の栄養(2)エネルギー源としての作用、糖質の体内代謝			
5	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 [5]～[7] を精読し、疑問点をまとめておく。		1.5 時間
	2,3,5	復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。		1 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

6	講義内容	脂質の栄養(1)脂質の臓器間輸送		
	該当する到達目標 2,4,5	予習	教科書の第 5 章 [1]～[2] を精読し、疑問点をまとめておく。	1.5 時間
		復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。	1 時間
7	講義内容	脂質の栄養(2)脂質の体内代謝、脂肪酸由来の生理活性物質		
	該当する到達目標 2,3,5	予習	教科書の第 5 章 [3]～[7] を精読し、疑問点をまとめておく。	1.5 時間
		復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。	1 時間
8	講義内容	たんぱく質の栄養(1)たんぱく質・アミノ酸の体内代謝		
	該当する到達目標 2,3,5	予習	教科書の第 6 章 [1]～[4] を精読し、疑問点をまとめておく。	1.5 時間
		復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。	1 時間
9	講義内容	たんぱく質の栄養(2)摂取するたんぱく質の量と質の評価		
	該当する到達目標 2,6	予習	教科書の第 6 章 [5]～[6] を精読し、疑問点をまとめておく。	1.5 時間
		復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。	1 時間
10	講義内容	ビタミンの栄養(1)脂溶性ビタミン		
	該当する到達目標 2,5,6	予習	教科書の第 7 章のうち、脂溶性ビタミンに関する箇所を精読し、疑問点をまとめておく。	1.5 時間
		復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。	1 時間
11	講義内容	ビタミンの栄養(2)水溶性ビタミン		
	該当する到達目標 2,3,5,6	予習	教科書の第 7 章のうち、水溶性ビタミンに関する箇所を精読し、疑問点をまとめておく。	1.5 時間
		復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。	1 時間
12	講義内容	ミネラルの栄養(1)多量ミネラル、微量ミネラル		
	該当する到達目標 2,5,6	予習	教科書の第 8 章 [1]～[4] を精読し、疑問点をまとめておく。	1.5 時間
		復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。	1 時間
13	講義内容	ミネラルの栄養(2)鉄の代謝		
	該当する到達目標 2,5,6	予習	教科書の第 8 章 [5]～[6] を精読し、疑問点をまとめておく。	1.5 時間
		復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。	1 時間
14	講義内容	水・電解質の栄養学的意義		
	該当する到達目標 5,6	予習	教科書の第 9 章を精読し、疑問点をまとめておく。	1.5 時間
		復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。	1 時間
15	講義内容	エネルギー代謝		
	該当する到達目標 3,6	予習	教科書の第 10 章を精読し、疑問点をまとめておく。	1.5 時間
		復習	授業終了時の小テスト、および教科書の章末問題を復習する。	1 時間
備考	受講資格:「有機化学Ⅱ」を履修済みであることが望ましい。 授業期間全体を通じた授業の進め方:教科書等をベースに板書等を行う。ノートをとる機会が多い。予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 キーワード:糖質、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラル、代謝。 参考書: ①「栄養科学イラストレイテッド演習版基礎栄養学ノート」(田地陽一編、羊土社 2016 年、2,600 円) 教科書のサブノート。予習・復習教材として演習することを推奨する。 ②「健康・栄養科学シリーズ基礎栄養学改訂第 5 版」(奥恒行・柴田克己編、南江堂 2015 年、2,800 円) 説明が詳しい。分からないことを調べるときに、辞書的な使い方で役立つ。 オフィスアワー:前期・木曜 1 限、火曜 5 限。メールで連絡をもらえれば、それ以外の時間も柔軟に対応する。			

科目名	基礎栄養学実験(専門科目)			HNA312	実験
英文名	Basic Nutrition [Experiment]				
担当教員	永井 俊匡				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	1.栄養素の化学的性質・ヒト体内での代謝過程を、実験を通して理解することを目標とする。 2.栄養素に関する定性実験・定量実験の基礎を身につけることを目標とする。 3.データ処理・科学的考察・レポート記述能力を身につけることを目標とする。				
到達目標	1.各栄養素の消化酵素・消化補助物質の働きを説明できる。 2.たんぱく質電気泳動の原理を説明できる。 3.実験結果の正しい計算、および目的に合ったデータ処理を行うことができる。 4.実験結果と科学的知識から、適切な結論を導き出すことができる。 5.論理的かつ読み手に理解しやすい文章で、レポートを記述できる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	レポート(60%)、実験への積極性(40%)				
課題に対するフィードバック	レポートは、採点・添削して返却し、授業中に解説を行う。合格点に満たないレポートは、再提出を求める。				
使用教材	教員が作成した実験書を、各部のガイダンスの日にそれぞれ配布する。 ガイダンスの日などに、基礎栄養学の復習を行うので、「栄養科学イラストレイテッド基礎栄養学」(田地陽一編、羊土社 2016 年、2,800 円)を持参することが望ましい。				
	講義内容	たんぱく質の消化(1)ガイダンス、試薬・器具等の準備			
1	該当する到達目標	予習	基礎栄養学のたんぱく質分野について、教科書等で復習しておく。		1 時間
	1,2,5	復習	ガイダンス内容を、配布プリント等で復習する。		0.5 時間
	講義内容	たんぱく質の消化(2)卵白の人工消化			
2	該当する到達目標	予習	実験書をよく読み、当日の手順をイメージしておく。備考欄参照。		1 時間
	1	復習	実験方法・結果を、ノートにまとめておく。		0.5 時間
	講義内容	たんぱく質の消化(3)卵白消化物の電気泳動			
3	該当する到達目標	予習	実験書をよく読み、当日の手順をイメージしておく。備考欄参照。		1 時間
	1,2	復習	実験方法・結果を、ノートにまとめておく。		0.5 時間
	講義内容	たんぱく質の消化(4)電気泳動結果の検討、まとめ講義			
4	該当する到達目標	予習	実験書をよく読み、当日の手順をイメージしておく。備考欄参照。		1 時間
	1,2,3,4,5	復習	レポートを作成する。		3 時間
	講義内容	脂質の消化(1)ガイダンス			
5	該当する到達目標	予習	基礎栄養学の脂質分野について、教科書等で復習しておく。		1 時間
	1	復習	ガイダンス内容を、配布プリント等で復習する。		0.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

6	講義内容	脂質の消化(2)脂質の人工消化		
	該当する到達目標	予習	実験書をよく読み、当日の手順をイメージしておく。備考欄参照。	1 時間
	1	復習	実験方法・結果を、ノートにまとめておく。	0.5 時間
7	講義内容	脂質の消化(3)酸価測定		
	該当する到達目標	予習	実験書をよく読み、当日の手順をイメージしておく。備考欄参照。	1 時間
	1	復習	実験方法・結果を、ノートにまとめておく。	0.5 時間
8	講義内容	脂質の消化(4)まとめ講義		
	該当する到達目標	予習	実験結果を、整理しておく。	0.5 時間
	1,3,4,5	復習	レポートを作成する。	3 時間
9	講義内容	リボフラビンの抽出(1)ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	基礎栄養学のビタミン分野について、教科書等で復習しておく。	1 時間
	1	復習	ガイダンス内容を、配布プリント等で復習する。	0.5 時間
10	講義内容	リボフラビンの抽出(2)牛乳中のリボフラビンの抽出		
	該当する到達目標	予習	実験書をよく読み、当日の手順をイメージしておく。備考欄参照。	1 時間
	1	復習	実験方法・結果を、ノートにまとめておく。	0.5 時間
11	講義内容	リボフラビンの抽出(3)リボフラビンの定量		
	該当する到達目標	予習	実験書をよく読み、当日の手順をイメージしておく。備考欄参照。	1 時間
	1	復習	実験方法・結果を、ノートにまとめておく。	0.5 時間
12	講義内容	リボフラビンの抽出(4)まとめ講義		
	該当する到達目標	予習	実験結果を、整理しておく。	0.5 時間
	3,4,5	復習	レポートを作成する。	3 時間
13	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	受講資格:「基礎栄養学」を履修済みであることが望ましい。 授業期間全体を通じた授業の進め方:自ら考え、自発的に行動することを重視するので、細かい指示は行わない。したがって事前に実験書を予習し、手順をイメージしておくこと。さらに、実験原理について、図書資料等で調べておくとい。 受講のルール: 1.電卓・キッチンタイマー・ノートパソコン・デジカメは、使用可。 2.実験中は飲食禁止。ガイダンス等の講義中は飲み物を許可。 3.実験中は白衣を着用。 4.安全を第一とし、指示に従う。 5.薬品類・機器類は、事前に説明を聞いてから使用する。 キーワード:たんぱく質、SDS-PAGE、脂質、リボフラビン。 オフィスアワー:前期・木曜 1 限、火曜 5 限。メールで連絡をもらえれば、それ以外の時間も柔軟に対応する。			

科目名	応用栄養学Ⅰ（専門科目）			HNA321	講義
英文名	Applied NutritionⅠ				
担当教員	菅根 保子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	健康増進、疾病予防に寄与する栄養素の機能、特性等を踏まえ、健康にかかわるリスク管理の基本的な考え方について理解する。身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の考え方や方法を習得する。				
到達目標	1.健康増進、疾病予防に寄与する栄養素の機能、特性等について説明できる。 2.健康にかかわるリスク管理の基本的な考え方について説明できる。 3.身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の考え方や方法について説明できる。				
学位授与方針		豊かな人間性と職業倫理			
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験 60%、中間試験 25%、小テスト（15 回）15%で評価する。 定期試験での評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	小テストについて、採点・解説を行う。 定期試験、中間試験について、出題の意図を講評する。				
使用教材	教科書「日本人の食事摂取基準」・厚生労働省・第一出版株式会社・2019 年 3 月出版予定				
1	講義内容	食事摂取基準の策定の方針と基本的事項			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	食事摂取基準の第Ⅰ章 1-1 を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。		1.5 時間
		復習	食事摂取基準の第Ⅰ章 1-1を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。		1.5 時間
2	講義内容	食事摂取基準の指標の概要			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	食事摂取基準の第Ⅰ章 1-2 を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。		1.5 時間
		復習	食事摂取基準の第Ⅰ章 1-2を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。		1.5 時間
3	講義内容	食事摂取基準策定の留意事項、活用に関する基本的事項			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	食事摂取基準の第Ⅰ章 1-3～1-4 を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。		1.5 時間
		復習	食事摂取基準の第Ⅰ章 1-3～1-4 を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。		1.5 時間
4	講義内容	食事改善を目的とした食事摂取基準の活用の基本的概念			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 1,2,3	予習	食事摂取基準の第Ⅰ章 1-4 を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	1.5 時間
		復習	食事摂取基準の第Ⅰ章 1-4 を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。	1.5 時間
5	講義内容	エネルギーに関する基本的な考え方		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-1(前半)を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	1.5 時間
		復習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-1(前半)を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。	1.5 時間
6	講義内容	ライフステージ別のエネルギー必要量の推定方法		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-1(後半)を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	1.5 時間
		復習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-1(後半)を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。	1.5 時間
7	講義内容	たんぱく質・脂質に関する基本的な考え方		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-2～1-3 を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	1.5 時間
		復習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-2～1-3 を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。	1.5 時間
8	講義内容	炭水化物・エネルギー産生栄養素に関する基本的な考え方		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-3～1-4 を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	1.5 時間
		復習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-3～1-4 を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。	1.5 時間
9	講義内容	脂溶性ビタミンに関する基本的な考え方		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-6(1)を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	1.5 時間
		復習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-6(1)を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。	1.5 時間
10	講義内容	水溶性ビタミン(ビタミン B 群等)に関する基本的な考え方		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-6(2)を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	1.5 時間
		復習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-6(2)を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。	1.5 時間
11	講義内容	水溶性ビタミン(葉酸・パントテン酸、ビオチン、ビタミン C 等)に関する基本的な考え方		
	該当する到達目標	予習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-6(2)を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を	1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3		引く。	
		復習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-6(2)を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。	1.5 時間
12	講義内容	中間試験、及び講評、学校給食摂取基準の考え方と活用方法		
	該当する到達目標	予習	教科書・配布資料を再度よく読み、理解する。小テスト・演習用問題集の問題を正答できるまで繰り返し、復習する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	中間試験で間違えた問題の関連事項をまとめ、正答できるまで問題を繰り返し解く。学校給食摂取基準に関する配布資料を熟読し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。	1.5 時間
13	講義内容	微量ミネラルに関する基本的な考え方		
	該当する到達目標	予習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-7(1)を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	1.5 時間
	1,2,3	復習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-7(1)を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。	1.5 時間
14	講義内容	多量ミネラルに関する基本的な考え方		
	該当する到達目標	予習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-7(2)を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	1.5 時間
	1,2,3	復習	食事摂取基準の第Ⅱ章 1-7(2)を熟読する。講義で取り扱われた内容を見直し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。正答できるまで小テストの内容を復習する。	1.5 時間
15	講義内容	栄養マネジメントの基礎、演習用問題集の復習		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。演習用問題集の問題を解く。	1.5 時間
	1,2,3	復習	配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。	1.5 時間
備考	授業期間全体を通じた授業の進め方：各分野の基本事項、重要事項、応用学的な考え方等を説明後、習得事項の確認、実践的な課題を提示するとともに、これらの解説を行う。 学習について：授業内で毎回、小テストを行う。予習・復習については、試験前の学習で補完する。 キーワード：食事摂取基準、学校給食摂取基準 オフィスアワー：木曜日の 5 時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス：sone-y@takasaki-u.ac.jp 研究室：1 号館 3 階 306			

科目名	応用栄養学Ⅱ（専門科目）			HNA322	講義
英文名	Applied NutritionⅡ				
担当教員	曾根 保子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	妊娠や発育、加齢等における人体の構造や機能の変化に伴う栄養状態の変化について十分に理解し、栄養状態の評価・判定(栄養アセスメント)の基本的な考え方を修得する。				
到達目標	1.妊娠や発育、加齢等における人体の構造や機能の変化に伴う栄養状態の変化について説明できる。 2.栄養状態の評価・判定(栄養アセスメント)の基本的な考え方について説明できる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験 60%、中間試験 40%で評価する。 定期試験での評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	定期試験、中間試験について、出題の意図を講評する。				
使用教材	教科書「日本人の食事摂取基準」・厚生労働省・第一出版株式会社・2019 年 3 月出版予定 「四訂 応用栄養学(第 2 版)」・江澤郁子・津田博子編著・建帛社・2018 年・3132 円 「管理栄養士・栄養士必携 データ資料集」・日本栄養士会編・第一出版株式会社・最新版 講義のスライド、演習用の問題集を随時プリントして配布する。				
1	講義内容	栄養マネジメントの基礎、栄養ケア・プロセスの基礎			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第 1 章 1-1、1-3、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。		1.5 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。		1.5 時間
2	講義内容	栄養アセスメントの方法			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第 1 章 1-2、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。		1.5 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。		1.5 時間
3	講義内容	妊娠期の特性			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第 3 章 1-1～1-7、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。		1.5 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

			はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。	
4	講義内容	妊娠期の健康管理		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第3章2-1～2-3、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	1.5 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。	1.5 時間
5	講義内容	妊娠期の栄養アセスメントと栄養管理		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第3章2-4、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	1.5 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。	1.5 時間
6	講義内容	授乳期の特性		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第3章2-1～2-3、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	1.5 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。	1.5 時間
7	講義内容	授乳期の栄養アセスメントと栄養管理、乳汁の特性		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第3章2-5、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	1.5 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。	1.5 時間
8	講義内容	新生児期・乳児期の特性		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第4章1、及び2、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	1.5 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。	1.5 時間
9	講義内容	新生児期・乳児期の栄養アセスメントと栄養管理		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第4章3、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	1.5 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。	1.5 時間
10	講義内容	幼児期の栄養アセスメントと栄養管理		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第5章1、及び3、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	1.5 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を	1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

			修正し、関連事項を復習する。	
11	講義内容	学童期の栄養アセスメントと栄養管理、食物アレルギー		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第5章1、及び4、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	1.5 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。食物アレルギーに関する配布資料を熟読し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。	1.5 時間
12	講義内容	中間試験、及び講評、思春期の栄養アセスメントと栄養管理		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書・配布資料を再度よく読み、理解する。演習用問題集を正答できるまで繰り返し、復習する。	1.5 時間
		復習	中間試験で間違えた問題の関連事項をまとめ、正答できるまで問題を繰り返し解く。思春期の栄養アセスメントと栄養管理に関する配布資料を熟読し、関連事項をノート、又はプリントにまとめる。	1.5 時間
13	講義内容	成人期(更年期を含む)の栄養アセスメントと栄養管理		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第6章、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	1.5 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。	1.5 時間
14	講義内容	高齢期の栄養アセスメントと栄養管理		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第7章、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	1.5 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。	1.5 時間
15	講義内容	特殊環境における栄養管理、災害時の栄養管理		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第9章、配布資料を読み理解する。分からない言葉・文章に下線を引く。	1.5 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、講義で取り扱われた内容の関連事項をノート、又はプリントにまとめる。演習用問題集の該当箇所の問題を解き、誤った問題を修正し、関連事項を復習する。	1.5 時間
備考	授業期間全体を通じた授業の進め方:各分野の基本事項、重要事項、応用学的な考え方等を説明後、習得事項の確認、実践的な課題を提示するとともに、これらの解説を行う。 学習について:授業内で毎回、小テストを行う。予習・復習については、試験前の学習で補完する。 キーワード:栄養マネジメント、ライフステージ オフィスアワー:木曜日の5時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス:sone-y@takasaki-u.ac.jp 研究室:1号館3階306			

科目名	スポーツ栄養学(専門科目)			HNA323	講義
英文名	Sports Nutrition				
担当教員	木村 典代				
科目に関連した実務経験	公認スポーツ栄養士として、競技団体における栄養サポートに従事(現在)				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	身体活動状況に応じた栄養管理の考え方を理解すること。 身体活動時の人体の構造や機能の変化に伴う栄養状態等の変化について十分に理解し、身体活動時の栄養状態の評価・判定(栄養アセスメント)ができるようになること。				
到達目標	1.身体活動と生理機能の関係を説明できる。 2.身体活動時に生じやすい栄養学的障害を理解し対応策を説明できる。■ 3.身体活動時の糖質・たんぱく質・ビタミン・ミネラルの代謝を説明できる。 4.身体活動時の具体的な水分補給・栄養補給について説明できる。■ 5.身体活動基準・指針を理解しメッツ計算ができる。 6.身体活動時のエネルギー代謝を理解し、消費エネルギー量の計算ができる。■ 7.身体活動のメリットを説明できる。 8.対象者の身体活動状況に合わせたスポーツ栄養マネジメントの計画を立てることができる。■				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
		問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	「期末試験」80%、「平常点」20%とする。 期末試験は、 1.身体活動時の生理機能を説明できるか。 2.身体活動時に生じやすい栄養障害を説明できるか。 3.身体活動時の糖質・たんぱく質・ビタミン・ミネラルの代謝を説明できるか。 4.身体活動時の水分補給・栄養補給について説明できるか。 5.身体活動基準・指針を理解しメッツ計算をつかいこなすことができるか。 6.消費エネルギー量の計算ができるか。 7.身体活動の健康へのメリットを説明できるかを評価する。 8.スポーツ栄養マネジメントを理解し、計画を立てることができる。 平常点は、 1.毎回予習・復習を行った上で授業に臨んでいるか。 2.第 5 回、第 11 回、第 14 回の授業内容が終わったあとに実施する小テスト。 3.積極的な授業への参加の状況を含む。				
課題に対するフィードバック	課題提出物は、毎回コメントとともに返却しグループディスカッションに用いる。 期末試験前には、問題作成意図を説明する。				
使用教材	コンディショニングのスポーツ栄養学、市村出版、樋口満編著 2,600 円 教科書は基本的に授業の予習・復習用として使用する。講義毎に配布するプリントと教科書およびパワーポ				

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

イントを併用して講義を進める。				
1	講義内容	身体活動時の生理機能(呼吸循環器系機能)		
	該当する到達目標	予習	解剖生理学で行った呼吸循環器系の復習をしておくこと	1 時間
	1	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
2	講義内容	身体活動時の生理機能(骨格筋機能)		
	該当する到達目標	予習	解剖生理学で行った骨格筋系の復習をしておくこと	1 時間
	1	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
3	講義内容	身体活動時の生理機能(内分泌・血液生化学・疲労)		
	該当する到達目標	予習	解剖生理学・疾病の成り立ちで学んだ内分泌・血液生化学の復習をしておくこと	1 時間
	1,2	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
4	講義内容	身体組成・摂食障害・ウエイトコントロール■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当範囲に目を通してくること	1 時間
	1,2	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
5	講義内容	スポーツ性貧血・骨代謝■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当範囲に目を通してくること	1 時間
	1,2,3	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
6	講義内容	身体活動とエネルギー代謝■		
	該当する到達目標	予習	生化学・基礎栄養学で学んだエネルギー代謝の復習をしておくこと	1 時間
	1,2,5,6	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
7	講義内容	身体活動と糖質代謝■		
	該当する到達目標	予習	生化学・基礎栄養学で学んだ糖質代謝の復習と教科書の該当範囲に目をとおしてくる	1 時間
	3	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
8	講義内容	身体活動とたんぱく質代謝■		
	該当する到達目標	予習	生化学・基礎栄養学で学んだたんぱく質代謝の復習と教科書の該当範囲に目を通してくること	1 時間
	3	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
9	講義内容	コンディション維持とビタミン摂取・サプリメント■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当範囲に目を通してくること	1 時間
	3,5	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
10	講義内容	水分補給■		
	該当する到達目標	予習	基礎栄養学の水分代謝の復習と教科書の該当範囲に目を通してくること	1 時間
	2,4	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
11	講義内容	運動前後の食事■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当範囲に目を通してくること	1 時間
	4	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
12	講義内容	スポーツ栄養マネジメント■		
	該当する到達目標	予習	4～12 回の授業で実施した内容を見直してくる	1 時間
	5,6,7	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
13	講義内容	身体活動基準・指針		
	該当する到達目標	予習	管理栄養士実践入門で配布した資料に目を通してくること	1 時間
	5,6,7	復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

14	講義内容	体力と運動処方と運動負荷試験		
	該当する到達目標 6,7	予習	教科書の該当範囲に目を通してくること	1 時間
		復習	配布プリントの課題を行うこと	1.5 時間
15	講義内容	まとめ 運動の健康影響		
	該当する到達目標 6,7	予習	半期で学んだ範囲に目を通してくること	1 時間
		復習	半期で学んだ学習内容を理解すること	1.5 時間
備考	授業期間全体を通じた授業の進め方: 3～4 名のグループを形成 前回学習内容の復習をグループ内で 10～15 分 本時の学習目標に対するグループディスカッションを 5 分 アクティブラーニング形式の授業を 60 分 本時のまとめをグループディスカッションで 10 分とする。 予習・復習の時間数: 不足分については試験前の学習で補完すること。 キーワード: 身体活動基準、エネルギー補給、競技スポーツ、スポーツ傷害、スポーツ栄養マネジメント オフィスパワー: 前期水曜日 5 限目、後期月曜日 5 限目 事前にメール連絡があれば講義のある曜日の 13:00-17:00 は対応可 研究室: 1 号館 301 研究室 問い合わせ先: kimura@takasaki-u.ac.jp ■: 実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	応用栄養学実習(専門科目)			HNA324	実習
英文名	Applied Nutrition [Practice]				
担当教員	曽根 保子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	基本的な栄養マネジメントの方法を習得する。食事摂取基準を活用し、さまざまなライフステージの対象者に対する適切な栄養マネジメントの方法を習得する。				
到達目標	1.栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養管理計画(主にエネルギー・栄養素の設定)の作成、評価を実施することができる。 2.さまざまなライフステージの心身機能の特徴を理解し、適切な栄養アセスメントを行うことができる。 3.食事摂取基準の科学的根拠、策定の基本的な考え方にに基づき、さまざまなライフステージの対象者に適切な栄養管理計画を提案し、栄養ケアを実施することができる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験 60%、授業内課題提出 40%で評価する。 定期試験での評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	授業内課題について、事例研究、解説を行う。 定期試験について、出題の意図を講評する。				
使用教材	教科書「NEXT 応用栄養学実習」・木戸康博・小林ゆき子編・株式会社講談社サイエンティフィク・最新刷版 「日本人の食事摂取基準」・厚生労働省・第一出版株式会社・2019 年 3 月出版予定 「管理栄養士・栄養士必携 データ資料集」・日本栄養士会編・第一出版株式会社・最新版 この他にこれまでの講義で使用した「食品成分表」「応用栄養学」のテキスト 講義のスライドを随時プリントして配布する。				
1	講義内容	栄養アセスメントの基礎			
	該当する到達目標 1	予習	教科書第1章1、及び3、応用栄養学Ⅱで配布された資料を読み、ワークフローを理解する。		1 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。		1 時間
2	講義内容	食事調査方法と評価			
	該当する到達目標 1	予習	食事摂取基準の食事摂取基準策定の留意事項、活用に関する基本的事項を復習する。教科書第1章1、及び3、第10章、応用栄養学Ⅱで配布された資料を読み、ワークフローを理解する。		1 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。		1 時間
3	講義内容	栄養ケア・プロセスの基礎			
	該当する到達目標	予習	応用栄養学Ⅱで配布された資料を読み、ワークフローを理解する。		1 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1	復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。	1 時間
4	講義内容	エネルギー・栄養素量の設定、栄養管理計画の基礎		
	該当する到達目標	予習	食事摂取基準の食事摂取基準策定の留意事項、活用に関する基本的事項を復習する。応用栄養学Ⅱで配布された資料を読み、ワークフローを理解する。	1 時間
	1	復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。	1 時間
5	講義内容	妊娠期・授乳期の栄養管理		
	該当する到達目標	予習	教科書第 7 章、応用栄養学Ⅱで配布された資料を読み、ワークフローを理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。	1 時間
6	講義内容	乳児期の栄養管理		
	該当する到達目標	予習	教科書第 8 章、応用栄養学Ⅱで配布された資料を読み、ワークフローを理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。	1 時間
7	講義内容	小児期の栄養管理		
	該当する到達目標	予習	教科書第 9 章、応用栄養学Ⅱで配布された資料を読み、ワークフローを理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。	1 時間
8	講義内容	高齢期の栄養管理		
	該当する到達目標	予習	教科書第 11 章、応用栄養学Ⅱで配布された資料を読み、ワークフローを理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。	1 時間
9	講義内容	妊娠期・授乳期の栄養管理の実践		
	該当する到達目標	予習	第 5 回の授業で課された実習課題に記載されている内容をよく読み、ワークフローを理解する。	1 時間
	1,3	復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。	1 時間
10	講義内容	乳児期の栄養管理の実践		
	該当する到達目標	予習	第 6 回の授業で課された実習課題に記載されている内容をよく読み、ワークフローを理解する。	1 時間
	1,3	復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。	1 時間
11	講義内容	小児期の栄養管理の実践		
	該当する到達目標	予習	第 7 回の授業で課された実習課題に記載されている内容をよく読み、ワークフローを理解する。	1 時間
	1,3	復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。	1 時間
12	講義内容	高齢期の栄養管理の実践		

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 1,3	予習	第 8 回の授業で課された実習課題に記載されている内容をよく読み、ワークフローを理解する。	1 時間
		復習	教科書、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。授業で課された実習課題に取り組む。	1 時間
13	講義内容	定期試験、及び講評		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書、食事摂取基準、配布資料を見直し、実習で取り扱われた内容の関連事項を復習する。	3 時間
		復習	授業で課された実習課題をまとめる。	3 時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		
		復習		
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		
		復習		
備考	授業期間全体を通じた授業の進め方：各分野の実践的な考え方等を説明後、実践事例の課題を提示し、その解説を行う。 学習について：予習・復習については、試験前の学習で補完する。 キーワード：栄養マネジメント、ライフステージ、食事摂取基準 オフィスアワー：木曜日の 5 時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス：sone-y@takasaki-u.ac.jp 研究室：1 号館 3 階 306			

科目名		栄養教育論Ⅰ(専門科目)			HNA331	講義
英文名		Nutrition Education I				
担当教員		木村 典代				
科目に関連した実務経験		管理栄養士として栄養教育の実践と指導に従事(現在)				
学年・開講期		1 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標		栄養教育論では、対象に応じた栄養教育プログラムの作成・実施・評価を総合的にマネジメントできるよう健康や生活の質(QOL)の向上につながる主体的な実践力形成の支援に必要な健康・栄養教育の理論や方法を修得する。特に「栄養教育論Ⅰ」では栄養教育の定義・目的、行動科学やカウンセリングの理論と方法を修得することを目標とする。				
到達目標		1.栄養教育を行う目的を説明できる。 2.栄養教育のアセスメントおよび実施において必要となる行動科学の理論を説明できる。 3.栄養教育に必要なカウンセリング技法の理論を説明できる。 4.組織や地域づくりと食環境づくりの関係を説明できる。 5.栄養教育マネジメントの目的を理解し、計画が立てられる■				
学位授与方針との対応			豊かな人間性と職業倫理			
			専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		✓	コミュニケーション能力			
			自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法		期末試験 80%、平常点 20%とする。 期末試験では、 1.栄養教育の目的は何か 2.行動科学理論・モデルのフレームワークができるか 3.カウンセリング技法の種類や手法について理解できているか 4.栄養教育と組織・地域づくりの関係や食環境整備について理解できているかを問う。 5.栄養教育マネジメントの目的を理解し、計画が立てられる。 平常点は、 1.毎回予習・復習を行った上で授業に臨んでいるか 2.授業時に実施する小テストの点数 3.積極的な授業への参加状況 を含むものとする。				
課題に対するフィードバック		課題提出物は、毎回コメントとともに返却しグループディスカッションに用いる。 期末試験後には、問題解説意図を説明する。				
使用教材		管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム準拠 第7巻 栄養教育論 理論と実践 特定非営利活動法人日本栄養改善学会監修 武見ゆかり/赤松利恵 編 医歯薬出版株式会社 ISBN 978-4-263-70987-0 ¥2,400 教科書は基本的に授業の予習・復習用として使用する。 講義毎に配布するプリントと教科書およびパワーポイントを併用して講義を進める。				
1	講義内容	栄養教育の定義・目的と目標				
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の範囲を読んでおくこと			1 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1	復習	配布プリントの見直しと、実施した教科書の範囲を確認すること	1.5 時間
2	講義内容	食行動変容と栄養教育 1(刺激・反応理論、ヘルスビリーフモデル)		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の範囲を読んでおくこと	1 時間
	2	復習	日常のオペラント条件付けを探してくること	1.5 時間
3	講義内容	食行動変容と栄養教育 2(計画的行動理論と自己効力理論)		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の範囲を読んでおくこと	1 時間
	2	復習	計画的行動理論の活用方法を探してくること	1.5 時間
4	講義内容	食行動変容と栄養教育 3(社会的認知理論とトランスセオレティカル		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の範囲を読んでおくこと	1 時間
	2	復習	社会的行動理論・自己効力理論の活用法を考えてくること	1.5 時間
5	講義内容	食行動変容と栄養教育 4(トランスセオレティカルモデル「変容プロセス・意思決定・バランス・自己効力感」)1～5 回までの小テストの実施		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の範囲を読んでくること	1 時間
	2	復習	課題プリントを実施してくること	1.5 時間
6	講義内容	食行動変容と栄養教育 5(ソーシャルネットワーク、コミュニティオーガニゼーション)		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の範囲を読んでくること	1 時間
	2	復習	コミュニティオーガニゼーションの例を確認してくること	1.5 時間
7	講義内容	食行動変容と栄養教育 6(プリシードプロシードモデル その他の行動科学モデル)		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の範囲を読んでくること	1 時間
	2	復習	その他の行動科学で実施した手法の応用例を考えてくること	1.5 時間
8	講義内容	行動科学技法 1(刺激統制・行動置換・認知再構成・目標宣言行動契約・自己効力感・社会技術訓練)		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の範囲を読んでくること	1 時間
	2	復習	行動科学技法の応用例をそれぞれ 5 つずつ考えてくること	1.5 時間
9	講義内容	行動科学技法 2(反応妨害 拮抗法 オペラント強化 意思決定・バランス セルフモニタリング ストレス マネジメント)		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の範囲を読んでくること	1 時間
	2	復習	行動科学技法の応用例をそれぞれ 5 つずつ考えてくること	1.5 時間
10	講義内容	栄養カウンセリング技法 1 (カウンセリングの基本テクニック)		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の範囲を読んでくること	1 時間
	3	復習	課題プリントを実施してくること	1.5 時間
11	講義内容	栄養カウンセリング技法 2 (行動カウンセリングの基本テクニック)■		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の範囲を読んでくること	1 時間
	3	復習	課題プリントを実施してくること	1.5 時間
12	講義内容	組織・地域づくりと食環境づくり		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の範囲を読んでくること	1 時間
	4	復習	食物へのアクセスと情報へのアクセス例を 10 個ずつ考えてくること	1.5 時間
13	講義内容	栄養教育マネジメントの概要(PDCA サイクルと 6W)■		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の範囲を読んでくること	1 時間
	5	復習	課題プリントを実施してくること	1.5 時間
14	講義内容	栄養教育マネジメントの診断(ABCD 評価)■		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の範囲を読んでくること	1 時間
	5	復習	課題プリントを実施してくること	1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

15	講義内容	栄養教育論Ⅰのまとめ		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	半期で実施した教科書の全範囲を読んてくること	1 時間
		復習	授業中に実施した課題を見直し、完全に理解できるようにすること	1.5 時間
備考	授業期間全体を通じた授業の進め方 3～4名のグループを形成 前回学習内容の復習をグループ内で10～15分 本時の学習目標に対するグループディスカッションを5分 アクティブラーニング形式の授業を60分 本時のまとめをグループディスカッションで10分とする。 予習・復習の時間数: 不足分については試験前の学習で補完すること。 キーワード: 行動変容・行動科学・栄養カウンセリング・食環境・栄養教育マネジメント オフィスアワー: 前期水曜日 5 限目、後期月曜日 5 限目 事前にメール連絡があれば講義のある曜日の 13:00-17:00 は対応可 研究室: 1 号館 301 研究室 問い合わせ先: kimura@takasaki-u.ac.jp ■: 実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		栄養教育論Ⅱ(専門科目)			HNA332	演習
英文名		Nutrition Education Ⅱ				
担当教員		木村 典代				
科目に関連した実務経験		管理栄養士として栄養教育の実践と指導に従事(現在)				
学年・開講期		2 年 前期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標		対象に応じた栄養教育プログラムの作成・評価のために必要な、健康・栄養状態、食行動、食環境等に関する情報の収集・分析の方法、栄養教育プログラム実施の理論と方法を講義・演習形式で修得することを目指すとする。				
到達目標		1.栄養教育に必要なアセスメントの種類とその特徴を説明し、計画に活かすことができる。■ 2.対象に応じた栄養教育の目標の種類とその特徴を説明し、計画に活かすことができる。■ 3.対象に応じた栄養教育の方法とその特徴を説明し、実施することができる。■ 4.栄養教育プログラムの評価の種類とその特徴を説明し、評価・改善に活かすことができる。■ 5.栄養教育プログラムを作成し、PDCA を回すことができる。■				
学位授与方針との対応			豊かな人間性と職業倫理			
			専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		✓	コミュニケーション能力			
			自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法		期末試験 80%、平常点 20%とする。 期末試験は、 1.栄養教育マネジメントの一連の流れを理解できているか 2.栄養教育の計画立案ができるか 3.栄養教育の実施ができるか 4.栄養教育実施後の評価改善ができるか 5.栄養教育プログラム全体の評価・改善を行うことができるかを問う。 平常点は、 1.毎回予習・復習を行った上で授業に臨んでいるか 2.定期的に実施する課題の達成度 3.積極的な授業への参加の状況 を含むものとする。				
課題に対するフィードバック		課題提出物は、毎回コメントとともに返却しグループディスカッションに用いる。 期末試験後には、問題解説意図を説明する。				
使用教材		管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム準拠 第7巻 栄養教育論 理論と実践 特定非営利活動法人日本栄養改善学会監修 武見ゆかり/赤松利恵 編 医歯薬出版株式会社 ISBN 978-4-263-70987-0 ¥2,400 教科書は基本的に授業の予習・復習用として使用する。 講義毎に配布するプリントと教科書およびパワーポイントを併用して講義を進める。				
1	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の目標設定■				
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を目を通し理解しておくこと			1 時間
	1,2	復習	授業終了時に課す課題を実施してくること			1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

2	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の計画 カリキュラム■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
	3	復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
3	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の計画 教材■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
	3	復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
4	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育のバイアス		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
	3	復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
5	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の形式		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
	3	復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
6	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の計画 指導案の作成■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
	3	復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
7	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の評価の種類■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
	4	復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
8	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の実施 プレゼンテーション■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
	5	復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
9	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の実践演習 1 プログラムの立案■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
	5	復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
10	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の実践演習 2 プログラムの準備■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
	5	復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
11	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の実践演習 3 プログラムの実施■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
	5	復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
12	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の実践演習 4 プログラムの評価■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
	5	復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
13	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の実践演習 5 プログラムの改善■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
	5	復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
14	講義内容	栄養教育マネジメント 栄養教育の実践演習 6 プログラム事業の全体評価■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解しておくこと	1 時間
	5	復習	授業終了時に課す課題を実施してくること	1.5 時間
15	講義内容	栄養教育マネジメント 全体のまとめ		
	該当する到達目標	予習	半期で実施した教科書の全範囲を読んでくこと	1 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3,4,5	復習	授業中に実施した課題を見直し、完全に理解できるようにすること	1.5 時間
備考	授業期間全体を通じた授業の進め方 3～4 名のグループを形成 前回学習内容の復習をグループ内で 10～15 分 本時の学習目標に対するグループディスカッションを 5 分 アクティブラーニング形式の授業を 60 分 本時のまとめをグループディスカッションで 10 分 とする。 予習・復習の時間数: 不足分については試験前の学習で補完すること。 キーワード: 行動変容・行動科学・栄養カウンセリング・食環境・栄養教育マネジメント オフィスアワー: 前期水曜日 5 限目、後期月曜日 5 限目 事前にメール連絡があれば講義のある曜日の 13:00-17:00 は対応可 研究室: 1 号館 301 研究室 問い合わせ先: kimura@takasaki-u.ac.jp ■: 実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	栄養教育論Ⅲ(専門科目)			HNA333	講義
英文名	Nutrition EducationⅢ				
担当教員	木村 典代				
科目に関連した実務経験	管理栄養士として栄養教育の実践と指導に従事(現在) 公認スポーツ栄養士として、競技団体における栄養サポートに従事(現在)				
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	身体的、精神的、社会的状況等ライフステージ、ライフスタイルに応じた栄養教育のあり方や方法を講義・演習形式で修得することを目標とする。				
到達目標	1.対象者の特性に応じた栄養教育の特徴を説明できる。■ 2.対象者の特性に応じた栄養教育プログラムを作成できる。■				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
		専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	評価方法「期末試験」80%、「平常点」20%とする。 期末試験は、 1.ライフステージ・スタイルに応じた栄養教育の特徴を説明できるか 2.ライフステージ・スタイルに応じた栄養教育の計画立案ができるか 平常点は、 1.毎回予習・復習を行った上で授業に臨んでいるか 2.定期的に実施する小テストの点数 3.積極的な授業への参加の状況 を含むものとする。				
課題に対するフィードバック	課題提出物は、毎回コメントとともに返却しグループディスカッションに用いる。 期末試験後には、問題解説意図を説明する。				
使用教材	管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム準拠 第7巻 栄養教育論 理論と実践 特定非営利活動法人日本栄養改善学会監修 武見ゆかり/赤松利恵 編 医歯薬出版株式会社 ISBN 978-4-263-70987-0 ¥2,400 教科書は基本的に授業の予習・復習用として使用する。 講義毎に配布するプリントと教科書およびパワーポイントを併用して講義を進める。				
1	講義内容	妊娠期の栄養教育			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる		1 時間
	1,2	復習	妊婦を対象とした栄養教育指導案の作成		1.5 時間
2	講義内容	授乳期の栄養教育			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる		1 時間
	1,2	復習	授乳婦を対象とした栄養教育指導案の作成		1.5 時間
3	講義内容	乳児期の栄養教育			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる		1 時間
	1,2	復習	乳児および保護者を対象とした栄養教育指導案の作成		1.5 時間
4	講義内容	幼児期の栄養教育			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる	1 時間
	1,2	復習	幼児および保護者を対象とした栄養教育指導案の作成	1.5 時間
5	講義内容	学童期の栄養教育■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる	1 時間
	1,2	復習	学童を対象とした栄養教育指導案の作成	1.5 時間
6	講義内容	思春期の栄養教育■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる	1 時間
	1,2	復習	思春期の若者を対象とした栄養教育指導案の作成	1.5 時間
7	講義内容	成人期の栄養教育 1 職域 単身者 外国人■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる	1 時間
	1,2	復習	中学生・高校生を対象とした栄養教育指導案の作成	1.5 時間
8	講義内容	成人期の栄養教育 2 特定保健指導		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる	1 時間
	1,2	復習	単身者を対象とした栄養教育指導案の作成	1.5 時間
9	講義内容	成人期の栄養教育 3 疾病別 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる	1 時間
	1,2	復習	メタボリックシンドローム予備群を対象とした栄養教育指導案の作成	1.5 時間
10	講義内容	成人期の栄養教育 4 疾病別 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる	1 時間
	1,2	復習	糖尿病患者・肥満者を対象とした栄養教育指導案の作成	1.5 時間
11	講義内容	高齢者の栄養教育■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる	1 時間
	1,2	復習	入院患者を対象とした栄養教育指導案の作成	1.5 時間
12	講義内容	障害者の栄養教育■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる	1 時間
	1,2	復習	障害者を対象とした栄養教育指導案の作成	1.5 時間
13	講義内容	身体活動量の多い人への栄養教育■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる	1 時間
	1,2	復習	スポーツ選手を対象とした栄養教育指導案の作成	1.5 時間
14	講義内容	特殊環境下での栄養教育		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所に目を通し理解につとめる	1 時間
	1,2	復習	特殊環境で生活する人を対象とした栄養教育指導案の作成	1.5 時間
15	講義内容	ライフスタイル・ステージ別栄養教育のまとめ		
	該当する到達目標	予習	半期で実施した教科書の全範囲を読んてくること	1 時間
	1,2	復習	授業中に実施した課題を見直し、完全に理解できるようにすること	1.5 時間
備考	授業期間全体を通じた授業の進め方 3～4 名のグループを形成 前回学習内容の復習をグループ内で 10～15 分 本時の学習目標に対するグループディスカッションを 5 分 アクティブラーニング形式の授業を 60 分 本時のまとめをグループディスカッションで 10 分 とする。 予習・復習の時間数: 不足分については試験前の学習で補完すること。			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

キーワード: 行動変容・行動科学・栄養カウンセリング・食環境・栄養教育マネジメント

オフィスアワー: 前期水曜日 5 限目、後期月曜日 5 限目

事前にメール連絡があれば講義のある曜日の 13:00-17:00 は対応可

研究室: 1 号館 301 研究室

問い合わせ先: kimura@takasaki-u.ac.jp

■: 実務経験に基づく内容を示す。

科目名		栄養教育論実習(専門科目)			HNA334	実習
英文名		Nutrition Education [Practice]				
担当教員		木村 典代				
科目に関連した実務経験		栄養教育論の担当教員として栄養教育の実践と指導に従事(現在)				
学年・開講期		3 年 後期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標		「栄養教育論実習」は、「栄養教育論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」において学んできた基礎的理論を踏まえて、事例をあげた栄養教育プログラムの作成・実施・評価を総合的にマネジメントできるようにすることを目標とする。				
到達目標		1.アセスメントにより対象者の特徴や状況が把握できる。■ 2.対象者に応じた支援計画をたてることができる。■ 3.対象者に応じた支援を実施できる。■ 4.栄養教育計画・実施内容・対象者の変化を正しく評価でき、教育計画を改善することができる。■ 5.カウンセリングテクニック、行動科学スキルを使いわけることができる。■ 6.コミュニケーションスキル・プレゼンテーションスキルを使い分けることができる。■				
学位授与方針との対応			豊かな人間性と職業倫理			
			専門的知識			
		✓	問題発見・解決力			
		✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		✓	コミュニケーション能力			
			自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法		「期末試験」40%、「平常点」60%とする。 期末試験は、 1.個別指導時の栄養教育のポイント 2.集団指導時の栄養教育のポイント 3.行動科学理論を用いたアセスメントと栄養教育の理解 平常点は、 1.毎回予習・復習を行った上で授業に臨んでいるか 10% 2.個別指導実習のレポートと実施 20% 3.集団指導実習のレポートと実施 20% 4.積極的な授業参加と課題取り組み姿勢 10% 評価方法の基準については講義初回時と終了時にアナウンスする。				
課題に対するフィードバック		課題提出物は、毎回コメントとともに返却しグループディスカッションに用いる。 期末試験後には、問題解説意図を説明する。				
使用教材		管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム準拠 第7巻 栄養教育論 理論と実践 特定非営利活動法人日本栄養改善学会監修 武見ゆかり/赤松利恵 編 医歯薬出版株式会社 ISBN 978-4-263-70987-0 ¥2,400 教科書は基本的に授業の予習・復習用として使用する。 講義毎に配布するプリントと教科書およびパワーポイントを併用して講義を進める。				
1	講義内容	栄養教育の対象の把握■				
	該当する到達目標	予習	栄養教育論Ⅰで習得した栄養教育の理論的基礎を確認しておく			1.5 時間
	1,2,3,4,5,6	復習	栄養教育論Ⅱで習得した栄養教育マネジメントの一連の流れを確認する			1 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

2	講義内容	個別指導計画		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5,6	予習	栄養教育論Ⅱで習得した栄養教育マネジメントの一連の流れを確認する	1.5 時間
		復習	個別支援に向けたアセスメント項目を決定する	1 時間
3	講義内容	個別指導実習 1(対象者 A・B)■		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5,6	予習	アセスメント項目を確認し、支援計画を練ってくる	1.5 時間
		復習	次週の支援に向けたアセスメント項目を決定する	1 時間
4	講義内容	個別指導実習 2(対象者 C・D)■		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5,6	予習	2 週後の支援に向けた対象者表の作成と、次週のアセスメント項目の確認し支援計画を練ってくる	1.5 時間
		復習	次週の支援に向けたアセスメント項目を決定する	1 時間
5	講義内容	個別指導実習 3(対象者 E・F)■		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5,6	予習	アセスメント項目を確認し、支援計画を練ってくる	1.5 時間
		復習	個別支援資料を作成する	1 時間
6	講義内容	集団指導の概要■		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5,6	予習	指定した教科書の範囲を読んでおくこと	1.5 時間
		復習	パワーポイント資料の作成方法を確認する	1 時間
7	講義内容	対象者の把握と集団指導計画■		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5,6	予習	指定した教科書の範囲を読んでおくこと	1.5 時間
		復習	集団指導計画を完成させる	1 時間
8	講義内容	グループ討論の選択と実施■		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5,6	予習	指定した教科書の範囲を読んでおくこと	1.5 時間
		復習	課題プリントを実施してくること	1 時間
9	講義内容	集団指導実習 1■		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5,6	予習	集団指導の準備	1.5 時間
		復習	課題プリントを実施してくること	1 時間
10	講義内容	集団指導実習 2■		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5,6	予習	集団指導の準備	1.5 時間
		復習	課題プリントを実施してくること	1 時間
11	講義内容	集団指導実習 3■		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5,6	予習	集団指導の準備	1.5 時間
		復習	課題プリントを実施してくること	1 時間
12	講義内容	集団支援の評価・改善計画の立て直し■		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5,6	予習	指定した教科書の範囲を読んでおくこと	1.5 時間
		復習	課題プリントを実施してくること	1 時間
13	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	復習	時間
備考	授業期間全体を通じた授業の進め方 1～5 回までの授業は、個別指導実習 2 人組での演習を 2 回と 4 人組での演習を 1 回実施予定 演習はいずれも一人 30 分ずつの栄養士と対象者をロールプレイで実施する。 6～12 回までの授業は、集団指導実習 6 人組での演習を経て、一人ずつの実演実習とする。 演習はいずれも一人 15 分ずつのロールプレイで実施する 演習実施時に、行う教員からのフィードバックをもとに、栄養教育プログラムの改善・計画を立てる。 予習・復習の時間数: 不足分については試験前の学習で補完すること キーワード: 行動変容・行動科学・栄養カウンセリング・食環境・栄養教育マネジメント オフィスアワー: 前期水曜日 5 限目、後期月曜日 5 限目 事前にメール連絡があれば講義のある曜日の 13:00-17:00 は対応可 研究室: 1 号館 301 研究室 問い合わせ先: kimura@takasaki-u.ac.jp ■: 実務経験に基づく内容を示す。	

科目名	臨床栄養学Ⅰ（専門科目）			HNA341	講義
英文名	Clinical NutritionⅠ				
担当教員	河原田律子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて、各種疾患別に身体状況や栄養状態に応じた具体的な栄養管理方法について修得することを目標とする。各種疾患の概要(定義・原因・治療方法)に基づいて、身体状況や栄養状態に応じた具体的な栄養管理方法について修得する。「臨床栄養学Ⅰ」では、内分泌疾患、肝・胆・腎臓疾患などの臨床的疾患構造と各疾病治療ガイドラインを基に治療および栄養療法を学修、修得する。				
到達目標	1.各種疾患の定義・原因について、説明できる。 2.疾患ごとの診断基準や治療法について、説明できる。 3.疾患ごとの栄養基準や栄養指導方法について、説明できる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 80%、平常点 20%(授業参加度・小テスト等を含む)				
課題に対するフィードバック	毎回授業時に事前に配布する確認問題の回答を求めており、各自復習を行うこと。				
使用教材	栄養科学イラストレイテッド臨床栄養学疾患別編、羊土社、2,800 円と毎回授業で配布するプリント				
1	講義内容	オリエンテーション・代謝系疾患 1			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の第 1 章の 1 に目を通す。		1.5 時間
		復習	糖尿病の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。		1.5 時間
2	講義内容	代謝系疾患 2			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の第 1 章の 2-3 に目を通す。		1.5 時間
		復習	脂質異常症・肥満症の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。		1.5 時間
3	講義内容	代謝系疾患 3			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の第 1 章の 4-7 に目を通す。		1.5 時間
		復習	痛風・低栄養・ビタミン・ミネラル異常症・アシドーシスの概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。		1.5 時間
4	講義内容	内分泌系疾患			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の第 2 章の 1-4 に目を通す。		1.5 時間
		復習	脳下垂体異常・甲状腺異常の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。		1.5 時間
5	講義内容	消化器系疾患 1			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章の 1-2 に目を通す。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3	復習	口腔・歯科疾患や上部消化管疾患の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
6	講義内容	消化器系疾患 2・肝疾患 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章の 3、第 4 章の 1 に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	下部消化管疾患や肝疾患の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
7	講義内容	肝疾患 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章の 2 に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	膵・胆道系疾患の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
8	講義内容	循環器疾患 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章の 1-3 に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	高血圧・動脈硬化・虚血性心疾患の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
9	講義内容	循環器疾患 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章の 4-5 に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	心不全・脳血管疾患の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
10	講義内容	呼吸器疾患・腎疾患 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章 1-4 と第 6 章の 1 に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	上気道疾患や COPD、CKD の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
11	講義内容	腎疾患 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章の 2-4 に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	糸球体腎炎・ネフローゼ症候群・腎不全の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
12	講義内容	腎疾患 3		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章の 5-6 に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	糖尿病性腎症・透析療法の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
13	講義内容	腎疾患 4・血液系疾患 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章の 7 と第 9 章の 1 に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	尿路系疾患や貧血の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
14	講義内容	血液系疾患 2・免疫アレルギー疾患 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 9 章の 2 と第 11 章の 1 に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	造血器系腫瘍やアレルギー性疾患の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
15	講義内容	免疫アレルギー疾患 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 11 章の 2-3 に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	自己免疫性疾患・AIDS の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

備 考	オフィスアワー:木曜日 1・4 時限 授業の進め方: 配布資料をもとに講義を進め、授業の最後に確認テストを行う。練習問題を課題とし、次の授業で復習したうえで、次の単元を学修する。 メールアドレス: nasu@takasaki-u.ac.jp 研究室:406 研究室(4 階 臨床栄養学研究室) 予習・復習の時間数: 不足分については試験前の学習で補完すること

科目名	臨床栄養学Ⅱ(専門科目)			HNA342	講義
英文名	Clinical Nutrition II				
担当教員	河原田 律子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて、各種疾患別に身体状況や栄養状態に応じた具体的な栄養管理方法について修得することを目標とする。各種疾患の概要(定義・原因・治療方法)に基づいて、身体状況や栄養状態に応じた具体的な栄養管理方法について修得する。「臨床栄養学Ⅱ」では、運動器疾患、神経・精神疾患、小児・妊娠期における疾患などの臨床的疾患構造と各疾病治療ガイドラインを基に治療および栄養療法を学修、修得する。				
到達目標	1.各種疾患の定義・原因について、説明できる。 2.疾患ごとの診断基準や治療法について、説明できる。 3.疾患ごとの栄養基準や栄養指導方法について、説明できる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 80%、平常点 20%(授業参加度・小テスト等を含む)				
課題に対するフィードバック	毎回授業時に事前に配布する確認問題の回答を求めており、各自復習を行うこと。				
使用教材	栄養科学イラストレイテッド臨床栄養学疾患別編、羊土社、2,800 円と毎回授業で配布するプリント				
1	講義内容	運動器系疾患 ① 骨粗鬆症、くる病			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の第 10 章の 1-3 に目を通す。		1.5 時間
		復習	骨粗鬆症、くる病の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。		1.5 時間
2	講義内容	運動器系疾患② サルコペニア、ロコモティブシンドローム			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の第 10 章の 4-5 に目を通す。		1.5 時間
		復習	サルコペニア、ロコモティブシンドロームの概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。		1.5 時間
3	講義内容	クリティカルケア			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の第 15 章に目を通す。		1.5 時間
		復習	外傷・熱傷・集中治療の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。		1.5 時間
4	講義内容	障がい者に対するケア			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の第 17 章に目を通す。		1.5 時間
		復習	精神障害・重症心身障害の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。		1.5 時間
5	講義内容	神経・精神系疾患① 認知症、パーキンソン病			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章の 1-3 に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	認知症、パーキンソン病、摂食障害の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
6	講義内容	神経・精神系疾患② アルコール依存症、精神疾患		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章の 4-5 に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	アルコール依存症、精神疾患の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
7	講義内容	摂食嚥下障害		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 16 章に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	摂食嚥下障害の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
8	講義内容	周術期の管理		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 14 章に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	術前・術後管理、消化管切除術前・術後の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
9	講義内容	がんとターミナルケア		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 13 章に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	消化管のがん、消化管以外のがん、末期医療、緩和医療の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
10	講義内容	小児疾患① 消化不良症、周期性嘔吐症		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 18 章 1-5 に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	消化不良症、周期性嘔吐症、アレルギー疾患、小児肥満の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
11	講義内容	小児疾患② 先天性代謝異常症		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 18 章の 6 章に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	先天性代謝異常症、小児糖尿病、小児腎臓病の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
12	講義内容	妊娠期・授乳期の疾患① 肥満、妊娠高血圧症		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 19 章の 1-3 に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	肥満、貧血、妊娠高血圧症の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
13	講義内容	妊娠期・授乳期の疾患② 妊娠糖尿病		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 19 章の 4 章と第 20 章の 1 に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	妊娠糖尿病の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
14	講義内容	高齢期の疾患		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 20 章の 2 に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	褥瘡の概要や栄養管理方法を理解する。小テストの練習問題を解き、次回の授業時に確認。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの配布資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	これまでに学んだ疾患を復習しながら、問題を解く。	1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

備 考	オフィスアワー:木曜日 1-4 時限 授業の進め方:配布資料をもとに講義を進め、授業の最後に確認テストを行う。練習問題を課題とし、次の授業で復習したうえで、次の単元を学修する。 メールアドレス:nasu@takasaki-u.ac.jp 研究室:406 研究室(4 階 臨床栄養研究室) 予習・復習の時間数:不足分については試験前の学習で補完すること

科目名	臨床栄養活動論(専門科目)			HNA344	講義
英文名	Nutrition Care and Management				
担当教員	竹内 真理				
科目に関連した実務経験	管理栄養士として国立病院機構に勤務(経験) 管理栄養士(兼任)として高崎健康福祉大学附属クリニックに所属(現在)				
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて、適切な栄養管理(栄養マネジメント)を行うために、栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的なマネジメントの考え方を理解する。具体的な栄養状態の評価・判定、栄養補給、栄養教育、食品と医薬品の相互作用について理解する。医療・介護制度やチーム医療における役割について理解する。				
到達目標	1.適切な栄養管理(栄養マネジメント)を行うために、栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的なマネジメントの考え方を理解できる。■ 2.具体的な栄養状態の評価・判定、栄養補給、栄養教育、食品と医薬品の相互作用について理解できる。■ 3.医療・介護制度やチーム医療における役割について理解できる。■				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 80%、平常点(積極的な授業への参加状況など)20%				
課題に対するフィードバック	講義内容は臨地実習Ⅲ(病院実習)で実践演習を通して活かす。定期試験結果について総評コメントを掲示する。				
使用教材	栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学基礎編 改訂第2版 本田佳子他編 羊土社 2,700 円(税抜)				
1	講義内容	臨床栄養学の基礎、意義と目的、疾病と栄養■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと		1.5 時間
	1	復習	講義内容の復習		1.5 時間
2	講義内容	チーム医療、在宅医療■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと		1.5 時間
	3	復習	講義内容の復習		1.5 時間
3	講義内容	医療保険制度、介護保険制度■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと		1.5 時間
	3	復習	講義内容の復習		1.5 時間
4	講義内容	栄養ケアマネジメントの概要■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容の復習		1.5 時間
5	講義内容	栄養ケアプログラムのプラン・目標設定■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容の復習		1.5 時間
6	講義内容	栄養ケアプログラムの実施と評価■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2	復習	講義内容の復習	1.5 時間
7	講義内容	傷病者の栄養アセスメント、栄養スクリーニング■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	講義内容の復習	1.5 時間
8	講義内容	必要栄養量の算定■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	講義内容の復習	1.5 時間
9	講義内容	食事療法・栄養補給の方法■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	講義内容の復習	1.5 時間
10	講義内容	薬と栄養・食物の相互作用■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	講義内容の復習	1.5 時間
11	講義内容	栄養ケア計画書の作成と実施■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容の復習	1.5 時間
12	講義内容	問題志向型システム (POS) の活用と SOAP に基づく記録■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容の復習	1.5 時間
13	講義内容	傷病者への栄養教育■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容の復習	1.5 時間
14	講義内容	栄養ケアの評価、臨床経過のモニタリング、リアセスメント■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容の復習	1.5 時間
15	講義内容	評価と評価結果のフィードバック■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容の復習	1.5 時間
備考	本科目は臨地実習Ⅲ (臨床栄養学) の履修条件になっている。 授業は、教科書と要点をまとめたプリントを使って進める。事例や症例を用いた説明で理解を深める。 予習・復習は試験前の学習で補完すること。 オフィスアワー: 木曜 2-4 時限. 1 号館 308 研究室. 質問等はメールでも受け付ける。 メールアドレス: mtakeuchi@takasaki-u.ac.jp ■: 実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	臨床栄養管理論(専門科目)			HNA343	講義
英文名	Nutrition Care Process				
担当教員	竹内 真理				
科目に関連した実務経験	管理栄養士として国立病院機構に勤務(経験) 管理栄養士(兼任)として高崎健康福祉大学附属クリニックに所属(現在)				
学年・開講期	3 年 前期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて、適切な栄養管理(栄養ケアマネジメント)を行うために、具体的な栄養スクリーニングおよび栄養アセスメントの手技を修得し、栄養補給、栄養教育などの栄養ケアプランの立案、作成、実施、モニタリング、評価の方法を修得する。				
到達目標	1.栄養スクリーニングおよび栄養アセスメントができる。■ 2.栄養アセスメントの結果をふまえ、栄養補給、栄養教育などの栄養ケアプランの立案、作成、実施、モニタリング、評価ができ、アウトカムを得ることができる。■ 3.傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて、適切な栄養管理(栄養ケアマネジメント)を行うことができる。■				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 80%、平常点(積極的な授業への参加状況など)20%				
課題に対するフィードバック	講義内容は臨床栄養学実習Ⅱで実践演習を通して活かす。定期試験結果について総評コメントを掲示する。				
使用教材	Visual 栄養学テキスト 臨床栄養学Ⅰ 総論 津田謹輔監修 中山書店 2,700 円(税抜)				
1	講義内容	栄養ケアの基礎■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく	1.5 時間	
	3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間	
2	講義内容	栄養スクリーニングの手技■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく	1.5 時間	
	1	復習	講義内容を復習する	1.5 時間	
3	講義内容	栄養アセスメント 1 身体計測、臨床検査と評価■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく	1.5 時間	
	1,2	復習	講義内容を復習する	1.5 時間	
4	講義内容	栄養アセスメント 2 臨床診査(医療面接と身体観察)と評価■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく	1.5 時間	
	1,2	復習	講義内容を復習する	1.5 時間	
5	講義内容	栄養アセスメント 3 栄養・食事調査と評価、必要栄養量の算定■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく	1.5 時間	
	1,2	復習	講義内容を復習する	1.5 時間	
6	講義内容	栄養・食事療法と栄養補給法 1 経口栄養補給法、経腸栄養、静脈栄養■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく	1.5 時間	

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
7	講義内容	栄養ケアの実施(栄養補給方法の決定)と栄養教育■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく	1.5 時間
	1,2	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
8	講義内容	栄養ケアの目標設定と計画の立案、および実施とモニタリング■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
9	講義内容	栄養ケアの評価とフィードバックおよびリアセスメント、栄養ケア記録■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
10	講義内容	栄養ケアと薬物経療法、■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
11	講義内容	症候への栄養ケア 1(発熱、ビタミン欠乏症、脱水、浮腫)■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
12	講義内容	症候への栄養ケア 2(下痢、便秘、褥瘡)■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
13	講義内容	新生児期・乳幼児期の栄養ケア(新生児、低出生体重児)■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
14	講義内容	回復を促す栄養ケア(外科療法、化学療法、放射線療法)■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
15	講義内容	終末期の栄養ケア■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
備考	本科目は臨地実習Ⅲ(臨床栄養学)の履修条件になっている。 授業は、教科書と要点をまとめたプリントを使って進める。事例や症例を用いた説明で理解を深める。 予習・復習は試験前の学習で補完すること。 オフィスアワー: 木曜 2-4 時限. 1 号館 308 研究室. 質問等はメールでも受け付ける。 メールアドレス: mtakeuchi@takasaki-u.ac.jp ■: 実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	臨床栄養学実習Ⅰ（食事療法実習）（専門科目）			HNA345	実習
英文名	Clinical NutritionⅠ [Practice]				
担当教員	河原田 律子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて、各種疾患別に身体状況や栄養状態に応じた具体的な栄養管理方法について修得することを目標とする。 「臨床栄養学実習Ⅰ」では、「臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ」で学んできた傷病者の病態や栄養状態に基づいた栄養管理法の理論をもとに、臨床現場における急性および慢性疾患の病期・病態に応じた適正な食事デザインを作成でき、精度の高い食事を提供することができる知識や技能を学ぶ。各食種の献立は、常食を基に展開し、献立に合わせた適切な調理方法・食材の使い分けを理解し、それに基づいた献立作成や調理作業について修得する。				
到達目標	1.治療食の種類を説明できる。 2.指示された栄養基準に合わせた献立が作成できる。 3.常食からそれぞれの病態への展開ができる。 4.献立に合わせた調理法や食材の使い分けができる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	課題提出 70%、平常点(授業態度・実習態度等を含む)30%				
課題に対するフィードバック	課題については、授業内で個々に達成度の確認をする。指摘事項があればその点を直し次回の授業で提出する。提出された課題は評価後に返却するので、臨地実習などの献立作成時に資料として使用する。				
使用教材	糖尿病食事療法のための食品交換表 日本糖尿病学会編文光堂 900 円(税別):エネルギーコントロール食で使用 腎臓病食品交換表 黒川清・中尾俊之医歯薬出版 1,300 円(税別):たんぱく質コントロール食で使用 調理のためのベーシックデータ 1800 円使用方法:授業時に配布するプリントと併用して用いる。				
1	講義内容	オリエンテーション・栄養ケアの基礎(栄養食事療法)、特別治療食の種類(成分栄養管理) 一般食(常食)説明・献立作成			
	該当する到達目標 1,2,4	予習	シラバスを確認		0.5 時間
		復習	特別治療食の種類を理解し、献立作成のポイントを把握する。		1 時間
2	講義内容	常食の献立作成			
	該当する到達目標 1,2,4	予習	常食の献立に必要な資料を準備する。		0.5 時間
		復習	常食の献立作成のポイントを確認し、献立作成を行う。		1 時間
3	講義内容	常食から全粥食への献立展開する方法と献立作成			
	該当する到達目標 2,3,4	予習	全粥の献立に必要な資料を準備する。		0.5 時間
		復習	全粥の献立作成のポイントを確認し、献立作成を行う。		1 時間
4	講義内容	全粥の献立作成			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	講義内容		常食をエネルギーコントロール食に展開する方法と献立作成。	
	該当する到達目標 2,3,4	予習	エネルギーコントロール食の献立作成に必要な資料を準備する。 糖尿病食品交換表を読んで、使い方を理解する。	0.5 時間
		復習	全粥献立作成。	1 時間
5	講義内容		全粥食の調理実習	
	該当する到達目標 2,3,4	予習	授業で配布する全粥の資料をよく読み、理解すること。	0.5 時間
		復習	実習で作成した献立の評価をして、改善点があれば次回にいかす。	1 時間
6	講義内容		エネルギーコントロール食の献立作成 常食をたんぱく質コントロール食(腎臓食)に展開する方法と献立作成。	
	該当する到達目標 2,3,4	予習	たんぱく質コントロール食の献立作成に必要な資料を準備する。 糖尿病食品交換表をみる。	0.5 時間
		復習	エネルギーコントロール食の献立作成	1 時間
7	講義内容		エネルギーコントロール食の調理実習	
	該当する到達目標 2,3,4	予習	授業で配布するエネルギーコントロール食の資料をよく読み、理解すること。	0.5 時間
		復習	実習で作成した献立の評価をして、改善点があれば次回にいかす。	1 時間
8	講義内容		たんぱく質コントロール食(腎臓病食)の献立作成。 常食を脂質コントロール食に展開する方法。	
	該当する到達目標 2,3,4	予習	脂質コントロール食の献立作成に必要な資料を準備する。	0.5 時間
		復習	たんぱく質コントロール食の献立作成。	1 時間
9	講義内容		たんぱく質コントロール食(腎臓病食)の調理実習	
	該当する到達目標 2,3,4	予習	授業で配布するたんぱく質コントロール食の資料をよく読み、理解すること。	0.5 時間
		復習	実習で作成した献立の評価をして、改善点があれば次回にいかす。	1 時間
10	講義内容		脂質コントロール食の献立作成。	
	該当する到達目標 2,3,4	予習	脂質コントロール食の献立作成に必要な資料を準備する。	0.5 時間
		復習	脂質コントロール食の献立作成	1 時間
11	講義内容		脂質コントロール食の調理実習	
	該当する到達目標 2,3,4	予習	授業で配布する脂質コントロール食の資料をよく読み、理解すること。	0.5 時間
		復習	実習で作成した献立の評価をして、改善点があれば次回にいかす。	1 時間
12	講義内容		常食、全粥、エネルギーコントロール食、たんぱく質コントロール食、脂質コントロール食の献立作成のポイントを確認し、常食からどのように展開していくか理解する。	
	該当する到達目標 2,3,4	予習	常食、全粥、エネルギーコントロール食、たんぱく質コントロール食、脂質コントロール食についての資料をよく読み、ポイントを理解する。	0.5 時間
		復習	常食の献立から展開をし、栄養計算をする。	1 時間
13	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

備 考	オフィスアワー:木曜日 1～4 時限 授業の進め方:各自作成した常食献立をもとに展開を行います。献立作成の基本を復習したうえで、実習に臨んでください。 予習復習:課題作成のための資料確認や献立作成を行う時間に充てる。 メールアドレス:nasu@takasaki-u.ac.jp、研究室:4 階 臨床栄養研究室

科目名	臨床栄養学実習Ⅱ（臨床栄養ケアマネジメント実習）（専門科目）			HNA346	実習
英文名	Clinical NutritionⅡ [Practice]				
担当教員	竹内 真理				
科目に関連した実務経験	管理栄養士として国立病院機構に勤務（経験） 管理栄養士（兼任）として高崎健康福祉大学附属クリニックに所属（現在）				
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて、適切な栄養管理（栄養ケアマネジメント）を行うために、栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的なマネジメントの考え方を理解する。具体的な栄養状態の評価・判定、栄養補給、栄養教育、食品と医薬品の相互作用について理解する。医療・介護保険制度やチーム医療における役割について理解する。				
到達目標	1.適切な栄養管理（栄養ケアマネジメント）を行うために、栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的なマネジメントの考え方を理解できる。■ 2.具体的な栄養状態の評価・判定、栄養補給、栄養教育、食品と医薬品の相互作用について理解できる。■ 3.医療・介護保険制度やチーム医療における役割について理解できる。■				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 60%、レポート提出 30%、平常点 10% 平常点は授業への参加度や積極性を評価する。評価方法の基準を講義初回時にアナウンスする。				
課題に対するフィードバック	実習ごとに課題を完成させて提出する。実習内容は臨地実習Ⅲ（病院実習）の実習課題設定の際に反映させる。また病院実習での実体験で活かす。				
使用教材	改訂 臨床栄養学実習 フローチャートで学ぶ臨床栄養管理〔第 2 版〕 中村富予他編 建帛社 2,600 円（税抜）				
1	講義内容	管理栄養士・栄養士倫理綱領、臨地実習心得、栄養スクリーニングとアセスメント■			
	該当する到達目標 1	予習	臨床栄養管理論を復習し、教科書の該当箇所を読んでおく		0.5 時間
		復習	栄養スクリーニングおよび栄養アセスメントの手法について確認し、次回以降の実習内容に活かせるよう準備する。		0.5 時間
2	講義内容	栄養アセスメント（身体計測）■			
	該当する到達目標 1,2	予習	身体計測の手技および評価についての復習をしておく		0.5 時間
		復習	実習内容をまとめてレポート提出		0.5 時間
3	講義内容	栄養アセスメント（栄養必要量の算定<推定>）、メタボリックアナライザー■			
	該当する到達目標 1,2	予習	必要栄養量の算出方法についての復習をしておく		0.5 時間
		復習	実習内容をまとめてレポート提出		0.5 時間
4	講義内容	栄養アセスメント（栄養・食事調査）■			
	該当する到達目標 1,2	予習	食事摂取状況調査および栄養調査についての復習をしておく		0.5 時間
		復習	実習内容をまとめてレポート提出		0.5 時間
5	講義内容	栄養補給法（半固形栄養）■			
	該当する到達目標	予習	栄養補給方法（経腸栄養法）についての復習をしておく		0.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2	復習	実習内容をまとめてレポート提出	0.5 時間
6	講義内容	経腸栄養剤の種類と選択■		
	該当する到達目標	予習	栄養補給方法(経腸栄養法)についての復習をしておく	0.5 時間
	1,2	復習	実習内容をまとめてレポート提出	0.5 時間
7	講義内容	栄養管理計画書の作成(症例検討①)■		
	該当する到達目標	予習	栄養ケアマネジメントの流れについての復習をしておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をまとめてレポート提出	0.5 時間
8	講義内容	口腔ケアと摂食・嚥下障害■		
	該当する到達目標	予習	嚥下障害および嚥下訓練食についての復習をしておく	0.5 時間
	1,2	復習	実習内容をまとめてレポート提出	0.5 時間
9	講義内容	要介護者の食支援(症例検討②)■		
	該当する到達目標	予習	要介護者の食支援および介護報酬についての復習をしておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をまとめてレポート提出	0.5 時間
10	講義内容	栄養ケアプランの作成(POS[問題志向型システム]に基づく SOAP での栄養ケア記録)(症例検討③)■		
	該当する到達目標	予習	栄養ケアプランの作成および栄養ケアの記録についての復習をしておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をまとめてレポート提出	0.5 時間
11	講義内容	在宅療養者の食生活支援(症例検討④)■		
	該当する到達目標	予習	在宅における療養支援についての復習をしておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をまとめてレポート提出	0.5 時間
12	講義内容	総合演習(各種課題症例検討)■		
	該当する到達目標	予習	症例検討に用いる症例を選択し、検査数値や身体計測値、病状等から病態を把握しておく。	0.5 時間
	1,2,3	復習	実習内容をまとめてレポート提出	0.5 時間
13	講義内容	—		
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
14	講義内容	—		
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容	—		
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
備考	臨床栄養学Ⅰ、Ⅱ、臨床栄養管理論を履修していることが望ましい。 授業は、概要を先に 30 分程度説明し、その後テーマについての実習や演習などを行い、最後にレポートをまとめて提出する形で進める。なお、本科目は臨地実習Ⅲ(臨床栄養学)の履修条件になっている。 予習・復習は試験前の学習で補完すること。 オフィスアワー: 木曜 2-4 時限 1 号館 308 研究室 質問等はメールでも受け付ける。メールアドレス: mtakeuchi@takasaki-u.ac.jp ■: 実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	公衆栄養学Ⅰ（専門科目）			HNA351	講義
英文名	Public Health Nutrition I				
担当教員	五十嵐 美絵				
科目に関連した実務経験	行政管理栄養士として群馬県保健所等に勤務(経験)				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	公衆栄養学は、地域や職域等の健康・栄養問題とそれを取り巻く自然、社会、経済、文化的要因に関する情報を収集・分析し、それらを総合的に評価・判定する能力を養う。また、あらゆる健康・栄養状態の者に対し適切な栄養関連プログラムの作成・実施・評価の総合的なマネジメントに必要な理論と方法を修得する。「公衆栄養学Ⅰ」では、基本的な公衆栄養関連法規の他、健康・栄養問題の現状と課題、要因を理解し、健康増進と疾病予防を目指す栄養政策や公衆栄養活動の現状について学ぶ。				
到達目標	1.公衆栄養の意義と目的、公衆栄養関連法規の内容が説明できる。■ 2.日本や諸外国及び、地域や職域等の健康・栄養問題の現状と課題が説明できる。 3.健康・栄養問題を取り巻く、自然、社会、文化的要因が分析、評価できる。 4.健康・栄養課題を解決するため現在行われている健康づくり及び食環境づくりのプログラムについて説明できる。■				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	①レポート(2 回)10%(1.健康増進法に関するもの 2.健康増進計画、食育推進計画の調査) ②期末試験(筆記試験)90% ①、②すべて 6 割以上を合格とする。 その他:毎回の授業復習のためミニテスト(12 回))を行う。				
課題に対するフィードバック	・レポートは返却後コメントする。 ・毎回行うミニテストは次の週に返却し内容を解説する。 ・期末試験の練習問題を行い解説する。				
使用教材	教科書「ウエルネス公衆栄養学 2017 年版」 前大道教子、松原知子編集（医歯薬出版）ISBN978-4-263-70655-8 教科書は、関連する図表、関連法規が豊富に記載されているため、使用する。同時に、講義のスライドを印刷し、教科書と合わせて使用する。				
1	講義内容	講義の目的・ガイダンス 公衆栄養の概念(意義と目的・公衆栄養活動の歴史)			
	該当する到達目標	予習	シラバス、教科書の 1-1 公衆栄養の概念を読んでおく。		1 時間
		1	復習	教科書、プリントを読んで復習する。	
2	講義内容	健康・栄養問題の現状と課題 1（社会環境と健康・栄養問題、健康状態の変化）■			
	該当する到達目標	予習	教科書 2-1 社会環境と健康・栄養問題、2-2 健康状態の変化を読んでおく		1 時間
		1	復習	ミニテストの復習しておく	
3	講義内容	健康・栄養問題の現状と課題 2（食事・食生活の変化、食環境の変化）			
	該当する到達目標	予習	教科書 2-3 食事の変化、2-4 食生活の変化、2-5 食環境の変化を読んでおく		1 時間
		2,3	復習	ミニテストの復習しておく	

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

4	講義内容	健康・栄養問題の現状と課題 3（食料需給表、食料自給率、食品ロス）		
	該当する到達目標 2,3	予習	教科書 2-5 食環境の変化、フードバランスシート、食料自給率を読んでおく	1 時間
		復習	ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
5	講義内容	健康・栄養問題の現状と課題 4（諸外国の健康・栄養問題）		
	該当する到達目標 2,3	予習	教科書 2-6 諸外国の健康・栄養問題の現状と課題を読んでおく	1 時間
		復習	ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
6	講義内容	健康づくり施策と公衆栄養活動 1（公衆栄養活動の組織と人材育成）■		
	該当する到達目標 2,3	予習	教科書 3-1 わが国の公衆栄養活動を読んでおく	1 時間
		復習	ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
7	講義内容	健康づくり施策と公衆栄養活動 2（栄養士法：管理栄養士・栄養士制度）■		
	該当する到達目標 1	予習	栄養士法の条文を読んでおく	1 時間
		復習	ミニテストを実施するので復習しておく	1.5 時間
8	講義内容	健康づくり施策と公衆栄養活動 3（健康増進法、地域保健法：法の制定と経緯・意義・内容）■		
	該当する到達目標 1	予習	健康増進法、地域保健法の条文を読んでおく	1 時間
		復習	ミニテストを実施するので復習しておく 健康増進法の実施者と実施内容のレポート作成	2.5 時間
9	講義内容	健康づくり施策と公衆栄養活動 4（国民健康・栄養調査の目的・実施方法）■		
	該当する到達目標 4	予習	教科書 3-4 国民健康・栄養調査を読んでおく	1 時間
		復習	ミニテストを実施するので復習しておく	1.5 時間
10	講義内容	健康づくり施策と公衆栄養活動 5（健康づくりのための指針・ツール）■		
	該当する到達目標 4	予習	教科書 3-5 実施に関する指針、ツールを読んでおく	1 時間
		復習	ミニテストを実施するので復習しておく	1.5 時間
11	講義内容	健康づくり施策と公衆栄養活動 6（国の健康増進対策健、康日本 21、地方計画）■		
	該当する到達目標 4	予習	教科書 3-6 国の健康増進基本方針と地方計画を読んでおく	1 時間
		復習	ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
12	講義内容	健康づくり施策と公衆栄養活動 7（食育基本法と食育推進基本計画）■		
	該当する到達目標 1	予習	食育基本法の条文を読んでおく	1.時間
		復習	ミニテストを実施するので復習しておく 地元の健康増進計画、食育推進計画を調べてレポート作成を行う。	2.5 時間
13	講義内容	健康づくり施策と公衆栄養活動 8（食環境づくり：食品の表示、特定健康診査・特定保健指導）■		
	該当する到達目標 4	予習	教科書食品表示法による表示の活用、特定健康診査・特定保健指導を読んでおく	1 時間
		復習	ミニテストを実施するので復習しておく。	1.5 時間
14	講義内容	健康づくり施策と公衆栄養活動 9（諸外国の健康・栄養政策）		
	該当する到達目標 2,4	予習	教科書 3-7 諸外国の健康・栄養政策を読んでおく	1 時間
		復習	期末試験練習問題を解答する	2 時間
15	講義内容	公衆栄養学 I 授業のまとめ		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	期末試験練習問題の教科書、プリントで見直す	1 時間
		復習	練習問題を復習する	1.5 時間
備考	教科書、プリントに沿って授業をすすめ、パワーポイントを使用して授業を進める。内容を深めるために、ミニテスト、レポート作成を行う。 予習・復習については、レポート作成、期末試験前の学習で補完すること。 参考図書・ホームページ：			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

- ・「管理栄養士・栄養士必携」データ・資料集(公社)日本栄養士会編(第一出版)
 - ・「国民衛生の動向」(最新版)厚生労働協会編(厚生統計協会)
 - ・「厚生労働省国民健康・栄養調査報告国民栄養の現状」健康・栄養情報研究会編(第一出版)
 - ・厚生労働省、農林水産省、文部科学省、内閣府、国立健康・栄養研究所、食品安全委員会のホームページ
- オフィスアワー:木曜日の5時限(1号館305研究室) メールアドレス:igarashi@takasaki-u.ac.jp
- 実務経験に基づく内容を示す。

科目名	公衆栄養学Ⅱ（専門科目）			HNA352	講義
英文名	Public Health Nutrition II				
担当教員	五十嵐 美絵				
科目に関連した実務経験	行政管理栄養士として群馬県保健所等に勤務(経験)				
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	「公衆栄養学Ⅱ」では、「公衆栄養学Ⅰ」で学んだ基礎と現状を土台とし、地域、職域等の健康・栄養問題と要因の把握、分析、評価、判定と栄養上のハイリスク集団を特定する能力を養う。同時に、保健・医療・福祉・介護システムの中で、適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの立案・実施・評価の総合的なマネジメントに必要な理論と方法を修得する。さらに、公衆栄養活動に必要な各種サービスやプログラムの調整、人的資源など社会的資源の活用、栄養情報の管理、コミュニケーションの管理などの仕組みについて理解する。				
到達目標	1.地域、職域等の健康・栄養問題とその要因の分析、評価、判定ができる。 2.適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの立案、実施、評価、フィードバックを行う総合的な公衆栄養マネジメントの理論と方法がわかる。■ 3.各種サービスやプログラムの調整、社会的資源の活用、栄養情報の管理、コミュニケーションの管理などの仕組みについて説明できる。■				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	①ミニテスト(12 回)10%(授業の復習確認のため実施) ②期末試験(筆記試験)90% ①、②ともに 6 割以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	・毎回行うミニテストは次の週に返却し内容を解説する。 ・期末試験の練習問題を行い解説する。				
使用教材	教科書「ウエルネス公衆栄養学 2019 年版」 前大道教子、松原知子編集（医歯薬出版） ISBN978-4-263-70655-8 教科書は、関連する図表、関連法規が豊富に記載されているため、使用する。 同時に、講義のスライドを印刷し、教科書と合わせて使用する。				
1	講義内容	ガイダンス 公衆栄養活動の視点			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み実施内容を確認する		1 時間
		復習	公衆栄養学の視点を再確認する		1.5 時間
2	講義内容	栄養疫学の概要 1（栄養疫学の概念）			
	該当する到達目標 1	予習	教科書 4-1 栄養疫学の概要、4-2 曝露情報としての食事摂取量を読んでおく		1 時間
		復習	ミニテストの復習をしておく		1.5 時間
3	講義内容	栄養疫学の概要 2（食事調査法）			
	該当する到達目標 1	予習	教科書 4-3 食事摂取量の測定方法を読んでおく		1 時間
		復習	ミニテストの復習をしておく		1.5 時間
4	講義内容	栄養疫学の概要 3（栄養疫学調査研究事例、結果の解釈）			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 1	予習	教科書 4-4 食事摂取量の評価方法を読んでおく	1 時間
		復習	ミニテストの復習をしておく	1.5 時間
5	講義内容 該当する到達目標 2	公衆栄養マネジメント 1 (公衆栄養マネジメントの考え方) ■		
		予習	教科書 5-1 公衆栄養マネジメントを読んでおく	1 時間
6	2	復習	ミニテストの復習をしておく	1.5 時間
		公衆栄養マネジメント 2 (アセスメントの目的と方法、食事摂取基準の集団への活用) ■		
7	2	予習	教科書 5-2 公衆栄養アセスメントを読んでおく	1 時間
		復習	ミニテストの復習をしておく	1.5 時間
8	2	公衆栄養マネジメント 3 (地域の実態把握理論モデルの活用と実態把握の方法) ■		
		予習	質問紙調査の方法と活用を調べておく。	1 時間
9	2	復習	ミニテストの復習をしておく	1.5 時間
		公衆栄養マネジメント 4 (国民健康・栄養調査結果とアセスメント) ■		
10	2	予習	一番新しい国民健康・栄養調査の概要に目を通しておく	1.5 時間
		復習	ミニテストの復習をしておく	1.5 時間
11	2	公衆栄養プログラム 1 (目標設定)		
		予習	教科書 5-3 公衆栄養プログラムの目標設定を読んでおく	1 時間
12	2	復習	ミニテストの復習をしておく	1.5 時間
		公衆栄養プログラム 2 (計画・実施)		
13	2	予習	教科書 5-4 公衆栄養プログラム計画、実施部分を読んでおく	1 時間
		復習	ミニテストの復習をしておく	1.5 時間
14	2	公衆栄養プログラム 3 (評価)		
		予習	教科書 5-4 公衆栄養プログラム評価・評価の実際部分を読んでおく	1 時間
15	2	復習	ミニテストの復習をしておく	1.5 時間
		公衆栄養プログラムの展開 1 (地域特性に対応したプログラム) ■		
16	3	予習	教科書 6-1 地域特性に対応したプログラムの展開を読んでおく	1 時間
		復習	ミニテストの復習をしておく	1.5 時間
17	3	公衆栄養プログラムの展開 2 (食環境づくりのためのプログラム) ■		
		予習	教科書 6-2 食環境づくりのためのプログラムの展開を読んでおく	1 時間
18	3	復習	ミニテストの復習をしておく	1.5 時間
		公衆栄養プログラムの展開 3 (地域集団の特性別プログラム) ■		
19	3	予習	教科書 6-3 地域集団の特性別プログラムの展開を読んでおく	1 時間
		復習	期末試験練習問題を解答する	2 時間
20	1,2,3	公衆栄養学Ⅱ授業のまとめ		
		予習	期末試験練習問題の教科書、プリントで見直す	1 時間
21	1,2,3	復習	練習問題を復習する	1.5 時間
		備考		
22		教科書、プリントに沿って授業をすすめ、パワーポイントを使用して授業を進める。内容を深めるために、ミニテストを行う。		
		予習・復習については、期末試験前の学習で補完すること。		
23		参考図書・ホームページ:		
		・「管理栄養士・栄養士必携」データ・資料集(公社)日本栄養士会編(第一出版)		
24		・「国民衛生の動向」(最新版)厚生労働協会編(厚生統計協会)		
		・「厚生労働省国民健康・栄養調査報告国民栄養の現状」健康・栄養情報研究会編(第一出版)		

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

・厚生労働省、農林水産省、文部科学省、内閣府、国立健康・栄養研究所、食品安全委員会のホームページ オフィスアワー:木曜日の 5 時限(1 号館 305 研究室) メールアドレス:igarashi@takasaki-u.ac.jp ■実務経験に基づく内容を示す。

科目名		公衆栄養学実習(専門科目)		HNA353		実習	
英文名		Public Health Nutirition [Practice]					
担当教員		五十嵐 美絵					
科目に関連した実務経験		行政管理栄養士として群馬県保健所等に勤務(経験)					
学年・開講期		3 年 前期		必選・単位数		必修 1 単位	
講義目標		「公衆栄養学Ⅰ、Ⅱ」において学んだ理論を基盤として、理論的な考え方で公衆栄養実践活動へ展開するための具体的な技能や姿勢を身につける。事前学習、グループワーク、発表、ディスカッションを行うので、自発的、積極的に参加することを必要とする。					
到達目標		1.食事記録の書き方が説明できる。■ 2.記入された食事調査の聞き取り、コード付け、栄養量の(栄養計算ソフトで)算出ができる。■ 3.集団の食事調査結果の解析ができる。■ 4.結果の解析をもとに、集団の健康・栄養アセスメント、目標設定、実践事例の作成、評価等の地域公衆栄養活動計画が作成できる。■ 5.グループのチームワークを固め、お互いの意義を高めことができる。					
学位授与方針との対応		✓		豊かな人間性と職業倫理			
		✓		専門的知識			
		✓		問題発見・解決力			
		✓		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		✓		コミュニケーション能力			
		✓		自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法		①授業態度、グループ活動による発表、ワークシート提出状 20% ・積極的な態度でグループ活動に貢献すること。 ・グループ代表としてグループの見解を発表できる。 ・ワークシートはもれなく提出されていること。 ②事業終了時テスト 40% (適切に食事調査の聞き取りができるか) ③レポート作成 40% 地域公衆栄養活動計画が作成できるか。 ①～③すべて 6 割以上を合格とする。					
課題に対するフィードバック		実習課題は、授業中に全体で内容を確認する。ワークシートは授業内で返却し、解説を行う。					
使用教材		講義のスライドを印刷し、毎回配布したものを使用する。 実習内容に合わせた書き込み式ワークシートを毎回配布し、使用する。 公衆栄養学Ⅰ、Ⅱで使用した教科書「ウエルネス公衆栄養学 2017 年版」前大道教子、松原知子編集 (医歯薬出版)ISBN978-4-263-70655-8 を参考に使用する。					
1	講義内容		オリエンテーション 公衆栄養アセスメントのための情報収集				
	該当する到達目標 5	予習	シラバスを確認する アセスメントのための情報収集にはどのような情報源は何か予習する				1.5 時間
		復習	ワークシート 1 食事調査法の種類と概要を整理し、次回提出する				1.5 時間
2	講義内容		地域での食事調査の実態 1 (食事記録の書き方の説明とコード化、重量換算の方法) ■				
	該当する到達目標 1,2,5	予習	食事調査法の種類と利用方法を予習する				0.5 時間
		復習	自分の 2 日分の食事を食事記録法で記録し、次回提出する				3 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

3	講義内容	地域での食事調査の実際 2（食事記録の聞き取り、コード化、重量換算の実施）■		
	該当する到達目標	予習	食事記録の聞き取り方法を予習する	0.5 時間
		復習	食事記録の聞き取り方をまとめる	1 時間
4	講義内容	地域での食事調査の実際 3（コード化、重量換算の実施、食事記録の集計）■		
	2,5	予習	食事記録集計ソフト(エクセル栄養くん)が使用できるようにしておく	1 時間
		復習	自身の食事記録集計結果をまとめ、評価し、次回提出する	1 時間
5	講義内容	地域での食事調査の実際 4（食事調査データの解析1）		
	3,5	予習	エクセルの基本統計量の算出ができるようにしておく 食事摂取基準「集団の食事改善を目的として食事摂取基準を活用する場合の基本的事項」及びエネルギー調整法がわかるようにしておく	2 時間
		復習	集団の食事調査の評価方法を復習する	1 時間
6	講義内容	地域での食事調査の実際 5（集団の食事調査結果の評価・国民健康・栄養調査の実施）■		
	1,5	予習	国民健康・栄養調査の実施方法を予習する	0.5 時間
		復習	集団の食事調査結果をまとめる。 栄養摂取状況調査票の書き方をまとめ、比例案分法の実施方法を復習する。	1 時間
7	講義内容	グループ学習の効果を高める方法を学ぶ(ブレインストーミング)		
	5	予習	ブレインストーミングとは何かを調べておく	0.5 時間
		復習	グループ学習の効果について復習する	0.5 時間
8	講義内容	公衆栄養活動計画策定の実際 1（アセスメント、課題の抽出）■		
	3,4,5	予習	プリソード・プロソードモデルの使い方の予習する	0.5 時間
		復習	既存資料から地域診断のためのデータを収集し、次回持参する	1.5 時間
9	講義内容	公衆栄養活動計画策定の実際 2（課題の整理、目標設定）■		
	4,5	予習	目標設定の方法を予習する	0.5 時間
		復習	目標設定の方法を復習する	0.5 時間
10	講義内容	公衆栄養活動計画策定の実際 3（実践事例の内容、評価指標の検討）■		
	4,5	予習	目標にあった各方面の実践事例をいくつか調べておく	0.5 時間
		復習	次の発表に向けて、作成した事例を確認しておく	0.5 時間
11	講義内容	公衆栄養活動計画策定の実際 4（実践事例の発表、相互評価）■		
	4,5	予習	他の班の作成した事例を全部確認しておく	1 時間
		復習	発表後他の班から出たアドバイスをまとめておく。	0.5 時間
12	講義内容	公衆栄養活動計画策定の実際 5（実践事例のブラッシュアップ、実習の振り返り）		
	4,5	予習	ブラッシュアップしたいところを確認しておく	0.5 時間
		復習	実習の振り返りをレポートに備えまとめておく	0.5 時間
13	講義内容	公衆栄養活動計画策定の実際 6（実習まとめ、確認テスト）		
	1,2,4,5	予習	確認テストに備えて、食事記録の聞き取り方法、コード化を復習する	3 時間
		復習	レポート作成に向けた全体の復習を行う	0.5 時間
14	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習		時間
		復習		時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

備 考	毎回グループワークを行い、プリントに沿って、パワーポイントを使用して授業をすすめる。授業の実施内容をワークシート、データで提出する。 予習・復習については、レポート作成、期末試験前の学習で補完すること。 参考図書・ホームページ: ・「管理栄養士・栄養士必携」データ・資料集(公社)日本栄養士会編(第一出版) ・「国民衛生の動向」(最新版)厚生労働協会編(厚生統計協会) ・「厚生労働省国民健康・栄養調査報告国民栄養の現状」健康・栄養情報研究会編(第一出版) ・厚生労働省、農林水産省、文部科学省、内閣府、国立健康・栄養研究所、食品安全委員会のホームページ オフィスアワー: 木曜日の 5 時限(1 号館 305 研究室) メールアドレス: igarashi@takasaki-u.ac.jp ■実務経験に基づく内容を示す。

科目名	給食経営管理Ⅰ（専門科目）			HNA361	講義
英文名	Food Service ManagementⅠ				
担当教員	高梨 美穂				
科目に関連した実務経験	川崎医科大学附属 川崎病院 栄養部に勤務(経験)				
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	給食施設における管理栄養士の役割は、特定多数人の人々の健康状態及び栄養状態の改善・維持・向上と QOL の向上を目標とした栄養・食事管理ならびに給食を活用した栄養教育の実施である。さらに、栄養・食事管理を効率的且つ効果的に継続して実施できるシステムの構築とそのシステムのマネジメントも行わなければならない。本科目では、給食の概要や各施設における給食の位置づけについて理解すると共に、給食の計画・生産・評価といった給食運営の基本を習得することを目指す。				
到達目標	1.給食の意義及び運営について説明できる。■ 2.各施設、対象(喫食)者に応じた給食の概要について説明できる。■ 3.給食施設における管理栄養士の役割と使命について説明できる。■ 4.給食施設における栄養・食事管理について説明できる。■ 5.給食における品質管理について説明できる。■ 6.給食における安全・衛生管理について説明できる。■				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 80%、課題 10%、授業への取り組み姿勢 10%として総合的に評価する。 評価方法の基準を講義初回時にアナウンスする。				
課題に対するフィードバック	課題は適宜返却し、説明する。				
使用教材	サクセス管理栄養士講座 給食経営管理論 第一出版 2018 年 2 月 20 日 2,400 円 講義のスライドを随時プリントして配布する。				
1	講義内容	給食の概要(1)給食の概念■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。		1.5 時間
	1	復習	配布資料による復習を行い、給食の概念について理解する。		1.5 時間
2	講義内容	給食の概要(2)給食システム、給食を提供する施設と関連法規■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。		1.5 時間
	1,2	復習	配布資料による復習を行い、給食システム、給食を提供する施設と関連法規について理解する。		1.5 時間
3	講義内容	給食の概要(3)各施設における給食の意義(医療施設、高齢者・介護福祉施設、障害者福祉施設)■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。		1.5 時間
	1,2	復習	配布資料による復習を行い、各施設の給食の意義について理解する。		1.5 時間
4	講義内容	給食の概要(4)各施設における給食の意義(児童福祉施設、学校、事業所、その他の給食施設)			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 1,2	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
		復習	配布資料による復習を行い、各施設の給食の意義について理解する。	1.5 時間
5	3	講義内容 栄養・食事管理(1) 栄養・食事管理の概要とアセスメント・食事計画 ■		
		予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
		復習	配布資料による復習を行い、栄養・食事管理の概要について理解する。	1.5 時間
6	3	講義内容 栄養・食事管理(2) 食事計画の実施・評価・改善 ■		
		予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
		復習	配布資料による復習を行い、食事計画の評価・改善について理解する。	1.5 時間
7	3	講義内容 栄養・食事管理(3) 食事計画の実際(給与栄養目標量の作成) ■		
		予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
		復習	配布資料による復習を行い、給与栄養目標量の算出方法を理解する。	1.5 時間
8	3	講義内容 栄養・食事管理(4) 献立作成の基本、食品構成 ■		
		予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
		復習	配布資料による復習を行い、献立作成の基本及び食品構成について理解する。	1.5 時間
9	4	講義内容 給食経営における品質管理(1) 品質と標準化 ■		
		予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
		復習	配布資料による復習を行い、品質と標準化について理解する。	1.5 時間
10	4	講義内容 給食経営における品質管理(2) 原価・食材 ■		
		予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
		復習	配布資料による復習を行い、原価・食材について理解する。	1.5 時間
11	4	講義内容 給食経営における品質管理(3) 生産と提供① ■		
		予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
		復習	配布資料による復習を行い、生産と提供について理解する。	1.5 時間
12	4	講義内容 給食経営における品質管理(4) 生産と提供②～大量調理の特性 ■		
		予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
		復習	配布資料による復習を行い、大量調理の特性について理解する。	1.5 時間
13	5	講義内容 給食の安全・衛生(1) 安全・衛生の概念 ■		
		予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
		復習	配布資料による復習を行い、給食における安全と衛生について理解する。	1.5 時間
14	5	講義内容 給食の安全・衛生(2) 安全・衛生の実際～大量調理施設衛生管理マニュアル ■		
		予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
		復習	配布資料による復習を行い、大量調理施設衛生管理マニュアルについて理解する。	1.5 時間
15	5	講義内容 給食の安全・衛生(3) 事故・災害時対策 ■		
		予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
		復習	配布資料による復習を行い、事故・災害対策について理解する。 全授業内容の確認を行う。	1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

備 考	授業の進め方:教科書・配布資料をもとに講義を実施する。受講生の理解度に合わせて演習等を実施する。 オフィスアワー:木曜 3 限、メールによる質問も受け付ける。 研究室:6 号館 1 階 メールアドレス:takanashi-m@takasaki-u.ac.jp ■:実務経験に基づく内容を示す。

科目名	給食経営管理Ⅱ（専門科目）			HNA362	講義
英文名	Food Service Management Ⅱ				
担当教員	高梨 美穂				
科目に関連した実務経験	川崎医科大学附属 川崎病院 栄養部に勤務(経験)				
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	給食施設における管理栄養士の役割である給食経営管理の概念を理解し、給食における資源を総合的に管理マネジメントするために必要な基礎知識を習得する。また、食料の生産から消費までの流通のしくみやマーケティングについても理解する。さらに、関連科目で学習した給食の運営を PDCA サイクルを考えながら経営管理へと展開できる能力を身につける。				
到達目標	1.給食運営管理の概念について説明できる。■ 2.給食の栄養・食事管理、生産管理、安全・衛生管理、施設・設備管理に関するマネジメントについて説明できる。■ 3.食品の生産、流通、加工、消費の仕組みや現状について説明できる。 4.食品流通や消費の課題について考察できる。 5.給食を取り巻く環境や経済情勢に応じたマーケティング手法について説明できる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 80%、レポート 10%、授業への取り組み姿勢 10%として総合的に評価する。 評価方法の基準を講義初回時にアナウンスする。				
課題に対するフィードバック	課題は適宜返却し、解説する。				
使用教材	サクセス管理栄養士講座 給食経営管理論 第一出版 2018 年 2 月 20 日 2,400 円 三訂食品の消費と流通 建帛社 2016 年 2 月 10 日 1,900 円 講義のスライドを随時プリントして配布する。				
1	講義内容	給食経営管理の概念(1)給食経営と献立、経営管理の概要■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。		1.5 時間
	1	復習	配布資料による復習を行い、給食経営と献立、経営管理の概要について理解する。		1.5 時間
2	講義内容	給食経営管理の概念(2)給食とマーケティング、給食経営と組織■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。		1.5 時間
	1,5	復習	配布資料による復習を行い、給食とマーケティング、給食経営と組織について理解する。		1.5 時間
3	講義内容	給食の施設・設備管理、人事管理■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。		1.5 時間
	2	復習	。配布資料による復習を行い、施設・設備管理、人事管理について理解する。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

4	講義内容	食品の消費と流通(1)食市場の変化①食市場		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	配布資料による復習を行い、食市場の変化について理解する。	1.5 時間
5	講義内容	食品の消費と流通(2)食市場の変化②		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	配布資料による復習を行い、消費者の食品消費の変化や食生活の多様化について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	食品の消費と流通(3)食品の流通		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	配布資料による復習を行い、食品の流通について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	食品の消費と流通(4)外食・中食産業のマーチャンダイジング		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	配布資料による復習を行い、外食・中食産業のマーチャンダイジングについて理解する。	1.5 時間
8	講義内容	食品の消費と流通(5)主要食品の流通①		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	配布資料による復習を行い、商品の分類、食品流通について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	食品の消費と流通(6)主要食品の流通②		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	配布資料による復習を行い、主要食品の流通について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	食品の消費と流通(7)フードマーケティングと食料消費の課題、関係統計		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
	4,5	復習	配布資料による復習を行い、フードマーケティングと食料消費の課題、関係統計について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	給食経営管理の実際(1)栄養・食事計画■		
	該当する到達目標	予習	給食経営管理 I 第 5・6・7・8 回の資料を復習する。	1.5 時間
	2	復習	献立課題を完成させる。	1.5 時間
12	講義内容	給食経営管理の実際(2)食品構成■		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
	2	復習	配布資料による復習を行い、食品構成について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	給食経営管理の実際(3)献立作成■		
	該当する到達目標	予習	献立課題を完成させる。	1.5 時間
	2	復習	グループにおいて献立を比較し、代表献立を決定する	1.5 時間
14	講義内容	給食経営管理の実際(4)施設見学■		
	該当する到達目標	予習	大量調理施設衛生管理マニュアルについて復習する。	1.5 時間
	2	復習	配布資料による復習を行い、給食施設について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	給食経営管理の実際(5)生産計画■		
	該当する到達目標	予習	大量調理施設衛生管理マニュアルについて復習する。	1.5 時間
	2	復習	大量調理施設衛生管理マニュアルにそった作業計画について理解する。	1.5 時間
備考	授業の進め方:教科書・配布資料を基に講義を実施し、必要に応じてグループワークを実施する。 オフィスアワー:木曜 3 限、メールによる質問も受け付ける。 研究室:6 号館 1 階			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

メールアドレス:takanashi-m@takasaki-u.ac.jp

■:実務経験に基づく内容を示す。

科目名	給食経営管理実習Ⅰ（専門科目）			HNA363	実習
英文名	Food Service ManagementⅠ [Practice]				
担当教員	高梨 美穂				
科目に関連した実務経験	川崎医科大学付属 川崎病院 栄養部に勤務（経験）				
学年・開講期	2 年 後期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	関連科目において学習した基本的な知識や技術、及び給食経営管理Ⅰ・Ⅱで学習した給食運営の基礎知識を基に、健康な学生を対象とした約 120 食の給食提供実習を行うことにより、給食計画から評価までの一連の業務について理解する。さらに、PDCA(マネジメント)サイクルを活用して給食システム構築の基礎を体験し、経営管理へと展開できる能力の基礎を培う。 1 食で栄養バランス等のとれた食事を計画することは困難であるため、一定期間でバランスがとれる献立を作成する。				
到達目標	1.健康な人を対象とした給食提供を経営管理の PDCA サイクルに従い計画することができる。■ 2.大量調理の特性を理解し、少量調理から大量調理へと展開することができる。■ 3.「大量調理施設衛生管理マニュアル」に基づく衛生管理について理解する。■ 4.チームにおけるコミュニケーション力を身に付け、給食組織の運営力を培う。■ 5.給食運営業務に関する基本的な方法、技術を取得することができる。■				
学位授与方針		豊かな人間性と職業倫理			
との対応	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	課題 20%、授業への取り組み姿勢 80%として総合的に評価する。 評価方法の基準を講義初回時にアナウンスする。				
課題に対するフィードバック	献立作成、試作、各計画書は、個別にアドバイスをを行う。				
使用教材	・給食経営管理論テキスト、日本人の食事摂取基準 2015、調理のためのベーシックデータ食品成分表、日本標準食品成分表 2015 ・担当教員作成実習書（プリント）及び帳票 ・白衣、実習用白ズボン、実習用帽子、クッキングシューズ、包丁セット、電卓				
1	講義内容	オリエンテーション（実習の目的、方法、日程、グループ編成、実習室説明、大量調理基礎演習）■			
	該当する到達目標	予習	給食経営管理Ⅰ・Ⅱの内容について復習する。		2 時間
	1	復習	実習で使用する各種帳票の作成手順および大量調理の基礎を理解する。		1 時間
2	講義内容	給食経営管理計画（1）食事計画、栄養計画、献立作成■			
	該当する到達目標	予習	給食経営管理Ⅱ 第 11・12・13 回の内容を復習する。		1 時間
	1,2,4	復習	グループ内で作業を分担し、実習計画を行う。		2 時間
3	講義内容	給食経営管理計画（2）食材計画、作業計画、評価計画■			
	該当する到達目標	予習	給食経営管理Ⅱ 14・15 回の内容を復習する。		1 時間
	1,2,3,4	復習	グループ内で作業を分担し、実習計画を行う。		2 時間
4	講義内容	大量調理施設の施設・設備管理と衛生管理について■			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 3	予習	大量調理施設衛生管理マニュアルについて確認する。	1 時間
		復習	給食経営管理実習室における衛生管理について理解する。	2 時間
5	講義内容	試作 I (グループ実習) ■		
	該当する到達目標 2,4,5	予習	使用する食材や器具、調理手順の確認をする。	1 時間
		復習	予定献立を完成させる。	2 時間
6	講義内容	献立に基づく作業計画作成(グループ実習) ■		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	予定献立に使用する食材や器具、調理手順の確認をする。	1 時間
		復習	グループごとに、必要な計画書を完成させる。	2 時間
7	講義内容	給食提供実習事前準備、確認(グループ実習) ■		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	各計画書を確認する。	1 時間
		復習	実習に向け、留意事項等をまとめる。	2 時間
8	講義内容	給食提供実習 I (1) 献立作成担当(グループ実習) ■		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	各計画書に目を通し、担当する作業の確認をする。	1 時間
		復習	各記録簿をまとめる。	2 時間
9	講義内容	給食提供実習の評価と改善(グループ実習) ■		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	実習記録を確認する。	1 時間
		復習	評価と改善策をまとめ考察する。	2 時間
10	講義内容	給食提供実習事前準備、確認(グループ実習) ■		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	各計画書を確認する。	1 時間
		復習	実習に向け、留意事項等をまとめる。	2 時間
11	講義内容	給食提供実習 I (2) 調理担当(グループ実習) ■		
	該当する到達目標 3,4,5	予習	各計画書に目を通し、担当する作業の確認をする。	1 時間
		復習	各記録簿をまとめる。	1 時間
12	講義内容	給食提供実習 I (3) 洗浄担当(グループ実習) ■		
	該当する到達目標 3,5	予習	洗浄手順および衛生管理評価について確認をする。	0.5 時間
		復習	各記録簿をまとめる。	0.5 時間
13	講義内容	給食提供実習 I (4) 事務・情報処理担当(グループ実習) ■		
	該当する到達目標 5	予習	アンケート調査の集計やまとめ方、事務処理方法の確認をする。	0.5 時間
		復習	アンケート調査を集計しまとめる。	1 時間
14	講義内容	給食提供実習 I (1) ~ (4) のまとめ(グループ実習) ■		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	各実習で得られた知識や技術をまとめる。	1 時間
		復習	給食の運営業務についてまとめる。	2 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	これまでの実習内容についてまとめる。	1 時間
		復習	給食の運営業務について考察する。	0.5 時間
備考	授業の進め方: グループごとに給食実習の計画・実施・評価を行う。 予習・復習の時間数: 各帳票作成・まとめ作業は授業時間では不足するため、家庭学習で補完すること。 オフィスアワー: 木曜 3 限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス: takanashi-m@takasaki-u.ac.jp 研究室: 6 号館 1 階 ■: 実務経験に基づく内容を示す			

科目名	給食経営管理実習Ⅱ（専門科目）			HNA364	実習
英文名	Food Service ManagementⅡ [Practice]				
担当教員	高梨 美穂				
科目に関連した実務経験	川崎医科大学付属 川崎病院 栄養部に勤務（経験）				
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	給食経営管理実習Ⅰで身に付けた知識や技術及び評価結果を基に栄養面・安全面・経済面を統合した給食の経営管理を行う能力を習得する。さらに、与えられたテーマと課題（給食経営管理実習Ⅰにおける評価、マーケティング結果）に対応した給食を PDCA サイクルを活用して計画・実施し、給食経営におけるトータルマネジメント能力を養う。 また、給食を活用した栄養教育の工夫や新調理システムについて理解する。 臨地実習Ⅰ・Ⅱに向けて個人個人が給食経営管理に関するスキルや意欲を高める。				
到達目標	1.給食経営管理実習Ⅰにおける評価結果から改善策を検討することができる。■ 2.栄養面、安全面、経済面全般について円滑にマネジメントすることができる。■ 3.提供する給食を活用した栄養教育を実施することができる。■ 4.新調理システム（真空調理）について理解することができる。 5.実施給食を活用した望ましい3日間（1日3食）の献立を作成することができる。■				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	レポート 20%、授業への取り組み姿勢 80%として総合的に評価する。 評価方法の基準を講義初回時にアナウンスする。				
課題に対するフィードバック	献立作成、試作、各計画書は、個別にアドバイスをを行う。				
使用教材	・給食経営管理論テキスト、日本人の食事摂取基準 2015、調理のためのベーシックデータ、日本標準食品成分表 2015 ・担当教員作成実習書（プリント）及び帳票類 ・白衣、実習用白ズボン、実習用帽子、クッキングシューズ、包丁セット、電卓				
1	講義内容	オリエンテーション、給食経営管理実習Ⅰにおける課題の整理			
	該当する到達目標 1	予習	給食経営管理実習Ⅰ最終回のグループでまとめた評価と改善について確認する。		0.5 時間
		復習	グループ内で作業を分担し、実習計画を行う。		1 時間
2	講義内容	給食経営管理計画（食事計画・栄養計画・献立作成）■			
	該当する到達目標 1,2	予習	グループ内で作業を分担し、実習計画を行う。		1 時間
		復習	グループ内で作業を分担し、実習計画を行う。		1 時間
3	講義内容	施設・設備管理、衛生管理実習■			
	該当する到達目標 2	予習	大量調理機器の取り扱いおよび衛生管理方法について確認する。		1 時間
		復習	大量調理施設衛生管理マニュアルについて確認する。		2 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

4	講義内容	試作Ⅱ(グループ実習)■		
	該当する到達目標	予習	使用する食材や器具、調理手順の確認	1 時間
	1,2	復習	予定献立を完成させる。	2 時間
5	講義内容	献立に基づく作業計画、栄養指導資料作成(グループ実習)■		
	該当する到達目標	予習	予定献立に使用する食材や器具、調理手順の確認をする。栄養指導資料を確認する。	1 時間
	1,2,3	復習	グループごとに、必要な計画書を完成させる。	2 時間
6	講義内容	給食提供実習事前準備、確認(グループ実習)、栄養指導資料作成■		
	該当する到達目標	予習	各計画書を確認する。	2 時間
	1,2,3	復習	実習に向け、留意事項等をまとめる。	1 時間
7	講義内容	給食提供実習Ⅱ(1)献立、栄養指導担当(グループ実習)■		
	該当する到達目標	予習	各計画書に目を通し、担当する作業の確認をする。	1 時間
	1,2,3	復習	各記録簿をまとめる。	1 時間
8	講義内容	給食提供実習の評価と改善(グループ実習)■		
	該当する到達目標	予習	実習記録を確認する。	1 時間
	2	復習	評価と改善策をまとめ、トータルマネジメントとしての評価・考察を行う。	1 時間
9	講義内容	給食提供実習事前準備、確認(グループ実習)■		
	該当する到達目標	予習	各計画書を確認する。	1 時間
	1,2	復習	実習に向け、留意事項等をまとめる。	1 時間
10	講義内容	給食提供実習Ⅱ(2)調理担当(グループ実習)■		
	該当する到達目標	予習	各計画書に目を通し、担当する作業の確認をする。	1 時間
	1,2	復習	管理栄養士として調理従事者への対応方法について検討する。	2 時間
11	講義内容	給食提供実習Ⅱ(3)洗浄担当(グループ実習)■		
	該当する到達目標	予習	確実且つ効率的な洗浄方法およびその管理方法について検討する。	0.5 時間
	2	復習	管理栄養士としての衛生管理業務について考察する。	2 時間
12	講義内容	給食提供実習Ⅱ(4)事務・情報処理担当(グループ実習)■		
	該当する到達目標	予習	給食における事務処理やデータ解析の方法について検討する。	0.5 時間
	1	復習	アンケート調査を集計し、まとめる。	1 時間
13	講義内容	新調理システム(真空調理)、期間献立作成■		
	該当する到達目標	予習	給食の調理システムについて確認する。	1 時間
	4	復習	新調理システムの種類と特徴について理解する。	1 時間
14	講義内容	給食提供実習Ⅱ(1)～(4)の評価とまとめ(グループ実習)、課題の作成■		
	該当する到達目標	予習	各自の実習記録を確認する。	1 時間
	1,2,3,5	復習	実習報告会に向け、グループの発表内容をまとめる。	1 時間
15	講義内容	給食提供実習報告会		
	該当する到達目標	予習	グループでまとめた評価と改善について確認する。	1 時間
	1,2,3,5	復習	給食の経営管理業務について考察する。	1 時間
備考	授業の進め方:グループごとに給食実習の計画・実施・評価を行う。 予習・復習の時間数:各種帳票作成は、授業時間では不足するため、家庭学習で補完すること。 オフィスアワー:木曜 3 限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス:takanashi-m@takasaki-u.ac.jp 研究室:6 号館 1 階			

■:実務経験に基づく内容を示す。

科目名	総合演習 I（臨地実習前後教育）（専門科目）			HNA371	演習
英文名	Practical Seminar I（Food Service）				
担当教員	高梨美穂、渡辺由美				
科目に関連した実務経験	川崎医科大学付属 川崎病院 栄養部において臨地実習生の指導（経験）（高梨） 高崎市保健所受託 母子保健事業および特定保健指導における栄養相談業務の実施（経験）（高梨）				
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	臨地実習は管理栄養士養成のための実践教育科目であり、様々な施設で実習を行うことで実践的能力を身につけることを目的としている。本科目では、臨地実習に臨むに当たり、前後教育として、各施設における管理栄養士の役割・業務内容および業務を遂行するために必要な知識や技術について修得するとともに、実社会での実習に臨むに当たり、社会人としての知識やマナーについても習得することを目標とする。また、食に関する情報提供の方法について検討し、立案・作成することで情報提供の技術を習得する。さらに、実際の現場で働く外部講師による具体的な講義により各施設についての理解を深め、臨地実習における自己課題を設定するとともに、実習に臨む意欲を高めることとする。				
到達目標	1.各施設の特徴や管理栄養士業務について説明することができる。■ 2.関連科目で修得した知識や技術を活用することができる。 3.各施設の給食経営管理について説明することができる。■ 4.自己課題を設定し、適切な取り組み策を考えることができる。■ 5.適切な実習態度やマナーについて説明することができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	課題 20%、授業への取り組み姿勢 80%として総合的に判断する。 評価方法の基準を講義初回時にアナウンスする。				
課題に対するフィードバック	課題は確認後、返却する。				
使用教材	臨地実習マニュアル 松崎政三・名倉秀子 建帛社 2,415 円 管理栄養士・栄養士必携（データ・資料集）日本栄養士会編第一出版 2,500 円 臨地実習記録（学内作成）				
1	講義内容	臨地実習の意義と目的・目標■			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。		0.5 時間
		復習	教科書および配布資料による復習を行い、給食の運営、給食経営管理の臨地実習について理解する。		1 時間
2	講義内容	給食の運営、給食経営管理の臨地実習について■			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。		0.5 時間
		復習	教科書および配布資料による復習を行い、給食の運営、給食経営管理の臨地実習について理解する。		1 時間
3	講義内容	各施設の概要■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。		0.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3	復習	教科書および配布資料による復習を行い、給食の運営、給食経営管理の臨地実習について理解する。	1 時間
4	講義内容	公衆栄養の臨地実習と保健所管理栄養士の職務について(外部講師)		
	該当する到達目標	予習	関連科目の教科書をもとに保健所栄養士の職務を整理する。	1 時間
	1,3	復習	講義内容を整理し、保健所栄養士の職務について理解する。	1 時間
5	講義内容	学校給食の実際と管理栄養士の職務について		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1 時間
	1,3	復習	教科書および配布資料による復習を行い、学校での管理栄養士の職務について理解する。	1 時間
6	講義内容	福祉施設給食の実際と管理栄養士の職務について(外部講師)		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1 時間
	1,3	復習	教科書および配布資料による復習を行い、福祉施設での管理栄養士の職務について理解する。	1 時間
7	講義内容	事業所給食の実際と管理栄養士の職務について(外部講師)		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を読んでおく。	1 時間
	1,3	復習	教科書および配布資料による復習を行い、事業所での管理栄養士の職務について理解する。	1 時間
8	講義内容	実習課題①の設定～栄養情報、食教育媒体の立案(グループ演習)		
	該当する到達目標	予習	効果的な情報提供の方法について調べる。	1 時間
	2,4	復習	各グループの課題を検討する。	1 時間
9	講義内容	実習課題①の検討～栄養情報、食教育媒体の検討(グループ演習)		
	該当する到達目標	予習	各グループの課題を検討する。	1 時間
	2,4	復習	各グループの課題の関連事項について調べる。	1 時間
10	講義内容	実習課題①の実践 1～栄養情報、食教育媒体の作成(グループ演習)		
	該当する到達目標	予習	各グループの課題を検討する。	1 時間
	2,4	復習	各グループの課題の関連事項について調べる。	1 時間
11	講義内容	実習課題①の実践 2～栄養情報、食教育媒体の作成(グループ演習)		
	該当する到達目標	予習	各グループの課題を検討する。	1 時間
	2,4	復習	各グループの課題の関連事項について調べる。	1 時間
12	講義内容	実習課題②の設定～給食の運営および給食経営管理における自己課題の立案		
	該当する到達目標	予習	各自の実習予定施設の給食について確認する。	1 時間
	2,4	復習	各自の実習課題を検討する。	1 時間
13	講義内容	実習課題②の検討～給食の運営および給食経営管理における自己課題の検討■		
	該当する到達目標	予習	各自の実習課題を確認する。	1 時間
	2,4	復習	各自の実習課題を決定する。	1 時間
14	講義内容	社会人としてのマナーについて(外部講師)		
	該当する到達目標	予習		0 時間
	5	復習	社会人としてのマナーについて整理する。	0.5 時間
15	講義内容	臨地実習に臨む心構え、臨地実習記録の作成方法、お礼状の書き方、注意事項等		
	該当する到達目標	予習	臨地実習の手引きを確認する。	0.5 時間
	1,2,4,5	復習	事前訪問の連絡を取り、臨地実習記録の必要事項を記載する。	0.5 時間
備	授業の進め方:教科書および配布資料を基に講義および演習を実施する。			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

考	予習・復習の時間数:不足分については、献立作成や調理に関する知識や技術の向上、衛生管理の理解を深めるなど、臨地実習を円滑に行えるよう予習を行うこと。 講義内容の詳細は講義初回時にアナウンスする。 オフィスアワー:渡辺由美 月曜日の 5 時限(1 号館 3 階 304) 高梨美穂 木曜日の 3 時限(6 号館 1 階) ■:実務経験に基づく内容を示す。

科目名	総合演習Ⅱ（専門科目）			HNA372	演習
英文名	Practical SeminarⅡ（Clinical Nutrition）				
担当教員	岡村 信一、竹内 真理				
科目に関連した実務経験	岡村 信一:常勤医師として病院に勤務(経験)、非常勤医師として病院に勤務(現在) 竹内 真理:常勤管理栄養士として病院に勤務(経験)、非常勤管理栄養士としてクリニックに勤務(現在)				
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	「総合演習Ⅱ」では、専門分野を横断し、幅広い視野から栄養評価や栄養ケアマネジメントが行えるような総合的な知識と技能を養うことを目的とする。				
到達目標	1.各専門分野で修得してきた学修内容を集約して栄養評価をすることができる。 2.各専門分野で修得してきた学修内容を集約して栄養ケアマネジメントを実施することができる。 3.臨床現場で活用できるように、本講座で習得した思考方法・知識・技術の理解を深める。■				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 100% 評価方法の基準を講義初回時にアナウンスする				
課題に対するフィードバック	各項目の確認と症例検討を繰り返かえすことで、栄養アセスメント、栄養診断、栄養ケアの一連の流れを修得する。総合演習で検討したケースは臨地実習Ⅲ(病院実習)で生かすことが出来る。				
使用教材	栄養アセスメントに役立つ臨床検査値の読み方・考え方・ケーススタディ第2版 奈良信雄著 医歯薬出版 ステップアップ臨床栄養管理演習 長谷川輝美他編著 建帛社				
1	講義内容	ライフステージに応じた栄養管理(小児、成人、妊産婦、中年期、老年期)■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当するページを読む		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容のまとめ		1.5 時間
2	講義内容	福祉(高齢者、障がい者)における栄養管理■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当するページを読む		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容のまとめ		1.5 時間
3	講義内容	傷病者に対する栄養管理(疾病と病態)■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当するページを読む		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容のまとめ		1.5 時間
4	講義内容	集団に対する健康管理■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当するページを読む		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容のまとめ		1.5 時間
5	講義内容	栄養ケアプロセス■			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当するページを読む		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容のまとめ		1.5 時間
6	講義内容	症例検討 1■			
	該当する到達目標	予習	課題症例について、検査数値の示す意味など予め把握しておく		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容のまとめ		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

7	講義内容	症例検討 2■		
	該当する到達目標 1,2	予習	課題症例について、検査数値の示す意味など予め把握しておく	1.5 時間
		復習	講義内容のまとめ	1.5 時間
8	講義内容	症例検討 3■		
	該当する到達目標 1,2	予習	課題症例について、検査数値の示す意味など予め把握しておく	1.5 時間
		復習	講義内容のまとめ	1.5 時間
9	講義内容	まとめ■		
	該当する到達目標 1,2	予習	講義第 1 回～8 回までの学習内容を整理する	1.5 時間
		復習	講義内容のまとめ	1.5 時間
備考	オフィスアワー: (岡村) 月曜 1,3 時限. 1 号館 403 研究室. (竹内) 木曜 2-4 時限. 1 号館 308 研究室. 質問等はメールでも受け付ける. メールアドレス: (岡村) okamura@takasaki-u.ac.jp, (竹内) mtakeuchi@takasaki-u.ac.jp 教科書・配布資料に基づき、パワーポイント映写を適宜利用しつつ授業を進める。 本演習で習得した思考方法・知識・技術を臨床現場で活用できるように、理解を深める。 予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。 ■: 実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	総合演習Ⅲ(専門科目)				HNA373	演習
英文名	Practical SeminarⅢ (Registered Dietician Activities)					
担当教員	綾部 園子、五十嵐 美絵、岡村 信一、木村 典代、下川 哲昭、曾根 保子、竹内 真理、高梨 美穂、田中 進、永井 俊匡、松岡 寛樹、村松 芳多子、渡辺 由美					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	4 年 通年	必修・単位数	選択 1 単位			
講義目標	「総合演習Ⅱ」で学んだ知識・技能を基に、専門分野を横断して幅広い視野から栄養評価や栄養ケアマネジメントが行えるような実践力や応用力を養うことを目的とする。					
到達目標	1.管理栄養士が社会で活動する多様な分野において、適切な栄養評価ができる。 2.管理栄養士が社会で活動する多様な分野において、栄養ケアマネジメントを展開・応用することができる。					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理				
		専門的知識				
	✓	問題発見・解決力				
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力				
	✓	コミュニケーション能力				
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法	筆記試験 100%で評価する。					
課題に対するフィードバック	授業中の質疑応答等を通じてフィードバックを行う。					
使用教材	授業時に配布するプリント、各科目で使用した教科書					
1	講義内容	食事摂取基準を調理・給食提供へ展開するための演習課題(個人への活用)1				
	該当する到達目標	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。			1 時間
	1,2	復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。			1 時間
2	講義内容	食事摂取基準を調理・給食提供へ展開するための演習課題(個人への活用)2				
	該当する到達目標	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。			1 時間
	1,2	復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。			1 時間
3	講義内容	食事摂取基準を調理・給食提供へ展開するための演習課題(集団への活用)1				
	該当する到達目標	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。			1 時間
	1,2	復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。			1 時間
4	講義内容	食事摂取基準を調理・給食提供へ展開するための演習課題(集団への活用)2				
	該当する到達目標	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。			1 時間
	1,2	復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。			1 時間
5	講義内容	食事摂取基準を調理・給食提供へ展開するための演習課題(集団への活用)3				
	該当する到達目標	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。			1 時間
	1,2	復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。			1 時間
6	講義内容	各種疾病に応じた食事提供、栄養指導へ展開するための症例・事例研究 1				
	該当する到達目標	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。			1 時間
	1,2	復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。			1 時間
7	講義内容	各種疾病に応じた食事提供、栄養指導へ展開するための症例・事例研究 2				
	該当する到達目標	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。			1 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2	復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。	1 時間
8	講義内容	各種疾病に応じた食事提供、栄養指導へ展開するための症例・事例研究 3		
	該当する到達目標	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。	1 時間
	1,2	復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。	1 時間
9	講義内容	各種疾病に応じた食事提供、栄養指導へ展開するための症例・事例研究 4		
	該当する到達目標	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。	1 時間
	1,2	復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。	1 時間
10	講義内容	各種疾病に応じた食事提供、栄養指導へ展開するための症例・事例研究 5		
	該当する到達目標	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。	1 時間
	1,2	復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。	1 時間
11	講義内容	各種健康関連の指針や法律を理解し、地域健康政策や栄養指導へ展開するための症例・事例研究 1		
	該当する到達目標	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。	1 時間
	1,2	復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。	1 時間
12	講義内容	各種健康関連の指針や法律を理解し、地域健康政策や栄養指導へ展開するための症例・事例研究 2		
	該当する到達目標	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。	1 時間
	1,2	復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。	1 時間
13	講義内容	各種健康関連の指針や法律を理解し、地域健康政策や栄養指導へ展開するための症例・事例研究 3		
	該当する到達目標	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。	1 時間
	1,2	復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。	1 時間
14	講義内容	各種健康関連の指針や法律を理解し、地域健康政策や栄養指導へ展開するための症例・事例研究 4		
	該当する到達目標	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。	1 時間
	1,2	復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。	1 時間
15	講義内容	各種健康関連の指針や法律を理解し、地域健康政策や栄養指導へ展開するための症例・事例研究 5		
	該当する到達目標	予習	各教科書で授業に関連した事項を確認する。	1 時間
	1,2	復習	授業の内容を整理し、関連事項について調べる。	1 時間
備考	授業の進め方: 板書とパワーポイント、配布印刷物を用いて進める。 予習・復習の不足分は、日頃から関連分野の情報に関心を持ち、理解を深めることで補完する。 オフィスアワー: (渡辺) 月曜日の 5 時限、質問はメールでも受け付ける。			

科目名	臨地実習Ⅰ（給食運営）（専門科目）			HNA381	実習
英文名	Practical TrainingⅠ（Food Service）				
担当教員	高梨 美穂				
科目に関連した実務経験	川崎医科大学付属 川崎病院 栄養部において臨地実習生の指導（経験）				
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	臨地実習は管理栄養士養成のための実践教育科目であり、実際の施設で実習を行うことで実践的能力を身につけることを目的としている。本実習では給食経営管理論Ⅰ・Ⅱ、給食経営管理実習Ⅰ・Ⅱ、総合演習Ⅰおよび関連科目で学んだ基本的な知識や技術を基に、各施設において特定多数人を対象とした給食の計画から評価までの一連の実習を行う。実践活動の場での実体験を通して、必要とされる給食の運営に関する専門的知識及び技術の統合を図る。				
到達目標	1.施設の特徴や管理栄養士業務について説明できる。■ 2.栄養・食事・食材管理(献立作成)等について説明できる。■ 3.安全で衛生的に食事を提供することができる。■ 4.施設に応じた給食の生産工程について説明できる。■ 5.提供サービスについて説明できる。■ 6.給食実務に関する事務処理を行うことができる。■				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	実習先からの評価票(実習態度、実習内容等)80%、臨地実習記録 10%、実習報告会内容 10%、巡回指導教員からの報告等を総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	臨地実習記録は、担当者からのコメントを付して返却する。				
使用教材	臨地実習記録、臨地実習マニュアル、日本標準食品成分表 2015、日本人の食事摂取基準 2015 年版、管理栄養士・栄養士必携(データ・資料集)日本栄養士会編、大量調理施設衛生管理マニュアル(厚生労働省)、実習施設の指示するもの				
講義内容	学内 事前学習■ 1)給食運営について 2)自己課題の確認 学外実習先(特定給食施設:事業所、学校、福祉施設等)に 1 週間(1 日 9 時間(1 時間を 45 分として換算)、週 5 日)通い、上記の到達目標達成に向けて実習する。 ※実習内容の詳細は配属される実習先によって異なるが、次に掲げる事項について指導を受ける 1)特定給食施設の概要、施設の特性、給食の目標、目的 2)特定給食施設における給食業務の法的根拠 3)特定給食施設における管理栄養士の実務 4)給食システム 5)栄養・食事管理				

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	6)献立作成 7)会計・原価管理 8)食材の計画と管理 9)生産(調理)管理 10)提供管理 11)マニュアルに基づく安全・衛生管理管理 12)栄養教育 13)事務処理 14)自己課題に基づいた調査研究 学内 事後学習■ 1)実習のまとめ(実習目的の到達度、課題の確認、実習全体の自己評価・改善)		
	予習	実習先に関する予習、総合演習Ⅰの復習	期間中適宜
	復習	臨地実習記録整理(実習先で学んだことの再確認、現場で得た実体験のまとめなど)	期間中適宜
備考	受講資格:給食経営管理Ⅰ・Ⅱ、給食経営管理実習Ⅰ・Ⅱ、総合演習Ⅰの修得が必須。 授業の進め方:配属された施設において実習を行う。 実習期間中は、予定されている実習内容について予習を行い、帰宅後は指導されたことや学んだことなどを書き出すなどの復習を行うこと。 オフィスアワー:木曜3限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス:takanashi-m@takasaki-u.ac.jp 研究室:6号館1階 ■:実務経験に基づく内容を示す。		

科目名	臨地実習Ⅱ（給食経営管理論）（専門科目）			HNA382	実習
英文名	Practical TrainingⅡ（Food Service）				
担当教員	高梨 美穂				
科目に関連した実務経験	川崎医科大学付属 川崎病院 栄養部において臨地実習生の指導（経験）				
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	「臨地実習Ⅰ」を踏まえ、給食運営や給食に関連する資源を総合的に判断し、栄養面・安全面・経済面全般のマネジメントを行う能力（給食経営管理能力）の基礎を習得する。 また、実践活動の場での課題発見、解決を通して、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門的知識および技術の統合を図り、管理栄養士として具備すべき知識及び技能を修得する。 実習後は、報告会においてプレゼンテーション技術を活用した発表を行い、グループ討議を通して、実習成果を共有する。				
到達目標	1.施設の特徴に応じた給食全般のマネジメントについて説明できる。■ 2.実践活動の場での課題解決に取り組むことができる。■ 3.多（他）職種との連携について説明できる。■ 4.報告会資料を作成し、プレゼンテーション技術を活用した発表を行うことができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	実習先からの評価票（実習態度、実習内容等）80%、臨地実習記録 10%、実習報告会内容 10%、巡回指導教員からの報告等を総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	臨地実習記録は、担当者からのコメントを付して返却する。 実習報告会に向けて作成した資料は資料集として当日配布を予定している。				
使用教材	臨地実習記録、臨地実習マニュアル、日本標準食品成分表 2015、日本人の食事摂取基準 2015 年版、管理栄養士・栄養士必携（データ・資料集）日本栄養士会編、大量調理施設衛生管理マニュアル（厚生労働省）、実習施設の指示するもの				
講義内容	学内 事前学習■ 1)給食経営管理について 2)自己課題の確認 学外実習先（特定給食施設：事業所、学校、福祉施設等）に 1 週間（1 日 9 時間（1 時間を 45 分として換算）、週 5 日）通い、上記の到達目標達成に向けて実習する。 ※実習内容の詳細は配属される実習先によって異なるが、次に掲げる事項について評価およびトータルマネジメントを含めた指導を受ける 1)特定給食施設の給食経営管理 2)栄養・食事管理 3)給食の組織、人事管理と労務管理 4)調理施設・設備設計 5)機器・設備の保安全管理				

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	6) 食材の流通と購買管理 7) 安全・衛生管理 8) 給食の品質保証と標準化 9) 給食経営とマネジメント 10) 会計・原価管理と評価 11) 事故対策・災害対策 12) 多(他)職種との連携 13) 自己課題に基づいた調査研究 学内 事後学習■ 1) 実習のまとめ(実習目的の到達度、課題の確認、実習全体の自己評価・改善) 2) 実習報告会、グループ討議		
	予習	実習先に関する予習、実習指導で準備した資料の確認	期間中適宜
	復習	実習先で学んだことの再確認、現場で得た実体験のまとめ、報告会用資料準備	期間中適宜
備考	受講資格: 給食経営管理Ⅰ・Ⅱ、給食経営管理実習Ⅰ・Ⅱ、総合演習Ⅰ、臨地実習Ⅰの修得が必須。 授業の進め方: 配属された施設において実習を行う。 実習期間中は、予定されている実習内容について予習を行い、帰宅後は指導されたことや学んだことなどを書き出すなどの復習を行うこと。 全履修学生の実習が終了後に報告会を予定しているため、実習期間中から報告会資料の作成をすすめること。 オフィスアワー: 木曜3限、メールによる質問も受け付ける。 メールアドレス: takanashi-m@takasaki-u.ac.jp 研究室: 6号館1階 ■: 実務経験に基づく内容を示す。		

科目名	臨地実習Ⅲ(臨床栄養学)(専門科目)			HNA383	実習
英文名	Practical TrainingⅢ (Clinical Nutrition)				
担当教員	竹内 真理、河原田 律子				
科目に関連した実務経験	(竹内)管理栄養士として国立病院機構に勤務(経験) (竹内)管理栄養士(兼任)として高崎健康福祉大学附属クリニックに所属(現在)				
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	実践活動の場(病院)における課題発見や問題解決を通して、病態や栄養状態の評価・判定を行い、専門知識・技術の統合化を図って的確な栄養ケアマネジメントを行うために必要な知識や技能を修得する事を目標とする。臨地実習Ⅲを通して、知識と技術について具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術等を体得する。国家資格に求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を身につける。				
到達目標	1.病態や栄養状態に基づいて栄養の評価や判定ができる。■ 2.チーム医療を経験し、管理栄養士として必要な知識や技能を身につけることができる。■ 3.関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を説明できる。■ 4.実習を通して、課題の発見や問題を解決することができる。■				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	実習先からの評価票(実習態度・取り組み等)60%、実習報告会 20%、課題レポート 10%、実習ノート 10%、巡回指導教員からの報告なども含め総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	実習ノートを提出期限内に提出した学生には、授業担当者からのコメントを付して返却する。実習報告会に向けて作成した資料は資料集として当日配布を予定している。				
使用教材	ステップアップ臨地・校外実習 長谷川輝美・永井徹編著 建帛社 2,200(税別)) 臨地実習記録(実習前に配布) 実習に係る教科書や資料(臨床栄養学に関連する教科書・食品成分表等)				
講義内容	実習先に 2 週間(1 日 9 時間(1 時間を 45 分として換算))通い、上記の到達目標達成に向けて実習を受講する。 学内(事前学習) 1)病院管理栄養士の役割と活動■ 2)実習課題の確認 学外(病院)において以下の内容について習得する。 1)栄養部門の業務概要・栄養管理業務の概要■ 2)施設利用者を対象とした栄養食事管理■ 3)栄養管理システム■ 4)栄養アセスメント■ 5)栄養ケアプラン■ 6)栄養補給法■ 7)クリニカルパス■				

	8) チーム医療(栄養サポートチーム、褥瘡対策チーム等) ■ 9) 病棟カンファレンス症例研究 ■ 10) 個別栄養指導・集団栄養指導 ■ 11) 栄養指導報告書作成 ■ 12) 実習課題の発表 学内 事後学習 1) 実習のまとめ(実習目的の到達度、課題の確認、実習全体の自己評価・改善) 2) 課題レポートの作成 3) 実習報告会 ※実習内容の詳細は配属される実習先によって異なるが、上記に掲げる事項について学生は実習指導者による指導を受ける。	
	予習 ・実習先の特徴を調べ、病院の特性にあった実習課題について考える。 ・臨床栄養学に関する講義や実習で学んだことを復習する。 ・病院管理栄養士の役割と活動・実習課題の確認をする。 ・治療食の献立について、献立の立て方を確認する。	期間中適宜
	復習 ・実習内容の復習、実習記録の作成・提出。 ・実習課題についてレポート提出。 ・実習報告会のレジメやパワーポイントの作成を行い、発表の準備を行う。	期間中適宜
備考	受講資格: 臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ・臨床栄養管理論・臨床栄養学実習Ⅰ・Ⅱの修得が必須。 事前学習では、病院における管理栄養士業務の概要を説明し、それぞれが実習テーマを決定する。実習テーマに基づき、事前準備・学習を行ったうえで実習に臨む。実習終了後は、実習テーマをレポートにまとめ、実習ノートをまとめる。また報告会で発表をする。 報告会は、全履修学生の実習が終了して 2 週間後に予定しているため、実習期間中から報告会資料の作成に着手することを勧める。 オフィスアワー: 木曜日 2-4 時限(竹内)、木曜日の 1-4 時限(河原田) メールアドレス: mtakeuchi@takasaki-u.ac.jp(竹内)、nasu@takasaki-u.ac.jp(河原田) 研究室: 3 階 308 研究室(竹内)・ 4 階 臨床栄養学実習室(406 研究室)(河原田) ■: 実務経験に基づく内容を示す。	

科目名	臨地実習(公衆栄養学)Ⅳ(専門科目)			HNA384	実習
英文名	Practical TrainingⅣ(Public Health)				
担当教員	五十嵐 美絵				
科目に関連した実務経験	行政管理栄養士として群馬県保健所等に勤務(経験)				
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	実践活動の場での課題発見、解決を通して、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門的知識及び技術の統合を図る。臨地実習Ⅳでは、実践活動の場で、「公衆栄養学Ⅰ、Ⅱ」、「公衆栄養学実習」で修得した公衆栄養マネジメントの理論と方法がどのように行われているかを学ぶことでその統合を図り、身につけた専門的知識、技術を実践現場に活かす方法を探ることを目的とする。				
到達目標	1.健康・栄養問題を取り巻く様々な情報を収集・分析し、総合的に評価・判定して行う、健康増進等計画策定・推進の方法が理解できる。(各事業の意味づけ) ■ 2.対象に応じた適切な健康関連サービスを提供するプログラムの作成、実施、評価の過程を通じて総合的な公衆栄養マネジメントに必要な事項が理解できる。(食生活相談、集団指導などの技法) ■ 3.上記を通して、実践活動の場での課題発見、解決を行い、今まで学んだ専門的知識及び技術の統合を図り、それを実践の場に活かす方法を考えることができる。■				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	実習態度、実習先からの評価票 60%、臨地実習記録 40% 実習先からの評価表、実習自己評価、巡回指導教員からの報告、実習報告会の報告内容なども含め総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	実習終了後、実習課題を報告する事後指導時間を設ける。この時実習先からの評価を伝え、実習内容、課題の達成状況等についてディスカッションを行う。				
使用教材	臨地実習記録、実習に関係する教科書、資料、実習先から配布された資料、プリント				
講義内容	実習前:事前指導■ ・実習先地域、施設の特徴 ・実習課題を決める ・実習現場について 実習後:事後指導■ ・自分の実習課題の発表 ・実習の振り返りの発表 【保健所、保健センター共通内容】 管内の現況、市町村内の状況 ・組織及び機構 ・衛生行政の概要 ・管理栄養士の業務の概要、栄養関係法令(法的根拠) 【保健所における内容】 1.地域保健による栄養体制の整備 ①地域の実態把握、分析 ②施策化 ③政策評価				

	④専門的な栄養指導、食生活支援 ⑤住民に対する健康教育、栄養相談 ⑥健康なまちづくり地区組織等の育成 ⑦健康危機管理体制の整備 ⑧関係機関団体との連携 ⑨食環境整備(食に関する情報の整備、外食・調理済み加工食品等の栄養成分表示の推進等) 2.特定給食施設への栄養管理指導 3.市町村に対する栄養改善事業支援と連絡調整 4.人材育成・活用 【市町村保健センターにおける内容】 1.地域保健栄養体制の整備 ①「健康日本 21」地方計画や地域保健医療計画等への参画、栄養改善事業の企画・評価 ②健康づくり・栄養関連情報等の収集と住民への提供 ③関係機関団体との連携 2.栄養相談(母子、学童・思春期、成人、高齢者などへの一般的栄養指導) 3.住民に対する健康教育(各種教室・講習会の企画・実施・評価) 4.地区組織の育成・支援(患者会・自治会等の健康づくり活動への支援) 5.啓発事業(健康まつり・栄養展の企画・実施・評価) 6.人材の育成・活用(在宅栄養士の育成と活用)		
	予習	・実習先地域、施設の特徴を調べるなどの事前学習 ・自分の実習課題の事前学習 ・実習先からの課題の予習 ・公衆栄養学講義、実習の復習	5 時間
	復習	・臨地実習記録の整理 ・自分の実習課題のまとめ ・実習報告会、実習事後指導への準備 ・実習の振り返りを行う	5 時間
備考	受講資格:公衆栄養学Ⅰ・Ⅱ、公衆栄養学実習の修得が必要 実際の保健所、保健センターで 5 日間の実習を行う。実習前に実習準備のため事前指導を行う。実習後に実習内容を確認する事後指導を行う。 オフィスアワー:木曜日の 5 時限(1 号館 3 階 305 研究室) メールアドレス: igarashi@takasaki-u.ac.jp ■:実務経験に基づく内容を示す。		

科目名	食物学特別講座 I (応用専門科目)			HNA391	講義
英文名	Advanced Lecture on Food I				
担当教員	熊倉 慧				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	3 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	食生活に関する見識を深め、フードスペシャリストとして要求される知識・技術および姿勢を修得することを目標とする。				
到達目標	1.フードスペシャリストの仕事について説明できる 2.人類の食物獲得の歴史を理解し、伝統的な食品加工・保存技術を説明できる 3.世界の食作法や食事内容の多様性を理解する 4.日本の食物史と食の地域差を理解する 5.日本の食の状況や環境を理解し、「よりよい食生活の営み」の基本を説明できる 6.食品産業の役割を説明できる 7.食品の品質規格と表示を説明できる				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	筆記試験 100%で評価する。				
課題に対するフィードバック	定期試験後に問題解説を行い、出題の意図と正解を示す。				
使用教材	「四訂フードスペシャリスト論第 4 版」(公社)日本フードスペシャリスト協会編 建帛社 2017				
1	講義内容	ガイダンス・フードスペシャリストとは			
	該当する到達目標	予習	教科書第 1 章を読む。シラバスの内容を確認する。		1 時間
	1	復習	到達目標や成績評価方法、フードスペシャリストの責務を理解する。		1 時間
2	講義内容	人類と食物			
	該当する到達目標	予習	教科書第 2 章を読む。		1 時間
	2	復習	人類の歩みと食物との関わり、食品加工保存史を理解する。		2 時間
3	講義内容	世界の食(食作法・食の禁忌と忌避)			
	該当する到達目標	予習	教科書第 3 章を読む。		1 時間
	3	復習	世界の食作法や食事情を理解する。		2 時間
4	講義内容	世界の食(世界各地の食事情)			
	該当する到達目標	予習	教科書第 3 章を読む。		1 時間
	4	復習	世界各地の食事情を理解する。		2 時間
5	講義内容	日本の食(食物史)			
	該当する到達目標	予習	教科書第 4 章日本食物史を読む。		1 時間
	4	復習	日本における食物史を理解する。		2 時間
6	講義内容	日本の食(食の地域差)			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 5	予習	教科書第 4 章食の地域差を読む。	1 時間
		復習	日本における食の地域差を理解する。	2 時間
7	講義内容 該当する到達目標 5,6	現代日本の食生活 1-2		
		予習	教科書第 5 章 1-2 を読む。	1 時間
		復習	現代の日本における食生活の現状を理解する。	2 時間
8	講義内容 該当する到達目標 5,6	現代日本の食生活 3-5		
		予習	教科書第 5 章 3-5 を読む。	1 時間
		復習	食産業や食料供給、食と環境について理解する。	2 時間
9	講義内容 該当する到達目標 5,6	食品産業の役割		
		予習	教科書第 6 章を読む。	1 時間
		復習	フードシステムと食産業について理解する。	2 時間
10	講義内容 該当する到達目標 7	食品の品質規格		
		予習	教科書第 7 章を読む。	1 時間
		復習	食品の品質規格、関連の法律による表示を理解する。	2 時間
11	講義内容 該当する到達目標 7	食品の表示		
		予習	教科書第 7 章を読む。	1 時間
		復習	食品の品質表示、関連の法律による表示を理解する。	2 時間
12	講義内容 該当する到達目標 5,7	食情報と消費者保護		
		予習	教科書第 8 章を読む。	1 時間
		復習	食情報の利用、食品の安全、消費者保護について理解する。	2 時間
13	講義内容 該当する到達目標 1,2,3,4,5,6,7	認定試験対策講座 1		
		予習	認定試験の過去問に目を通す。	1.5 時間
		復習	出題傾向や要点を理解する。	2 時間
14	講義内容 該当する到達目標 1,2,3,4,5,6,7	認定試験対策講座 2		
		予習	認定試験の過去問に目を通す。	1.5 時間
		復習	出題傾向や要点、正解を理解する。	2 時間
15	講義内容 該当する到達目標 1,2,3,4,5,6,7	まとめ		
		予習	教科書及び配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	フードスペシャリスト論について理解する。	2 時間
備考	※フードスペシャリストの認定試験受験資格を希望する学生は必ず本科目を受講すること。 ※フードスペシャリストの資格は、フードスペシャリスト養成課程の必須科目を取得した後、(公社)フードスペシャリスト協会が実施する認定試験を受験し、合格することで取得することができる。 ※フードスペシャリスト認定試験に合格しても、本学科を卒業しなければ資格は取得できない。 ※フードスペシャリスト認定試験の受験と認定証の発行(卒業時)には、別途、受験料と認定料が必要となる。 オフィスアワー: 木曜日の 5 時限、メールでアポイントメントを取れば、その他の時間帯でも受け付ける。 メールアドレス「kumakura@takasaki-u.ac.jp」 研究室: 10 号館 3 階 306 研究室。 授業の進め方: 授業は基本的にレクチャー形式で実施し、授業中に予習内容に関する確認・質問をする。			

科目名	食物学特別講座Ⅱ（応用専門科目）			HNA392	講義
英文名	Advanced Lecture on FoodⅡ				
担当教員	小川 聖子				
科目に関連した実務経験	料理研究家として 20 年以上の間、マスコミで料理番組に出演し、料理本の執筆、各種料理教室講師、CM と商品パッケージの料理などの制作、商品開発とそのプレゼンテーションに関わった。				
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	食に関する様々な場において、快適な食事を提供するために、料理・メニュー・食卓・食空間を含めた食のコーディネートができる知識と技術を修得することを目標とする。				
到達目標	1.フードコーディネートの基礎理念について説明できる。 2.食事の文化について説明できる。 3.メニュープランニングと食卓のマナー、サービスについて説明できる。 4.食卓のコーディネートについて説明できる。 5.食空間のコーディネートについて説明できる。 6.フードサービスマネジメントについて説明できる。 7.食企画のコーディネートができる。■				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	課題・レポート 40% 平常点 30% 小テスト 30%				
課題に対するフィードバック	授業内で、課題(実践企画)に対するアドバイス、コメントを適宜行う。 小テストを実施し、その後解答及び解説を行う。				
使用教材	日本フードスペシャリスト協会編「三訂フードコーディネート論」建帛社				
1	講義内容	フードコーディネートの基本理念、現場の仕事紹介■			
	該当する到達目標	予習	テキスト第 1 章を読んでおく。	1 時間	
	1	復習	おいしさの本質やフードコーディネートの基本理念を理解する。	1 時間	
2	講義内容	食事の文化 1			
	該当する到達目標	予習	テキスト第 2 章 1,2 を読んでおく。	1 時間	
	2	復習	日本の食事の歴史や諸外国の食事の特徴を理解する。	1 時間	
3	講義内容	食事の文化 2			
	該当する到達目標	予習	テキスト第 2 章 3 を読んでおく。	1 時間	
	2	復習	日本の食事の歴史や諸外国の食事の特徴を理解する。	1 時間	
4	講義内容	食事の文化 3			
	該当する到達目標	予習	テキスト第 2 章 4,5 を読んでおく。	1 時間	
	2	復習	日本の食事の歴史や諸外国の食事の特徴を理解する。	1 時間	
5	講義内容	メニュープランニングと食事のマナー1 日本料理と和風メニュー■			
	該当する到達目標	予習	テキスト第 5 章(1,2-(1)), 第 4 章(1,2)を読んでおく。	1 時間	
	3	復習	日本料理の献立とサービス、マナーについて理解する。	1 時間	
6	講義内容	メニュープランニングと食事のマナー2 西洋料理と洋風メニュー■			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	テキスト第 5 章(2-(3)), 第 4 章(4)を読んでおく。	1 時間
	3	復習	西洋料理の献立とサービス、マナーについて理解する。	1 時間
7	講義内容	メニュープランニングと食事のマナー3 中国料理・パーティ料理ほか■		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 5 章(2-(2)(4)), 第 4 章(3,5,6)を読んでおく。	1 時間
	3	復習	中国料理、パーティ料理等の献立とサービス、マナーについて理解する	1 時間
8	講義内容	テーブルウェアとコーディネート 1 和食器の種類と取扱い		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 3 章(1,2)を読んでおく。	1 時間
	4	復習	和食器の種類や用途、扱い方、セッティングについて理解する。	1 時間
9	講義内容	テーブルウェアとコーディネート 2 洋食器他の種類と取扱い		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 3 章(3,4-(1)(2))を読んでおく。	1 時間
	4	復習	中国料理、西洋料理に適応した食器の種類や用途、扱い方、セッティングについて理解する。	1 時間
10	講義内容	テーブルコーディネートのスタイル分類、		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 3 章(4-(3))を読んでおく。実践企画のための情報収集と整理	1 時間
	4	復習	テーブルコーディネートの主要なスタイルを理解する。	1 時間
11	講義内容	食空間のコーディネート、空間コーディネート		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 6 章を読んでおく。実践企画のための情報収集と整理	1 時間
	5	復習	食空間とキッチンレイアウトに関わる基本的な要素について理解する。	1 時間
12	講義内容	実践企画 レシピ開発と料理製作■		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 3 章, 第 6 章の復習。実践企画のための情報収集と整理	2 時間
	3,4,5	復習	実践企画のレシピ開発と料理製作の手順の整理	1 時間
13	講義内容	小テスト 食企画のコーディネート プレゼンテーションを考える■		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 8 章を読んでおく。実践企画のための情報収集と整理	2 時間
	7	復習	食企画の概要を理解する。実践企画のプレゼンテーション準備	1 時間
14	講義内容	実践企画のプレゼンテーション、発表者はその準備		
	該当する到達目標	予習	テキスト第 7, 8 章の復習	2 時間
	7	復習	発表に対する振り返り	2 時間
15	講義内容	実践企画のプレゼンテーション、まとめ		
	該当する到達目標	予習	発表者はその準備	1 時間
	7	復習	発表に対する振り返り(レポート作成)。実践企画書を期日までに提出する。	2 時間
備考	※フードスペシャリストの認定試験受験資格を希望する学生は必ず本科目を受講すること。 ※フードスペシャリストの資格は、フードスペシャリスト養成課程の必須科目を取得した後、(公社)フードスペシャリスト協会が実施する認定試験を受験し、合格することで取得することができる。 ※フードスペシャリスト認定試験に合格しても、本学科を卒業しなければ資格証は取得できない。 ※フードスペシャリスト認定試験の受験と認定証の発行(卒業時)には、別途、受験料と認定料が必要となる。 メニュープランニングと食事のマナー、食卓・食空間のコーディネートについてそれぞれ講義形式で学び、それらを踏まえて実践企画を行う。予習復習については、試験前の学習で補完すること。質問等は、授業前後またはメールで応じる。 メールアドレス:seikoasakura2007@yahoo.co.jp 研究室:1 号館 4 階 調理学研究室			

科目名	NR・サプリメントアドバイザー(応用専門科目)			HNA393	講義
英文名	Nutritional Representative・Supplement Adviser				
担当教員	曽根 保子他				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	対象者・対象集団の栄養状態を評価し、保健機能食品およびサプリメントについて適切にアドバイスを行うために求められる専門的知識を修得する。				
到達目標	1.NR・サプリメントアドバイザーに必要な専門的知識を理解し、説明することができる。 2.NR・サプリメントアドバイザー認定試験を受験するために必要な規定単位を取得する。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
		問題発見・解決力			
		多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験で評価する。 定期試験での評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	定期試験について、出題の意図を講評する。				
使用教材	教科書「NR・サプリメントアドバイザー必携」・日本臨床栄養協会編・第一出版株式会社・最新版 演習用シート、演習用の問題を随時プリントして配布する。				
1	講義内容	『NR・サプリメントアドバイザー』の役割と倫理、認定試験の概要			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。		1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。		1.5 時間
2	講義内容	基礎の生理学①			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。		1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。		1.5 時間
3	講義内容	基礎の生理学②			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。		1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。		1.5 時間
4	講義内容	基礎の生化学①			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。		1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。		1.5 時間
5	講義内容	基礎の生化学②			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。		1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

			取り組む。	
6	講義内容	人間栄養学①		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。	1.5 時間
7	講義内容	人間栄養学②		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。	1.5 時間
8	講義内容	生活習慣病概論①		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。	1.5 時間
9	講義内容	生活習慣病概論②		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。	1.5 時間
10	講義内容	臨床栄養		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。	1.5 時間
11	講義内容	臨床検査と身体活動と栄養①		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	臨床検査と身体活動と栄養②		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	食品安全衛生学①		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所をよく読み、理解する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	食品安全衛生学②		
	該当する到達目標	予習	健康食品①	1.5 時間
	1,2,3	復習	教科書の該当箇所をよく読み、復習する。演習用シートの課題、演習用の問題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	演習用問題集の総復習		
	該当する到達目標	予習	教科書、演習用シートを見直す。正答できるまで、演習用の問題に繰り返し、取り組む。	1.5 時間
	2,3	復習	演習用問題集のなかで間違えた問題の関連事項をまとめ、正答できるまで問題を繰り返し解く。	1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

備 考	授業期間全体を通じた授業の進め方：各分野の基本事項、重要事項を解説後、習得事項の確認を行う。 学習について：予習・復習については、試験前の学習で補完する。 キーワード：機能性食品、サプリメント オフィスアワー：木曜日の 5 時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス:sone-y@takasaki-u.ac.jp 研究室:1 号館 3 階 306

科目名	チーム医療アプローチ演習(応用専門科目)			HNA394	演習
英文名	Practical Team Approach to Health Care				
担当教員	各学科担当教員				
科目に関連した実務経験	管理栄養士として国立病院機構に勤務(経験) 管理栄養士(兼任)として高崎健康福祉大学附属クリニックに所属(現在)				
学年・開講期	4 年 前期	必修・単位数	選択 1 単位		
講義目標	チーム医療が必要な事例を用いて、福祉・医療系の各専門職の役割・活動および患者、家族に必要な福祉医療活動について検討する。さらにチーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性、および専門職の連携の課題について学ぶ。				
到達目標	1.各専門職の役割と活動について理解できる。■ 2.患者・家族に必要な福祉・医療活動が理解できる。■ 3.チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性が理解できる。■ 4.チーム医療における専門職の連携を促進するための課題を考察できる。■				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	演習参加への積極性 20%、レポート 50%、グループ発表の内容 30%の総合評価				
課題に対するフィードバック	模擬症例検討を行う際には教員がファシリテートし、グループごとに結果をまとめて発表させ、それに対して教員と他チームの学生による検討を行いフィードバックする。				
使用教材	関連する資料を随時プリントして配布する。				
1	講義内容	ガイダンス／チーム医療アプローチについて■			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	チーム医療について調べておく。	1 時間	
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。	1 時間	
2	講義内容	チームビルディング■			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	専門職について調べておく	1 時間	
		復習	チーム内の他職種について学習しておく	1 時間	
3	講義内容	模擬症例検討・報告書作成①■			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	症例解析について学んでおく。	1 時間	
		復習	模擬症例について学習する。	1 時間	
4	講義内容	模擬症例検討・報告書作成②■			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	疾病と治療について学習し、専門職としてのかかわり方を学習する。	1 時間	
		復習	グループ内で各専門職の観点から模擬症例を読み合わせておく。	1 時間	
5	講義内容	模擬症例検討・報告書作成③■			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	疾病と治療について学習し、各専門職のかかわり方を学習する。	1 時間	
		復習	グループ内で専門職の役割と活動について意見交換をし、学習を深める。	1 時間	
6	講義内容	発表・フィードバック①			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	発表の準備をしておく。	1 時間	
		復習	発表された各症例について復習しておく。	1 時間	

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

7	講義内容	発表・フィードバック②		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	発表の準備をしておく。	1 時間
		復習	発表された各症例について復習しておく。	1 時間
8	講義内容	発表・フィードバック③		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	発表の準備をしておく。	1 時間
		復習	発表された各症例について復習しておく。	1 時間
備考	講義初めに、各専門職の役割と活動について復習し、チーム医療と多職種協働について理解を深めたうえで、症例検討を通して専門職としての関わりと他職種との協働を考える。検討内容は発表する。 予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。 キーワード: 専門職、チーム医療、多職種連携 オフィスアワー: 竹内(栄養) 木曜 2-4 時限(1 号館 308 研究室) mtakeuchi@takasaki-u.ac.jp 上記以外の日程でも可能な限り調整します。メール等で問い合わせてください。 ■: 実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	特別講座(食育・公衆栄養学コース)(専門科目)			HNT411	講義
英文名	Advanced Lecture				
担当教員	渡辺 由美、五十嵐 美絵、深見 匡、高梨 美穂				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	3 年 後期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	食育・公衆栄養学分野に関する専門的な知識を修得し、各研究分野の理解を深め、充実した研究成果をあげることを目標とする。				
到達目標	1.卒業研究に必要な研究の進め方や論文の書き方を理解する。 2.研究内容を活発にディスカッションできる能力を身につける。 3.研究成果を論理的に説明できるプレゼンテーション能力を身につける。 4.各分野の専門的な知識を理解し、要点をまとめることができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	課題レポート 20%、グループディスカッション 30%、発表の取り組み(発表要旨のまとめ方、説明内容、発表態度等)50% 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	提出したレポートにはコメントを付けて返却する。				
使用教材	適宜プリントを配布する。				
1	講義内容	オリエンテーション、研究の方法(1) 卒業研究とは			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する。	1.5 時間	
	1	復習	卒業研究の基礎的事項について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間	
2	講義内容	研究の方法(2) 学術論文を読む			
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間	
	1	復習	講義内容を整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間	
3	講義内容	研究の方法(3) 文献の検索方法			
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間	
	1	復習	先行研究・文献・資料・調査などについて整理する。	1.5 時間	
4	講義内容	栄養疫学(1) 栄養疫学の概要			
	該当する到達目標	予習	関連する既習事項を確認する。	1.5 時間	
	4	復習	授業内容を整理し、栄養疫学に関する理解を深める。	1.5 時間	
5	講義内容	栄養疫学(2) 研究デザイン			
	該当する到達目標	予習	関連する既習事項を確認する。	1.5 時間	
	4	復習	授業内容を整理し、栄養疫学に関する理解を深める。	1.5 時間	
6	講義内容	レポートの発表(1)			
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションに必要な資料を作成し、説明内容をまとめる。	2 時間	

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	2,3	復習	指摘されたことを整理する	1 時間
7	講義内容	レポートの発表(2)		
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションに必要な資料を作成し、説明内容をまとめる。	2 時間
	2,3	復習	指摘されたことを整理する	1 時間
8	講義内容	幼児期・学童期の食生活の現状		
	該当する到達目標	予習	幼児期・学童期の食生活の現状について調べる。	1.5 時間
	4	復習	食生活の現状から課題を整理し、食育計画の概要を検討する。	1.5 時間
9	講義内容	幼児期・学童期の食育計画(1)(グループ演習)		
	該当する到達目標	予習	食育計画の概要について検討する。	1.5 時間
	2,4	復習	グループで話し合った結果をまとめ食育計画を作成する。	1.5 時間
10	講義内容	幼児期・学童期の食育計画(2)(発表・計画の評価・改善)		
	該当する到達目標	予習	作成した食育計画の発表準備	1.5 時間
	2,3	復習	作成した食育計画の評価・考察を行う。	1.5 時間
11	講義内容	健康・栄養調査データの活用		
	該当する到達目標	予習	質問紙調査の種類、調査方法、特徴を学習してくる	1.5 時間
	4	復習	「食育に関する意識調査」の調査票の構造、質問文の特徴を調べてくる	1.5 時間
12	講義内容	調査項目・集計の理解(1)		
	該当する到達目標	予習	「食育に関する意識調査」の結果を把握しておく	1.5 時間
	4	復習	調査票の質問文作成の方法、データ処理の方法を復習する	1.5 時間
13	講義内容	調査項目・集計の理解(2)		
	該当する到達目標	予習	「食育に関する意識調査」の単純集計の結果を読んでおく	1.5 時間
	4	復習	クロス集計に適する項目を復習する	1.5 時間
14	講義内容	合同セミナー(研究紹介)(1)		
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションに必要な資料を作成し、説明内容をまとめる。	2 時間
	2,3	復習	指摘されたことを整理する。	1 時間
15	講義内容	合同セミナー(研究紹介)(2)		
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションに必要な資料を作成し、説明内容をまとめる。	2 時間
	2,3	復習	指摘されたことを整理する。	1 時間
備考	授業の進め方:授業では、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートの提出などを行う。 卒業研究に関連した論文を講読する。 予習・復習の不足分については、各自で補完すること。 オフィスアワー:渡辺 由美 水曜日の 5 時限(1 号館 3 階 304) 五十嵐 美絵 木曜日の 5 時限(1 号館 3 階 305) 深見 匡 月曜日の 4 時限(1 号館 3 階 307)・水曜日の 5 時限(同) 高梨 美穂 木曜日の 3 時限(6 号館 1 階)			

科目名	特別講座(食品科学コース)(専門科目)			HNT421	講義
英文名	Advanced Lecture				
担当教員	綾部 園子、松岡 寛樹、村松 芳多子、熊倉 慧、小林 泰斗				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	3 年 後期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	食品科学の各分野に関する専門的な知識を修得することを目的とし、合同セミナー(研究紹介)を通じて各研究分野への理解を深める。				
到達目標	1.各分野の専門的な知識を横断的に吸収することができる。 2.研究に関するディスカッション能力を身につけることができる。 3.卒業研究に反映することができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	議論への参加度 50%, 研究紹介 50%, 授業への参加度で 10%までの加点あり				
課題に対するフィードバック	講義の中で説明する。				
使用教材	適宜プリントを配布				
1	講義内容	オリエンテーション			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。		1 時間
		復習	関連する既習事項を確認する。		1 時間
2	講義内容	文献検索(科学的根拠と情報の取扱い)			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。		1 時間
		復習	関連する既習事項を確認する。		1 時間
3	講義内容	食品の機能性物質の単離と同定(1) FT-IR と NMR スペクトル法			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。		1 時間
		復習	関連する既習事項を確認する。		1 時間
4	講義内容	食品の機能性物質の単離と同定(2) LC/MS と GC/MS			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。		1 時間
		復習	関連する既習事項を確認する。		1 時間
5	講義内容	食品の嗜好性の主観的・客観的評価(1) 官能評価と色の測定			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。		1 時間
		復習	関連する既習事項を確認する。		1 時間
6	講義内容	食品の嗜好性の主観的・客観的評価(2) 物性測定と筋電位測定			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。		1 時間
		復習	関連する既習事項を確認する。		1 時間
7	講義内容	微生物学の最近話題、食品への応用と衛生管理			
	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。		1 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。	1 時間
8	講義内容	微生物の単離と同定(DNA 解析を含む)		
	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。	1 時間
	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。	1 時間
9	講義内容	文献収集と、文献抄読(発表を含む)1		
	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。	1 時間
	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。	1 時間
10	講義内容	文献収集と、文献抄読(発表を含む)2		
	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。	1 時間
	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。	1 時間
11	講義内容	文献収集と、文献抄読(発表を含む)3		
	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。	1 時間
	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。	1 時間
12	講義内容	文献収集と、文献抄読(発表を含む)4		
	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。	1 時間
	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。	1 時間
13	講義内容	文献収集と、文献抄読(発表を含む)5		
	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。	1 時間
	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。	1 時間
14	講義内容	文献収集と、文献抄読(発表を含む)6		
	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。	1 時間
	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。	1 時間
15	講義内容	まとめ(情報収集とその公開、研究活動とその成果報告の意義)		
	該当する到達目標	予習	卒業研究に関連した論文を講読する。	1 時間
	1,2,3	復習	関連する既習事項を確認する。	1 時間
備考	授業の進め方:前半はオムニバス形式で担当教員が講義を行う。必要に応じてパワーポイントで資料を図示する。 後半の文献抄読は、ゼミごとに卒業研究に関連した文献について発表し、質疑応答する形式で進める。 予習・復習の時間数:不足分については試験前等の学習で補完すること。 オフィスアワー:講義のある曜日の午後(3~5 時限) 研究室:1 号館 4 階 402, 404, 405, 天秤室 ◎相談・質問がある場合は予めアポイントメントを取る。			

科目名	特別講座(栄養科学・スポーツ栄養学コース)(専門科目)			HNT431	講義
英文名	Advanced Lecture				
担当教員	田中 進、木村 典代、大家千枝子、永井 俊匡、曾根 保子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	栄養科学・スポーツ栄養学の各分野に関する専門的な知識を修得することを目標として、合同セミナー(研究紹介)を通して各研究分野の理解を深める。				
到達目標	1.分子生物学分野: 分子生物学研究の歴史を理解し、細胞間の情報伝達の仕組みや遺伝子発現の制御が説明できる。 2.分子栄養学分野: 細胞内の情報伝達の仕組みや遺伝子多型を理解し、研究で利用されている実験の結果を正しく解釈できる。 3.栄養生理学分野: 特定のライフステージと各栄養素の生理学的作用の関わりについて理解し、健康増進・疾病予防に有効な栄養管理について説明できる。 4.スポーツ栄養学分野: 競技スポーツにおける栄養上の問題、パフォーマンスと身体組成、パフォーマンスを高めるための栄養補給方法を理解し、そのメカニズムや評価方法を説明できる。 5.合同セミナーで行う研究紹介により各研究分野の理解を深め、プレゼンテーションを通して文献の調査方法、研究の立案方法、研究・実験方法、研究内容の理解、研究のまとめ方、研究の発表方法を身に付け、卒業研究に応用することができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	レポート(4 回)80%、研究紹介 20%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	レポートにはコメントを付けて返却する。				
使用教材	講義のプリントは随時プリントして配布する。				
1	講義内容	イントロダクション			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、講義目標や到達目標などを理解する。		1 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを理解する。		1 時間
2	講義内容	分子生物学(1)分子生物学の歴史			
	1	予習	事前に配布したプリントに目を通す。		1 時間
		復習	メンデルから Watson & Crick の DNA の二重らせん構造およびヒトゲノム計画までの分子生物学の歴史を理解する。		1 時間
3	講義内容	分子生物学(2)細胞間情報伝達			
	1	予習	事前に配布したプリントに目を通す。		1 時間
		復習	細胞間情報伝達の仕組みとそれに関連する生活習慣病などについて理解する。		1 時間
4	講義内容	分子生物学(3)遺伝子発現の制御			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントに目を通す。	1 時間
	1	復習	転写と翻訳レベルの調節について理解する。	1 時間
5	講義内容	分子栄養学(1)細胞内情報伝達		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントに目を通す。	1 時間
	2	復習	細胞内情報伝達の仕組みと、活性制御・発現制御の違いを理解し、プリントの演習問題を解く。	1 時間
6	講義内容	分子栄養学(2)遺伝子多型と栄養		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントに目を通す。	1 時間
	2	復習	遺伝子多型とは何か、それがどうヒトの生体に影響するかを理解し、プリントの演習問題を解く。	1 時間
7	講義内容	分子栄養学(3)分子栄養学の研究手法		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントに目を通す。	1 時間
	2	復習	研究手法の原理と、そこから何が分かるかを理解し、プリントの演習問題を解く。	1 時間
8	講義内容	栄養生理学(1)タンパク質の生理学的作用		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントに目を通す。	1 時間
	3	復習	特定のライフステージとタンパク質の生理学的作用について理解し、健康増進・疾病予防に有効な栄養管理についての新規知見・情報をまとめる。	1 時間
9	講義内容	栄養生理学(2)脂質の生理学的作用		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントに目を通す。	1 時間
	3	復習	特定のライフステージと脂質の生理学的作用について理解し、健康増進・疾病予防に有効な栄養管理についての新規知見・情報をまとめる。	1 時間
10	講義内容	栄養生理学(3)ビタミンの生理学的作用		
	該当する到達目標	予習	事前に配布したプリントに目を通す。	1 時間
	3	復習	特定のライフステージとビタミンの生理学的作用について理解し、健康増進・疾病予防に有効な栄養管理についての新規知見・情報をまとめる。	1 時間
11	講義内容	スポーツ栄養学(1)競技スポーツと栄養問題		
	該当する到達目標	予習	2 年次のスポーツ栄養学で学んだ栄養障害を見直してくる。	1 時間
	4	復習	講義の内容を理解し、配布プリントの課題を行うこと	1 時間
12	講義内容	スポーツ栄養学(2)パフォーマンスと身体組成		
	該当する到達目標	予習	2 年次のスポーツ栄養学で学んだ身体組成の章を見直してくる。	1 時間
	4	復習	講義の内容を理解し、配布プリントの課題を行うこと	1 時間
13	講義内容	スポーツ栄養学(3)パフォーマンスと栄養補給		
	該当する到達目標	予習	2 年次のスポーツ栄養学で学んだ栄養補給の章を見直してくる。	1 時間
	4	復習	講義の内容を理解し、配布プリントの課題を行うこと	1 時間
14	講義内容	合同セミナー研究紹介(1)		
	該当する到達目標	予習	合同セミナーのプレゼンテーションに向けての準備を行う。	3 時間
	5	復習	各研究紹介の研究内容を理解する。	1 時間
15	講義内容	合同セミナー研究紹介(1)		
	該当する到達目標	予習	合同セミナーのプレゼンテーションに向けての準備を行う。	3 時間
	5	復習	各研究紹介の研究内容を理解する。	1 時間
備考	【オフィスアワー】 田中: 前期(火 4 時限目)、後期(火 4 時限目)。質問はメール(tanaka@takasaki-u.ac.jp)でも受け付ける。			

木村:前期(水 5 時限目)、後期(月 5 時限目)。質問はメール(kimura@takasaki-u.ac.jp)でも受け付ける。

大家:前期・後期とも火曜日 12 時～14 時 30 分。

永井:前期・後期とも月 5 時限目。質問はメール(tnagai@takasaki-u.ac.jp)でも受け付ける。

1 号館 504 研究室または 1 号館 4F 栄養学研究室に常駐しているので、メールで連絡をもらえれば、それ以外の時間も柔軟に対応する。

曽根:前期(月 5 時限目)、後期(月 4 時限目)。質問はメール(sone-y@takasaki-u.ac.jp)でも受け付ける。

【授業の進め方】

講義に関する資料や教科書などを授業の予習・復習で確認し、講義中に確認のテスト等を実施することがある。合同セミナーでは各自が研究紹介を行い、それに関する意見、質問を講義出席者に求めることがある。

※2 単位を修得するためには、講義時間(30 時間(実質 90 分×15 回))+予習・復習時間(60 時間)が必要です。不足分は各自の学習で補完すること。

科目名	特別講座(臨床栄養学コース)(専門科目)			HNT441	講義
英文名	Advanced Lecture				
担当教員	岡村信一、下川哲昭、竹内真理、河原田律子、内田薫				
科目に関連した実務経験	岡村 信一:常勤医師として病院に勤務(経験)、非常勤医師として病院に勤務(現在) 竹内 真理:常勤管理栄養士として病院に勤務(経験)、非常勤管理栄養士としてクリニックに勤務(現在)				
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	臨床栄養学分野に関する専門的な知識を横断的に習得し、卒業研究内容についてあらゆる観点から考察し、充実した研究成果をあげる事を目的とする。				
到達目標	1.所属ゼミに関連する分野の知識を横断的に吸収し、研究内容についてディスカッションすることができる。 2.卒業研究内容をまとめて発表することができる。 3.臨床現場で活用できるように、本講座で習得した思考方法・知識・技術の理解を深める。■				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	評価方法の基準は講義初回時に配布する。				
課題に対するフィードバック	レポートの出題意図を適宜解説する。				
使用教材	適宜プリントを使用する				
1	講義内容	イントロダクション■			
	該当する到達目標	予習	各所属ゼミにおける卒業研究テーマを明確にしておく。		1.5 時間
	1,2	復習	卒業研究に必要な知識や情報収集の方法などを整理する。		1.5 時間
2	講義内容	解剖学・生理学			
	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の解剖学・生理学分野についての知識の整理		1.5 時間
	1,2	復習	学習知識のまとめと発展		1.5 時間
3	講義内容	臨床医学・病理学■			
	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の臨床医学・病理学分野についての知識の整理		1.5 時間
	1,2	復習	学習知識のまとめと発展		1.5 時間
4	講義内容	臨床栄養学の基礎■			
	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の臨床栄養学の基礎についての知識の整理		1.5 時間
	1,2	復習	学習知識のまとめと発展		1.5 時間
5	講義内容	臨床栄養学■			
	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の臨床栄養学についての知識の整理		1.5 時間
	1,2	復習	学習知識のまとめと発展		1.5 時間
6	講義内容	合同セミナー(研究紹介)(1)■			
	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の研究紹介準備		1.5 時間
	1,2	復習	学習知識のまとめと発展		1.5 時間
7	講義内容	合同セミナー(研究紹介)(2)■			
	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の研究紹介準備		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2	復習	学習知識のまとめと発展	1.5 時間
8	講義内容	合同セミナー(研究紹介)(3) ■		
	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の研究紹介準備	1.5 時間
	1,2	復習	学習知識のまとめと発展	1.5 時間
9	講義内容	合同セミナー(研究紹介)(4) ■		
	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の研究紹介準備	1.5 時間
	1,2	復習	学習知識のまとめと発展	1.5 時間
10	講義内容	合同セミナー(研究紹介)(5) ■		
	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の研究紹介準備	1.5 時間
	1,2	復習	学習知識のまとめと発展	1.5 時間
11	講義内容	卒業研究活動(1) ■		
	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の報告会準備	1.5 時間
	1,2	復習	学習知識のまとめと発展	1.5 時間
12	講義内容	卒業研究活動(2) ■		
	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の報告会準備	1.5 時間
	1,2	復習	学習知識のまとめと発展	1.5 時間
13	講義内容	卒業研究活動(3) ■		
	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の報告会準備	1.5 時間
	1,2	復習	学習知識のまとめと発展	1.5 時間
14	講義内容	卒業研究活動(4) ■		
	該当する到達目標	予習	それぞれの卒業研究の報告会準備	1.5 時間
	1,2	復習	学習知識のまとめと発展	1.5 時間
15	講義内容	合同セミナー(研究紹介)(2) ■		
	該当する到達目標	予習	研究紹介に向けた準備	1.5 時間
	1,2	復習	質疑応答などを研究の改善・発展に反映する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: (岡村)金曜 5 時限, (下川)月曜 1-5 時限, 金曜 1-2 時限, (竹内)木曜 2-4 時限, (河原田)木曜 1-4 時限, (内田)木曜 5,6 時限 メールアドレス: (岡村)okamura@takasaki-u.ac.jp, (下川)shimokawa-n@takasaki-u.ac.jp, (竹内)mtakeuchi@takasaki-u.ac.jp, (河原田)nasu@takasaki-u.ac.jp, (内田)uchida-k@takasaki-u.ac.jp 研究室: (岡村)1 号館 403 研究室, (下川)1 号館 311 研究室, 6 号館栄養生理学研究室, (竹内)1 号館 308 研究室, (河原田)1 号館 4 階 臨床栄養学実習室(406 研究室), (内田)1 号館 3 階セミナー室 本講座は、各自の能動的学習に基づいて進められる。予習・復習も各自積極的に行い、疑問点や課題点を見つけるようにする。予習・復習時間は、研究発表・論文作成に関わる自習で補完する。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	卒業研究(専門科目)			HNT412,HNT422,HNT432,HNT442	演習
英文名	Undergraduate Thesis				
担当教員	健康栄養学科教員				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	4 年 前期	必修・単位数	必修 4 単位		
講義目標	管理栄養士養成の教育課程の中で修得した基礎的・専門的知識を用いて、健康・栄養に関わる様々な課題に対して、自らその課題を解決するための計画を立て、実験・調査を行い、論理的思考および手法によって総合的に判断する力を習得することを目標とする。 また、多領域分野の関係者との対話を通して、管理栄養士に求められるコミュニケーション能力、表現力、社会への対応力等を向上させ、生涯にわたって自律的に学習しようという意欲の向上と、豊かな人間性を養うことを目標とする。				
到達目標	1.研究計画を立てることができる。 2.自ら意欲的に実験・調査を実施することができる。 3.論理的思考や手法を用いて総合的に判断することができる。 4.多領域分野との対話を通して、課題解決に取り組むことができる。 5.得られた結果を適切な手法を用いて表現することができる(口頭・論文の内容)。 6.生涯にわたって自律的に学習しようという意欲がある(口頭・論文への取り組み)				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と職業倫理			
	✓	専門的知識			
	✓	問題発見・解決力			
	✓	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	✓	コミュニケーション能力			
	✓	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	研究貢献度、論文内容、研究発表、論文の提出、試問結果により、各指導教員が評価する。				
課題に対するフィードバック	ゼミによるディスカッション時のコメントおよび課題提出物はコメントともに返却				
使用教材	必要に応じて、各指導教員が準備した資料等を用いる				
講義内容	第 1 回 ゼミの全体計画 オリエンテーション(卒業研究をはじめるにあたり留意事項等) 第 2 回 卒業論文の構成 第 3 回 テーマの検索 文献の探し方 第 4～5 回 文献調査 文献調査の発表 テーマ検討 第 6 回 テーマの決定 第 7～8 回 研究計画の作成 第 9～10 回 研究準備 第 11～22 回 研究の実施 データの解釈 統計の方法 文献調査継続 第 23～28 回 論文の書き方 まとめ方 論文の作成 第 29～30 回 研究発表の準備および成果発表 まとめ ※講義内容の進行は、各指導教員による。 ※各指導教員の研究テーマは以下のとおり。				

	・食物成分による疾病の予防・治療 ・幼児の食育に関する研究、介護食の適切な調理条件の検討 ・人間の健康をめぐる諸問題に関する実態調査と要因分析 ・母性行動に対するドパミン・PRL 系の解析、褐色脂肪誘導因子の機能解析、脊柱側弯症の発症機序の解明 ・細胞の高次機能に対する微量栄養素の影響解析 ・スポーツ栄養に関する研究、競技選手の栄養サポートスポーツ食育に関する研究、健康増進に関する食事と運動を組合わせた調査・介入研究 ・食品(食べ物)と微生物に関する研究と、食事の総合評価に関する研究 ・塩蔵野菜の生理活性に関する有研究、イソチオシアナート由来化合物の抗遺伝毒性に関する構造活性相関、ダイコン塩蔵下におけるアミノ酸、脂肪酸、糖、辛味成分の動態解析 ・学校給食、栄養教諭、学校等における食育に関する研究、健康な食事に関する研究 ・栄養政策、公衆栄養活動に関する研究 ・食にかかわる様々な取り組みや教育実践を切り口として、人間の発達の問題や人間が暮らしやすい社会のあり方について考察する ・食品の摂取と食後血糖上昇の影響についての研究、1 型糖尿病罹患児における管理栄養士の役割についての研究 ・下仁田ネギの辛味成分に関する遺伝子の解析、ポリフェノールの体内動態の解析、PFC バランスの違いによる肝臓代謝の変化、咀嚼の脳への影響、味覚受容体の解析 ・栄養成分の生体内作用とその分子機構の解析 ・糖尿病モデルラットを用いた分子栄養学的研究 ・食品の機能性に関与する酵素の研究 ・流産予防に向けた食品成分に関する研究		
	予習	研究分野関連の文献検索、データ収集、データ整理を行う	毎 2 時間
	復習	研究分野関連の文献検索、データ収集、データ整理を行う。	毎 1 時間
備考	各教員の指導の下、特定のテーマの研究(調査・実験など)を行い、企画・データ収集・整理・討論・発表・卒業論文を作成する。 4 単位を修得するためには、講義時間(60 時間(実質 90 分×30 回))+予習・復習時間(120 時間)が必要です。不足分は各自の学習で補完すること。 オフィシアワーは、以下の通り(前:前期 後:後期 数字は時限目) ※その他設定時間以外でも対応してもらえることがあるため各自でメールおよび口頭で確認すること。 綾部園子(前火 5,後金 1)、岡村信一(前金 5,後金 5)、渡辺由美(前月 5,後水 5)、下川哲昭(前月 5,後月 5)、田中進(前火 4,後火 4)、木村典代(前水 5,後月 5)、村松芳多子(前月 5,後月 5)、松岡寛樹(前金 5,後金 5)、五十嵐美絵(前木 5,後木 5)、大家千枝子(前火 3,後火 3)、竹内真理(前木 2~4,後木 2~4)、永井俊匡(前木 1 火 5,後木 1 火 5)、曾根保子(前木 5,後木 5)、深見匡(前火 3 金 5,後月 4 水 5)、河原田律子(前水 5,後月 5)、高梨美穂(前木 3,後木 3)、熊倉慧(前木 5,後木 5)、内田薫(前水 5,6,後木 5,6)、		

科目名		栄養教諭論(教職科目)			HNE511	講義
英文名		Theory of Nutrition Teacher				
担当教員		松下 広美				
科目に関連した実務経験		群馬県教育委員会食育推進担当指導主事として学校栄養職員・栄養教諭研修を担当(経験)				
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		社会環境の急速な変化に対応するために、食育の必要性が問われてきた。学校における食育は生涯を通して健康的な生き方や自己実現を図るための基礎基本である。本講義では学校の食育推進の中核を担う栄養教諭として授業へ参画できる能力を養うことを目的とする。				
到達目標		栄養教諭の役割を把握すること。栄養教諭としての資質を高めること 1.法に基づく食育のとらえかた、食に関する指導の考え方を知る■ 2.栄養教諭の位置づけを説明できる 3.学校における食育のシステム化を説明できる				
学位授与方針との対応		—	豊かな人間性と職業倫理			
		—	専門的知識			
		—	問題発見・解決力			
		—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		—	コミュニケーション能力			
		—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法		授業態度・意欲 60%、レポート 40%で評価する。				
課題に対するフィードバック		最後に作成するレポートは添削し、コメント・アドバイスをつけて返却する。				
使用教材		学習指導要領(文部科学省)、栄養教諭のための学校栄養教育論(補訂)(笠原賀子編著) 食に関する指導の手引き—第 1 次改訂版—(文部科学省)				
1	講義内容		学校教育と教育課程とは■			
	該当する到達目標 1,2,3		予習	学習指導要領の前文及び総則に目を通しておく。		1.5 時間
			復習	学校教育の目的や教育課程編成について確認する。		1.5 時間
2	講義内容		学習指導要領とは■			
	該当する到達目標 1,2,3		予習	学習指導要領の記述内容から「食に関する指導」に関わる部分を見つける。		1.5 時間
			復習	学習指導要領は学校全体の教則本ということを知る。		1.5 時間
3	講義内容		栄養教諭の役割 1■			
	該当する到達目標 1,2,3		予習	栄養教諭制度誕生の経緯について調べておく。		1.5 時間
			復習	栄養教諭制度は法的な体制に支えられ、大切な役割を担うことを確認する。		1.5 時間
4	講義内容		栄養教諭の役割 2■			
	該当する到達目標 1,2,3		予習	栄養教諭の職務内容について調べておく。		1.5 時間
			復習	学校での食育推進の中核を担う職務や課題を確認する。		1.5 時間
講義内容		子供の健康・栄養に関わる現状と課題				
5	該当する到達目標 1,2,3		予習	学校保健統計からみた児童生徒の健康課題を調べておく。		1.5 時間
			復習	現代の子供が抱える食生活の課題とそれを解決するための方策をまとめる。		1.5 時間
	講義内容		わが国の食生活の変遷と学校給食			
6	該当する到達目標		予習	テキストを読んで学校給食の歴史を調べておく。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3	復習	学校給食が食生活の変化を背景に、関係者の努力で発展したことを確認する。	1.5 時間
7	講義内容	学校給食の実際		
	該当する到達目標	予習	「学校給食法」の内容を調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	学校給食のねらいを押さえ、望ましい学校給食実施のポイントを確認する。	1.5 時間
8	講義内容	学校教育における食育の位置づけと学校給食の役割■		
	該当する到達目標	予習	学校教育の中で学校給食がどのように位置づけされているか調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	学校教育全体で食育を推進する意味と学校給食の役割を確認する。	1.5 時間
9	講義内容	栄養教諭の教育構想		
	該当する到達目標	予習	栄養教諭の役割から、育てたい子供のイメージを持つ。	1.5 時間
	1,2,3	復習	育てたい子供の姿と日常の学校給食の関連を確認する。	1.5 時間
10	講義内容	食に関する指導の全体計画■		
	該当する到達目標	予習	全体計画に掲げることが望まれる内容を調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	学校における食育推進に各教職員との相互連携や協力が不可欠であることを確認する。	1.5 時間
11	講義内容	食に関する指導の年間指導計画■		
	該当する到達目標	予習	年間指導計画指導に盛り込まれる内容を調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	年間計画こそが栄養教諭が描く食に関わるグランドデザインに関連することを確認する。	1.5 時間
12	講義内容	年間指導計画の作成 1■		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領から食育に関連が深い教科等が何か調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	全ての教科や道徳・総合的学習の関連に食育があること確認する。	1.5 時間
13	講義内容	年間指導計画の作成 2■		
	該当する到達目標	予習	全ての教科・領域と食育との関連を抽出する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	組織的・計画的に食育を推進するための年間指導計画の必要性を確認する。	1.5 時間
14	講義内容	教科などにおける食に関する指導 1■		
	該当する到達目標	予習	各教科等における食に関する指導内容を、学習指導要領から調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	年間指導計画に位置づけた各教科等の指導を構想できるようにする。	1.5 時間
15	講義内容	教科などにおける食に関する指導 2■		
	該当する到達目標	予習	食に関する指導の全般的な心得について確認しておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	学校給食を活用した食に関する指導が企画できるようにする。	1.5 時間
備考	栄養教諭としての実際に学校現場で必要とされる資質が身に付くよう、現場で働く栄養教諭の実践に基づいて演習を取り入れながら講義を進める。 予習復習時間については、各自補完すること。 質問等は、授業開始前もしくは終了後に教室で応じる。 ■：実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	学校食指導各論(教職科目)			HNE512	講義
英文名	Nutrition Education in School				
担当教員	松下 広美				
科目に関連した実務経験	群馬県教育委員会食育推進担当指導主事として学校栄養職員・栄養教諭研修を担当(経験)				
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	学校教育の本来のねらいをふまえ、全教育活動と連携連動する学校給食を目指す中で必要な教育の知識技能を学ぶ。 学校給食を通した毎日の食に関する指導と各教科等での指導との関連を学習指導案の作成や模擬授業を通して学ぶ。				
到達目標	学校現場で食に関する指導を実践するための指導案を作成できる。作成にあたっては、ねらい・内容・評価という一連の流れを大事にする。 1.学校教育における食育の授業展開を説明できる■ 2.全教育活動と連携・連動を図ることの大切さを学ぶ■ 3.食に関する指導の学習指導案の立て方と授業展開を説明できる■				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と職業倫理			
	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	授業態度・意欲 60%、レポート 40%で評価する。				
課題に対するフィードバック	模擬授業は、教職担当の教員、教職科目を履修している 1～4 年生に向けて行い、教員・4 年生の先輩方から授業に関するアドバイスをもらう				
使用教材	学習指導要領(文部科学省) 食に関する指導の手引きー第 1 次改訂版ー(文部科学省) 食生活学習教材(文部科学省)「食に関する指導の手引き～食を楽しみ健康になろう～」(群馬県)				
	講義内容	食に関する指導の目的や意義・進め方■			
1	該当する到達目標	予習	食に関する指導を通して、育てたい子供の姿のイメージを持つ。		1.5 時間
	1,2,3	復習	食に関する指導の進め方を確認し、本科目履修で学ぶべき内容をまとめる。		1.5 時間
	講義内容	学校教育目標とリンクする授業展開■			
2	該当する到達目標	予習	「食に関する指導の構想」作成のために必要な事項を調べる。		1.5 時間
	1,2,3	復習	食育が教育課程(全体計画)の中の一環であることを確認する。		1.5 時間
	講義内容	学校教育活動全体として取り組む食に関する指導について■			
3	該当する到達目標	予習	食に関する指導の全体計画から各教科が相互に関連していることを調べる。		1.5 時間
	1,2,3	復習	栄養教諭は全ての教科に関わって食育を推進する職務であることを確認する。		1.5 時間
	講義内容	年間計画の中での位置づけ■			
4	該当する到達目標	予習	授業選択にあたって、年間計画のどこに位置付けられているかを確認する。		1.5 時間
	1,2,3	復習	学校全体で取り組むために年間計画に位置づける重要性を確認する。		1.5 時間
	講義内容	単元構想・計画と授業■			
5	該当する到達目標	予習	特別活動や道徳と教科の計画の違いを調べる。		1.5 時間
	1,2,3	復習	各教科等の特性を理解し、特性に応じた食に関する指導があることを確認する。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

6	講義内容	一時間の授業の展開 1(特別活動) ■		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	特別活動では、食育がどのように位置づけられ、栄養教諭がどのようにかわれるか調べる。	1.5 時間
		復習	各学年の実態に即した系統的な指導のありかたや効果的な授業展開のための栄養教諭の役割を確認する。	1.5 時間
7	講義内容	一時間の授業の展開 2(教科) ■		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科には教科の目標に基づく指導計画や単元構想があることを確認する。	1.5 時間
		復習	一時間ごとの流れに沿って授業が展開することを知る。	1.5 時間
8	講義内容	学習指導案の作成 1 ■		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	望ましい食習慣の形成のために、どの学年で何をねらいとして指導するかをもとに、学級活動のテーマを考える。	1.5 時間
		復習	進行状況を確認して、指導案作成を進める。	1.5 時間
9	講義内容	学習指導案の作成 2 ■		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	学級活動指導案は事前指導・本時・事後指導(家庭の連携を含む)で成り立つことを知る。	1.5 時間
		復習	進行状況を確認して、指導案作成を進める。	1.5 時間
10	講義内容	学習指導案の作成 3 ■		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	食育に関連が深い教科を調べ、教科を選択する。	1.5 時間
		復習	進行状況を確認して、指導案作成を進める。	1.5 時間
11	講義内容	学習指導案の作成 4 ■		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科の指導案は教科の目標・単元の目標に基づくことを知る。	1.5 時間
		復習	進行状況を確認して、指導案作成を進める。	1.5 時間
12	講義内容	学習指導案の作成 5 ■		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	単元計画の中でどの授業を選択するか確認する。	1.5 時間
		復習	進行状況を確認して、指導案作成を進める。	1.5 時間
13	講義内容	学習指導案の作成 6 ■		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	学習指導案の形式を知る。	1.5 時間
		復習	進行状況を確認して、指導案作成を進める。	1.5 時間
14	講義内容	模擬授業 1 ■		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	指導案を確認し、本時のねらいを明確にもち、展開の流れを押さえておく。必要な教材教具を確認する。	1.5 時間
		復習	模擬授業について各班で振り返る。	1.5 時間
15	講義内容	模擬授業 2 ■		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	指導案を確認し、本時のねらいを明確にもち、展開の流れを押さえておく。必要な教材教具を確認する。	1.5 時間
		復習	模擬授業について各班で振り返る。	1.5 時間
備考	ねらいをはっきりさせた授業展開が組み立てられるよう、具体的な指導案や実践例を元に学び、実際に指導案を作成して模擬授業を行う。 模擬授業で使用する指導案は学生が各自指導案を読み込み、選定する。 2 班にわかれて指導案を検討修正し、資料作成をする。 予習復習時間については、各自補完すること。 質問等は、授業開始前もしくは終了後に教室で応じる。			

■	: 実務経験に基づく内容を示す。

科目名	教職論(教職科目)			HNE521	講義
英文名	Theory of Teacher's Profession				
担当教員	深見 匡				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位 ※教員の免許状取得のための必修科目		
講義目標	①現代社会における教職の意義・教員の役割・資質能力・職務内容の基礎について理解し、実践ができる。 ②教職に対する適性を理解し、適切な進路選択ができる。				
到達目標	1.現代の学校教育や教職の社会的意義について説明できる。 2.教員の役割や資質・能力について説明でき、基礎的な実践ができる。 3.教員の職務内容や教員の服務上・身分上の義務について説明でき、基礎的な実践ができる。 4.現代の学校が学校内外の専門家と連携する必要について説明できる。 総じて豊かな人間性と教職者としての資質・能力を深める。				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と職業倫理			
	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験 70%、平常点 30%(レポート提出、授業態度など)で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。詳細は初回授業で指示する。				
課題に対するフィードバック	レポートは必要に応じてコメントを付して返却する。定期試験については試験後、関連講義において解説する。個別の質疑等には対応する。				
使用教材	講義用のテキストプリントを使用する(毎回配布)。				
1	講義内容	ガイダンス・現代における学校教育や教員の社会的意義について			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義目標・講義内容・評価方法などを理解する。		1 時間
	1	復習	講義内容について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
2	講義内容	現代における学校教育や教員の社会的意義、教員の職業的特徴について			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
	1,2	復習	講義内容について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
3	講義内容	教員の役割と資質能力について(歴史)			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
	1,2	復習	講義内容について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
4	講義内容	教員の役割と資質能力について(現代)			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
	1,2	復習	講義内容について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
5	講義内容	教育法と教員の職務や義務① 日本国憲法・教育基本法			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
	1,2,3	復習	教育法制の中の教員の職務や義務について整理し、指示された課題に取り組		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

			む。	
6	講義内容	教育法と教員の職務や義務② 学校教育法		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教育法制の中の教員の職務や義務について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
7	講義内容	教育法と教員の職務や義務③ 教育公務員特例法		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教育法制の中の教員の職務や義務について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
8	講義内容	学校教育と教員の職務や義務④ 教育課程(学習指導要領等)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教育法制の中の教員の職務や義務について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
9	講義内容	学校教育と教員の職務や義務⑤ 教育課程(各教科・領域他)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教育法制の中の教職員の職務について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
10	講義内容	学校教育と教員の職務や義務⑥ 研修他		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教育法制の中の教職員の職務や義務について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
11	講義内容	学校教育と教員の職務や義務⑦ 学校運営(チームとしての学校)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3,4	復習	教育法制の中の教員の職務は義務について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	現代的な教育課題と教員の職務や義務① 学力問題		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2,3,4	復習	現代の教育課題について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	現代的な教育課題と教員の職務や義務② 生徒指導		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2,3,4	復習	現代の教育課題について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	現代的な教育課題と教員の職務や義務③ 教育改革動向		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2,3,4	復習	近年の教育改革動向について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	教員の資質能力と自身の適性について考える		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3,4	復習	自身の教員としての適性について考察し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
備考	※教職科目 【科目】教育の基礎的理解に関する科目 【施行規則に定める科目区分又は事項等】教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 授業の進め方:授業はテキストを中心に講義形式で行い、必要に応じて映像資料やグループワークを用いる予定。授業の詳細は学生の意見や状況に応じて適宜必要な修正を行っていく。			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	予習・復習の時間については、試験前の学習等で補完すること。 オフィスアワー: 月曜 4 限、水曜 4 限、メールでの問い合わせ可。 メールアドレス: fukami@takasaki-u.ac.jp 研究室: 1 号館 307 室

科目名	教育基礎論(教職科目)			HNE522	講義
英文名	Principles of Education				
担当教員	深見 匡				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位 ※教員の免許状取得のための必修科目		
講義目標	①教育の基本的概念、教育の理念、教育に関する歴史及び思想に関わる基礎的知識について理解し、説明できる。 ②教員に求められる基礎的な資質能力について理解し、説明できる。				
到達目標	1.教育の基本的概念について理解し、説明できる。 2.教育に関する歴史の基礎的知識について理解し、説明できる。 3.教育に関する思想の基礎的知識について理解し、説明できる。 4.現代的な教育課題について理解し、考察できる。 総じて豊かな人間性と教職者としての資質・能力を深める。				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と職業倫理			
	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験 70%、平常点 30%(レポート提出、授業態度など)で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。詳細は初回授業時に指示する。				
課題に対するフィードバック	レポートについては必要に応じてコメントを付して返却する。定期試験については試験後、関連講義において解説する。個別の質疑等には対応する。				
使用教材	講義用のテキストプリントを使用する(毎回配布)。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	シラバスを読み、講義目標・講義内容・評価方法などを理解する。		1 時間
		復習	講義内容について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
2	講義内容	教育の基礎的概念を学ぶ(社会と教育)			
	該当する到達目標 1	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
		復習	教育の基礎的概念について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
3	講義内容	教育の基礎的概念を学ぶ(発達と教育)			
	該当する到達目標 1	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
		復習	教育の基礎的概念について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
4	講義内容	教育の基礎的概念を学ぶ(学校教育と教員)			
	該当する到達目標 1	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
		復習	教育の基礎的概念について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
5	講義内容	教育の基礎的概念を学ぶ(教育基本法等の現代の教育理念)			
	該当する到達目標 1	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
		復習	教育の基礎的概念について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

6	講義内容	教育の歴史について(近代以前)		
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	教育の歴史の基礎的知識について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
7	講義内容	教育の歴史について(近代～戦前日本)		
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	教育の歴史の基礎的知識について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
8	講義内容	教育の歴史について(戦後日本)		
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	教育の歴史の基礎的知識について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
9	講義内容	教育の思想について(コメニウス、ロック、ルソー、コンドルセ等)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	古典的な教育思想について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
10	講義内容	教育の思想について(ペスタロッチ、フレーベル、ヘルバルト等)		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	古典的な教育思想について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
11	講義内容	教育の思想について(デュルケーム、デュイ等)		
	該当する到達目標 1,4	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	古典的な教育思想について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	現代的な教育課題について① 学力について考える		
	該当する到達目標 1,4	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	近年の学力論の概要について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	現代的な教育課題について②子どもの様々な「問題行動」		
	該当する到達目標 1,4	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	近年の子どもの「問題行動」とされる問題について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	現代的な教育課題について③ 日本の教育政策動向		
	該当する到達目標 1,4	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	近年の日本の教育政策動向について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	現代的な教育課題について④ 諸外国の教育政策動向		
	該当する到達目標 1,4	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	近年の諸外国の教育政策動向について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
備考	※教職科目 【科目】 教育の基礎的理解に関する科目 【施行規則に定める科目区分又は事項等】 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 授業の進め方:授業はテキストを中心に講義形式で行い、必要に応じて映像資料やグループワークを用いる予定。授業の詳細は学生の意見や状況に応じて適宜必要な修正を行っていく。 予習・復習の時間については、試験前の学習等で補完すること。 オフィスアワー:月曜 4 限、水曜 5 限、メールでの問い合わせ可。 メールアドレス:fukami@takasaki-u.ac.jp 研究室:1 号館 307 室			

科目名		教育心理学(教職科目)			HNE523	講義
英文名		Educational Psychology				
担当教員		宮内 洋				
科目に関連した実務経験		臨床発達心理士および公認心理師として教育現場への助言・支援活動(現在)				
学年・開講期		2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位※ 教員の免許状取得のための必修科目		
講義目標		本科目は、初等中等教育段階の学校の教員を目指す上で理解しておくべき、教育心理学に関する基本的な知識の理解・修得をめざす。 具体的には、教育心理学に関する知識を生涯発達の各発達段階毎に理解し、人間の生涯発達を通じた視野を持ちながら理解できるようにしていく。 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解する。 教育心理学に関する知識を生涯発達の各発達段階毎に理解し、人間の生涯発達を通じた視野を持ちながら理解できるようになる。 臨床発達心理士である講師としては、机上の空論や理想論ではなく、より現実的な内容に徹したい。				
到達目標		1.幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程及び特徴を理解する。 2.幼児、児童及び生徒の学習に関する基礎的知識を身に付け、発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解する。■				
学位授与方針		—	豊かな人間性と職業倫理			
との対応	—	専門的知識				
	—	問題発見・解決力				
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力				
	—	コミュニケーション能力				
	—	自律的に生涯にわたって学習する力				
評価方法		全講義終了後に実施される定期試験(90%)と、講義期間中に課せられる課題と講義に臨む態度・参加する姿勢(10%)によって、総合的に判断する。				
課題に対するフィードバック		講義終了時に可能な限り感想シートを配付し、そこで書かれた質問等には次回に回答するように努める。				
使用教材		教科書は指定しない。必要に応じて、資料を配付する。また、より知りたい・学びたい人のために、参考文献や映画やマンガ等の種々の作品を、講義の中で適宜紹介する。 ・J.A.L.シング『野生児の記録 1 狼に育てられた子』福村出版 ・A.ゲゼル『狼にそだてられた子』家政教育社 ・A.M.スレーター & P.C.クイン編『発達心理学・再入門』新曜社				
1	講義内容		ガイダンス:発達とは何か■			
	該当する到達目標	1,2	予習	なし	0 時間	
			復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		2 時間
2	講義内容		生涯発達と「優生思想」■			
	該当する到達目標	1,2	予習	人間の生涯発達について客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間	
			復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1.5 時間
3	講義内容		新生児期・乳児期における学び(1):「無能な赤ちゃん」というイメージ			
	該当する到達目標	1,2	予習	自らの乳児期の体験を可能な限り聞き、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間	
			復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

4	講義内容	新生児期・乳児期における学び(2):「有能な赤ちゃん」と脳科学		
	該当する到達目標 1,2	予習	脳科学について客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
5	講義内容	幼児期における学び(1): 学びの基礎■		
	該当する到達目標 1,2	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
6	講義内容	幼児期における学び(2): 認知発達を中心に		
	該当する到達目標 1,2	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
7	講義内容	幼児期における学び(3): nature vs. nurture■		
	該当する到達目標 1,2	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
8	講義内容	児童期における学び(1): 記憶研究を中心に		
	該当する到達目標 1,2	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
9	講義内容	児童期における学び(2): 学習		
	該当する到達目標 1,2	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
10	講義内容	児童期における学び(3): 動機付け		
	該当する到達目標 1,2	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
11	講義内容	思春期・青年期における学び		
	該当する到達目標 1,2	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
12	講義内容	成人期以降の学び(1): 学びの効果的支援		
	該当する到達目標 1,2	予習	自らのこれまでの学びに関する体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
13	講義内容	成人期以降の学び(2): 学んだ成果の評価		
	該当する到達目標 1,2	予習	自らのこれまでの学びに関する体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
14	講義内容	老年期における学び		
	該当する到達目標 1,2	予習	なし	0 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	2 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容の理解を深めておく。	6 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
備考	※教職科目 【科目】教育の基礎的理解に関する科目 【施行規則に定める科目区分又は事項等】幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 ・授業期間全体を通して、基本的には講師が直接講義をする形式です。講義内容を深めるために、実験等を映像で見たり、ドキュメンタリーを講義内で見る場合があります。講師とのやりとりは、感想シートによっておこなわれます。 ・講義を妨害する者の受講を基本的に認めません。 ・担当教員は、専任教員ではありませんのでオフィスアワーはありません。質問等は、授業開始前もしくは終了後に教室で応じます。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	教育制度論(教職科目)			HNE524	講義
英文名	深見 匡				
担当教員	Theory of Educational systems				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位 ※教員の免許状取得のための必修科目		
講義目標	①現代の学校教育についての社会的・制度的・経営的事項の基礎的知識について理解し、説明できる。 ②学校と地域との連携、学校安全に関わる基礎的知識について理解し、説明できる。 ③これらの知識を学校運営の実際に活かそうとする意欲を持つ。				
到達目標	1.教育に関する社会的事項(社会状況と学校教育の変化等)について説明できる。 2.教育に関する制度的事項(教育法・制度とその意義・役割)について説明できる。 3.教育に関する経営的事項(学校経営について)について説明できる。 4.学校と地域の連携・協働について説明できる。 5.学校安全への対応について説明できる。 総じて豊かな人間性と教職者としての資質・能力を深める。				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と職業倫理			
	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	定期試験 70%、平常点 30%(レポート提出、授業態度など)で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。詳細はガイダンス時に指示する。				
課題に対するフィードバック	レポートは必要に応じてコメントを付して返却する。定期試験については試験後、関連講義において解説する。個別の質疑等には対応する。				
使用教材	講義用のテキストプリントを使用する(毎回配布)。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	シラバスを読み、講義目標・講義内容・評価方法など理解する。	1 時間	
		復習	講義内容について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間	
2	講義内容	近年の社会状況や子どもの変化と学校教育			
	該当する到達目標 1	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間	
		復習	社会状況や子どもの変化について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間	
3	講義内容	日本の教育政策動向			
	該当する到達目標 1	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間	
		復習	日本の近年の教育政策動向について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間	
4	講義内容	公教育に関わる法と制度① 公教育の理念			
	該当する到達目標 2	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間	
		復習	現代の公教育の組織化について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間	
5	講義内容	公教育に関わる法と制度② 学校教育法(学校の組織や仕組み)			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間	

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	2	復習	様々な学校について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
6	講義内容	公教育に関わる法と制度③ 学校教育法(教育内容)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2	復習	教育課程や教育内容に関する事項について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
7	講義内容	公教育に関わる法と制度④ 地方教育行政法等(学校と社会)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2	復習	教育行政に関する事項について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
8	講義内容	公教育に関わる法と制度⑤ 教育公務員特例法等(教員の職務や義務)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2	復習	教員に関わる事項について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
9	講義内容	学校経営について① 学校の組織と経営		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	3	復習	学校の組織や運営・経営について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
10	講義内容	学校経営について② 学校評価		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	3	復習	学校評価について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
11	講義内容	学校経営について③ 学級経営		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	3	復習	学級経営について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	学校と地域との連携・協働		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	4	復習	学校と地域の連携・協働について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	学校安全について		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	5	復習	学校安全の目的・取り組みについて整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	諸外国の教育政策動向①英米圏		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1	復習	諸外国(英米圏)の教育政策について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	諸外国の教育政策動向②その他		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1	復習	諸外国(その他)の教育政策について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
備考	※教職科目 【科目】教育の基礎的理解に関する科目 【施行規則に定める科目区分又は事項等】教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 授業の進め方:授業はテキストを中心に講義形式で行い、必要に応じて映像資料やグループワークを用いる予定。授業の詳細は学生の意見や状況に応じて適宜必要な修正を行っていく。 予習・復習の時間については、試験前の学習等で補完すること。 オフィスアワー:火曜 3 限、金曜 5 限、メールでの問い合わせ可。 メールアドレス:fukami@takasaki-u.ac.jp 研究室:1 号館 307 室			

科目名		教育課程論(教職科目)		HNE525	講義
英文名		Curriculum Theory			
担当教員		栗原 幸正			
科目に関連した実務経験		・公立小学校に、教諭・教頭・校長として勤務(経験) ・市町村教育委員会に、指導主事として勤務(経験)			
学年・開講期		2 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位 ※教員の免許状取得のための必修科目	
講義目標		学校教育における教育課程の意義や編成の方法について、学習指導要領総則編の読解や教育課程(教育内容)の変遷を知ることを通して理解すると共に、養護教諭・栄養教諭が直面する現代的な教育的課題を知り、その克服に向けての具体的教育課程に係る取り組みを知る。			
到達目標		1.教育課程とは何かについて具体的に理解し、設問等に解答し、記述することができる。 2.教育課程が不易な教育的内容の定着を図るためにあるのと同時に、社会からのニーズによって編成されていることを知り、変遷の過程を説明する事ができる。 3.養護教諭・栄養教諭が直面する現代的な教育的課題を知り、その克服に向けての具体的教育課程に係る取り組みを構築する事ができる。■ 4.カリキュラム・マネジメントについての認識を深め、説明することができる。■			
学位授与方針との対応		—	豊かな人間性と職業倫理		
		—	専門的知識		
		—	問題発見・解決力		
		—	多様な社会・背景を理解し対応する能力		
		—	コミュニケーション能力		
		—	自律的に生涯にわたって学習する力		
評価方法		定期試験(60%) 授業後の小レポート(20%) 課題レポート(20%)			
課題に対するフィードバック		紙媒体については評価の明記並びに評価コメント。プレゼンテーション等については、テーマ設定・発表方法・発表時間・質疑等の評価規準を明確にして評価内容を伝える。			
使用教材		小・中学校学習指導要領解説総則編(平成29年3月告示 文部科学省) 幼稚園教育要領(平成 29 年 3 月告示 文部科学省)			
1	講義内容	小中学学習指導要領と幼稚園教育要領			
	該当する到達目標 1,2	予習	学習指導要領解説総則編(小)及び幼稚園教育要領に目を通し、講義目標をつかむ。		1 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法等を確認する。		1 時間
2	講義内容	教育課程の意義と基本原理及びその変遷			
	該当する到達目標 1,2	予習	学習指導要領の資料「学習指導要領の改訂の経過」に目を通す。		1 時間
		復習	社会的ニーズと教育課程の関連について、自分の考えを説明できる。		1.5 時間
3	講義内容	教育課程の具体としての学校要覧Ⅰ(学校教育目標・学校経営案・授業時数) ■			
	該当する到達目標 3	予習	貸与資料「学校要覧」の上記関係箇所目を通す。		1 時間
		復習	教育課程を規定する関係法規や社会的ニーズと学校経営について理解する。		1.5 時間
4	講義内容	教育課程の具体としての学校要覧Ⅱ(日課表・校務分掌と教職員の業務) ■			
	該当する到達目標 3	予習	貸与資料「学校要覧」の上記関係箇所目を通す。		1 時間
		復習	教育課程を具現化するために機能する学校体制を理解する。		1.5 時間
5	講義内容	教科・領域を横断する教育内容(保健指導・栄養指導の年間計画とその評価検討) ■			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	貸与資料「学校要覧」の上記関係箇所に通す。	1 時間
	3	復習	保健指導・栄養指導の年間指導について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	カリキュラムマネジメント(学校教育全体で取り組むカリキュラムマネジメントと評価)		
	該当する到達目標	予習	事前配資料に通しておく。	1 時間
	4	復習	カリキュラム・マネジメントとは何かについて理解する。	1.5 時間
7	講義内容	学校実態に沿った現代的課題に向けての教育課程(養護・栄養の連携とアレルギー対応)		
	該当する到達目標	予習	文部科学省ホームページのアレルギー等に係る項目に通す。	1 時間
	3,4	復習	現代的課題に対応する教育の意義について理解する。	1 時間
8	講義内容	「社会に開かれた教育課程」創造に向けて		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領論点整理に通す。	1 時間
	1,4	復習	ノートをまとめ、「社会に開かれた教育課程」やアクティブラーニング等について理解する。	1.5 時間
備考	※教職科目 【科目】教育の基礎的理解に関する科目 【施行規則に定める科目区分又は事項等】教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。) 授業期間全体を通じた授業の進め方:学習指導要領に沿った講義を中心としつつ、関連した項目についてのワークショップや協議・演習を組み合わせ、アクティブ・ラーニングを具現化する。また、授業後に行う感想シートを活用して理解度を把握すると共に、小論文作成の技術を高める。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 ※Excel・Word を使用できる環境を準備しておく。 オフィスアワー:水曜日 2 限・金曜日 2 限 研究室:9 号館 305 研究室 メールアドレス:kurihara-y@takasaki-u.ac.jp ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	特別な教育的ニーズの理解とその支援(教職科目)			HNE526	講義
英文名	Understanding and supporting special educational needs				
担当教員	宮内 洋				
科目に関連した実務経験	臨床発達心理士および公認心理師として教育現場への助言・支援活動(現在)				
学年・開講期	2 年 前期	必修・単位数	選択 1 単位 ※教員の免許状取得のための必修科目		
講義目標	①「インクルーシブ教育システム」を含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組み、視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等を含む様々な「障害」のある児童及び生徒の学習または生活上の困難について基礎的な知識、「発達障害」等をはじめとする特別の支援を必要とする児童及び生徒の心身の発達、心理的特性及び学習の過程を学ぶ。 ②その上で、「発達障害」等をはじめとする特別の支援を必要とする児童及び生徒に対して、特別支援教育コーディネーター、関係機関・家庭と連携しながら支援体制を構築しながら支援する方法を学ぶ。 ③「障害」のみならず、母国語や貧困の問題等により特別の教育的ニーズのある児童及び生徒の学習または生活上の困難についての基礎的知識や組織的な支援の方法を学ぶ。				
到達目標	通常の学級にも在籍している「発達障害」等をはじめとする様々な「障害」等により特別の支援を必要とする児童及び生徒たちが、授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるように、児童及び生徒の学習または生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。 1.特別の支援を必要とする児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解する。■ 2.特別の支援を必要とする児童及び生徒に対する教育課程や支援の方法を理解する。■ 3.「障害」はないが、特別の教育的ニーズのある児童及び生徒の学習または生活上の困難とその対応を理解する。■				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と職業倫理			
	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	全講義終了後に実施される定期試験(90%)と、授業貢献度(10%)によって、総合的に判断する。				
課題に対するフィードバック	講義終了時に可能な限り感想シートを配付し、そこで書かれた質問等には次回に回答するように努める。				
使用教材	テキスト ・柘植雅義・渡部匡隆・二宮信一・納富恵子編 2014『はじめての特別支援教育[改訂版]』有斐閣 参考書・参考資料等 ・柘植雅義『特別支援教育 多様なニーズへの挑戦』中央公論新社				
	講義内容	ガイダンス■			
1	該当する到達目標	予習	なし。		0 時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		2 時間
2	講義内容	特別支援とは何か・特別支援の場とは何か			
	該当する到達目標	予習	特別支援について調べておくこと。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
3	講義内容	視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等を含む種々の「障害」がある児童・生徒の理解とその支援		
	該当する到達目標 1,2	予習	視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等を含む種々の「障害」がある児童・生徒について調べておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
4	講義内容	「発達障害」がある児童・生徒の理解■		
	該当する到達目標 1,2	予習	「発達障害」について調べておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
5	講義内容	「発達障害」がある児童・生徒の支援■		
	該当する到達目標 1,2	予習	「発達障害」について調べておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
6	講義内容	異文化の子どもの理解とその支援■		
	該当する到達目標 3	予習	異文化について調べておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
7	講義内容	「子どもの貧困」問題の理解とその支援■		
	該当する到達目標 3	予習	「子どもの貧困」について調べておくこと。	2 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
8	講義内容	特別な支援とアクティブ・ラーニング		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	これまでの講義内容の理解を深めておく。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
備考	※教職科目 【科目】教育の基礎的理解に関する科目 【施行規則に定める科目区分又は事項等】特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 ・授業期間全体を通して、基本的には講師が直接講義をする形式です。講義内容を深めるために、ドキュメンタリー等の映像を講義内で見ることがあります。講師とのやりとりは、感想シートによっておこなわれます。 ・講義を妨害する者の受講を基本的に認めません。 ・担当教員は、専任教員ではありませんのでオフィスアワーはありません。質問等は、授業開始前もしくは終了後に教室で応じます。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	道徳教育・特別活動論(教職科目)			HNE527	講義
英文名	Moral Education and Special Activities				
担当教員	石川 勉				
科目に関連した実務経験	公立中学校に教諭・教頭・校長として勤務(経験)				
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位 ※教員の免許状取得のための必修科目		
講義目標	道徳の本質を踏まえ、道徳教育の歴史や現代社会の課題について、学校での道徳教育を理解する。道徳教育の目標、道徳教育全体計画、内容について概略を把握し、その具現化にむけての技術や方法を理解する。特別活動では道徳教育との関り、意義や取り組み方法の実際、評価改善について、学習指導案に基づく内容理解を行う。				
到達目標	道徳の意義や原理等を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を理解する。 1.道徳の本質を説明できる。 2.道徳教育の歴史や現代社会における道徳教育の課題(いじめ・情報モラル等)を理解している。■ 3.子どもの心の成長と道徳性の発達について理解している。■ 4.学習指導要領に示された道徳教育の主な内容を理解している。■ 特別活動の意義、目標、内容指導の在り方を理解する。 5.学習指導要領における特別活動の目標及び主な内容を理解している。■ 6.教育課程における特別活動の位置付けと各教科等との関連を理解している。■ 7.学級活動・ホームルーム活動の特質を理解している。■ 8.児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の特質を理解している。■				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と職業倫理			
	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	小テスト(30%)、レポート(30%)、定期試験(25%)、平常点(15%)、総合評価 60%以上を合格とする。詳細はガイダンス時に指示する。				
課題に対するフィードバック	レポート、小テストは必要に応じてコメントして返却する。定期試験の内容や質疑は個別に対応する。				
使用教材	小中学校学習指導要領、同解説道徳編、その他、講義用のテキストプリントを使用する。(毎回配布)				
1	講義内容	道徳の本質(道徳とは何か)、学校の教育活動全体で行う道徳教育とその要となる道徳科■			
	該当する到達目標	1	予習	シラバスを読み、講義目標、講義内容、評価方法を理解する。	1.5 時間
		1	復習	講義内容について整理し、理解する。	1.5 時間
2	講義内容	学習指導要領に示された道徳教育、道徳教育全体計画、道徳科の目標や内容■			
	該当する到達目標	1	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
		1	復習	道徳教育、道徳科の内容を整理し、理解する。	1.5 時間
3	講義内容	道徳教育の歴史、現代社会の道徳教育の課題■			
	該当する到達目標	2	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
		2	復習	道徳教育の歴史、現代の課題を整理し、理解する。	1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

4	講義内容	道徳性の発達の理論、特別支援を配慮した道徳教育、子どもの心の成長■		
	該当する到達目標 2,3	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
		復習	道徳性の発達理論、心の理論を整理し、理解する。	1.5 時間
5	講義内容	道徳性、道徳的価値内容の補充・深化・統合、授業のねらい■		
	該当する到達目標 3,4	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
		復習	道徳性、道徳的価値内容、授業指導法について整理し、理解する。	1.5 時間
6	講義内容	道徳教育年間計画、指導の重点、学級の道徳教育指導計画■		
	該当する到達目標 4	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
		復習	道徳教育年間計画、指導の重点、学級の指導計画について整理し、理解する。	1.5 時間
7	講義内容	道徳科指導案、資料分析の手法、授業のねらいや指導過程の明確化■		
	該当する到達目標 4	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
		復習	道徳科指導案、指導方法について整理し、理解する。	1.5 時間
8	講義内容	模擬授業と授業改善、道徳科の特性を踏まえた学習評価■		
	該当する到達目標 4	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
		復習	模擬授業、学習評価について整理し、理解する。	1.5 時間
9	講義内容	道徳教育の多様な指導方法の理解■		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
		復習	道徳教育の多様な指導方法を整理し、理解する。	1.5 時間
10	講義内容	学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と社会問題、非行問題の課題■		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
		復習	学校教育活動における道徳教育、課題について整理し、理解する。	1.5 時間
11	講義内容	学習指導要領における特別活動の目標と内容、特別活動の位置づけ■		
	該当する到達目標 5,6	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
		復習	学習指導要領における特別活動の内容について整理し、理解する。	1.5 時間
12	講義内容	教育課程における特別活動の位置づけ、教科等との関連■		
	該当する到達目標 5,6	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
		復習	教育課程における特別活動の位置づけについて整理し、理解する。	1.5 時間
13	講義内容	学級活動・ホームルーム活動の特質、児童生徒の話し合い活動、集団活動■		
	該当する到達目標 7,8	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
		復習	学級活動、話し合い活動などについて整理し、理解する。	1.5 時間
14	講義内容	児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の特質と家庭、地域住民、関係機関との連携■		
	該当する到達目標 7,8	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
		復習	児童会・生徒会活動、学校行事について整理し、理解する。	1.5 時間
15	講義内容	学校全体の教育活動で取り組む「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」■		
	該当する到達目標 1,4,5,6,7,8	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
		復習	学校全体で取り組む特別活動の意義について整理し、理解する。	1.5 時間
備考	※教職科目 【科目】 道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目 【施行規則に定める科目区分又は事項等】 道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容 質問等は授業中が望ましいのですが、授業前後や非常勤講師室にて対応します。また、緊急の質問は教務課を通しメールや電話にて対応いたします。 授業の予習復習からさらに理解を深めるために、小テスト前や返却後にしっかりと学習し把握すること。小テスト			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	は 3 回を予定しています。また、レポートを 2 回実施します。学習の積み重ねは、試験前に再度補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。

科目名	総合的な学習の時間論(教職科目)			HNE528	講義
英文名	Theory of Period for Integrated Studies				
担当教員	石川 勉				
科目に関連した実務経験	公立中学校に教諭・教頭・校長として勤務(経験)				
学年・開講期	2 年 後期	必修・単位数	選択 1 単位 ※教員の免許状取得のための必修科目		
講義目標	小・中学校における総合的な学習の意義や目標を理解し、実践事例を通して、育成すべき資質・能力を考慮した指導計画・単元計画を作成する。さらに、効果的な総合的な学習の具現化には、カリキュラムマネジメントが不可欠であることを理解する。				
到達目標	総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解する。 総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力を身に付ける。 1.総合的な学習の時間の意義と教育課程において果たす役割について、教科を越えて必要となる資質・能力の育成の視点から理解している。■ 2.学習指導要領における総合的な学習の時間の目標並びに各学校において目標及び内容を定める際の考え方や留意点を理解している。■ 3.各教科等との関連性を図りながら総合的な学習の時間の年間指導計画を作成することの重要性と、その具体的な事例を理解している。■ 4.主体的・対話的で深い学びを実現するような、総合的な学習の時間の単元計画を作成することの重要性とその具体的な事例を理解している。■				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と職業倫理			
	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	小テスト(30%)、レポート(30%)、定期試験(25%)、平常点(15%)、総合評価 60%以上を合格とする。詳細はガイダンス時に指示する。				
課題に対するフィードバック	レポート、小テストは必要に応じてコメントして返却する。定期試験の内容や質疑は個別に対応する。				
使用教材	小中学校学習指導要領、同解説 総合的な学習の時間編、その他、講義用のテキストプリントを使用する。				
1	講義内容	学習指導要領における総合的な学習の時間の目標、意義と教育課程上の位置づけ■			
	該当する到達目標 1,2	予習	シラバスを読み、講義目標、講義内容、評価方法を理解する。		1.5 時間
		復習	講義内容について整理し、理解する。		1.5 時間
2	講義内容	中学校のキャリア教育「職業調べ」「職業体験」「上級学校調べ」事例研究、教科との関連■			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。		1.5 時間
		復習	中学校のキャリア教育内容について整理し、内容を理解する。		1.5 時間
3	講義内容	生徒が主体的・対話的で深い学びにするための事例研究■			
	該当する到達目標 3,4	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。		1.5 時間
		復習	総合的な学習の時間の事例研究を整理し、理解する。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

4	講義内容	教育課程における年間計画と単元計画、学習指導計画、各教科との関連■		
	該当する到達目標 1,3	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
		復習	教育課程における年間計画、単元計画、学習計画などを整理し、理解する。	1.5 時間
5	講義内容	小学校の具体的な単元計画と学習実践、事例研究■		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
		復習	小学校の具体的な実践について整理し、理解する。	1.5 時間
6	講義内容	単元構想、学習指導計画作成を通しての総合的な学習の授業づくり■		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
		復習	実際に単元を構想し、学習指導計画を作成する授業づくりについて整理し、理解する。	1.5 時間
7	講義内容	学習指導案検討会、教科を越えた横断的な思考の育成■		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
		復習	各学習指導案について検討されたことを整理し、理解する。	1.5 時間
8	講義内容	総合的な学習の時間の模擬授業、学習状況評価、自己の生き方指導■		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
		復習	実際の授業やその評価について整理し、理解する。	1.5 時間
備考	※教職科目 科目：道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容 質問等は授業中が望ましいのですが、授業前後や非常勤講師室にて対応します。また、緊急の質問は教務課を通しメールや電話にて対応いたします。 授業の予習復習からさらに理解を深めるために、小テスト前や返却後にしっかりと学習し把握すること。小テストは2回を予定しています。また、レポートを1回実施します。学習の積み重ねは、試験前に再度補完すること。 ■：実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		教育方法論(教職科目)			HNE529	講義
英文名		Teaching Method				
担当教員		栗原 幸正				
科目に関連した実務経験		・公立小学校に、教諭・教頭・校長として勤務(経験) ・市町村教育委員会に、指導主事として勤務(経験)				
学年・開講期		2 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位 ※教員の免許状取得のための必修科目		
講義目標		次世代を作る児童・生徒の資質・能力を育成するために必要な教育観・教育方法・教育技術についての基礎的な知識・技能を習得する。				
到達目標		1.教育の質の向上に向けて、教育方法学的重要性を理解する事ができる。 2.多様な教育観を理解し、資質・能力の育成に効果的な授業構成論を習得できる。 3.学習指導要領の具現化に向けての教育技術を習得し、授業づくりをする方法論を理解する。■				
学位授与方針との対応		—	豊かな人間性と職業倫理			
		—	専門的知識			
		—	問題発見・解決力			
		—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		—	コミュニケーション能力			
		—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法		定期試験(50%) 授業後の小レポート(10%)課題レポート(20%) 成果物(10%)				
課題に対するフィードバック		紙媒体については評価の明記並びに評価コメント。プレゼンテーション等については、テーマ設定・発表方法・発表時間・質疑等の評価規準を明確にして評価内容を伝える。				
使用教材		教育の方法(佐藤学著 放送大学叢書 本体 1,524 円) 小学校学習指導要領解説 総則編				
1	講義内容	学習観の変遷(教育方法の歴史的意義)				
	該当する到達目標 2	予習	教科書「教育の方法」に目を通し、これまでの教育方法学の変遷を教育学者の取り組みを通して把握しておく。			1 時間
		復習	教育方法学の変遷を知り、現代の教育における教育方法の多様性を理解する。			2 時間
2	講義内容	小中学校における教育方法の現状と課題(学級崩壊を通して)				
	該当する到達目標 1	予習	自分の小中学校時代の経験に即し、学級崩壊について想起する。			1 時間
		復習	学級崩壊の要因としての教員の教育方法について理解し、自分自身の教員の資質について考察する事ができる。			1 時間
3	講義内容	教育方法の実際①(養護教諭の授業ビデオを元にした授業研究)				
	該当する到達目標 3	予習	小学校学習指導要領解説 総則編の授業づくりに係る箇所目を通しておく。			1 時間
		復習	授業研究で得た教育方法について、ノートにまとめる。			1 時間
4	講義内容	教育方法の実際②(栄養教諭の授業ビデオを元にした授業研究)				
	該当する到達目標 3	予習	小学校学習指導要領解説 総則編の授業づくりに係る箇所目を通しておく。			1 時間
		復習	授業研究で得た教育方法について、ノートにまとめる。			1 時間
5	講義内容	小・中学校におけるアクティブ・ラーニングの可能性(実践事例を通して) ■				
	該当する到達目標 3	予習	電気に係る学習について、小学校・中学校・高等学校の内容を想起しておく。			1 時間
		復習	単元学習におけるアクティブ・ラーニングについて、講義内容をまとめる。			1 時間
6	講義内容	小・中学校における授業づくりの方法①(学年計画・教科計画・評価計画) ■				

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標 2,3	予習	小学校学習指導要領解説 総則編の年間計画に係る箇所を目を通しておく。	0.5 時間
		復習	学年計画と教科計画・評価計画の関連性について理解する。	1 時間
7	講義内容	小・中学校における授業づくりの方法②(教材研究と学習指導案・学習評価作業) ■		
	該当する到達目標 2,3	予習	教科書の関連する箇所を目を通すと共に、小学校学習指導要領解説 総則編の学習指導案及び教育評価に係る箇所を目を通しておく。	1 時間
		復習	学習指導案と学習評価の関連についてノートにまとめる。	1 時間
8	講義内容	情報機器を用いた授業構成(パソコンを用いた授業づくり演習)		
	該当する到達目標 1,3	予習	パワーポイントを用いて、学級における自己紹介プレゼン資料を作っておく。	1 時間
		復習	授業において効果的に情報機器を用いる留意点をまとめる。	1 時間
備考	※教職科目 【科目】道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目 【施行規則に定める科目区分又は事項等】教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) 授業期間全体を通じた授業の進め方:教科書に沿った講義を中心としつつ、関連した項目についての研究協議・演習を組み合わせ、アクティブ・ラーニングを具現化する。また、授業後に行う感想シートを活用して理解度を把握すると共に、小論文作成の技術を高める。予習・復習については試験前の学習で補完すること。 ※パワーポイント・Excel・Word を利用できる環境を準備しておくこと。 オフィスアワー:水曜日 2 限・金曜日 2 限 質問等はメールで常時受けつける。 メールアドレス:kurihara-y@takasaki-u.ac.jp 研究室:9 号館 3 階 305 号室 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	生徒指導論(教職科目)			HNE530	講義
英文名	Student Guidance				
担当教員	小西 尚之				
科目に関連した実務経験	教諭として公立高等学校に勤務(経験)				
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位 ※教員の免許状取得のための必修科目		
講義目標	生徒指導は、学校教育において学習指導(教科指導)と並ぶ重要な分野として位置付けられる。本授業では、学校における教師の生徒指導について、理論と実践の両面から考察していく。授業の進め方としては、各テーマについての説明を聞くだけではなく、話し合い活動を通じて課題に取り組むことによって理解を深めていく。				
到達目標	1.生徒指導の理論について理解している。 2.生徒指導について実践的に思考することができる。■ 3.他者と協力しながら課題に積極的に取り組むことができる。				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と職業倫理			
	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	小テストに約 70%、日常点(授業への参加、授業態度、課題への取り組み、討論、授業に対する貢献度等)に約 30%を配分して総合評価する。				
課題に対するフィードバック	試験前後に出題の意図等を説明する。				
使用教材	教科書:『よくわかる生徒指導・キャリア教育』(小泉令三編著、ミネルヴァ書房、2010 年、2,400 円(税別))、参考書:『生徒指導提要』(平成 22 年 3 月 文部科学省)				
1	講義内容	オリエンテーション 教育課程における生徒指導の位置付け			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで、毎回の授業内容を確認し、自分との関連などを考えておく。		1.5 時間
	1	復習	資料を読み直し、授業の概要を確認し、生徒指導を学ぶ意味を理解する。		1.5 時間
2	講義内容	各教科・道徳教育・総合的な学習の時間・特別活動における生徒指導			
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5 時間
	1	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。		1.5 時間
3	講義内容	集団指導・個別指導の方法原理			
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5 時間
	1,2	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。		1.5 時間
4	講義内容	生徒指導体制と教育相談体制			
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5 時間
	1,2	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。		1.5 時間
5	講義内容	他分野との連携(1)生徒指導と情報教育(各種メディア、情報リテラシーなど)			
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。		1.5 時間
6	講義内容	他分野との連携(2)生徒指導と学習指導(授業における指導など)			

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	他分野との連携(3)生徒指導と進路指導(キャリア教育など)		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	他分野との連携(4)小学校や高等学校・地域や家庭との連携		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	問題行動への対応(1)校則・生徒心得について		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	問題行動への対応(2)懲戒・体罰について		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	問題行動への対応(3)不登校・ひきこもりについて■		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	問題行動への対応(4)いじめについて■		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	問題行動への対応(5)非行について		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	グループ発表(1)校則・生徒心得、懲戒・体罰の事例		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	グループ発表(2)不登校・ひきこもり、いじめ・非行の事例		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	15 回分の資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
備考	※教職科目 科目:道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目 施行規則に定める科目区分又は事項等:生徒指導の理論および方法 授業の進め方:毎回の講義では、各テーマについての講義に加え、個人で関連した課題に取り組んだり、小グループや全体での話し合い活動を行います。 予習・復習については、小テストの学習等で補完してください。 オフィスアワー:火曜 5 限、金曜 2 限 メールアドレス:konishi@takasaki-u.ac.jp 研究室:8 号館 4 階 409 号室 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	教育相談(教職科目)			HNE531	講義
英文名	School Counseling				
担当教員	宮内 洋				
科目に関連した実務経験	臨床発達心理士および公認心理師として相談業務(現在)				
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位 ※教員の免許状取得のための必修科目		
講義目標	本科目は、中等教育段階の学校の教員を目指す上で理解しておくべき、教育相談に関する基本的な知識と技能の理解・修得をめざす。 教育相談は、幼児、児童及び生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識(カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む)を身に付ける。 この際には、密室に閉じた相談活動ではなく、学校、さらには地域に開かれた支援を視野に入れる。臨床発達心理士である講師としては、机上の空論や理想論ではなく、より現実的な内容に徹したい。				
到達目標	1.学校における教育相談の意義と理論を理解する。 2.教育相談を進める際に必要な基礎的知識(カウンセリングに関する基礎的事柄を含む)を理解する。■ 3.教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解する。■				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と職業倫理			
	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	全講義終了後に実施される定期試験(85%)と、講義期間中に課せられる課題(10%)、講義に臨む態度・参加する姿勢(5%)によって、総合的に判断する。				
課題に対するフィードバック	講義終了時に可能な限り感想シートを配付し、そこで書かれた質問等には次回に回答するように努める。				
使用教材	教科書は指定しない。必要に応じて、資料を配付する。また、より知りたい・学びたい人のために、参考文献や映画やマンガ等の種々の作品を、講義の中で適宜紹介する。 参考書・参考資料等 ・宮内洋『体験と経験のフィールドワーク』 北大路書房 ・宮内洋・好井裕明 編著『〈当事者〉をめぐる社会学—調査での出会いを通して』北大路書房 ・秋山千枝子・堀口寿広 監修『スクールカウンセリングマニュアル(第2版)』日本小児医事出版社				
1	講義内容	オリエンテーション:受容と共感■			
	該当する到達目標 1,3	予習	自らの中学・高校での教育相談に関する体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。		7 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1 時間
2	講義内容	「教育相談」とは何か■			
	該当する到達目標 1,3	予習	教育相談とは何かについて考察できるように準備しておくこと。		1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1.5 時間
3	講義内容	各自の枠組の相違の体験的理解			
	該当する到達目標 1,3	予習	コミュニケーションの失敗に関する体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。		1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
4	講義内容	生徒に対する誤解への注意と気づき■		
	該当する到達目標 1,3	予習	自らの気づきに関する体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
5	講義内容	生徒の「性格」理解		
	該当する到達目標 1,3	予習	自らの性格について理解を深めておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
6	講義内容	学校教育における「カウンセリングマインド」■		
	該当する到達目標 1,3	予習	カウンセリングマインドについて理解を深めておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
7	講義内容	カウンセリングの基礎的理解と技法		
	該当する到達目標 1,3	予習	カウンセリングについて調べておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
8	講義内容	スクールカウンセリングの基礎と実際■		
	該当する到達目標 1,2	予習	自らの中学・高校での体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
9	講義内容	いじめに対する対応		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らの中学・高校での体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
10	講義内容	いじめとスクールカウンセリング：中学校におけるいじめの実態		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らの中学・高校での体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
11	講義内容	校内暴力に対する生徒指導と教育相談■		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らの中学・高校での体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
12	講義内容	臨床発達心理学的視点からの教育相談■		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らの中学・高校での体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
13	講義内容	教育相談のロール・プレイング(1):ロール・プレイングの実践■		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	ロール・プレイングについて調べておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
14	講義内容	教育相談のロール・プレイング(2):ロール・プレイングの振り返り■		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	前回のロール・プレイングについて理解を深めておくこと。	3 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
15	講義内容	緊急時・災害時・事後における教育相談		
	該当する到達目標	予習	緊急時の教育相談について客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
備考	※教職科目 【科目】道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目 【施行規則に定める科目区分又は事項等】教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 ・授業期間全体を通して、基本的には講師が直接講義をする形式です。講義内容を深めるために、映像を講義内で見ることがあります。科目の性格上、グループワークを講義内に取り入れています。講師とのやりとりは、感想シートによっておこなわれます。 ・講義を妨害する者の受講を基本的に認めません。 ・担当教員は、専任教員ではありませんのでオフィスアワーはありません。質問等は、授業開始前もしくは終了後に教室で応じます。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		事前・事後指導(教職科目)			HNE513	講義
英文名		Pre/Post Guidance				
担当教員		深見 匡、栗原 恵美子				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		4 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標		「事前指導」では、栄養教育実習を円滑に行えるよう次のことを目標とする。 ①教育実習生として必要な資質や態度を理解し、実践できること。 ②栄養教育実習に必要な包括的な知識・技能を理解し、実践できること。 「事後指導」では次のことを目標とする。 ①栄養教育実習で修得した知識・技能、体験について総括できること。 ②「教育実習報告会」において自身の実践を総括し、他者に報告すること。				
到達目標		1.教育実習生として求められる資質や態度について説明し、実践することができる。 2.栄養教育実習に必要な知識・技能について説明し、基本的な実践をすることができる。 3.栄養教育実習での体験について自身で客観的に反省し総括することができる。 総じて教職者に求められる知識・技能、課題解決力を身に付ける。				
学位授与方針との対応		—	豊かな人間性と職業倫理			
		—	専門的知識			
		—	問題発見・解決力			
		—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
		—	コミュニケーション能力			
		—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法		平常点 50%(授業への貢献等)、報告内容・提出課題等(50%)で総合的に評価する。詳細は初回授業時に指示する。				
課題に対するフィードバック		必要に応じて課題を課し、コメントなど付して評価を返す。				
使用教材		『食に関する指導の手引き—第一次改訂版—』 文部科学省 2010 年 (ISBN: 9784827814927) 『教育実習の手引き・ノート』本学テキスト 講義用のテキストプリントを配布する。				
1	講義内容		栄養教育実習の意義・目的・心構え			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。			1 時間
		復習	教育実習に必要な資質・態度、知識・技能について整理し、授業時の課題に取り組む。			1.5 時間
2	講義内容		栄養教育実習の実際①			
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。			1 時間
		復習	教育実習に必要な資質・態度、知識・技能について整理し、授業時の課題に取り組む。			1.5 時間
3	講義内容		栄養教育実習の実際②			
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。			1 時間
		復習	教育実習に必要な資質・態度、知識・技能について整理し、授業時の課題に取り組む。			1.5 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

			に取り組む。	
4	講義内容	学習指導案の作成・検討①		
	該当する到達目標	予習	学習指導案を作成する。	3 時間
	1,2	復習	教育実習に必要な資質・態度、知識・技能について整理し、授業時の課題に取り組む。	1 時間
5	講義内容	学習指導案の作成・検討②		
	該当する到達目標	予習	学習指導案を作成する。	3 時間
	1,2	復習	教育実習に必要な資質・態度、知識・技能について整理し、授業時の課題に取り組む。	1 時間
6	講義内容	事後指導 実習の反省①		
	該当する到達目標	予習	教育実習報告を作成する。	2 時間
	1,2,3	復習	教育実習報告の集団的検討をふまえ、自身の実習の総括を深める。	1 時間
7	講義内容	事後指導 実習の反省②		
	該当する到達目標	予習	教育実習報告を作成する	2 時間
	1,2,3	復習	教育実習報告の集団的検討をふまえ、自身の実習の総括を深める。	1 時間
8	講義内容	事後指導「教育実習報告会」		
	該当する到達目標	予習	「教育実習報告会」用の報告書を作成する。	2 時間
	1,2,3	復習	「教育実習報告会」での発表・検討会の結果をふまえ、自身の実習の総括を深める。	1 時間
備考	授業の進め方:授業は講義形式を中心とするが、授業実践や演習なども含まれる。授業の詳細は学生の意見や状況に応じて適宜必要な修正を行っていく。 授業の問い合わせは深見まで(1号館 307 室、メールでも可能)。 オフィスアワー(深見):火曜 3 限、金曜 5 限 メールアドレス:fukami@takasaki-u.ac.jp			

科目名	栄養教育実習(教職科目)			HNE514	実習
英文名	Nutrition Teacher Teaching Practice				
担当教員	深見 匡				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	この栄養教育実習では小中学校において 5 日間の実習を行い、以下のことを目標とする。 ①栄養教育実習について体験的・総合的な理解を得ること。②大学で修得した関連する知識・技能を生かし、学校現場での児童生徒の発達に即した指導を行うこと。③教育実践上の問題解決や創意工夫に必要な研究的態度や能力を養うこと。④教育者としての愛情と使命感を深め、自覚を得ること。				
到達目標	1.食の指導の専門家に必要な専門的知識・技能について説明でき、基本的な実践ができる。 2.教員に必要な専門的知識・技能について説明でき、基本的な実践ができる。 3.教育実践に必要なとなる問題解決的・研究的な実践ができる。 4.教育実習体験について、自身で客観的に反省し総括をすることができる。 総じて教職者に求められる知識・技能、課題解決力を身につける。				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と職業倫理			
	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	「実習ノート」の内容(30%)、実習校からの評価(70%)などを参考に総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	必要な場合は実習校とは別に課題を課し、その評価についてコメントを付して返す。				
使用教材	本学配布テキスト『教育実習の手引き・ノート』				
講義内容	実習校での実習について ①校長・指導教員等からの指導、②児童生徒への個別的な相談・指導の実習、③児童生徒への教科・特別活動等における食の指導の実習、④学校給食等における食の指導の実習、⑤学校の教育活動の参観や補助、⑥他の教職員との連携・調整の実習、⑦保護者や地域との連携の実習 等。				
	予習	実習校指導者の指示に従う。			必要時間
	復習	実習校指導者の指示に従う。			必要時間
備考	授業の進め方:実習校指導者の指示のもとに実習を行う。 栄養教育実習についての相談は、随時、深見まで(1 号館 307 室)。 オフィスアワー(深見):火曜 3 限、金曜 5 限 メールアドレス: fukami@takasaki-u.ac.jp				

科目名	教職実践演習(栄養教諭)(教職科目)			HNE515	講義
英文名	Seminar on Teaching Practice (Nutrition Teacher)				
担当教員	深見 匡、栗原 恵美子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	4 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	この講義は、栄養教諭教職課程の最終的な段階として以下を行うことを目標とする。 ①栄養教諭に求められる様々な資質(食の指導の専門家としての知識・技能、教員としての知識・技能)を整理し、修得状況を確認すること。 ②学生各自の①の資質の修得状況を踏まえ、必要な補足やいっそうの充実をはかること。				
到達目標	1.食の指導の専門家に必要な知識・技能について説明し、基本的な実践ができる。 2.教員に求められる知識・技能について説明し、基本的な実践ができる。 3.これらの知識・技能を活用した基本的な教育実践ができる。 総じて教職者に求められる知識・技能、課題解決力を身に付ける。				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と職業倫理			
	—	専門的知識			
	—	問題発見・解決力			
	—	多様な社会・背景を理解し対応する能力			
	—	コミュニケーション能力			
	—	自律的に生涯にわたって学習する力			
評価方法	平常点 50%(授業への貢献度等)、期末試験 50%(レポート・課題等)。総合評価 60%以上を合格とする。詳細は初回授業時に指示する。				
課題に対するフィードバック	レポートは必要に応じてコメントを付して返却する。期末試験を実施した場合は、試験後、必要に応じて解説を行う。個別の質疑等には対応する。				
使用教材	教科書:『食の指導に関する手引き—第一次改訂版—』 文部科学省 2010 (ISBN:9784827814927) 講義用のテキストプリントを毎回配布する。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義目標・講義内容・評価方法などを理解する。		1 時間
	1,2,3	復習	栄養教育実習等これまでの学習を振り返り、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
2	講義内容	教職の意義・教員の職務内容と責任についての演習			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
	1,2,3	復習	教員の職務内容・責務について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
3	講義内容	食に関する指導と食の全体計画についての演習①			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
	1,2	復習	食の全体計画の作成、討議の成果を整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
4	講義内容	食に関する指導と食の全体計画についての演習②			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
	1,2	復習	食の全体計画の作成、討議の成果を整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
5	講義内容	給食時間の指導についての演習			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間

2019 年度 健康栄養学科 シラバス

	1,2,3	復習	給食時間の指導について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
6	講義内容	特別活動における食に関する指導についての演習		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	特別活動における指導について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
7	講義内容	教科における食に関する指導についての演習		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教科における指導について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
8	講義内容	「食生活学習教材」の活用(演習)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	食生活教材の活用について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
9	講義内容	学校現場の見学・調査①		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	参観・補助等した学校現場での実習について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
10	講義内容	学校現場の見学・調査②		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	参観・補助等した学校現場での実習について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
11	講義内容	カウンセリングや集団指導についての演習		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教育相談や指導の実践について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	他の教職員との連携・協力についての演習		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	「チームとしての学校」の意義について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	児童・生徒の発達を踏まえた指導についての演習。		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	子どもの発達と教育方法について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	模擬授業の実践・相互評価・討論①		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	模擬授業実践について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	模擬授業の実践・相互評価・討論②		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	模擬授業実践について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
備考	授業の進め方:テキストや課題を中心に演習形式の授業を行い、必要に応じて実習や授業実践の課題も取り入れる予定。授業の詳細については学生の意見や状況によって適宜必要な修正を行っていく。 予習・復習の時間については、課題や学校見学前後等の学習で補完すること。 オフィスアワー:月曜 4 限、水曜 5 限、メールでの問い合わせ可。 メールアドレス:fukami@takasaki-u.ac.jp 研究室:1 号館 307 室			